

参考資料 2 - 3

現地試験結果集

目次

1	機器の仕様と基準感度設定用試験片	1
2	16万KL級タンク現地試験結果	3
2.1	ETC実施箇所のPT・MT記録	4
2.2	C社試験結果	9
2.3	F社試験結果	48
2.4	H社試験結果	90
3	5千KL級タンク現地試験結果	129
3.1	ETC実施箇所の外観・MT記録	130
3.2	A社試験結果	134
3.3	I社試験結果	166
3.4	H社試験結果	201

1. 機器の仕様及び基準感度設定用試験片

1 機器の仕様及び基準感度設定用試験片

1.1 機器の仕様

16万KL級タンクにおける現地試験に用いた機器の仕様は以下である。

	渦電流探傷装置		プローブ				周波数 (kHz)
	メーカー	型式	メーカー	型式	プローブ種別		
C社	Eddyfi社	MIZ-21C	Eddyfi社	SURFXW-501	差動方式	フレキシブルアレイタイプ	100
F社	アスワン電子(株)	aect-2000Multi	アスワン電子(株)	L230	相互誘導形絶対値方式	フレキシブルアレイタイプ	100
I社	TesTex社	Triton II	TesTex社	BFET	差動方式	マルチタイプ	30
H社	(株)IHI検査計測	Mobile EDDy®	(株)IHI検査計測	I1-457	シングル方式相互誘導形	ペンタイプ	80

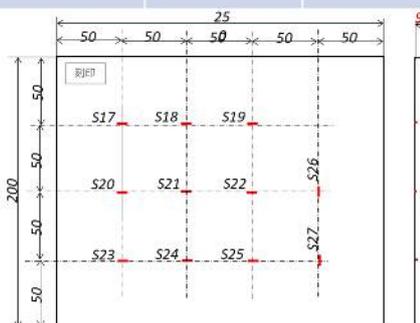
5千KL級タンクにおける現地試験に用いた機器の仕様は以下である。

	渦電流探傷装置		プローブ				周波数 (kHz)
	メーカー	型式	メーカー	型式	プローブ種別		
A社	SG NDT社	S2G2-800	SG NDT社	SHAPE-LS050-TR-034-295-41P03	差動方式 コイル径3mm	フレキシブルアレイタイプ	100
I社	SG NDT社	S2G2i	三菱重工業(株)	S2G2-WS	差動方式 隅肉溶接用	フレキシブルアレイ改良タイプ	200
H社	(株)IHI検査計測	Mobile EDDy®	(株)IHI検査計測	I1-457	シングル方式相互誘導形	ペンタイプ	80

1.2 基準感度設定用試験片

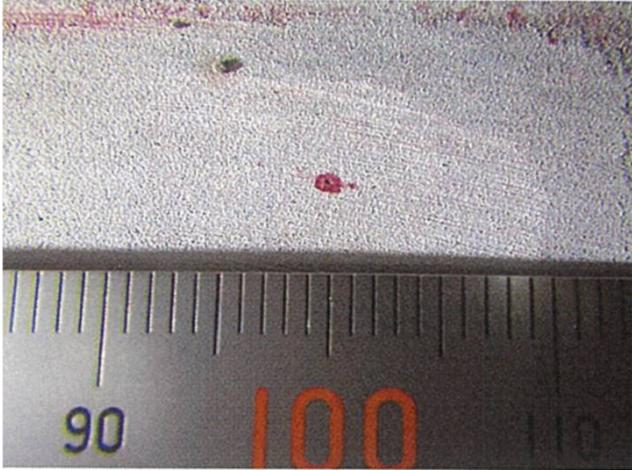
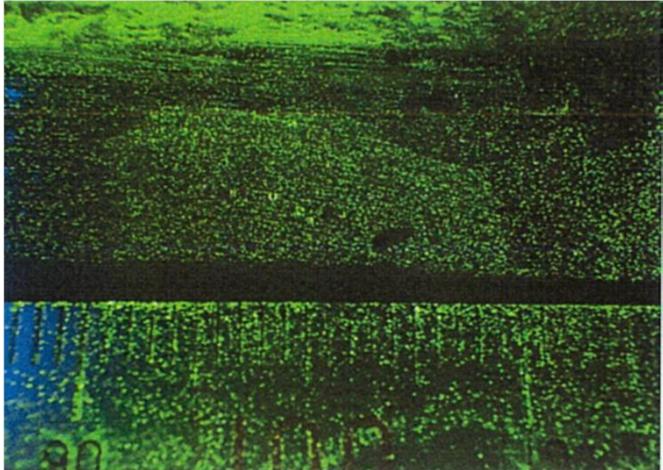
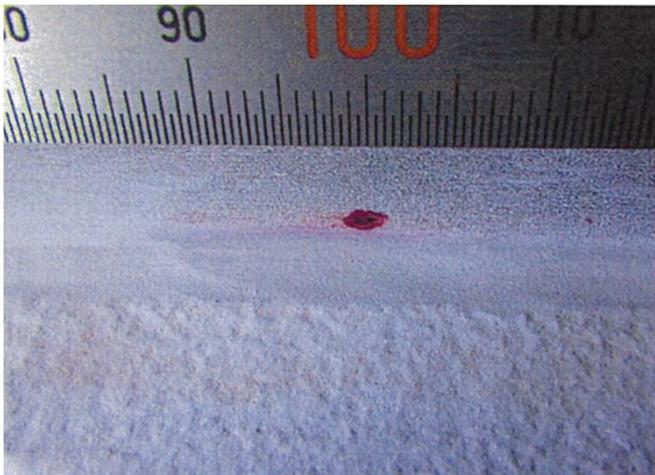
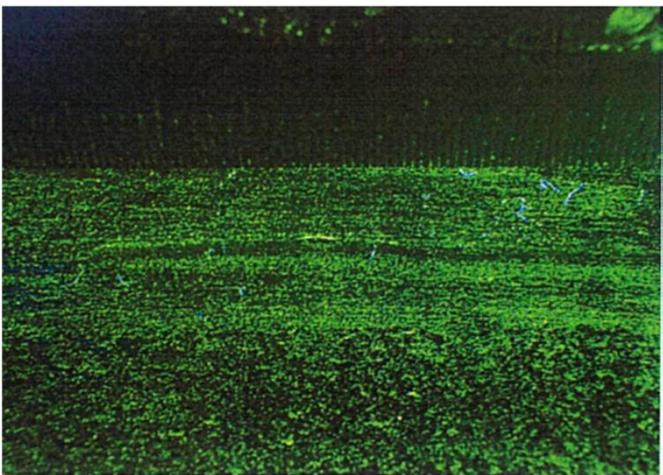
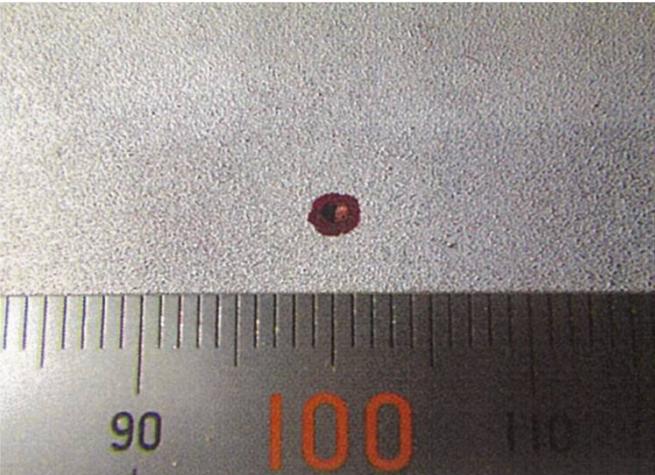
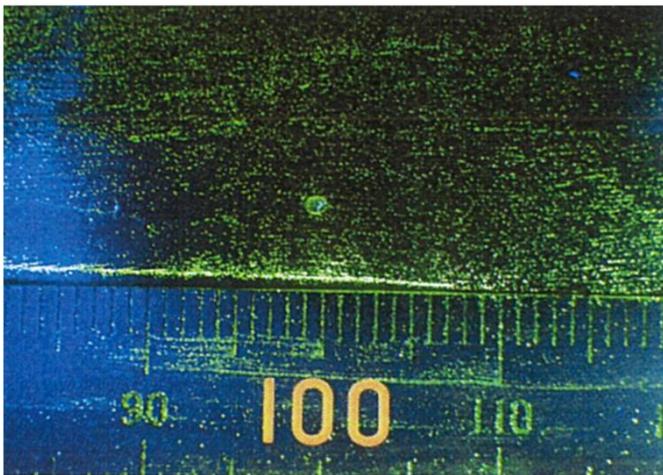
基準感度を設定した基準きずは、以下試験片のうち S21（長さ 4mm × 1.5mm）の矩形スリットきずである。

番号	材質	コーティング厚さ(mm)	位置	きず性状	長さ (mm)	深さ (mm)	幅 (mm)
S17	SM400A	0,1,2	平板表面	矩形スリット	3	1	0.5
S18						1.5	
S19						2	
S20					4	1	
S21						1.5	
S22					2		
S23					5	1	
S24						1.5	
S25						2	
S26					4.5	1.7	
S27	3.5	1.2					

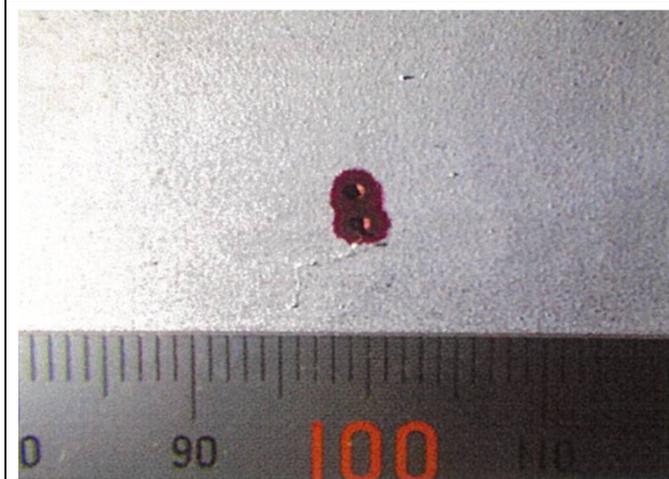


2. 16万KL級タンク現地試験結果

ETC実施箇所のPT・MT記録(16万kL級タンク)

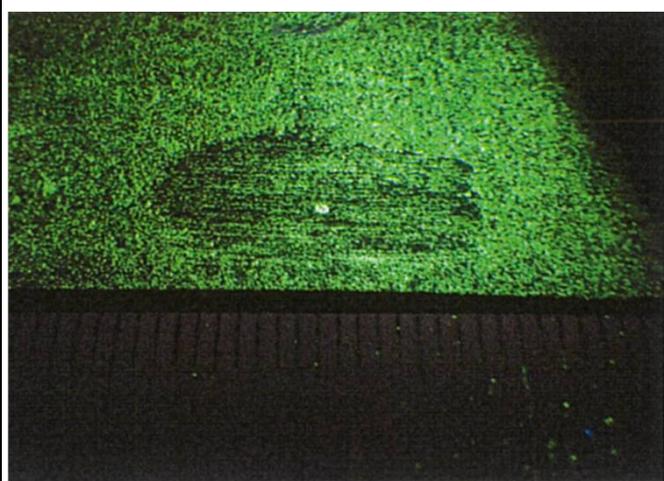
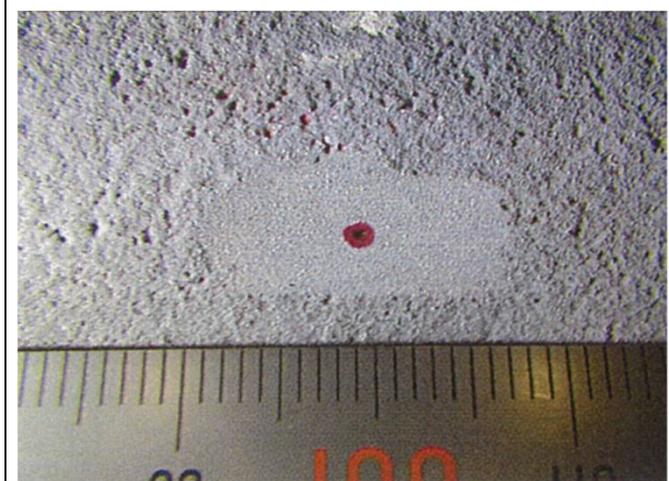
			
箇所番号	側板×アニュラ板 (内側)	箇所番号	集中BH (MT指示模様Φ1mm以下複数)
1		1	
			
箇所番号	側板×アニュラ板 (内側)	箇所番号	LF (L=2mm)
2		2	
			
箇所番号	アニュラ板×アニュラ板	箇所番号	BH (MT指示模様Φ1mm)
3		3	

ETC実施箇所のPT・MT記録(16万kL級タンク)



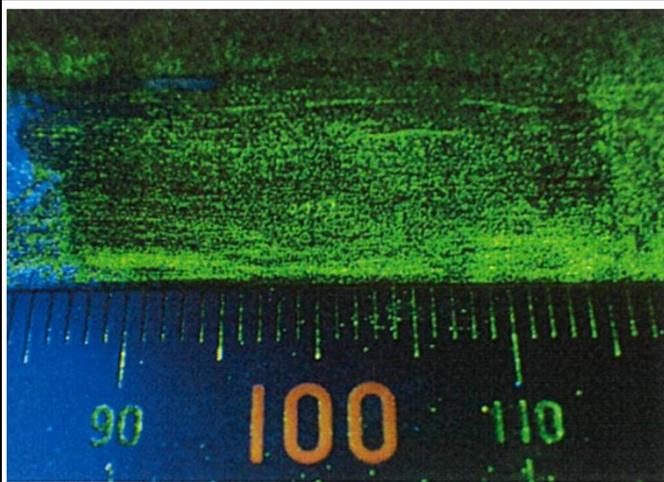
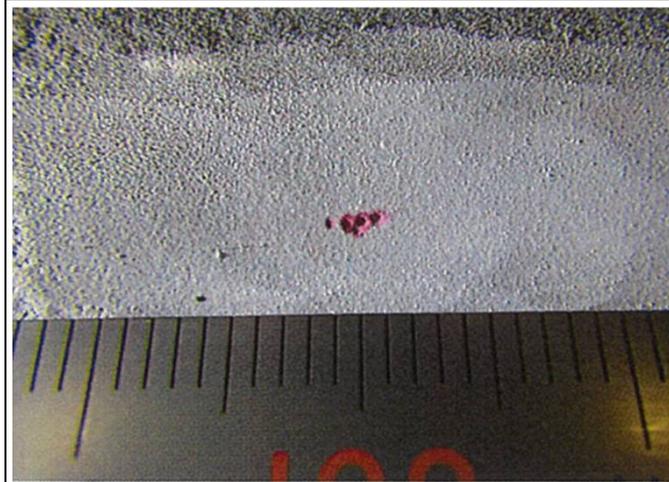
箇所番号	アニュラ板×アニュラ板
4	

箇所番号	集中BH (MT指示模様Φ1mm×2)
4	



箇所番号	アニュラ板×底板
6	

箇所番号	BH (MT指示模様Φ1mm以下)
6	



箇所番号	アニュラ板×底板
8	

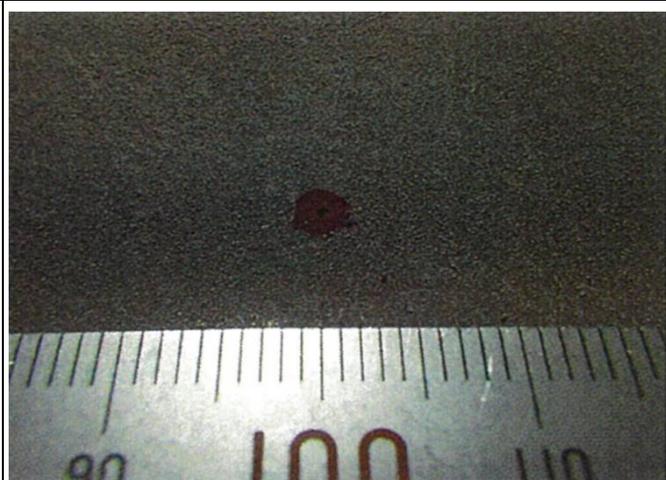
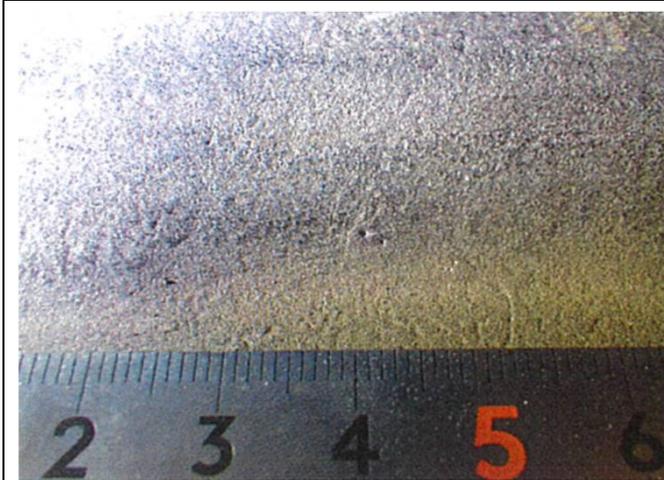
箇所番号	集中BH (MT指示模様Φ1mm以下複数)
8	

ETC実施箇所のPT・MT記録(16万kL級タンク)



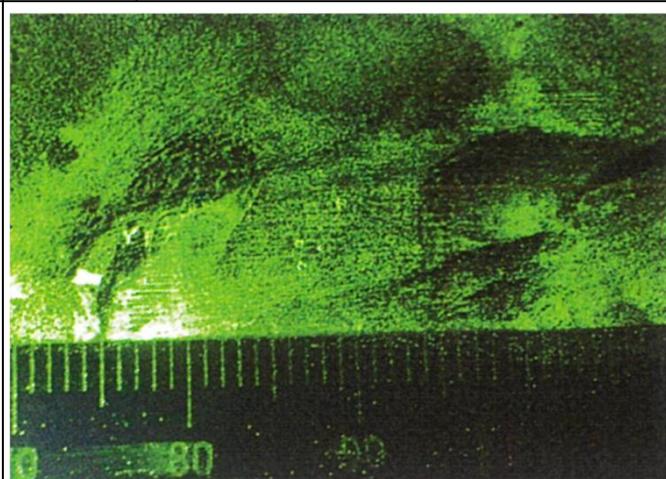
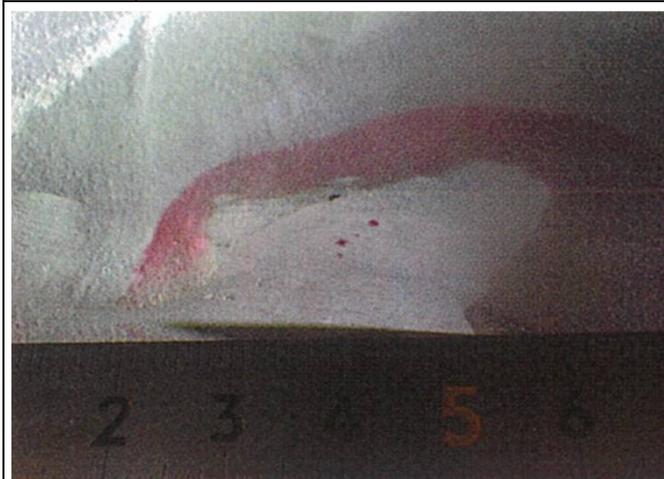
箇所番号	底板×底板
10	

箇所番号	アンダーカット (L=2mm)
10	



箇所番号	底板×底板
12	

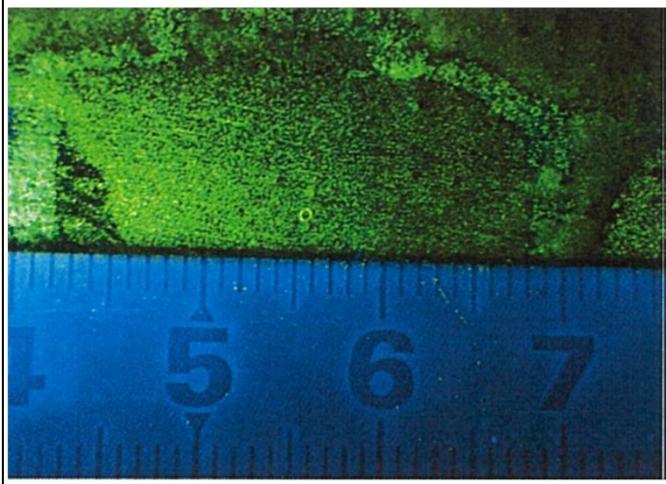
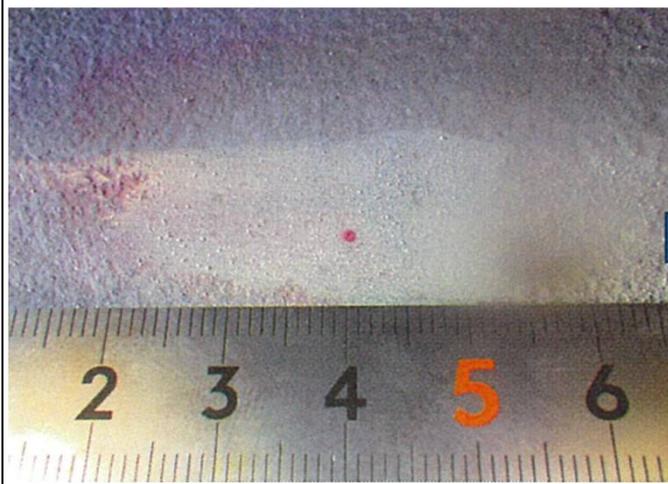
箇所番号	BH (目視Φ1mm以下)
12	



箇所番号	底板×底板 (3交点部付近)
13	

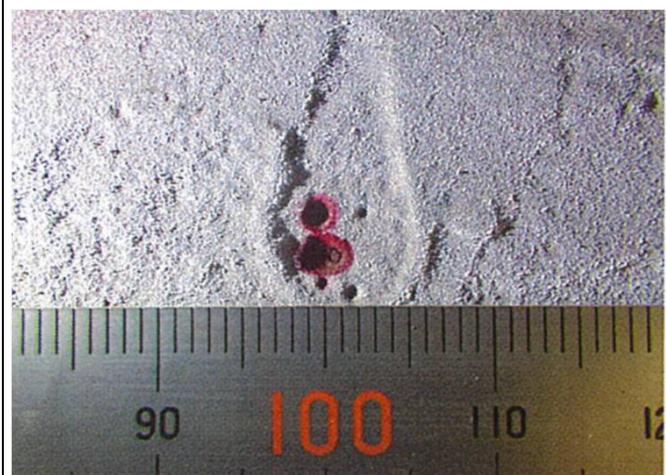
箇所番号	集中BH (MT指示模様Φ1mm以下複数)
13	

ETC実施箇所のPT・MT記録(16万kL級タンク)



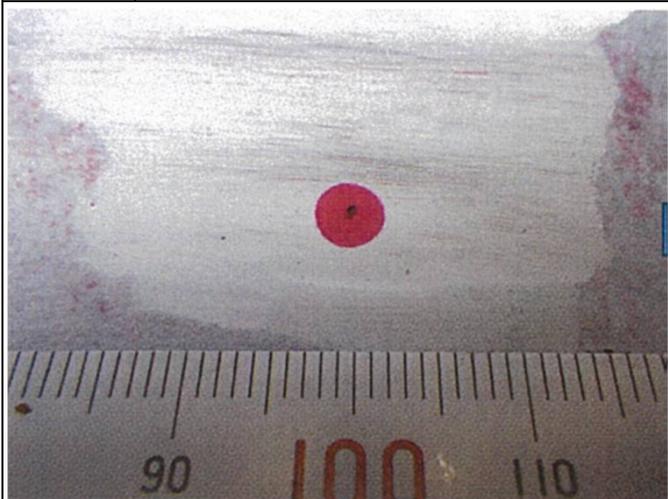
箇所番号	底板×底板 (3交点部付近)
14	

箇所番号	BH (MT指示模様Φ1mm以下)
14	



箇所番号	底板母材部 (治具跡近傍)
15	

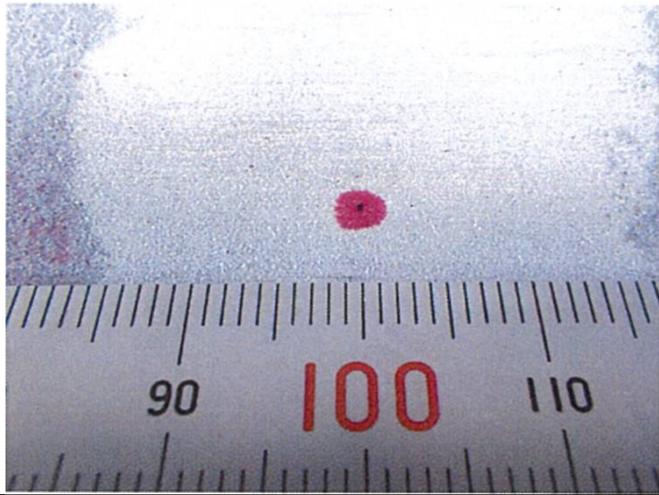
箇所番号	集中BH (Φ1~2mm複数)
15	



箇所番号	側板×アニュラ板 (外側)
16	

箇所番号	BH (MT指示模様Φ1mm)
16	

ETC実施箇所のPT・MT記録(16万kL級タンク)



箇所番号	側板×アニュラ板 (外側)	箇所番号	BH (MT指示模様Φ1mm以下)
17		17	

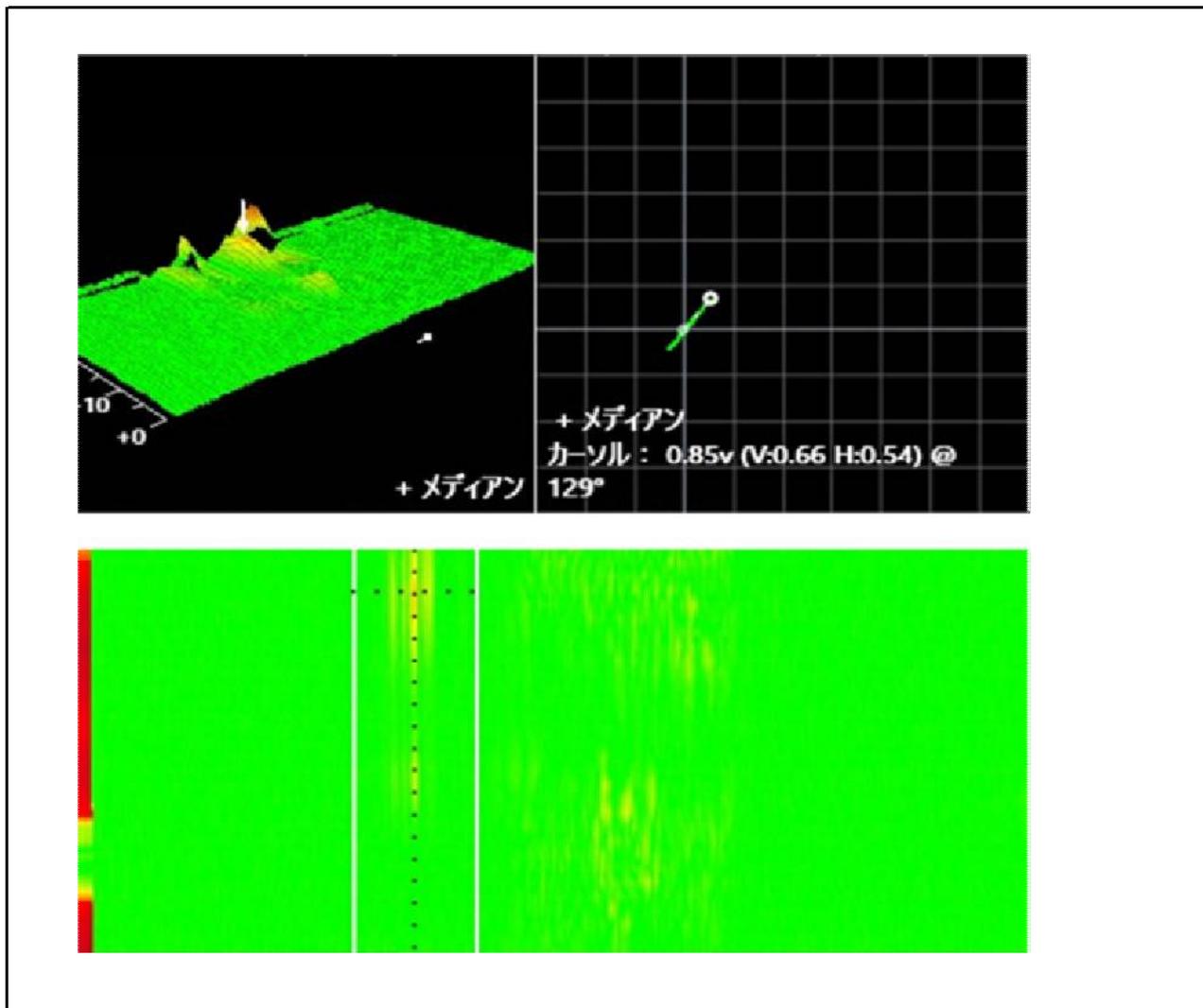
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	540	80
	V_y (Transe)	660	100
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	850	120
SN比	(dB)	17.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



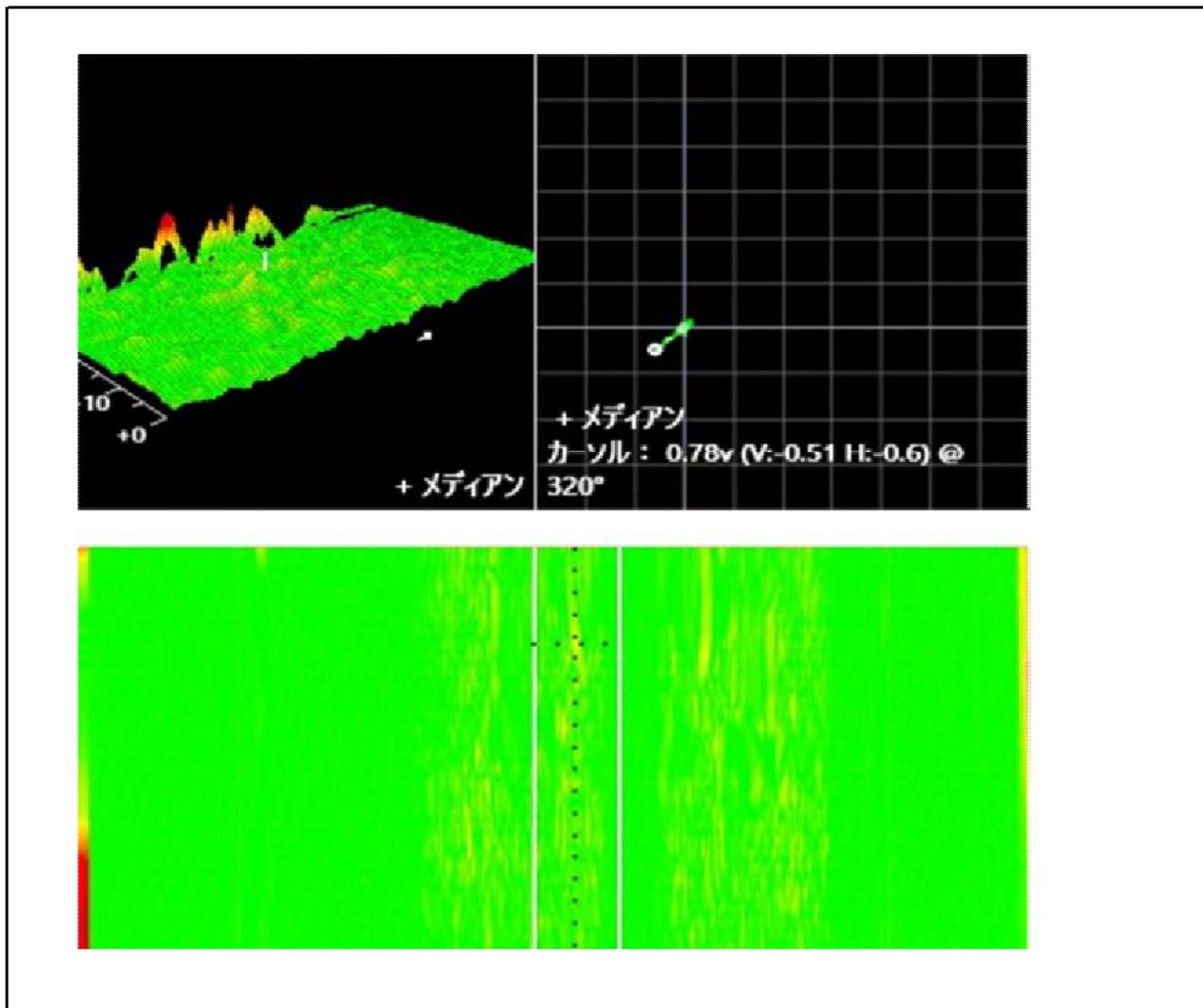
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-600	-20
	V_y (Transe)	-510	10
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	780	30
SN比	(dB)	28.2	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



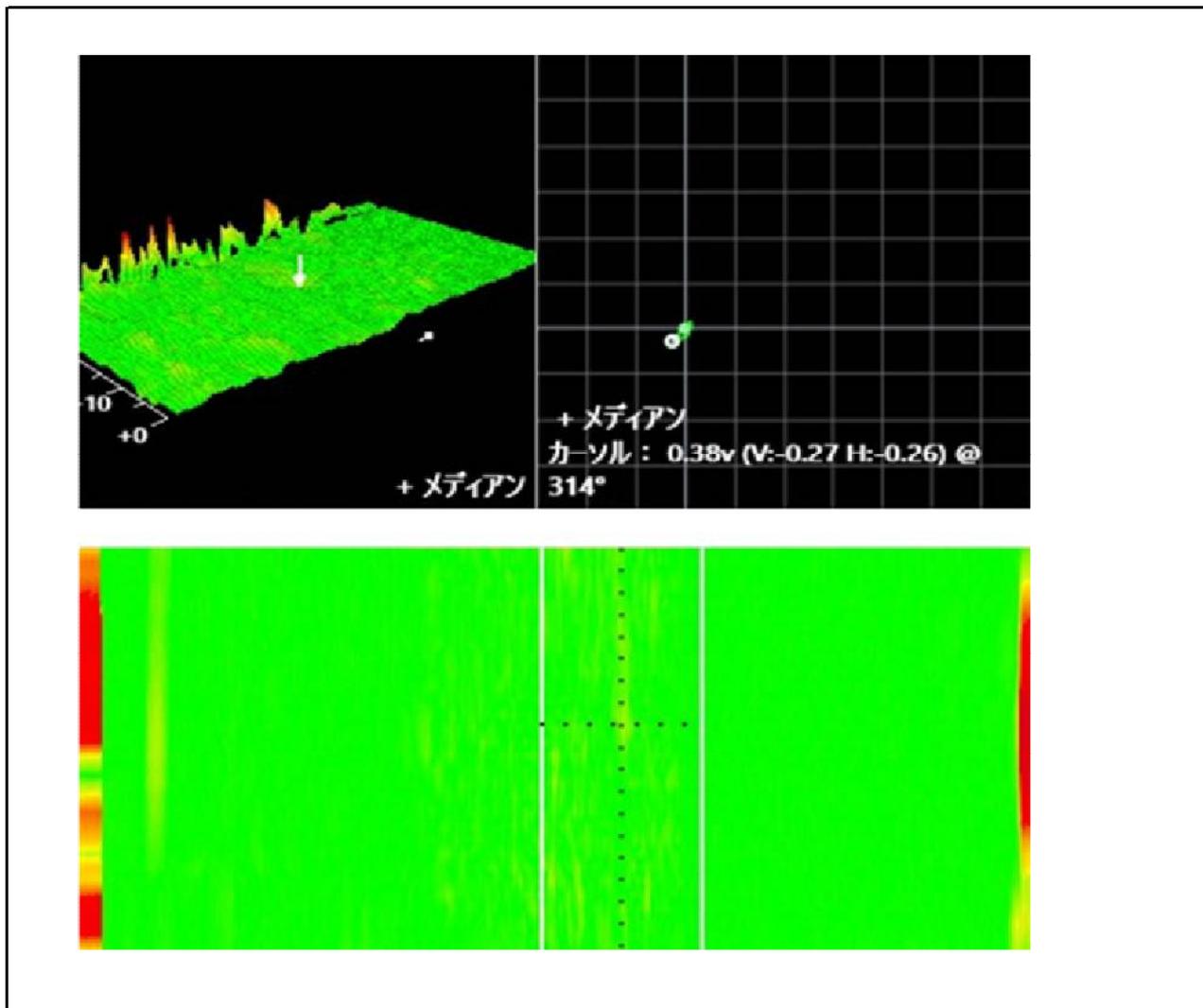
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		③アニュラ相互部	
きず番号/試験番号		③	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	-260	80
	V _y (Transe)	-270	100
	SQRT(V _x ² +V _y ²)	380	120
SN比	(dB)	10.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



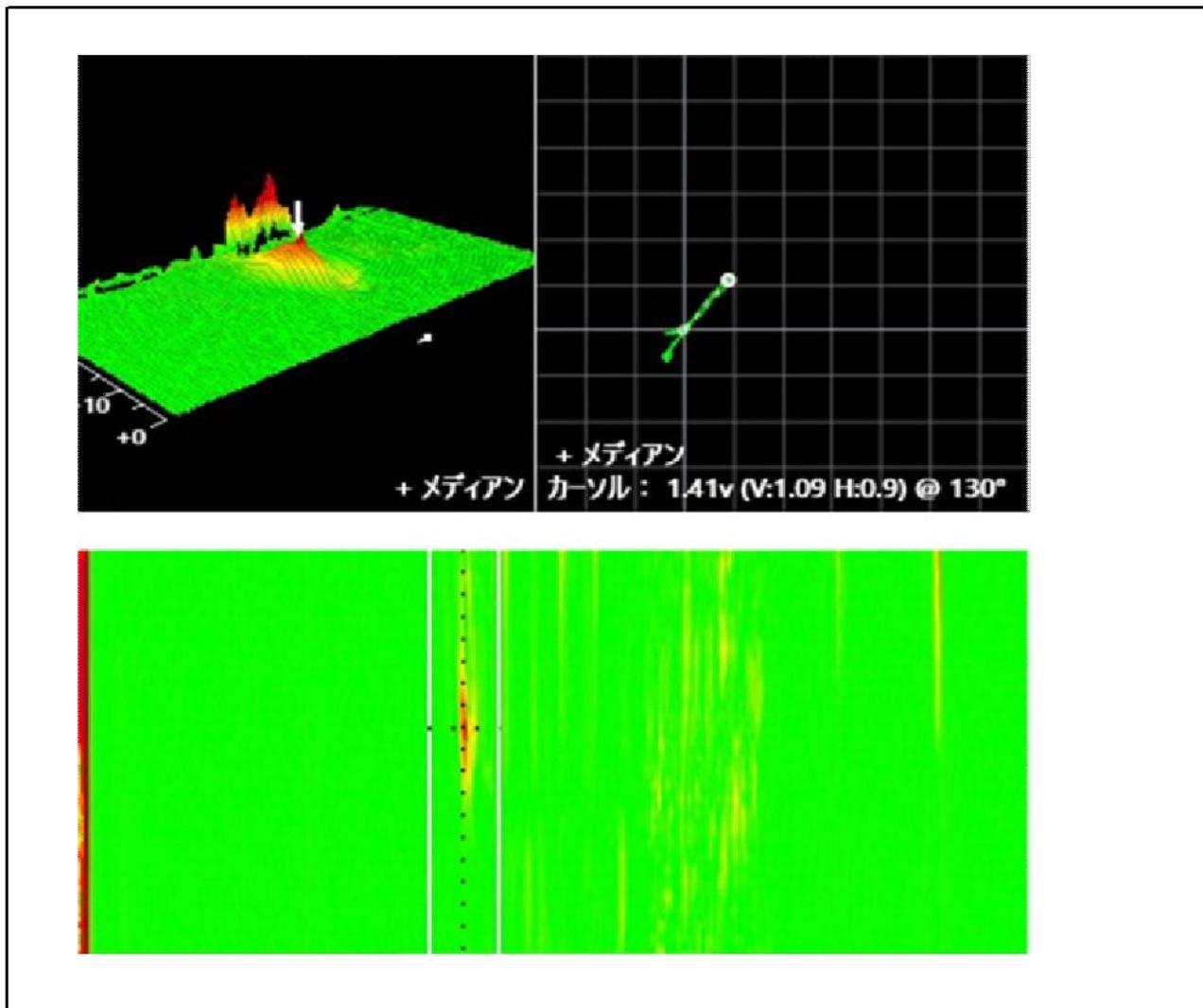
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		④アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		④	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	900	50
	V_y (Transe)	1090	90
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1410	110
SN比	(dB)	22.1	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



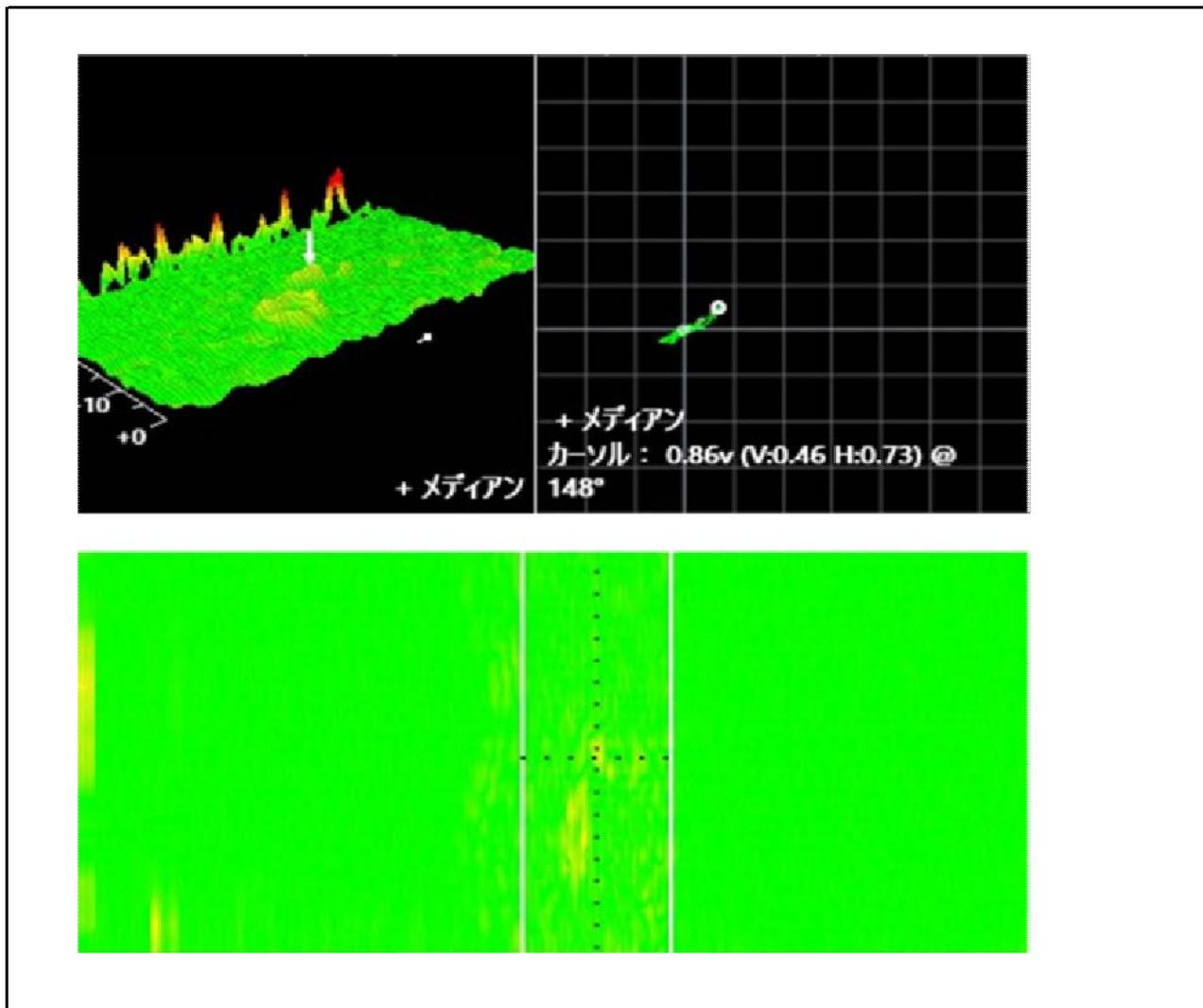
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

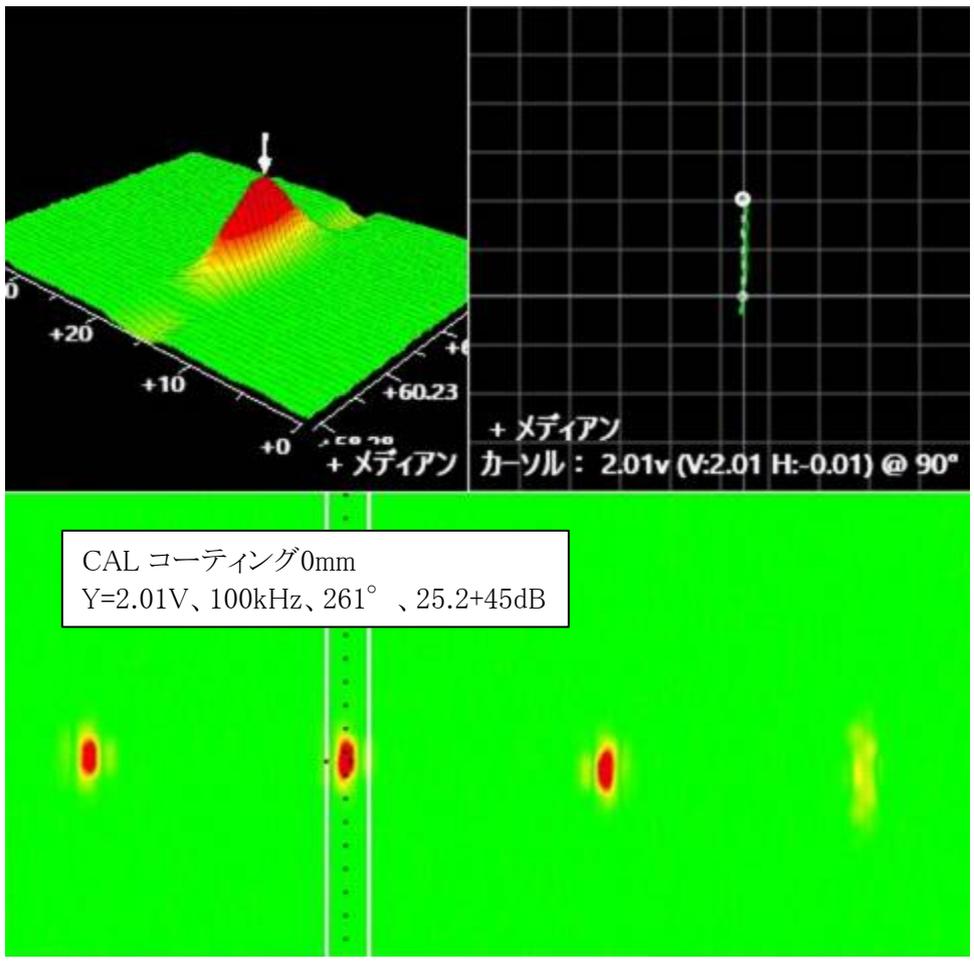
試験記録

試験部位		⑥亀甲部	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	730	50
	V_y (Transe)	460	90
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	860	110
SN比	(dB)	17.8	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



校正記録



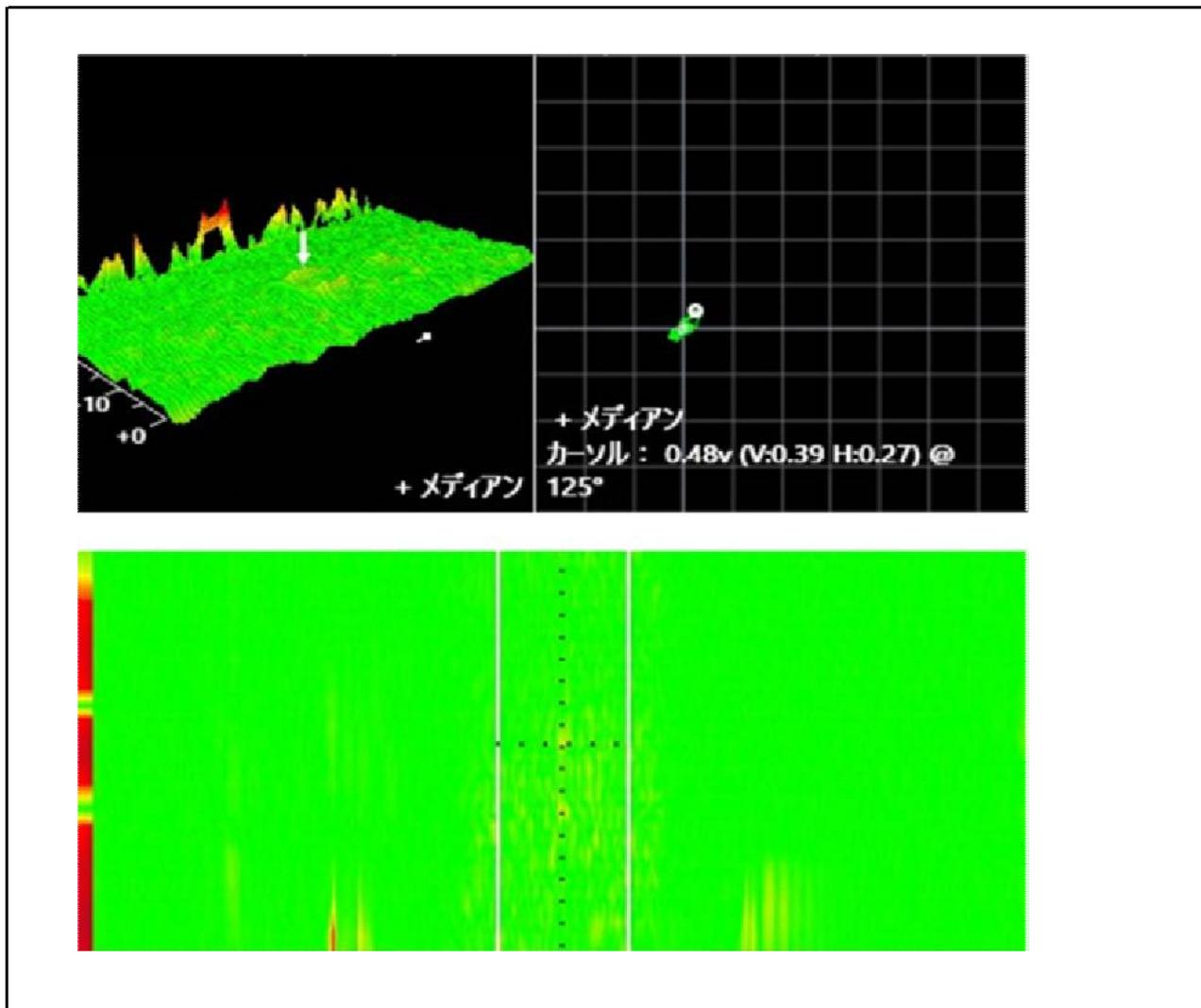
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑧亀甲部	
きず番号/試験番号		⑧	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	270	-10
	V_y (Transe)	390	50
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	480	50
SN比	(dB)	19.6	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



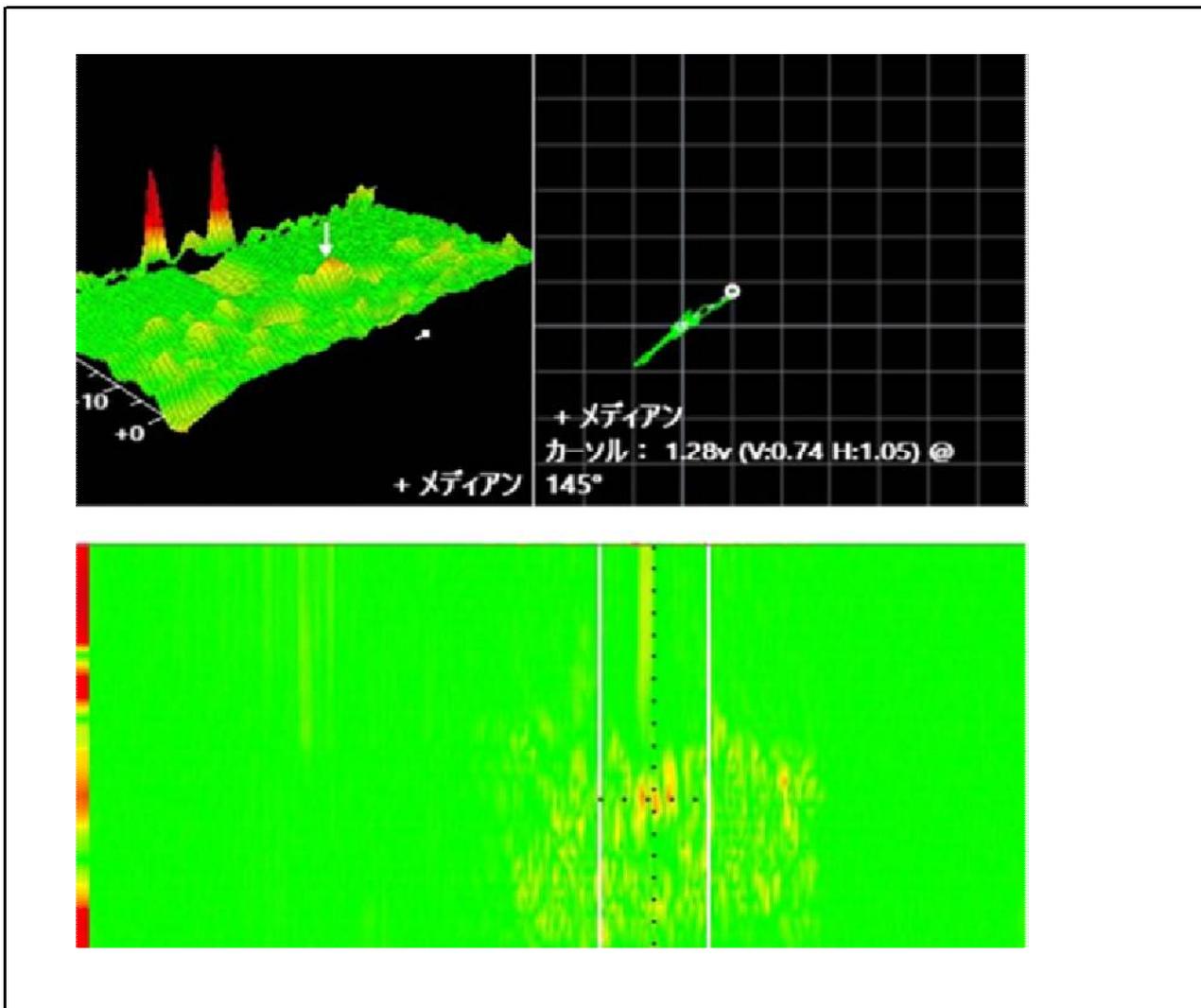
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	1050	-930
	V_y (Transe)	740	-790
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1280	1220
SN比	(dB)	0.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



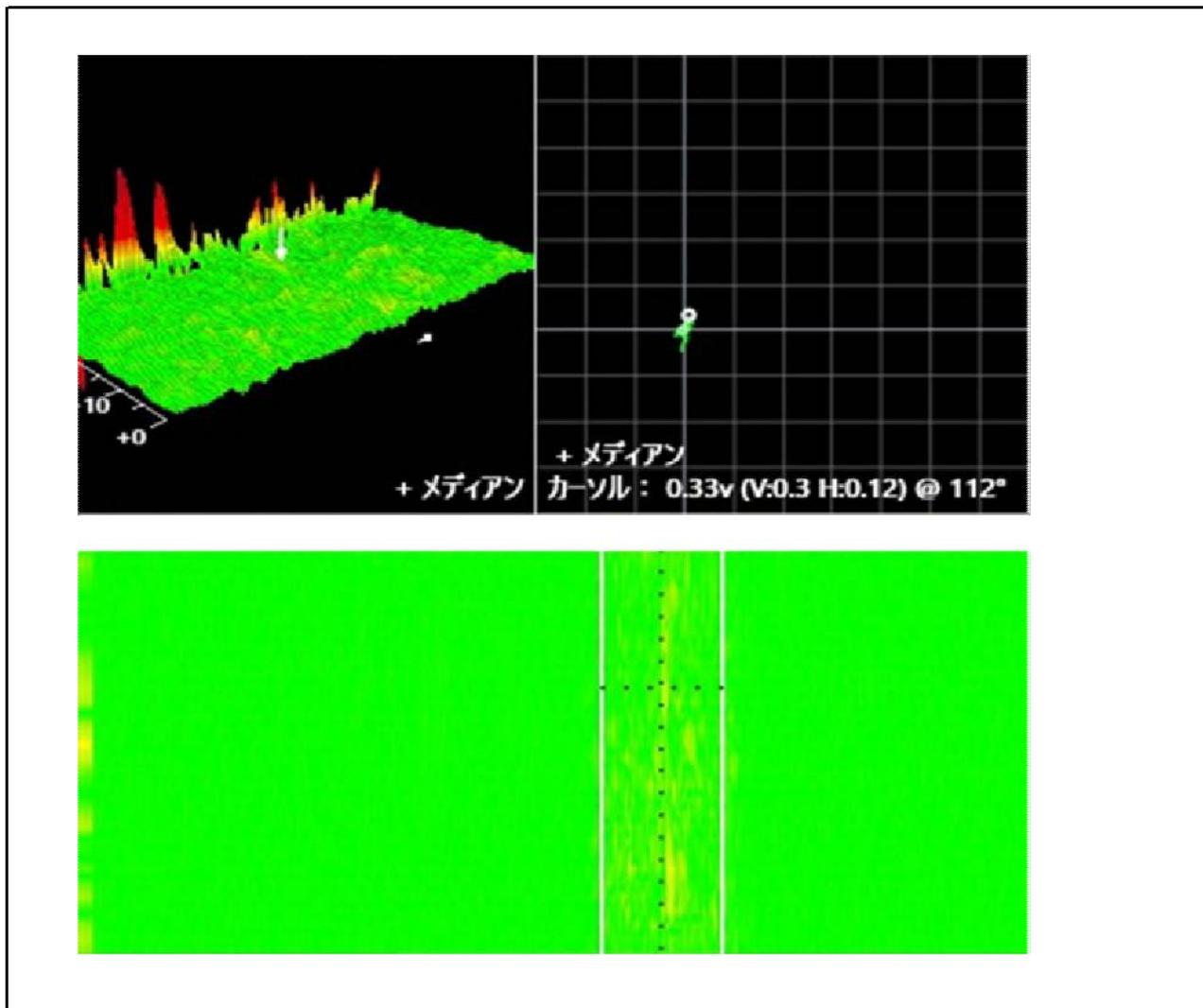
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	120	-150
	V_y (Transe)	300	-130
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	330	200
SN比	(dB)	4.3	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



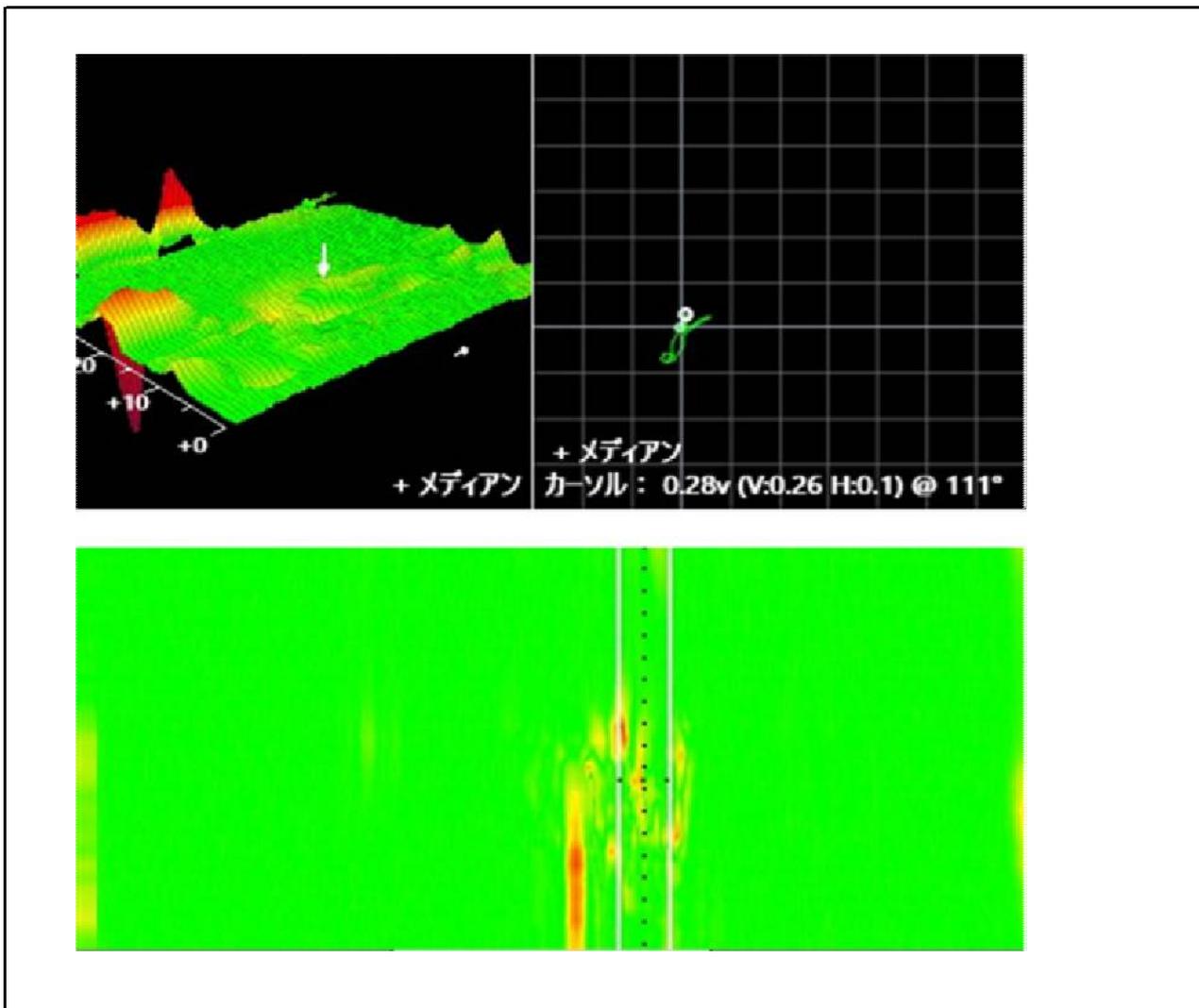
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑬底板相互部	
きず番号/試験番号		⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	100	-150
	V_y (Transe)	260	-130
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	280	200
SN比	(dB)	2.9	

試験データ（きず番号毎に、データを張り付けてください。）



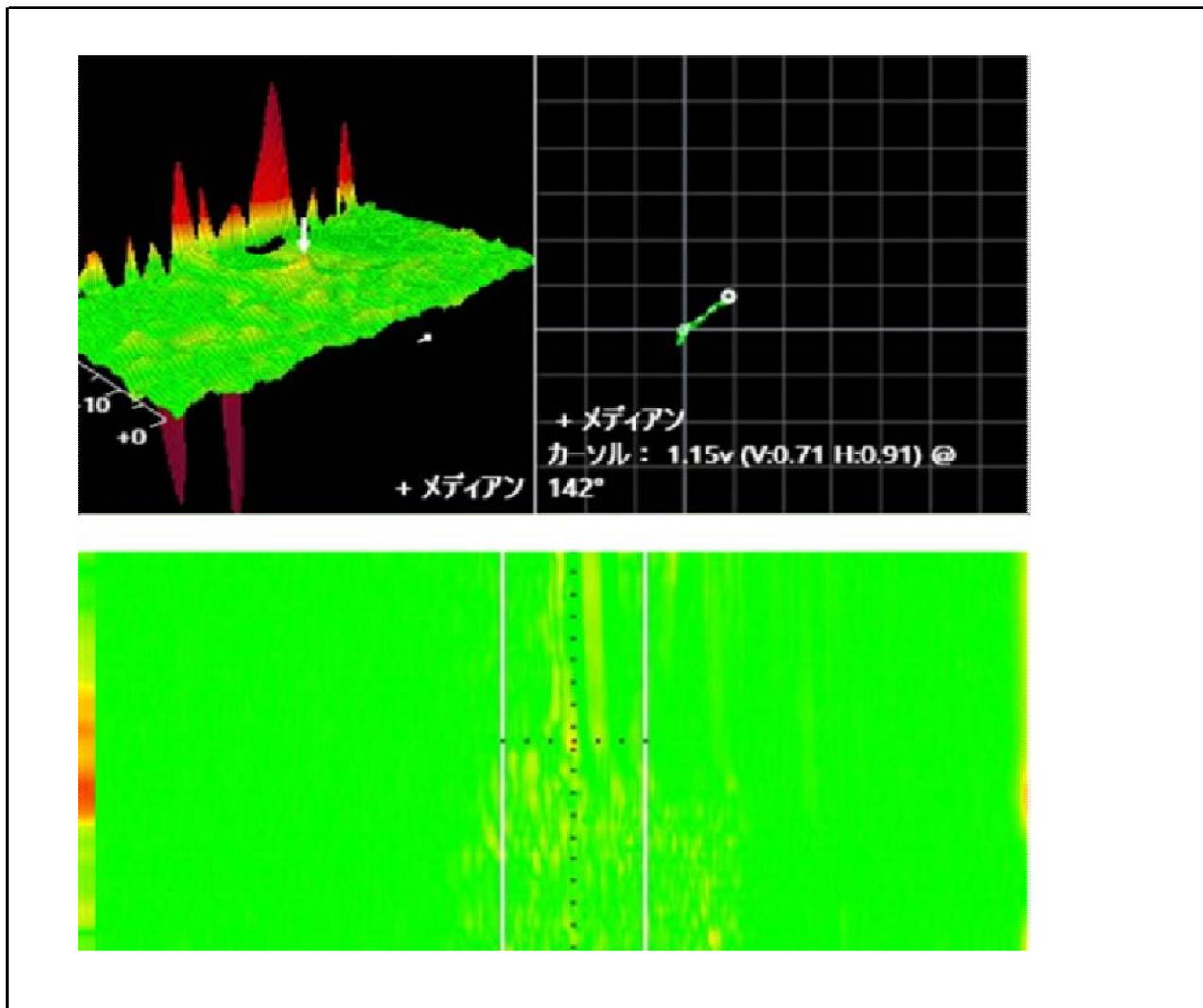
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑭底板相互部	
きず番号/試験番号		⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	910	200
	V_y (Transe)	710	-170
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1150	270
SN比	(dB)	12.5	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



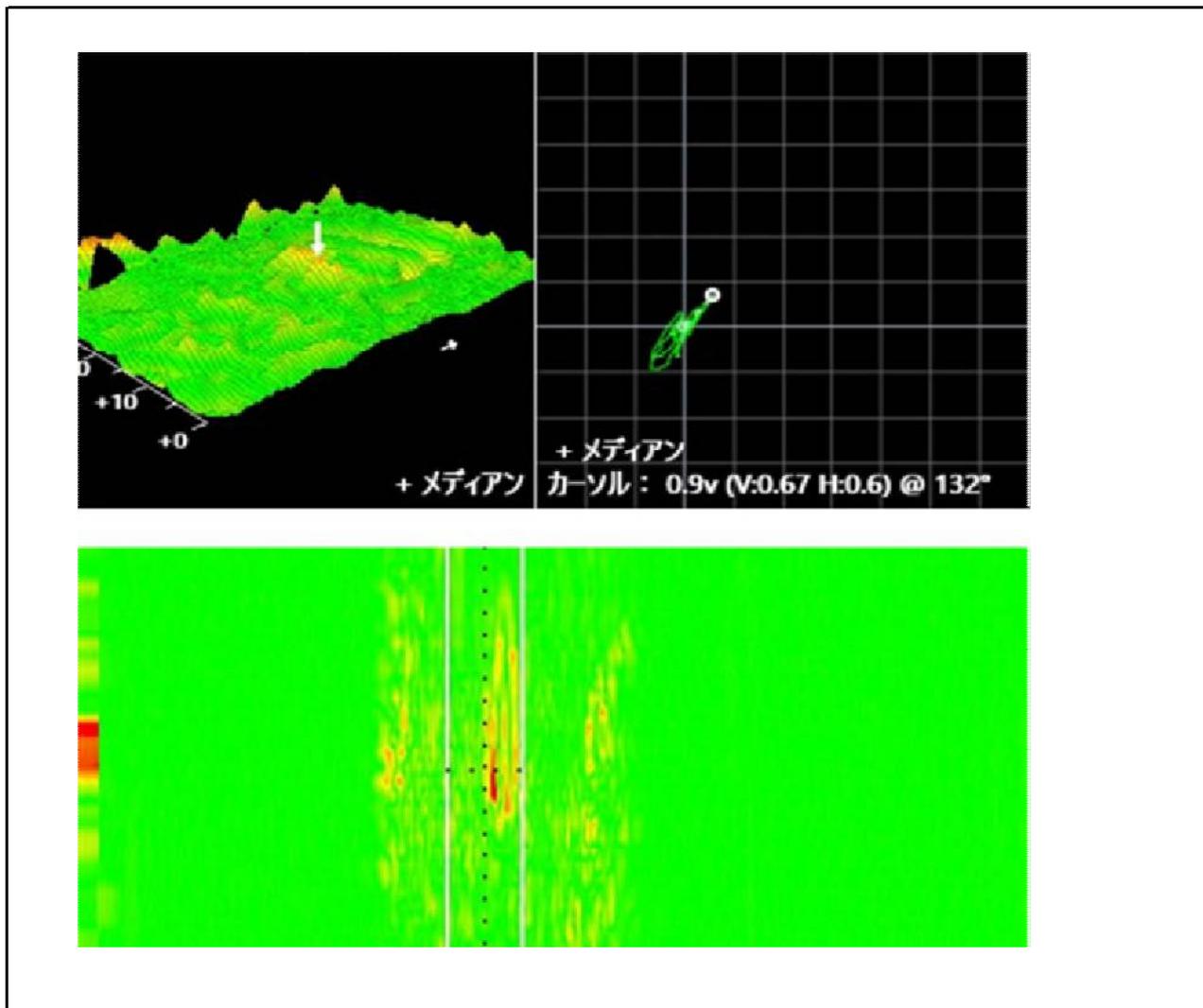
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	600	200
	V_y (Transe)	670	-180
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	900	270
SN比	(dB)	10.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



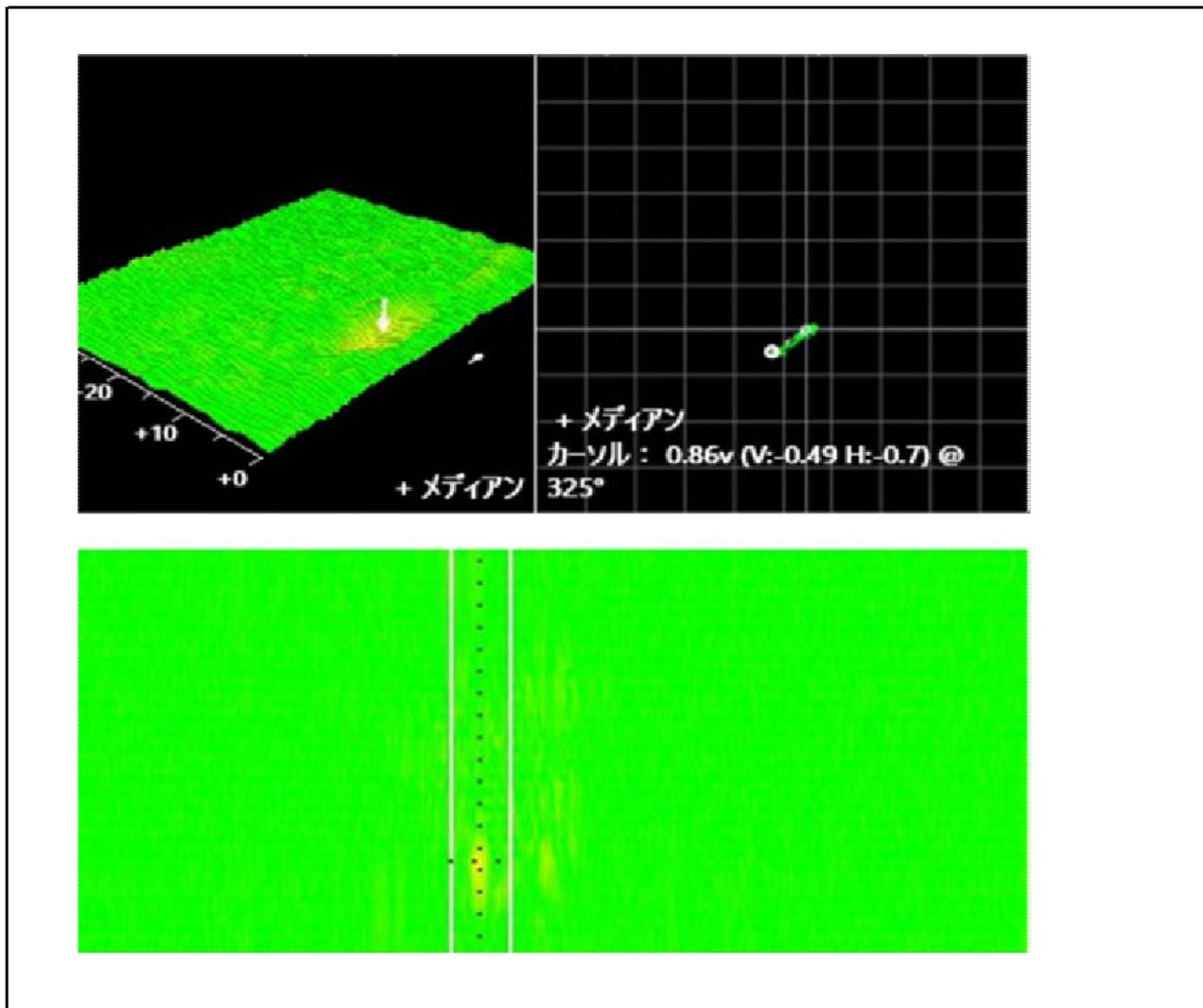
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	25.2+45dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑰外タライ部	
きず番号/試験番号		⑰	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	-700	-20
	V _y (Transe)	-490	10
	SQRT(V _x ² +V _y ²)	860	30
SN比	(dB)	29.1	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



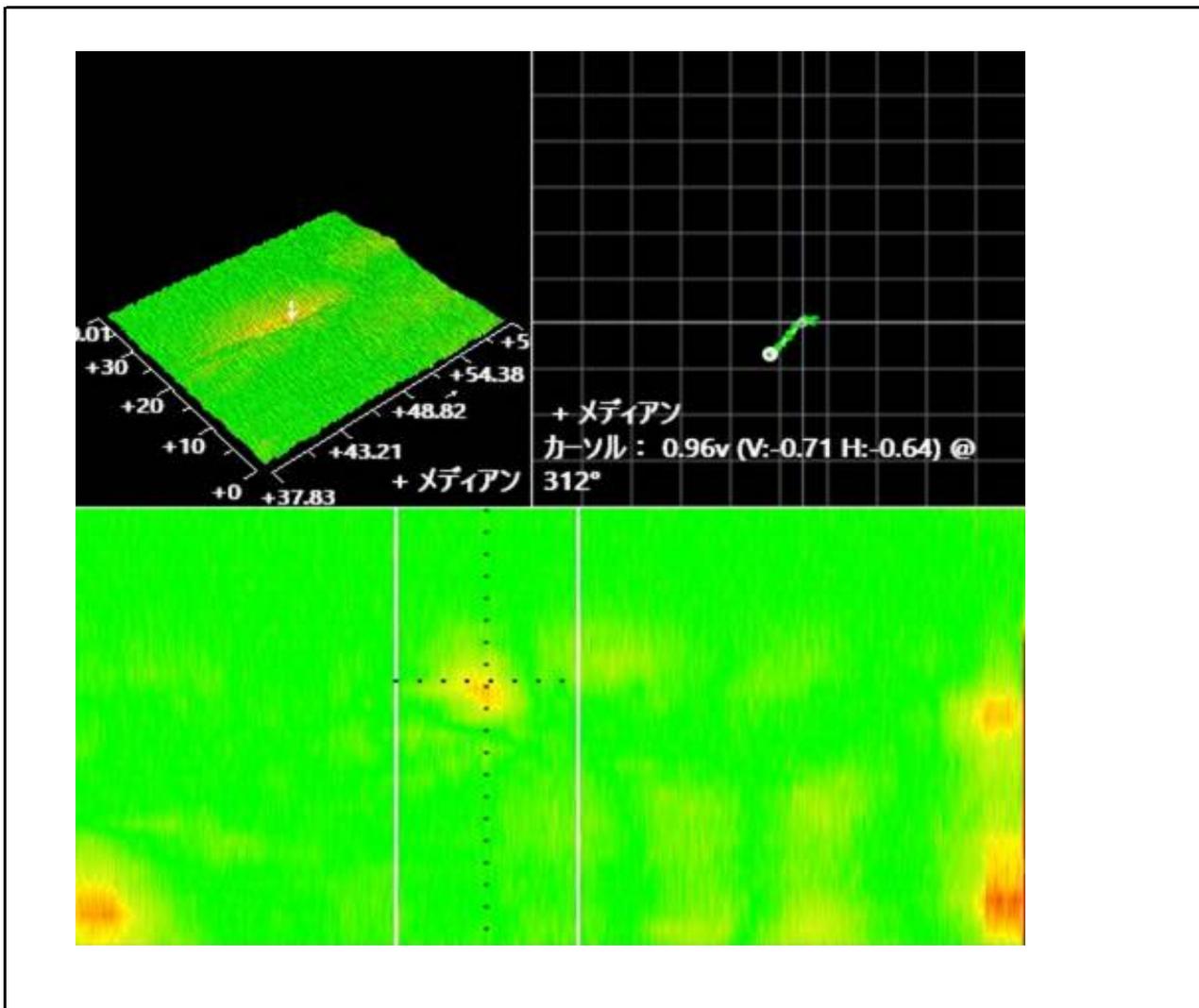
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-640	110
	V_y (Transe)	-710	120
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	960	162
SN比	(dB)	15.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



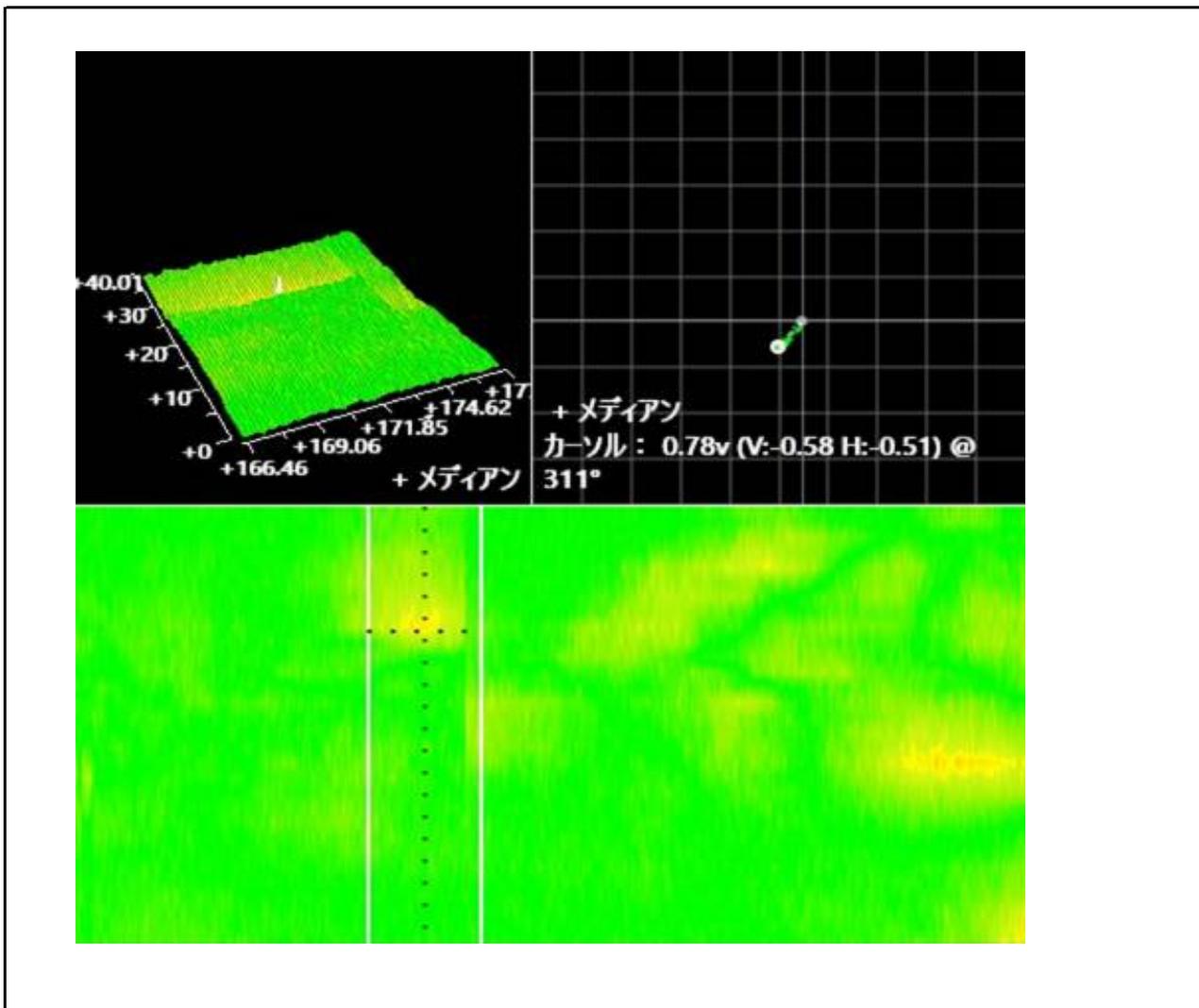
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-510	110
	V_y (Transe)	-580	110
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	780	155
SN比	(dB)	14.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



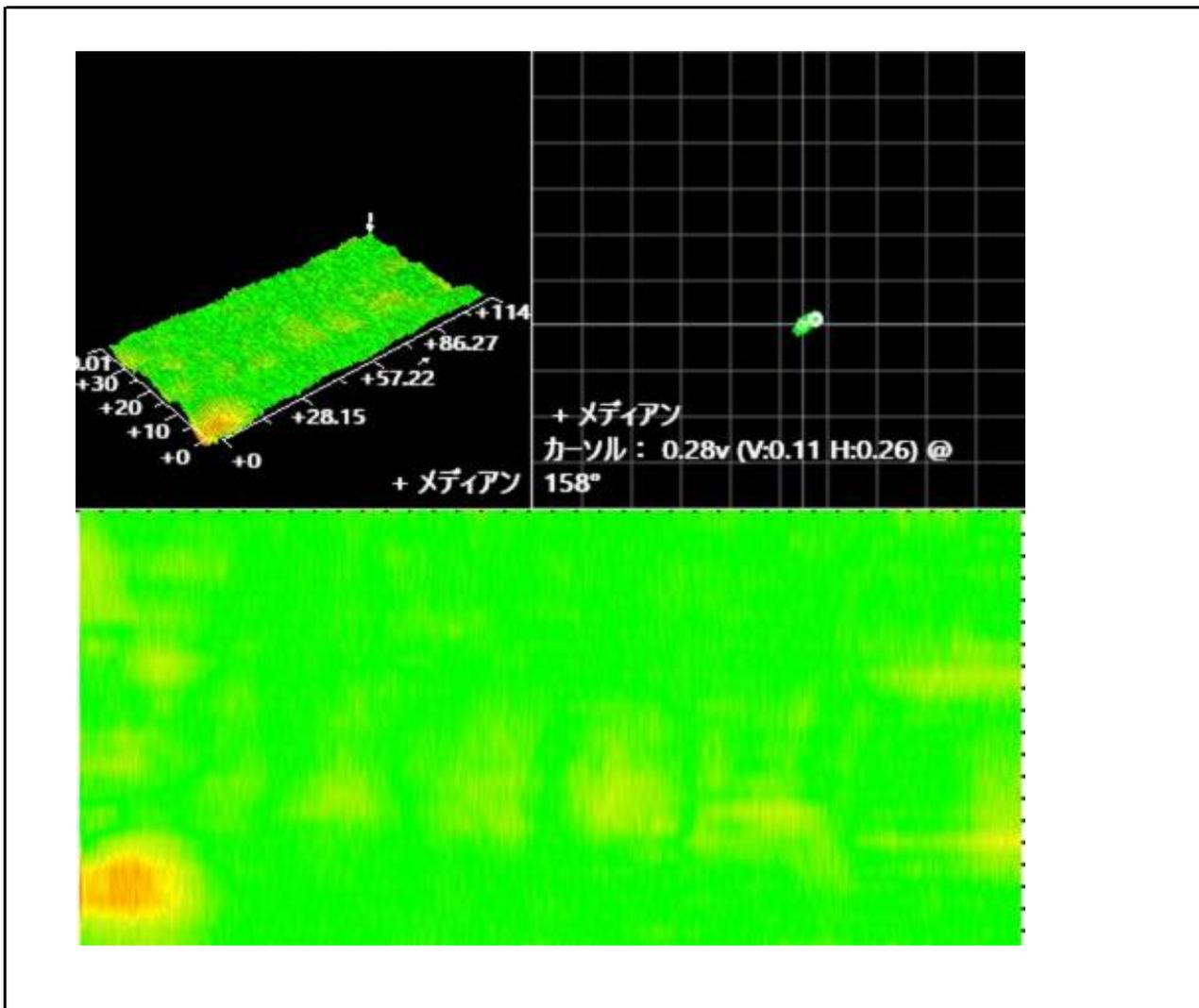
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		③アニュラ相互部	
きず番号/試験番号		③	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



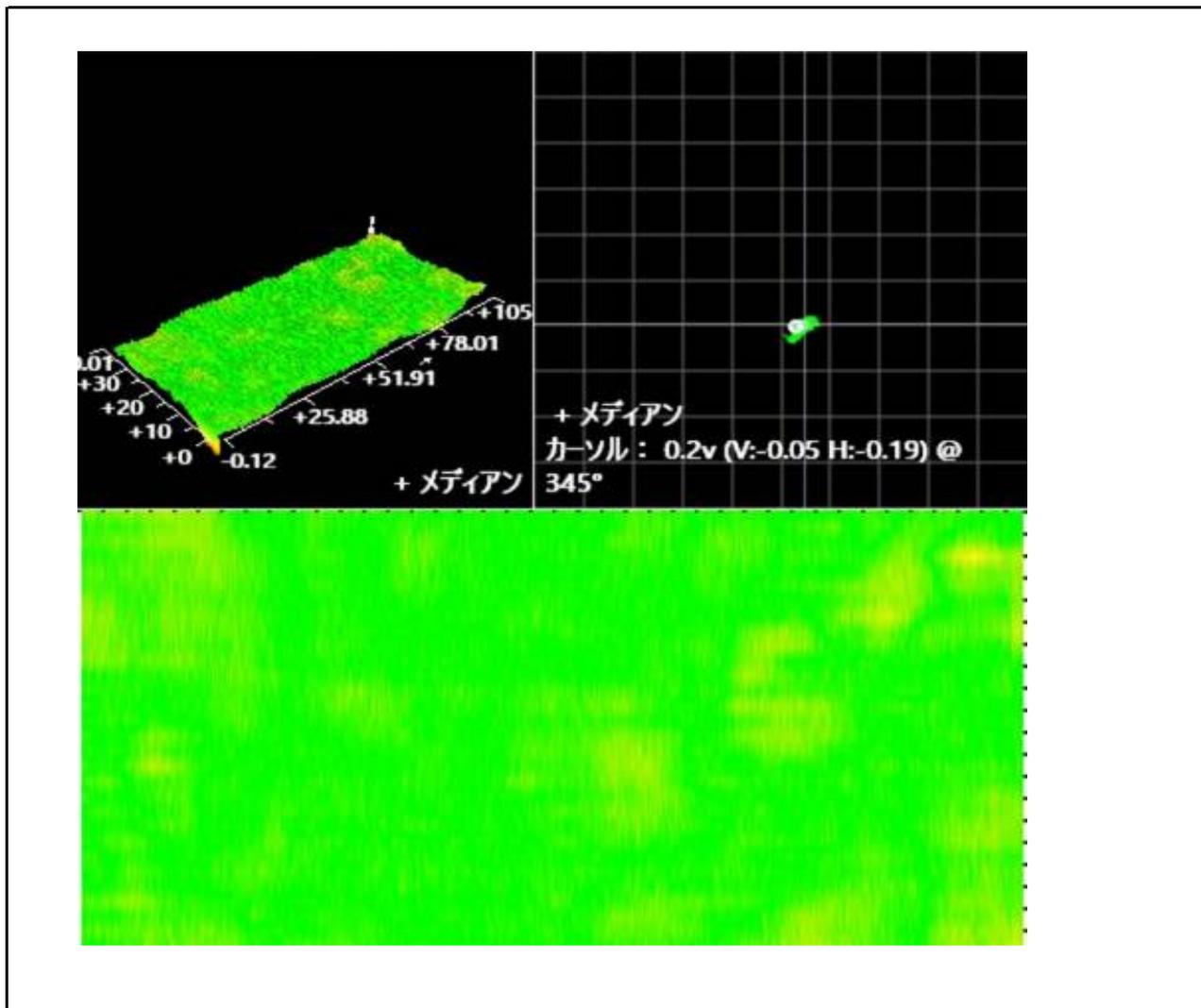
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		④アニュラ相互部	
きず番号/試験番号		④	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



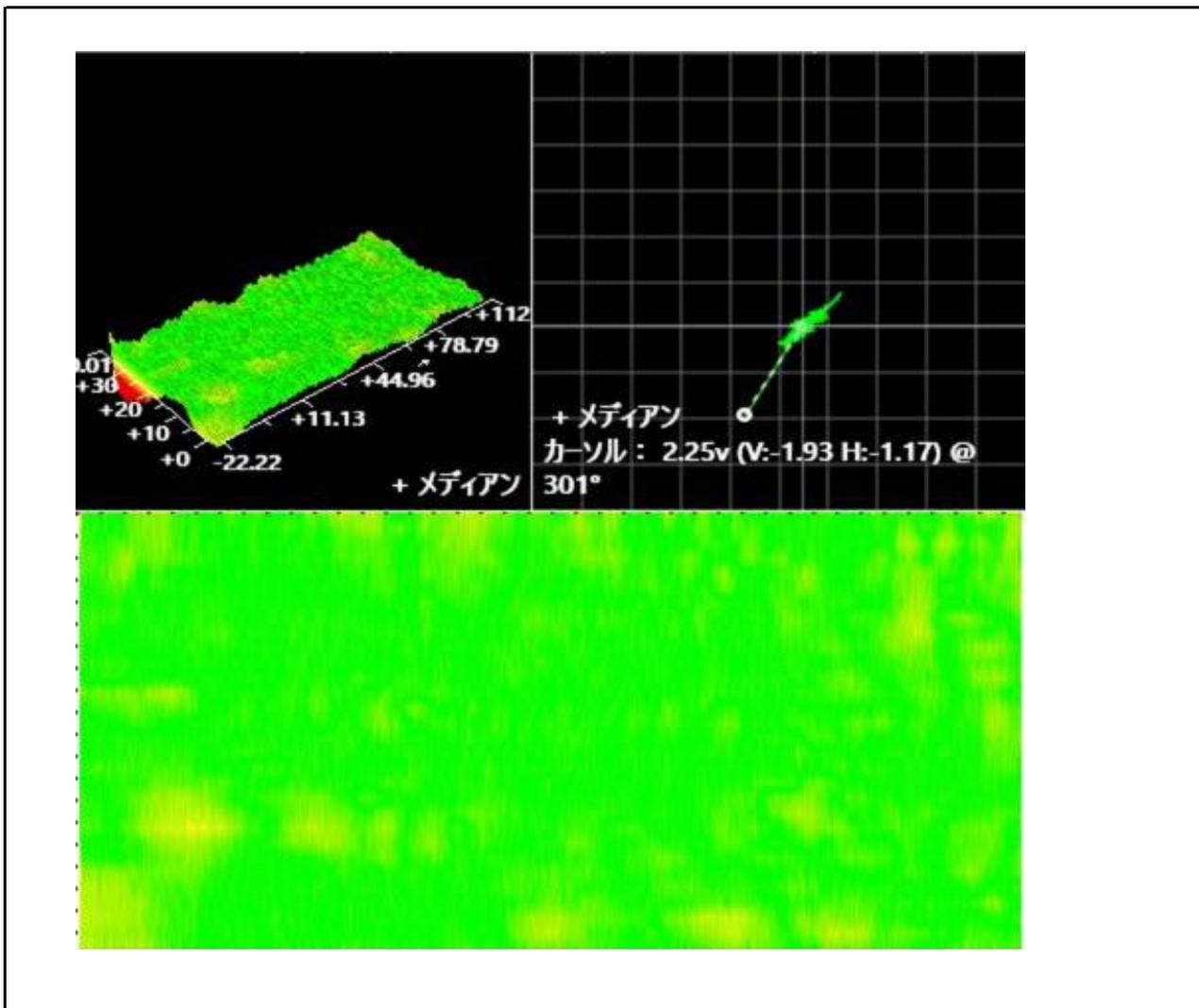
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

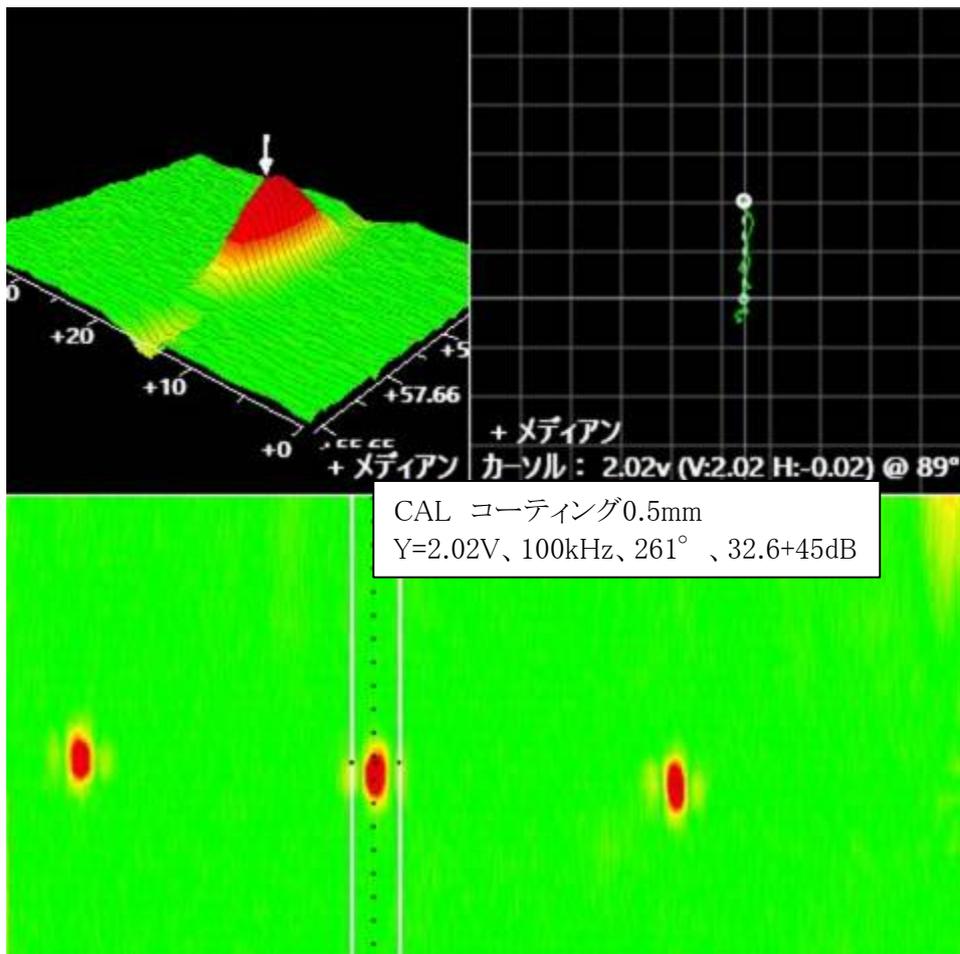
試験記録

試験部位		⑥亀甲部	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



校正記録



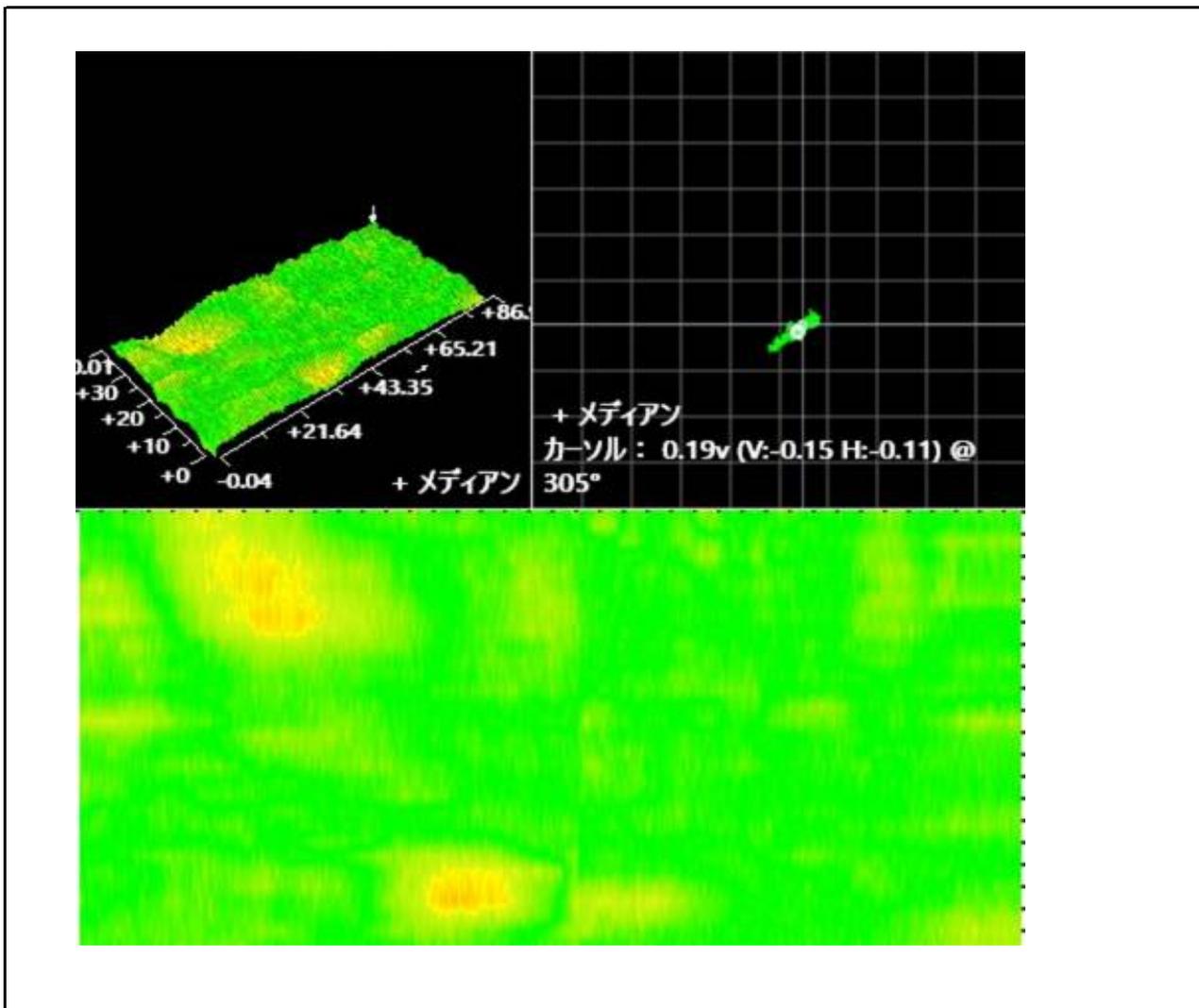
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑧亀甲部	
きず番号/試験番号		⑧	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



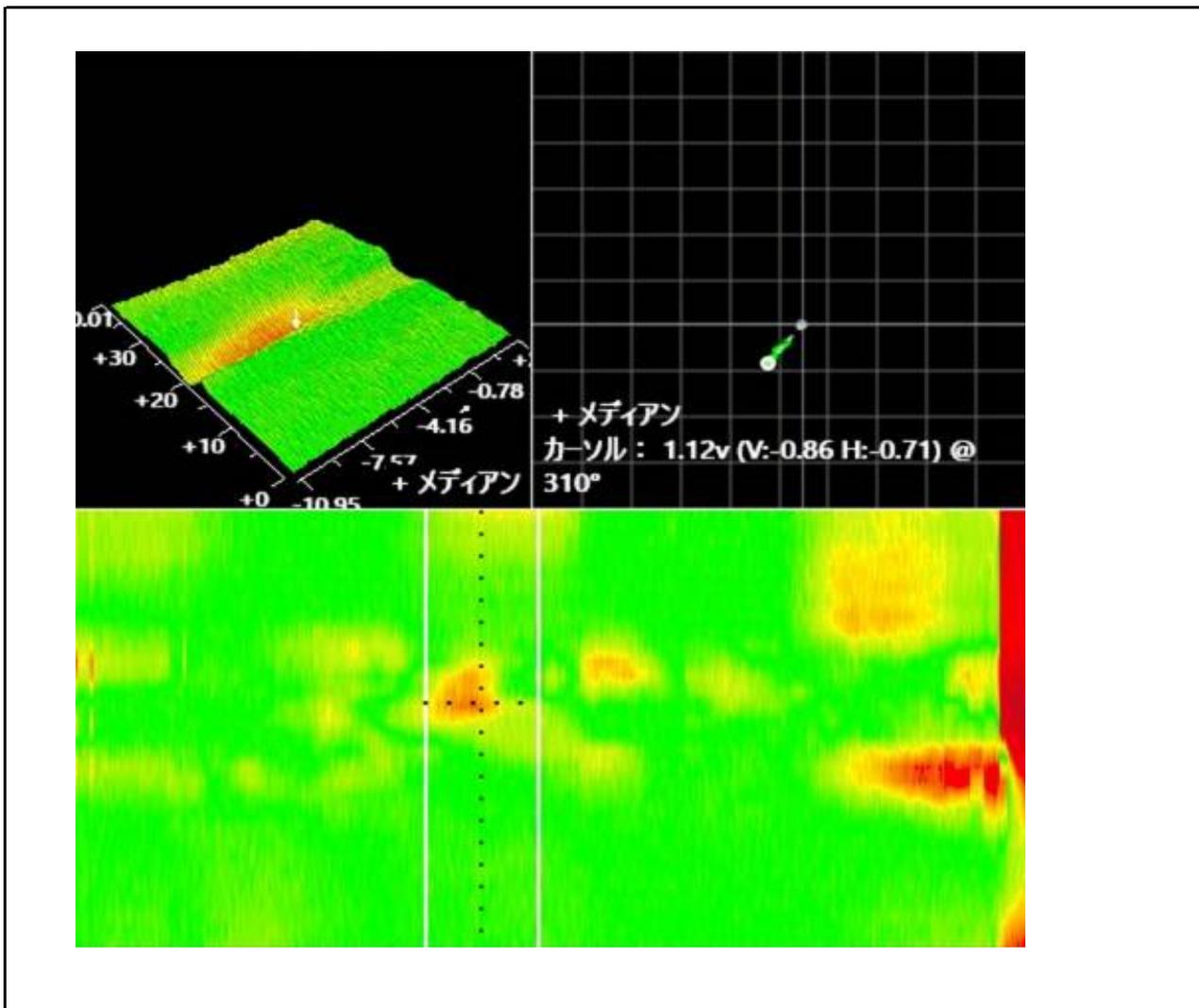
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	-710	150
	V _y (Transe)	-860	200
	SQRT(V _x ² +V _y ²)	1120	250
SN比	(dB)	13.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



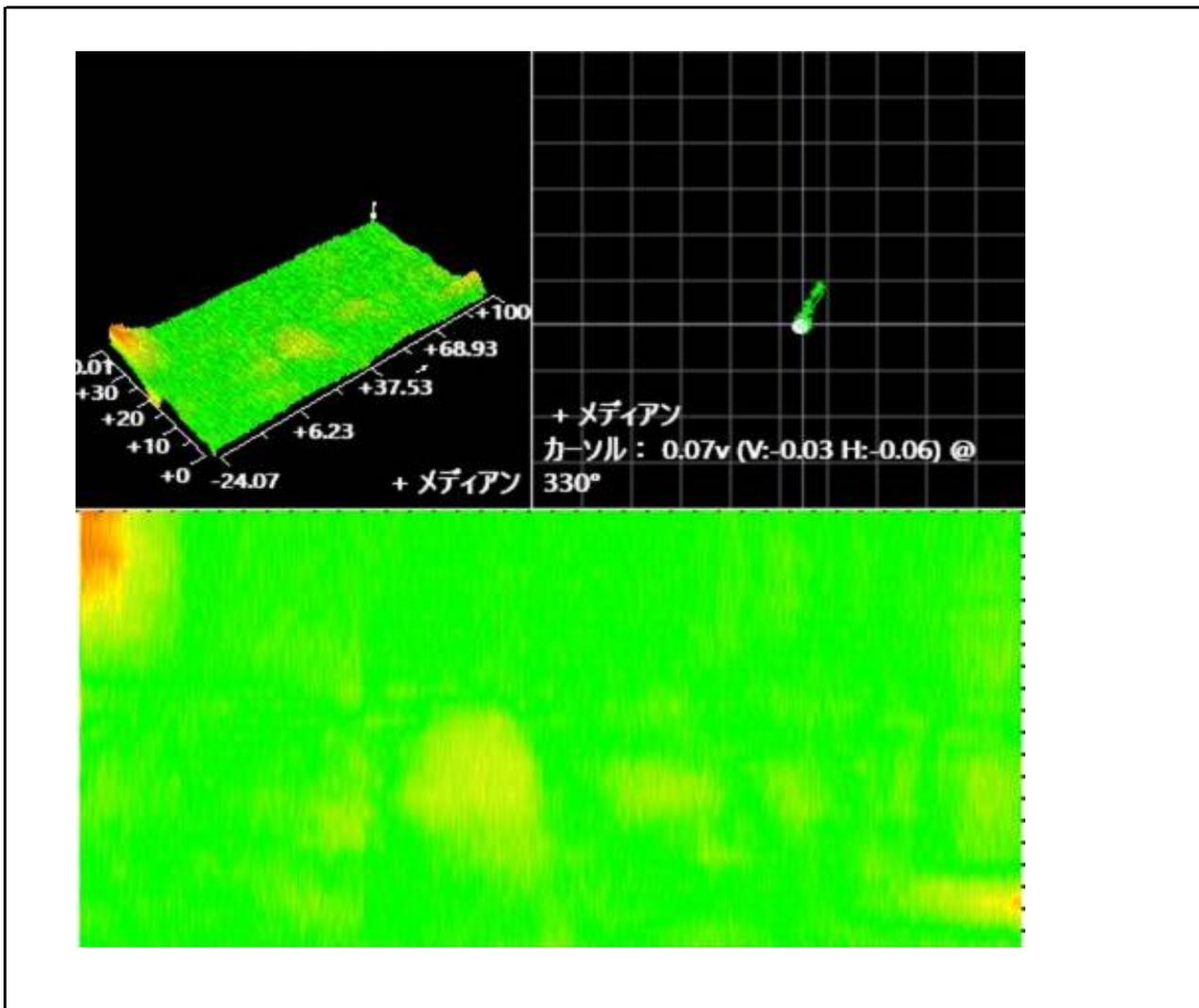
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



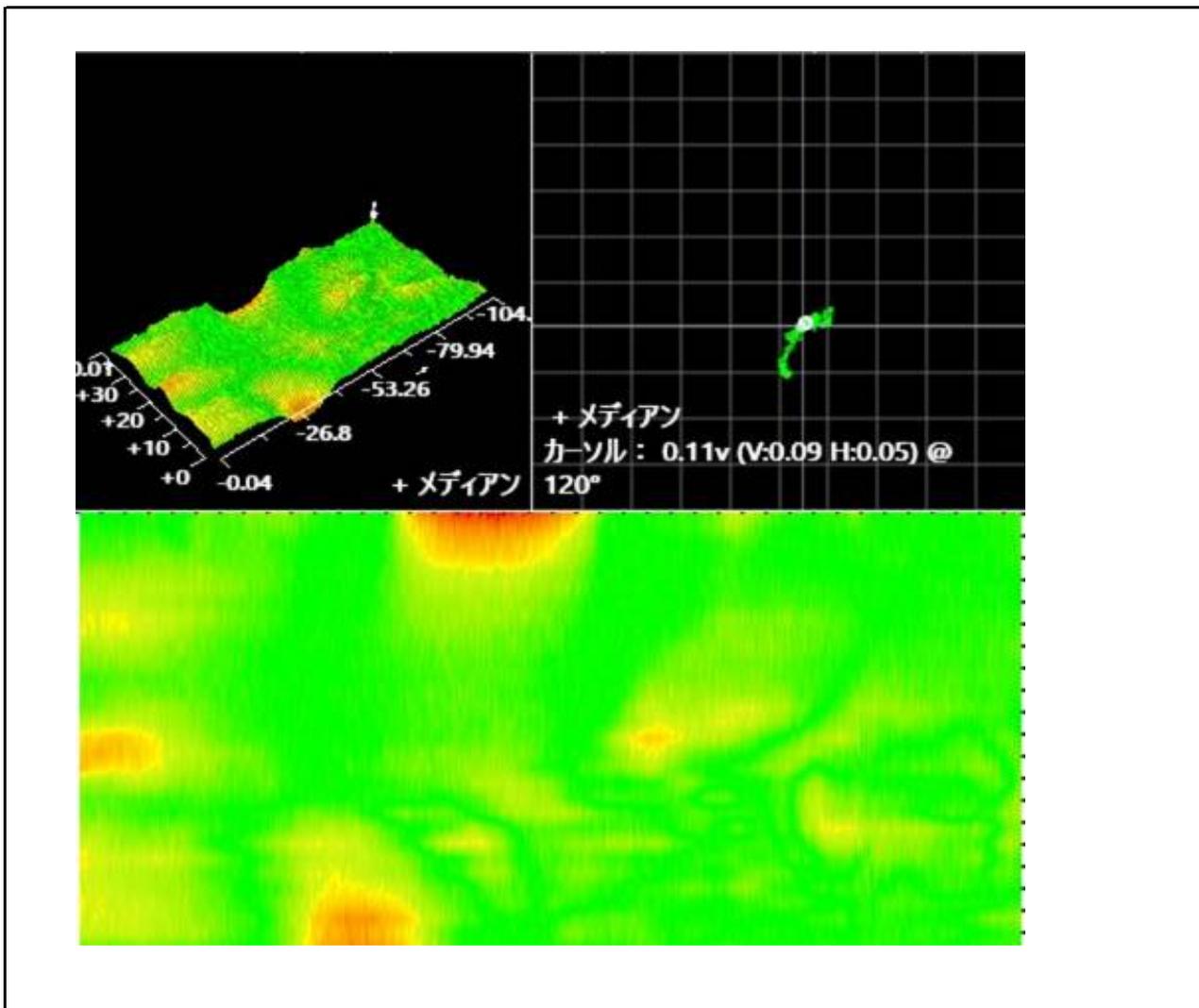
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑬底板相互部	
きず番号/試験番号		⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



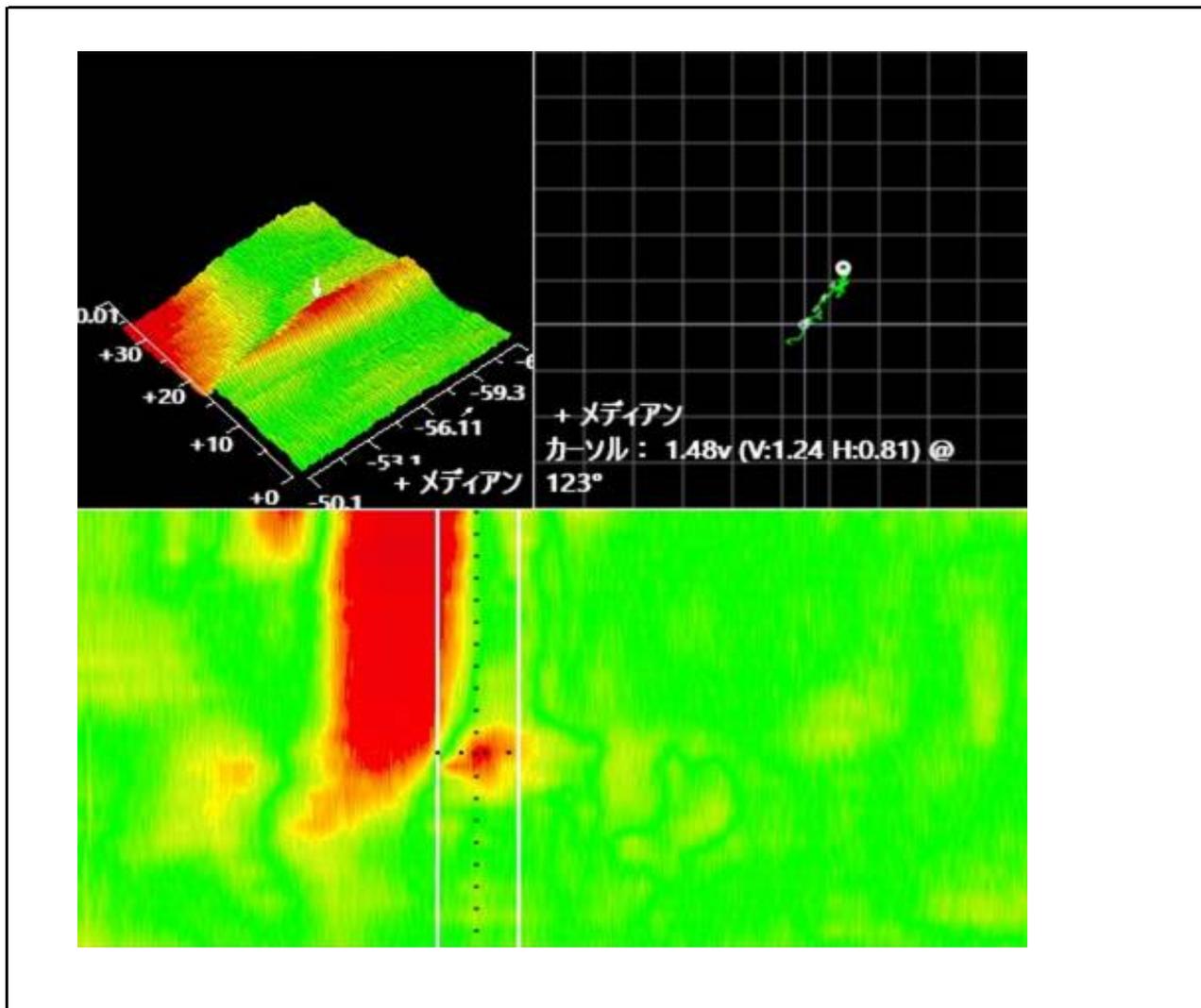
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑭底板相互部	
きず番号/試験番号		⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	810	120
	V_y (Transe)	1240	150
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1480	192
SN比	(dB)	17.7	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



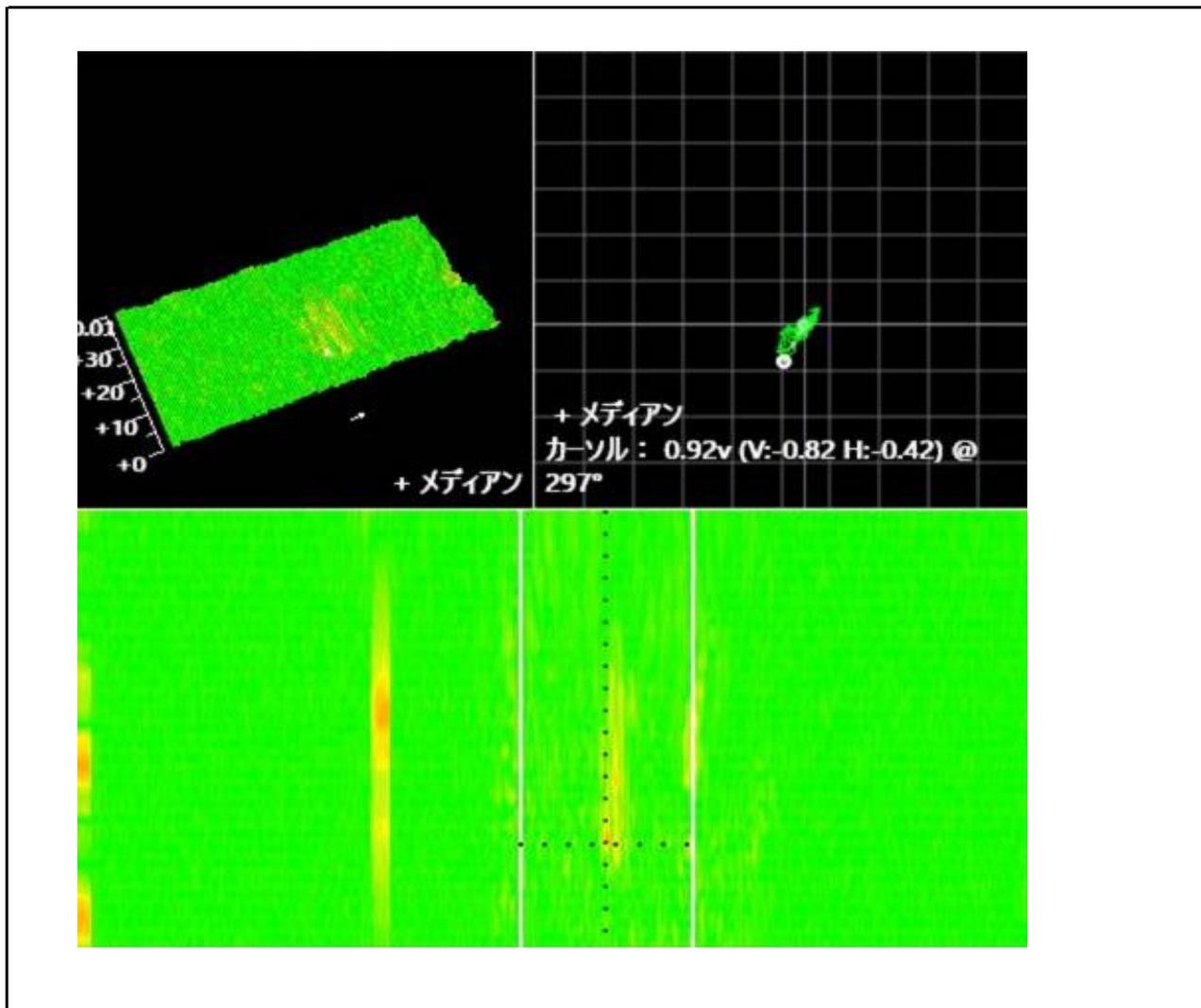
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-420	-120
	V_y (Transe)	-820	-140
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	920	180
SN比	(dB)	14.1	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



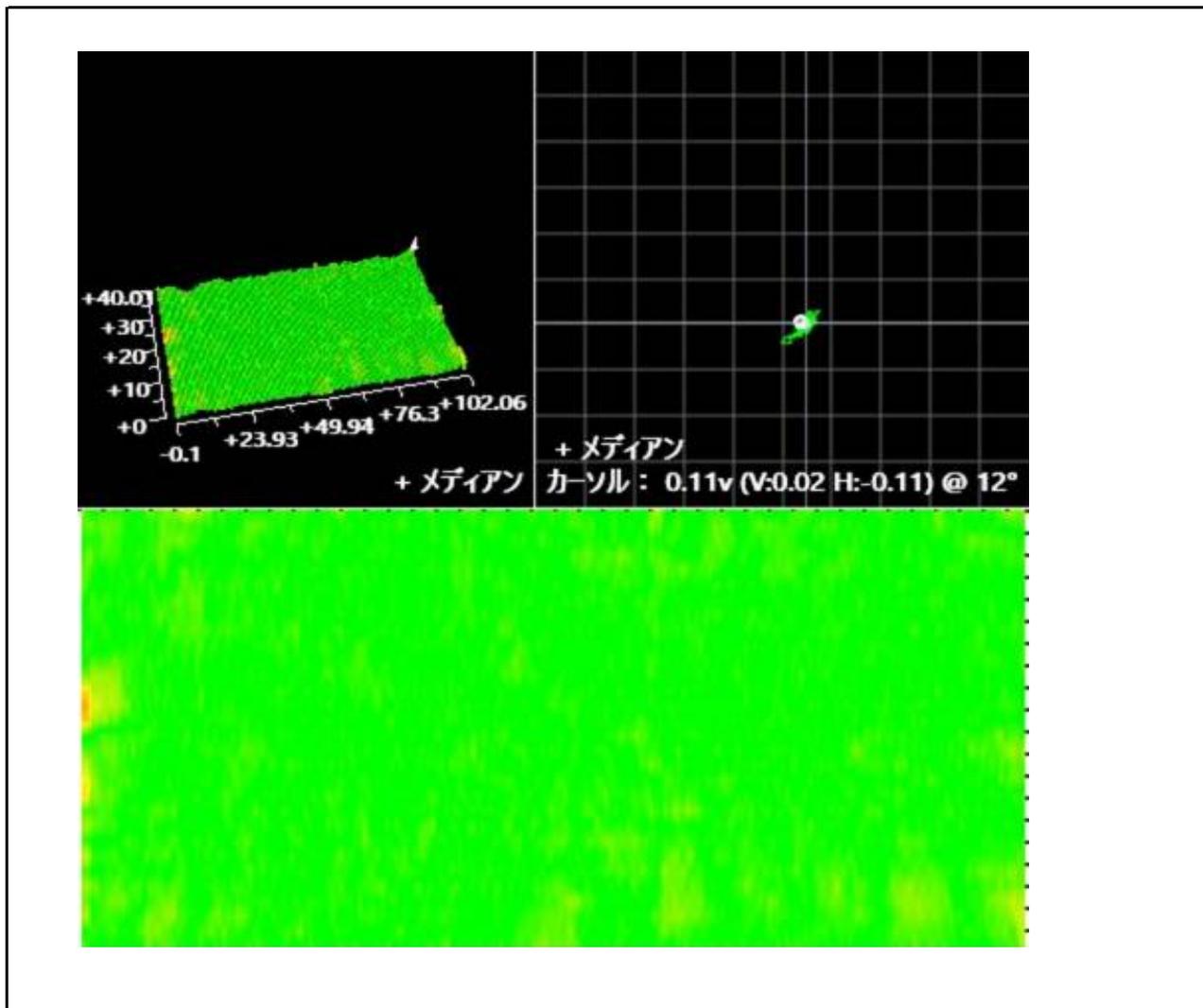
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	32.6+45dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑰外タライ部	
きず番号/試験番号		⑰	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



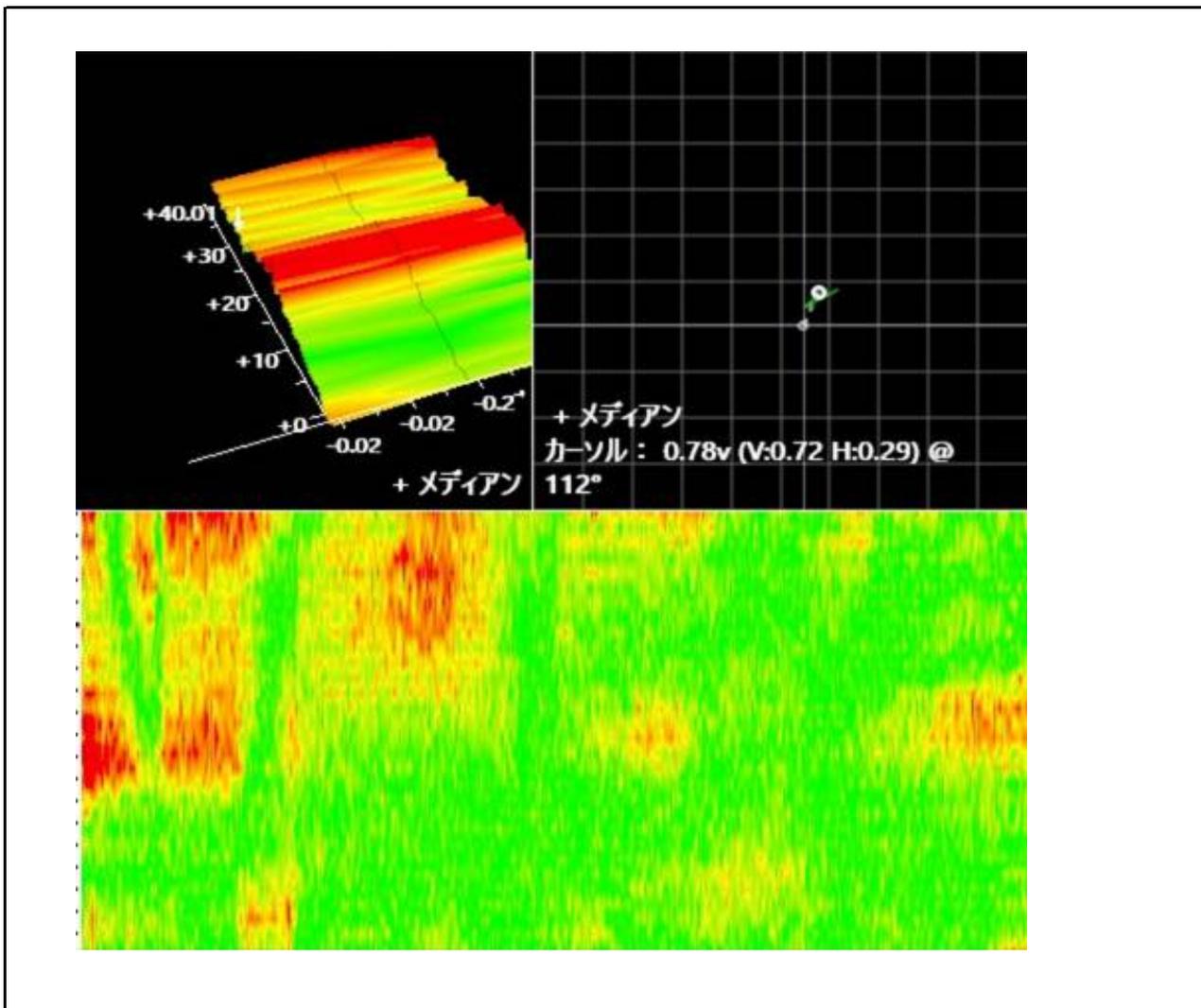
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



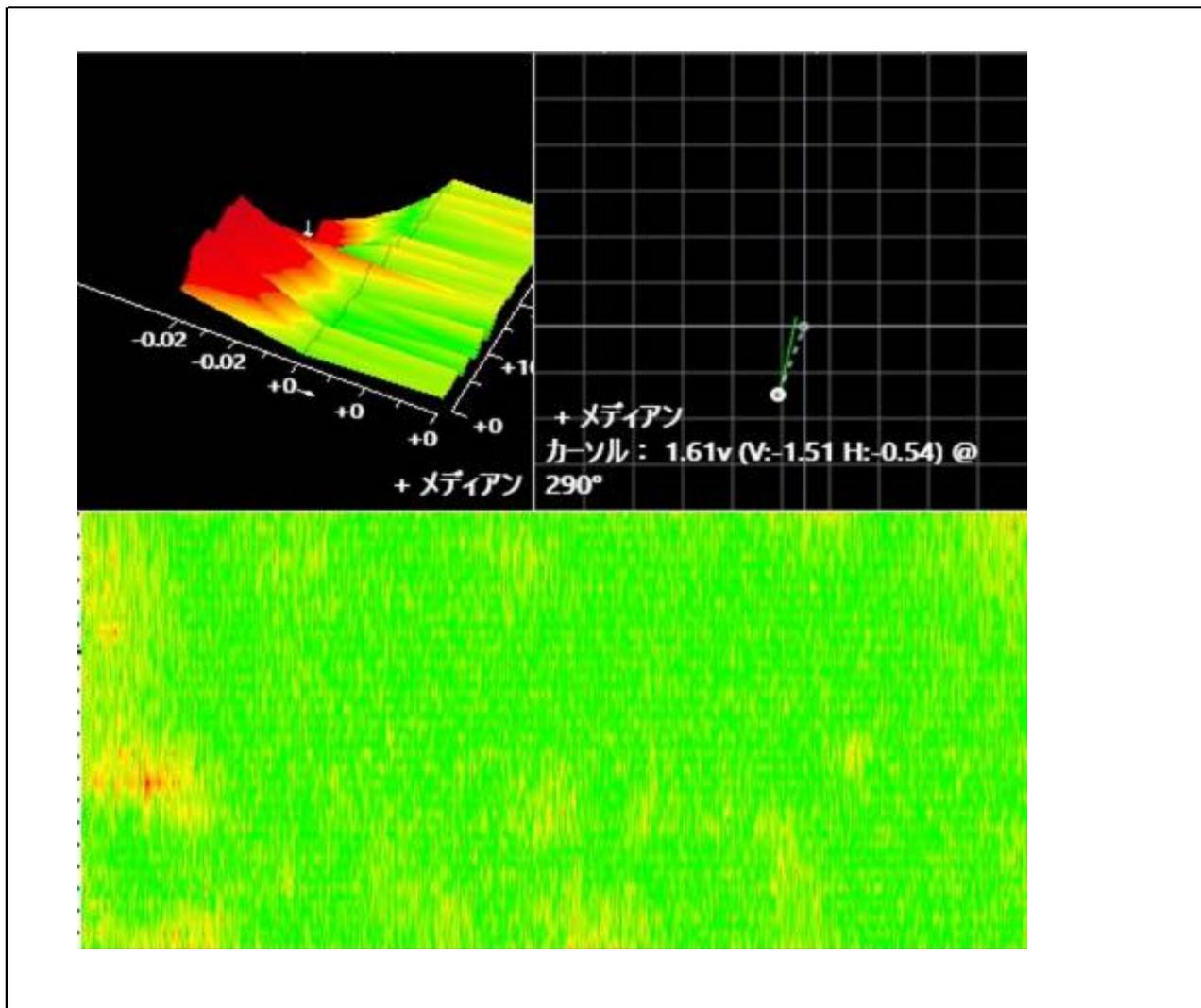
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



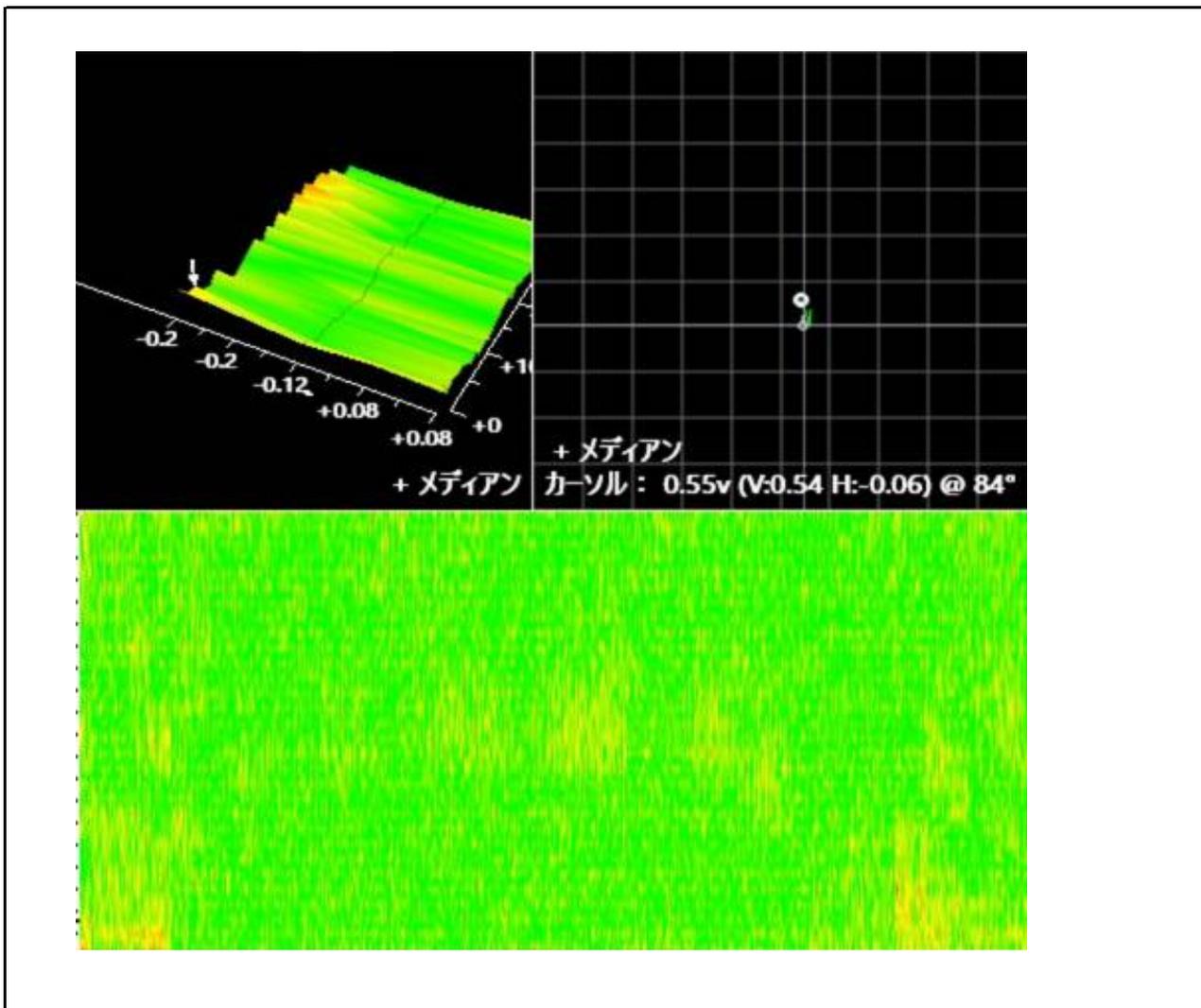
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		③アニュラ相互部	
きず番号/試験番号		③	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



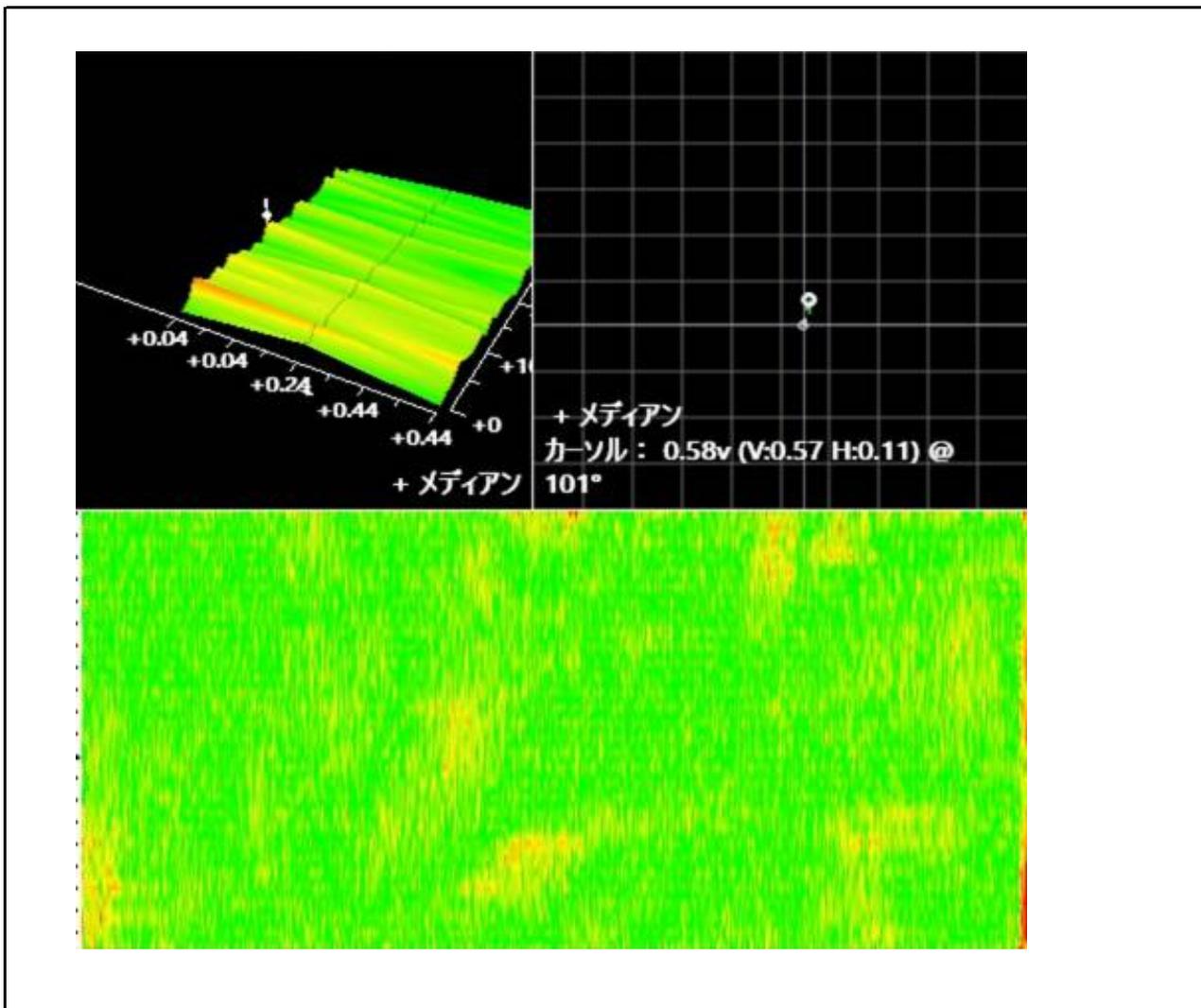
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		④アニュラ相互部	
きず番号/試験番号		④	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



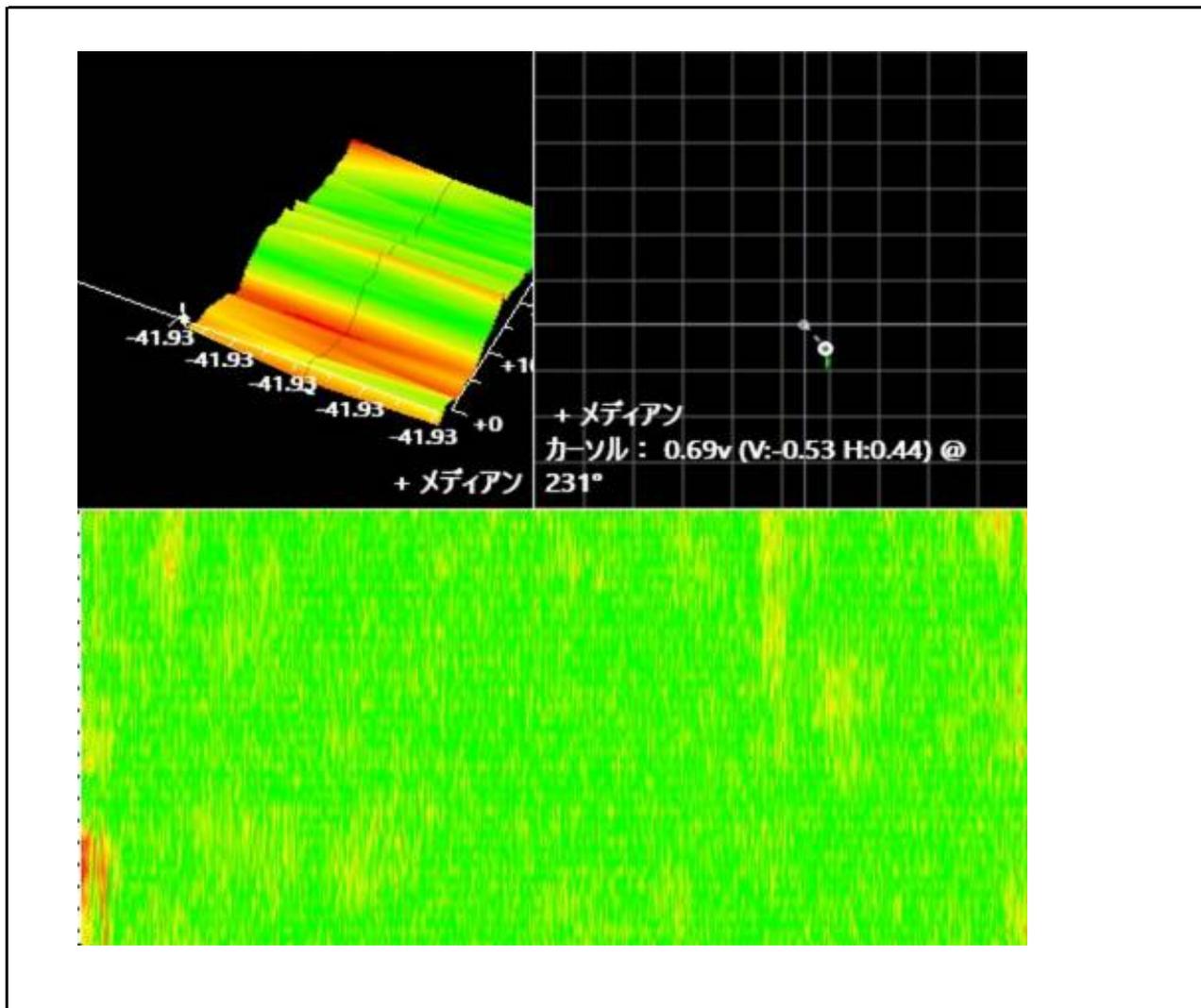
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

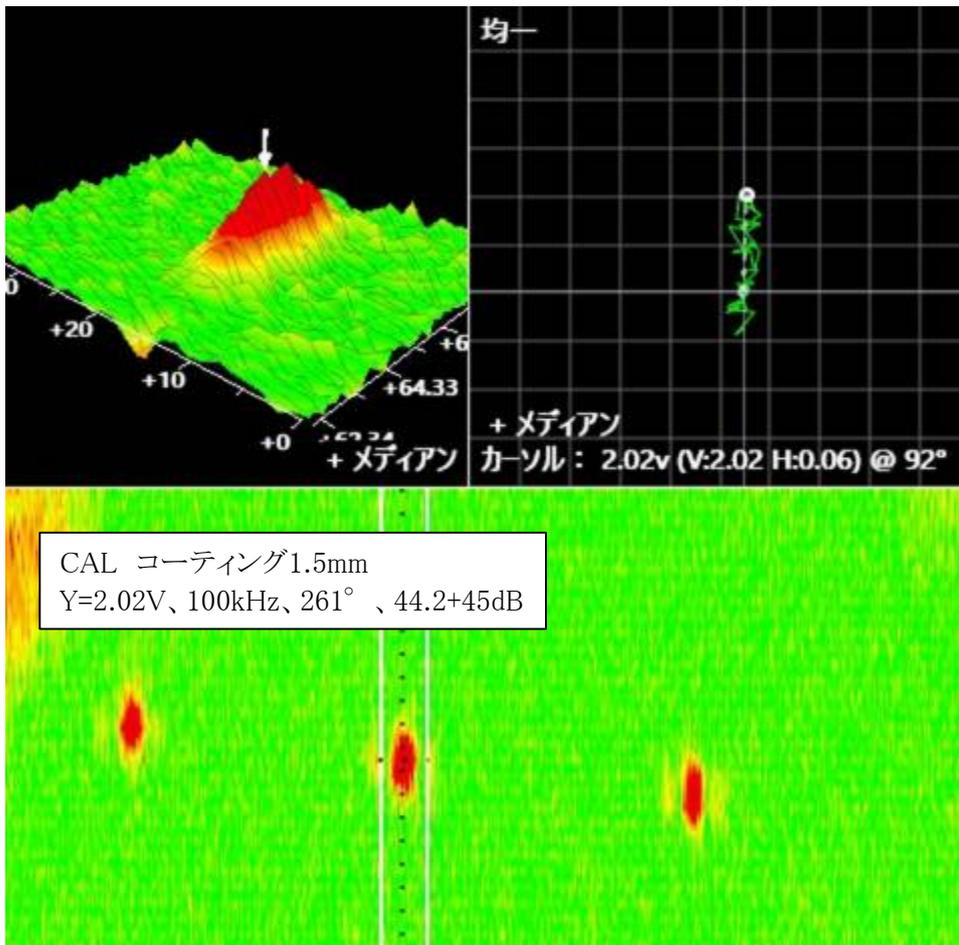
試験記録

試験部位		⑥亀甲部	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



校正記録



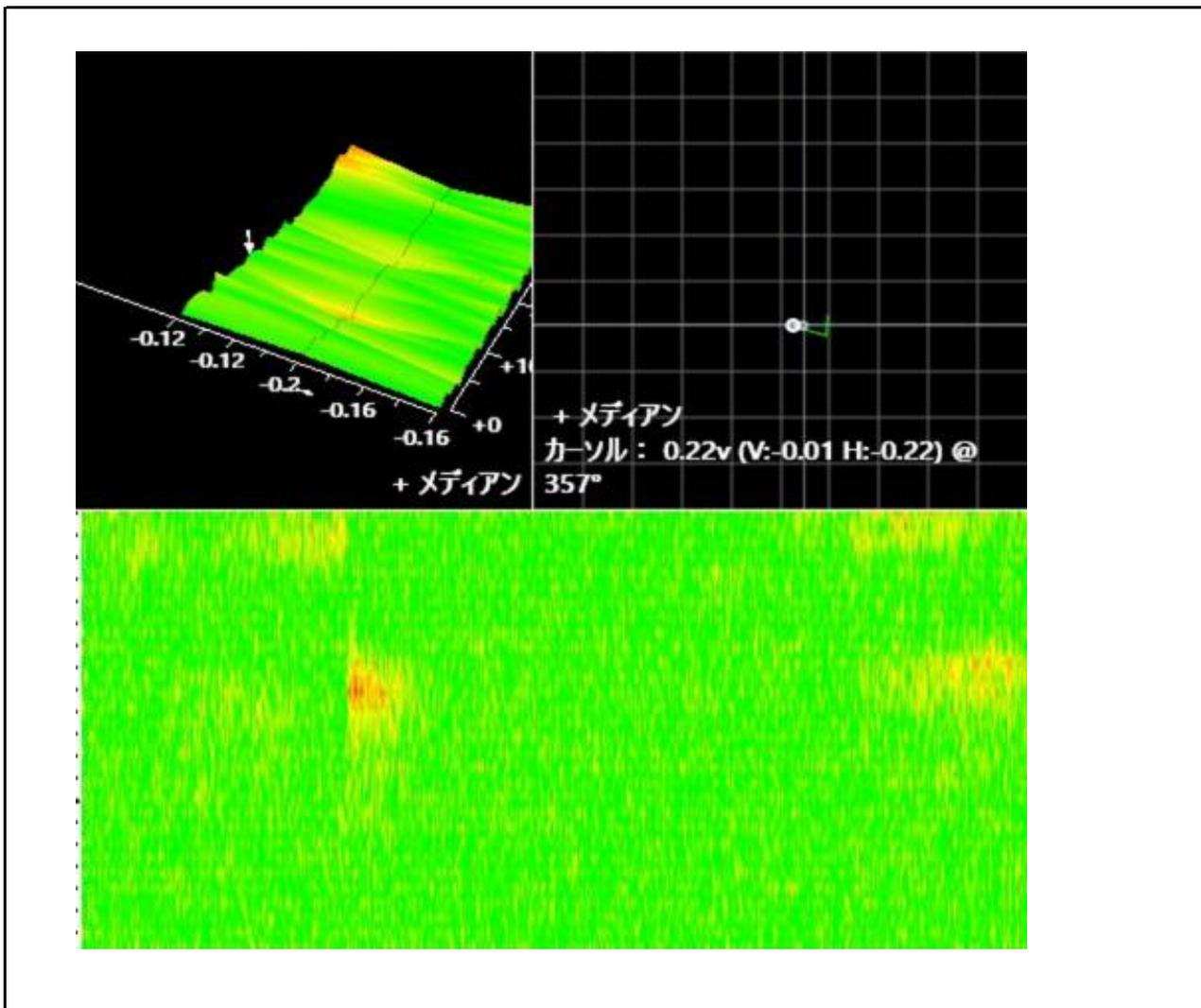
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑧亀甲部	
きず番号/試験番号		⑧	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



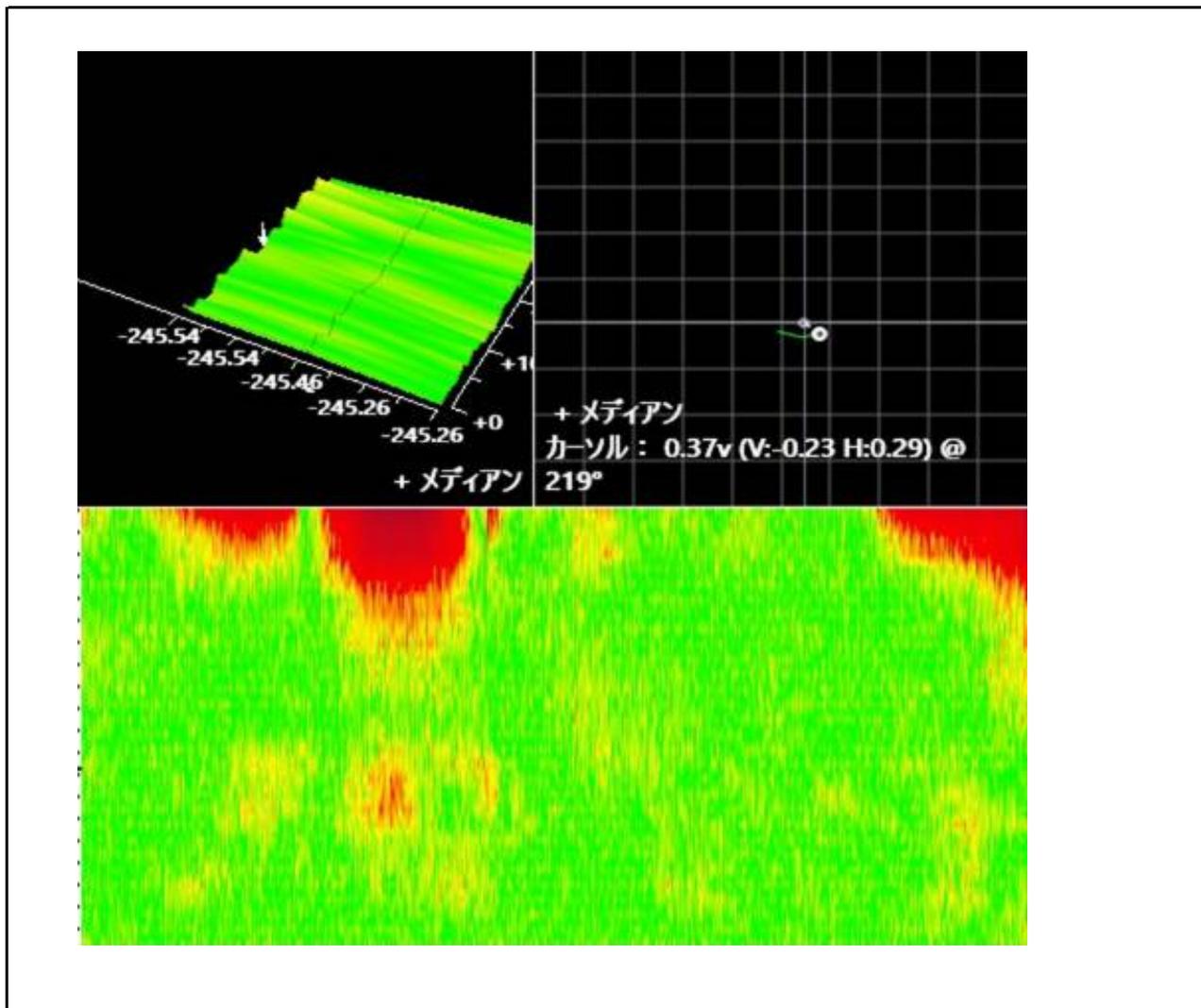
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



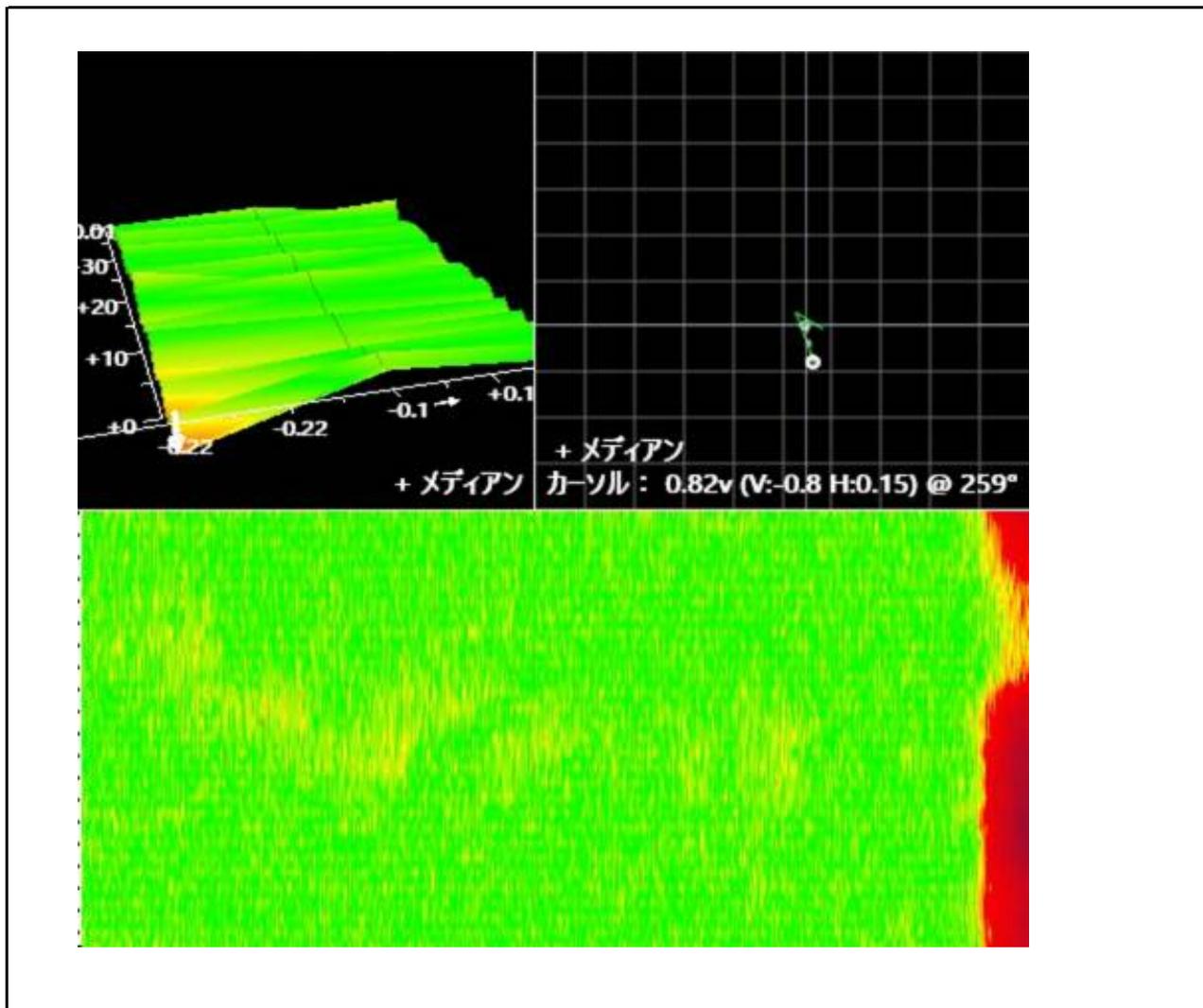
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ（きず番号毎に、データを張り付けてください。）



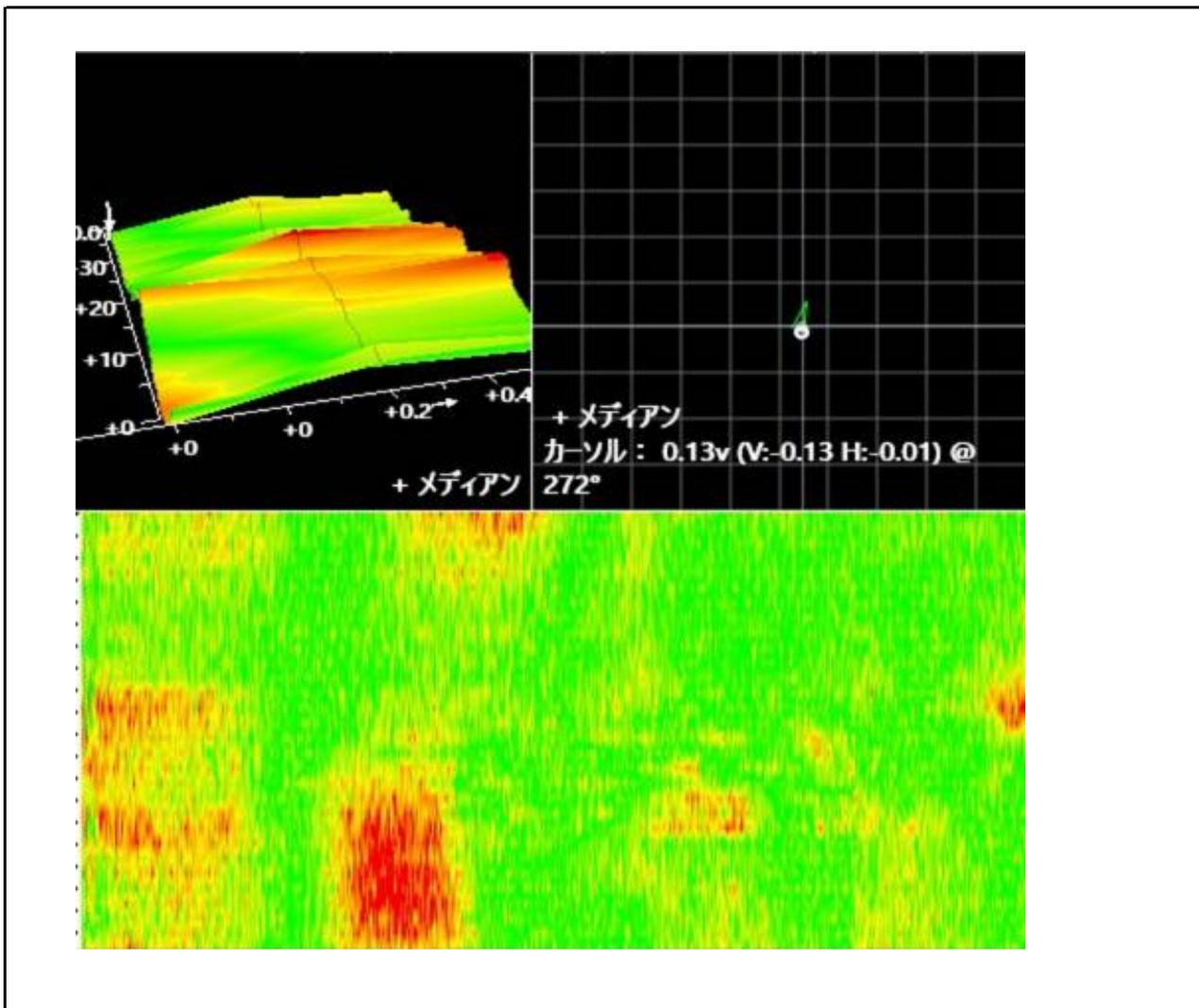
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑬底板相互部	
きず番号/試験番号		⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



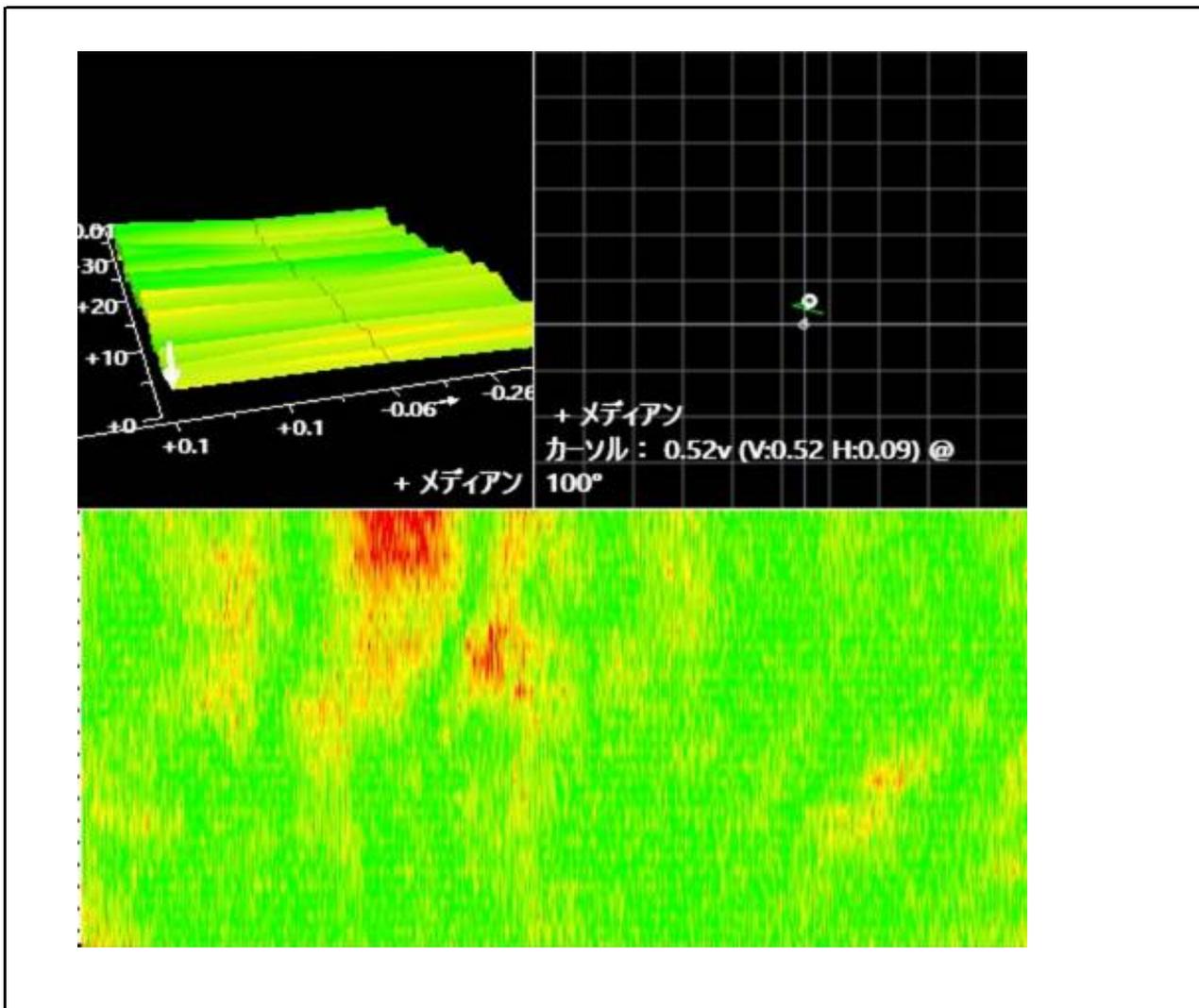
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑭底板相互部	
きず番号/試験番号		⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	検出不可	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



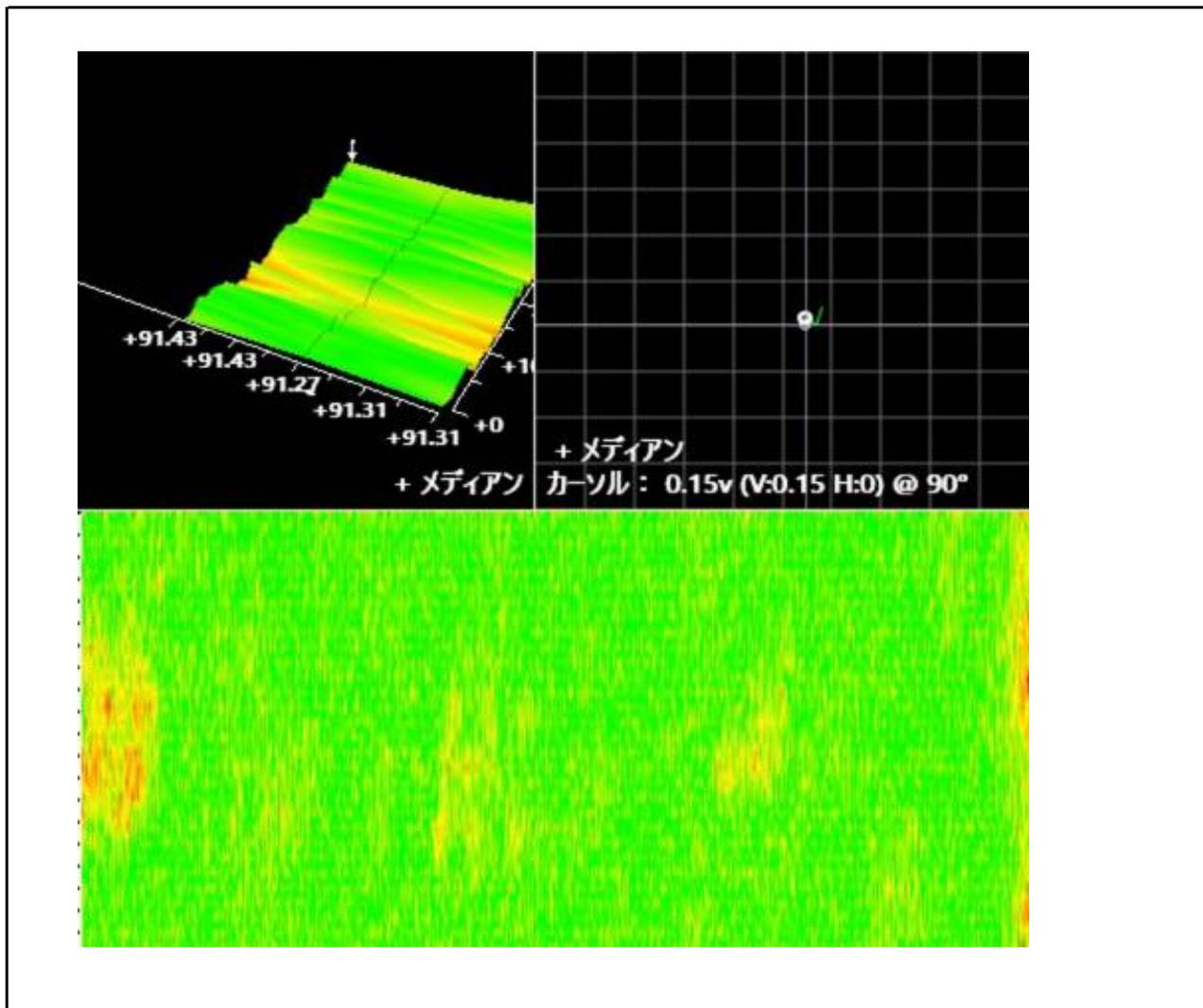
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



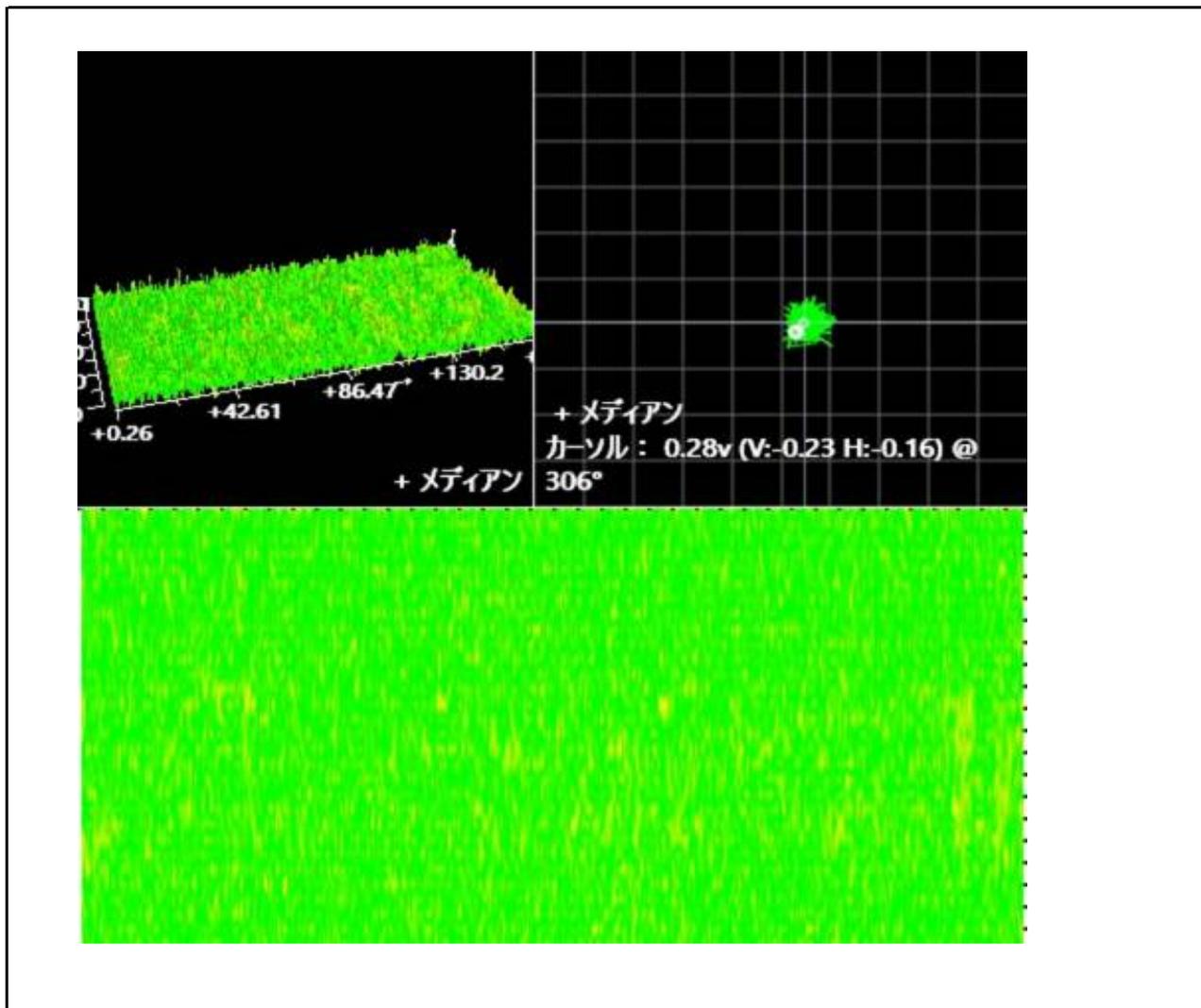
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	C
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	44.2+45dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑰外タライ部	
きず番号/試験番号		⑰	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	検出不可	
	V _y (Transe)		
	SQRT(V _x ² +V _y ²)		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



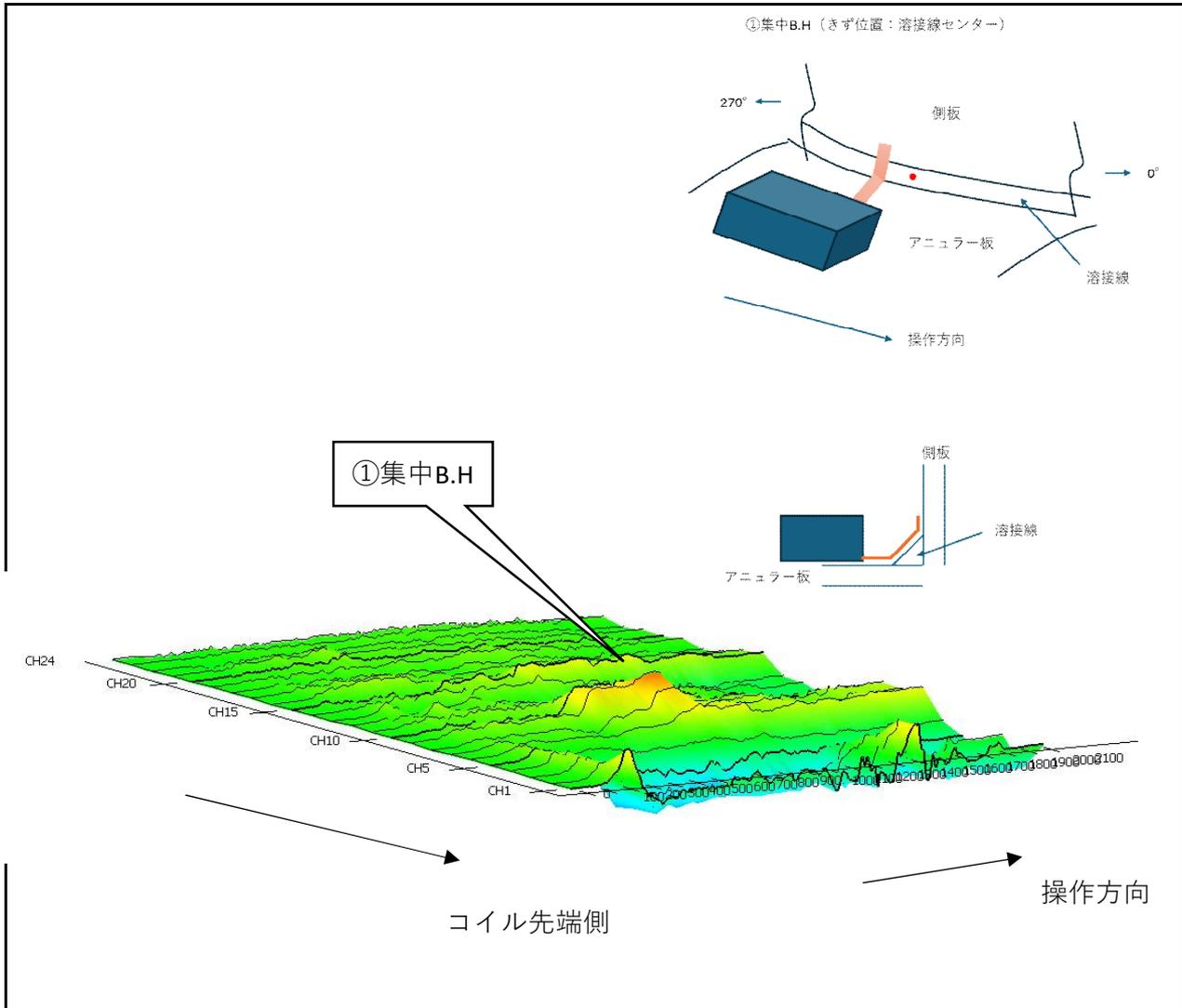
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)	0.247	0.073
	V_Y (Transe)	0.601	0.029
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$	0.650	0.079
SN比	(dB)	18.352	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



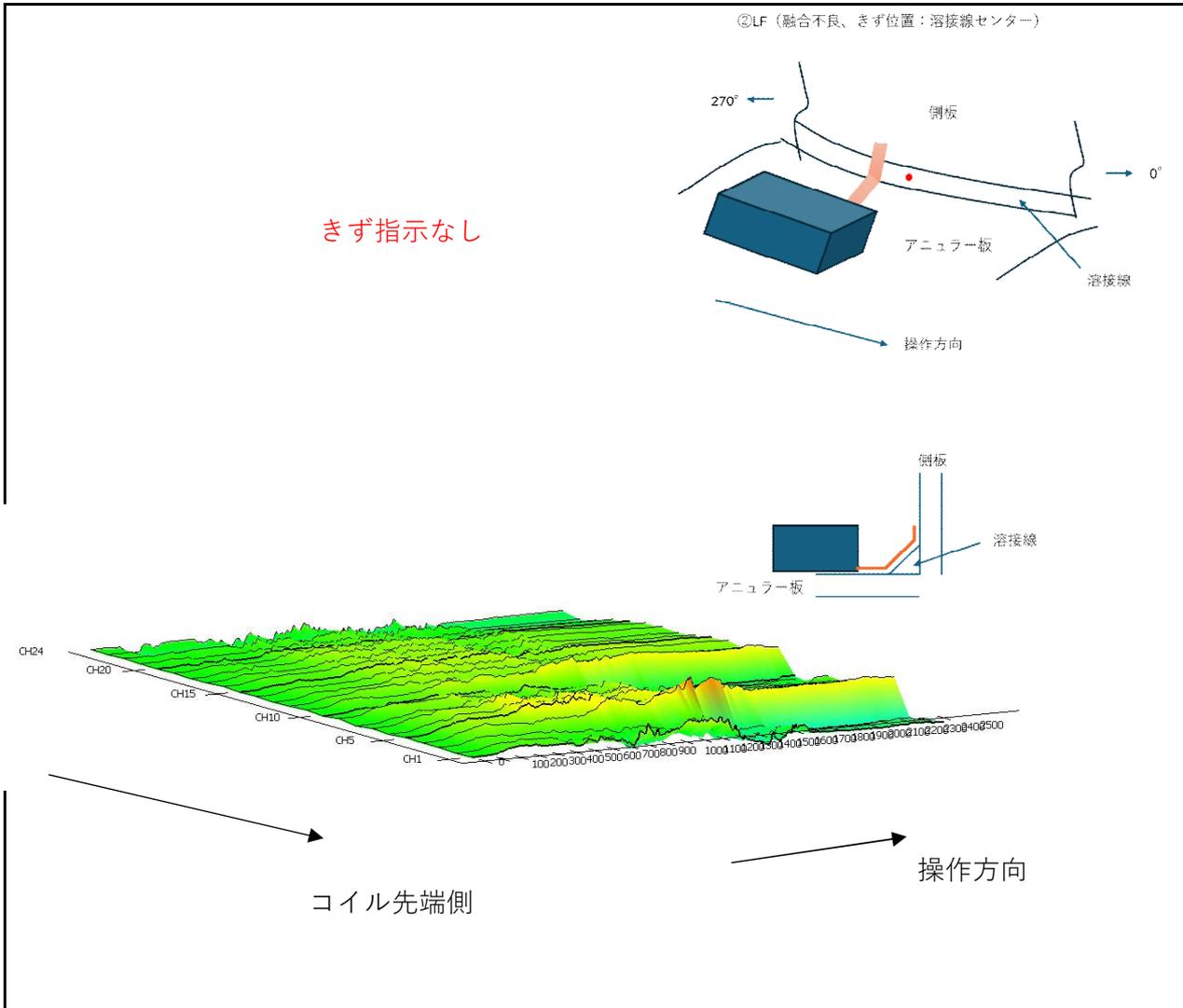
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



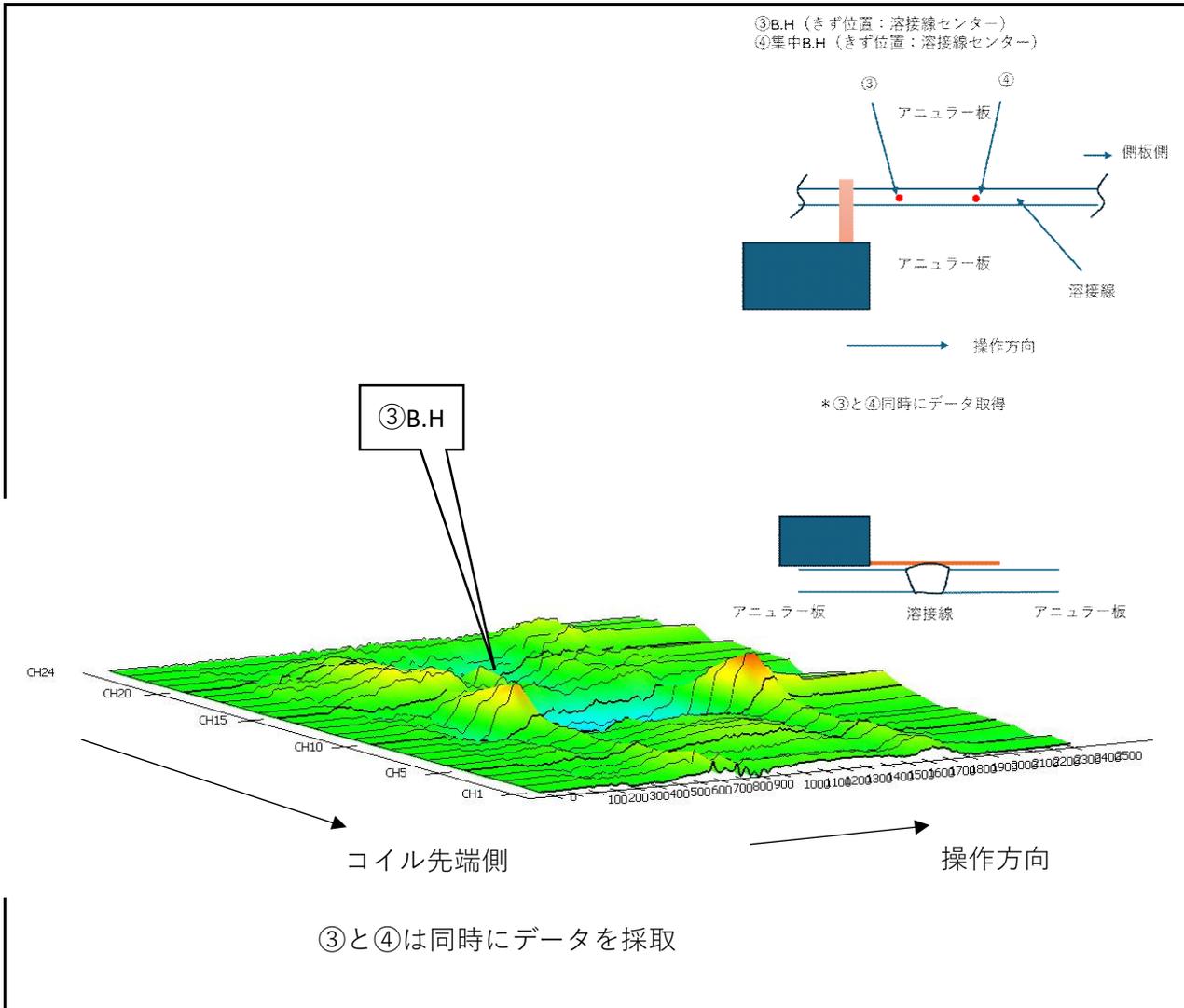
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		③アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		③	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.973	0.073
	V_y (Transe)	1.425	0.101
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.726	0.125
SN比	(dB)	22.827	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



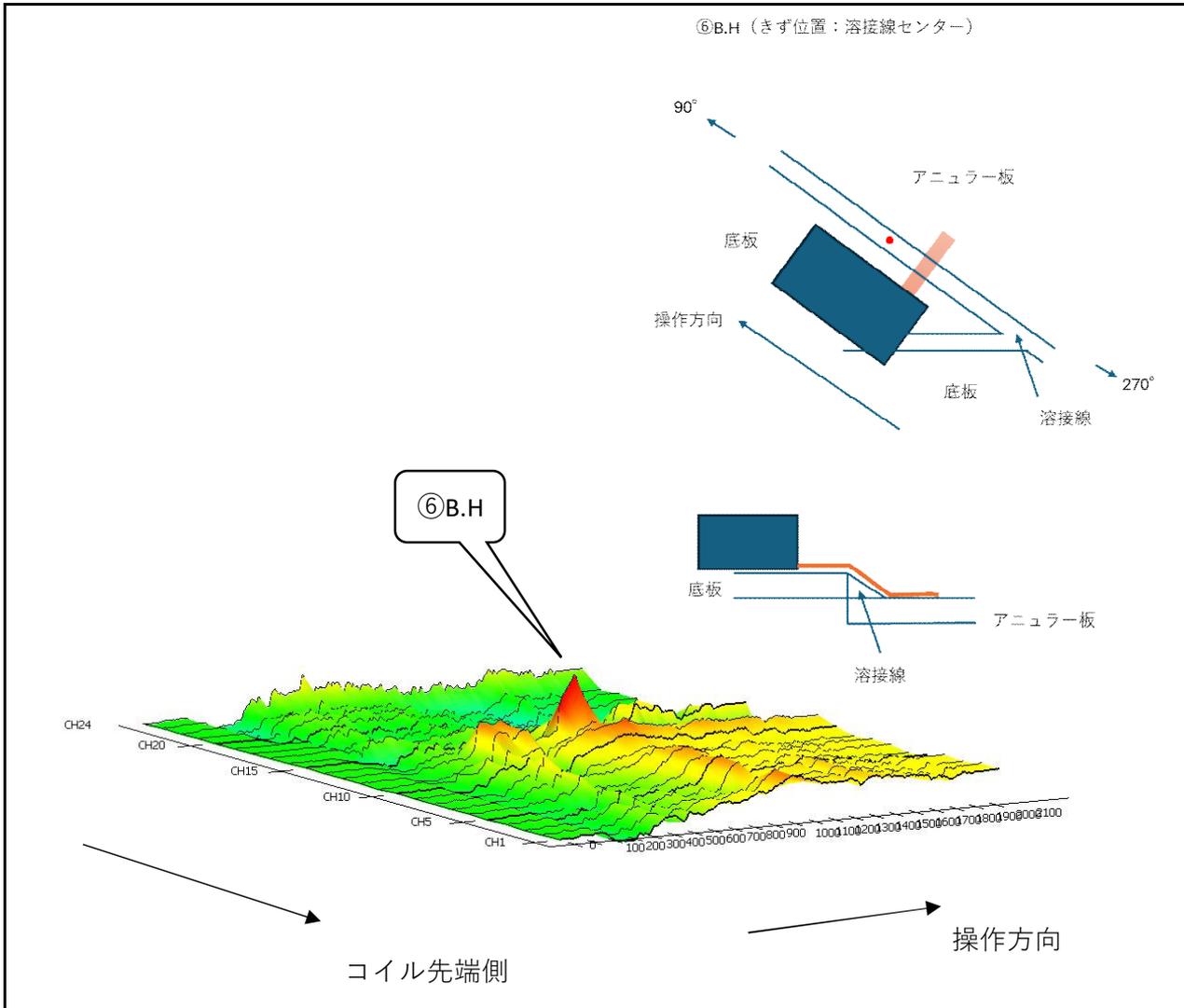
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑥亀甲部 (アニューラ板×底板)	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V _X (Axial)	0.406	0.056
	V _Y (Transe)	0.403	0.038
	SQRT(V _X ² +V _Y ²)	0.572	0.068
SN比	(dB)	18.540	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



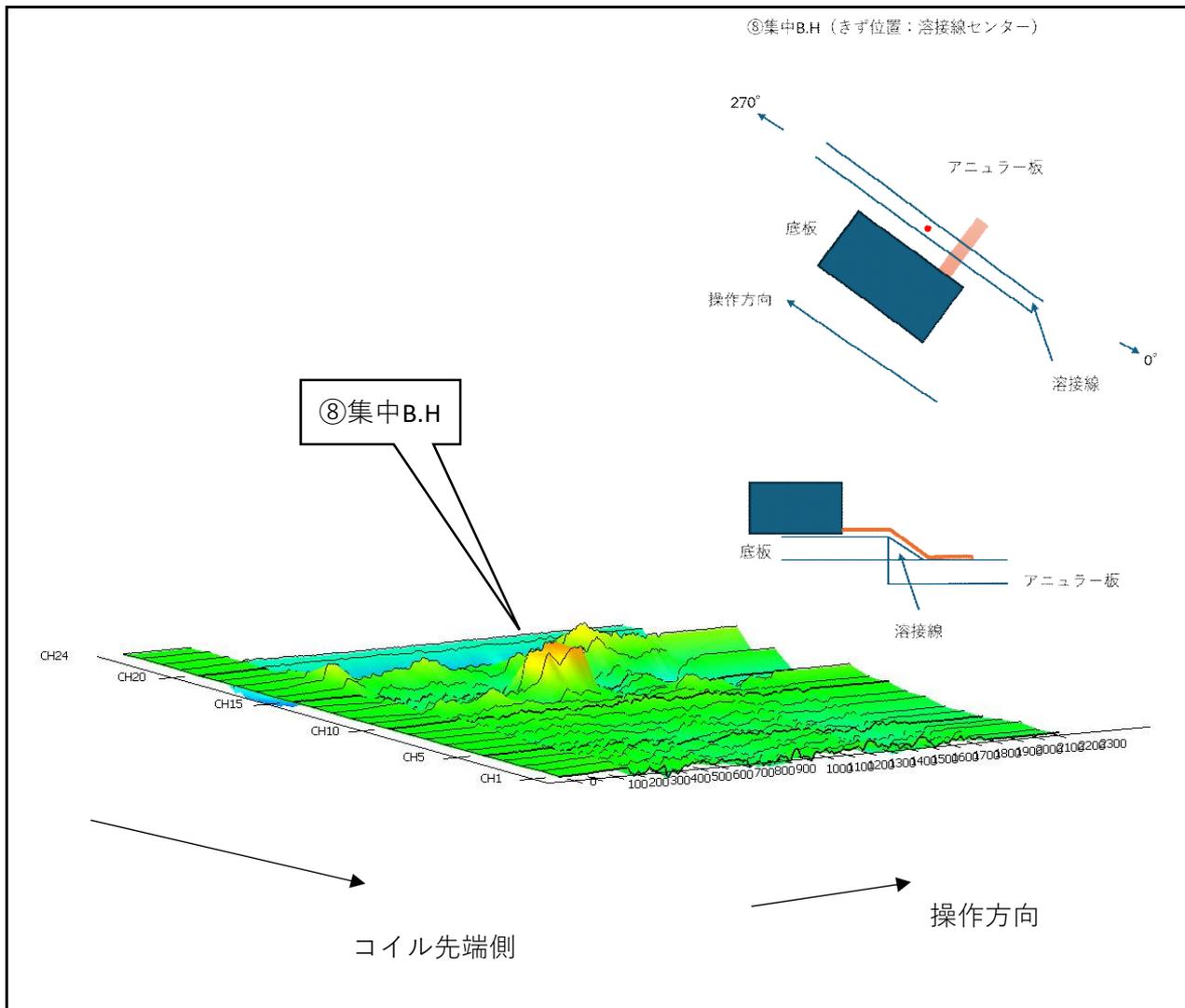
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑧亀甲部 (アニューラ板×底板)	
きず番号/試験番号		⑧	ノイズ
出力値 (mV)	V _X (Axial)	0.363	0.036
	V _Y (Transe)	0.696	0.097
	SQRT(V _X ² +V _Y ²)	0.785	0.103
SN比	(dB)	17.601	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



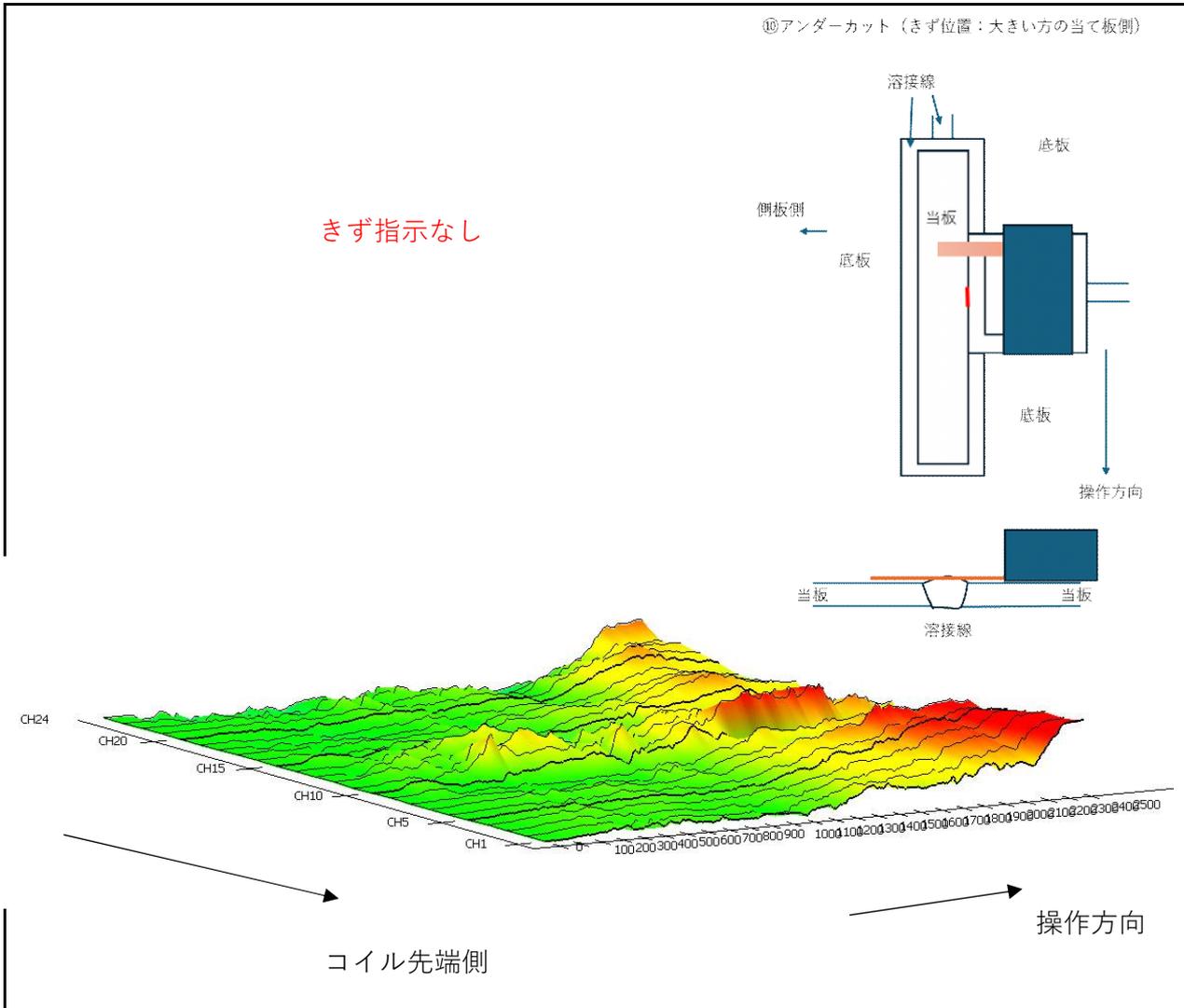
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)		
	V_Y (Transe)		
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



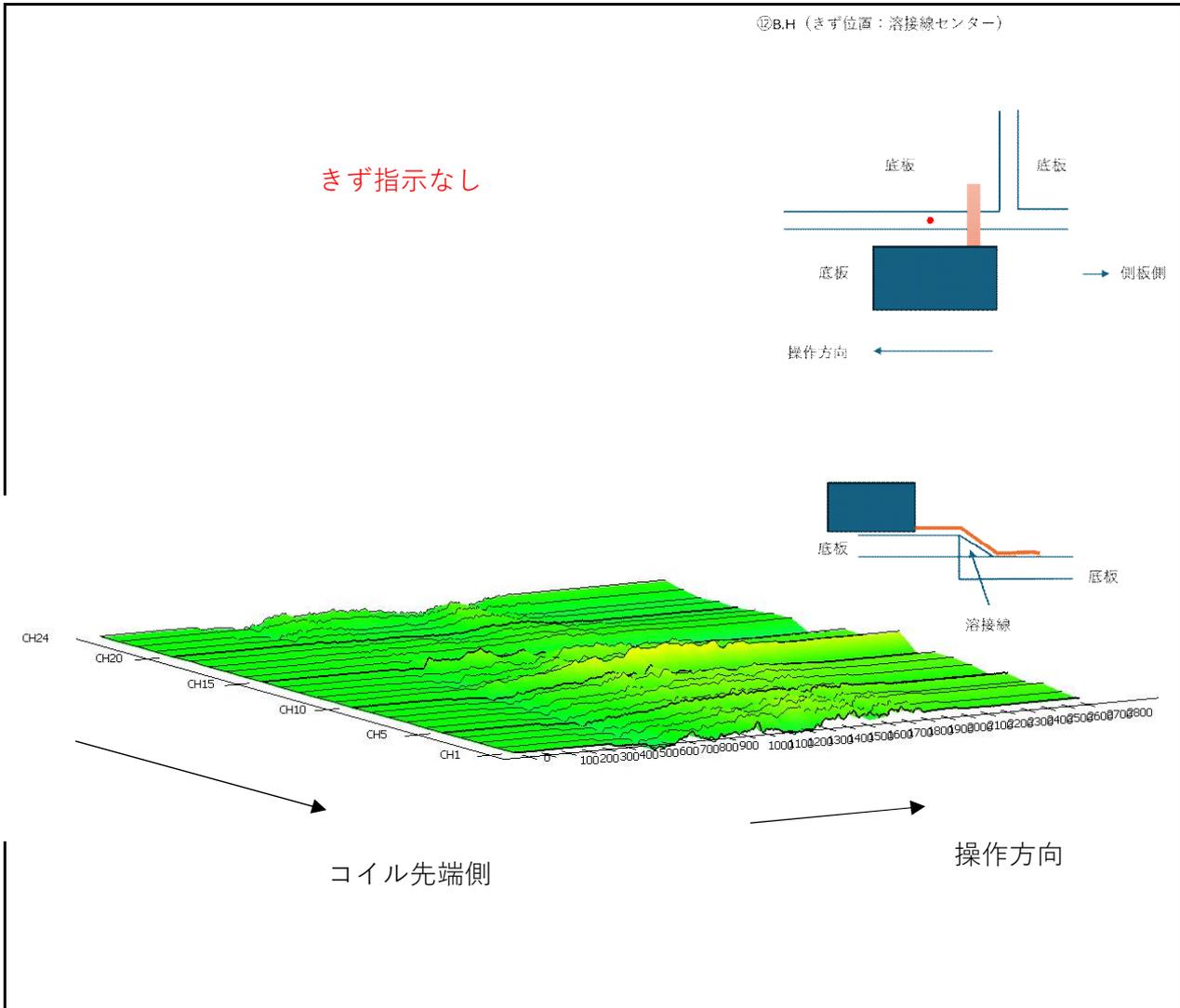
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



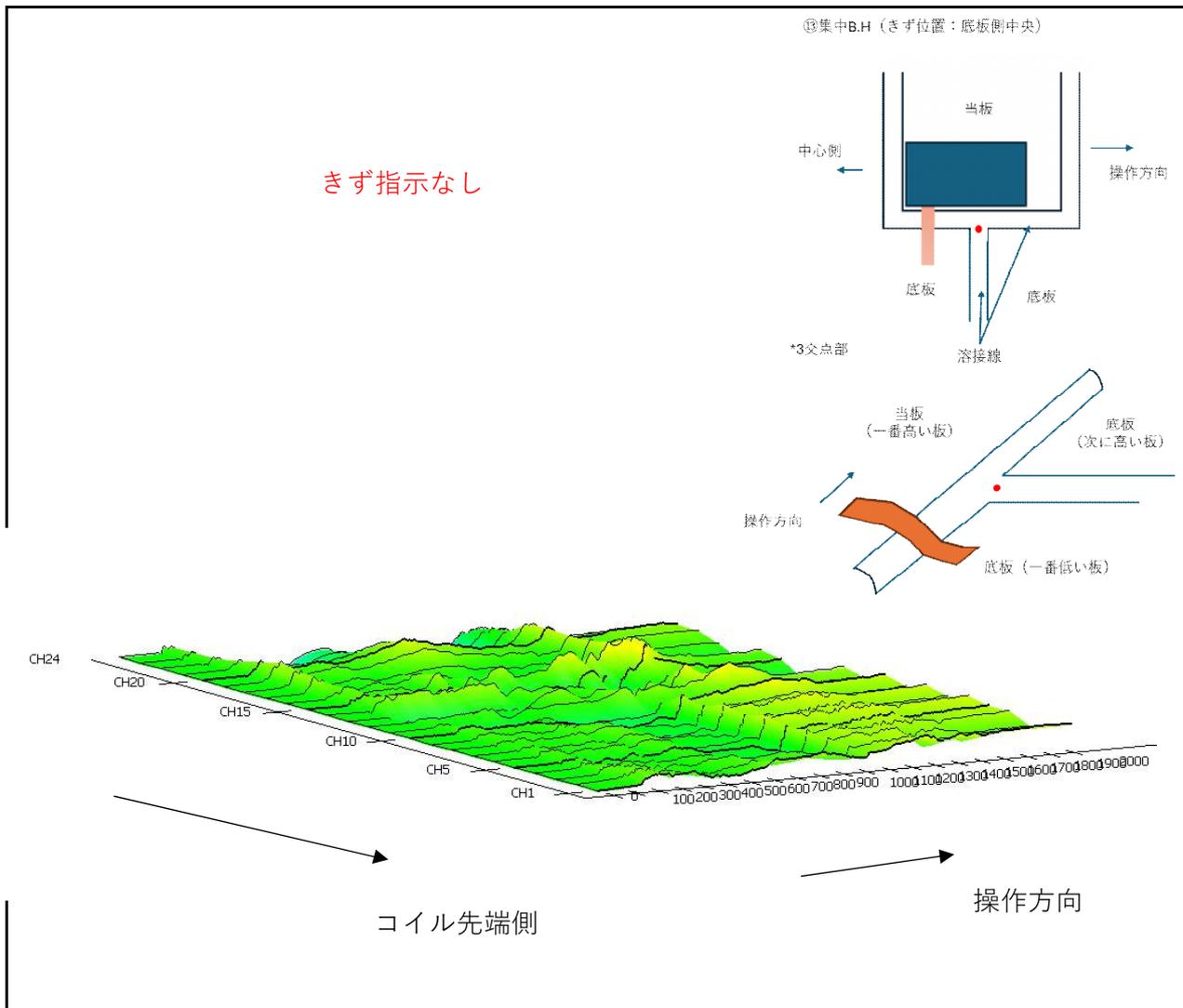
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑬底板相互部 (3交点)	
きず番号/試験番号		⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)		
	V_Y (Transe)		
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



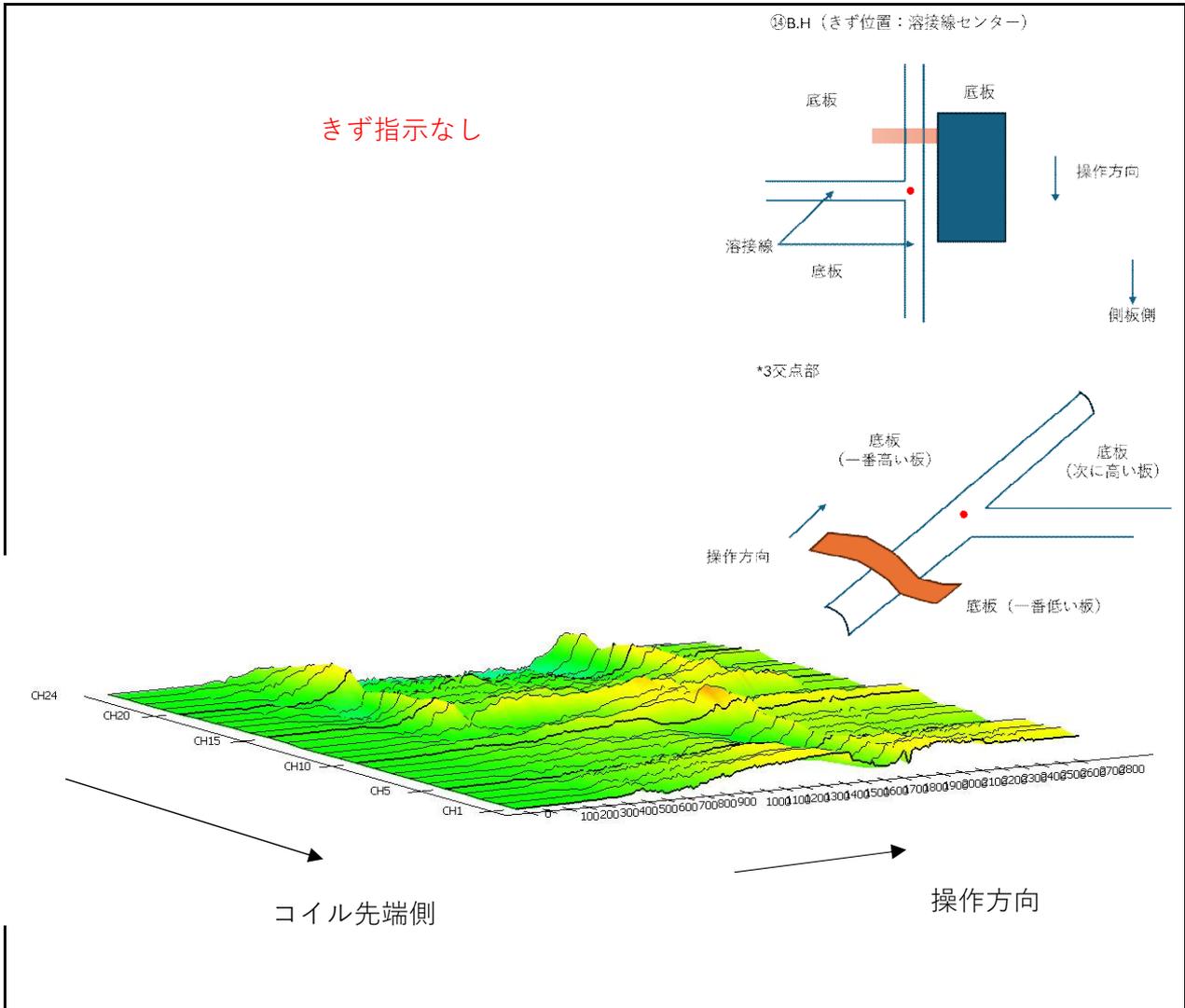
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑭底板相互部 (3交点)	
きず番号/試験番号		⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)		
	V_Y (Transe)		
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



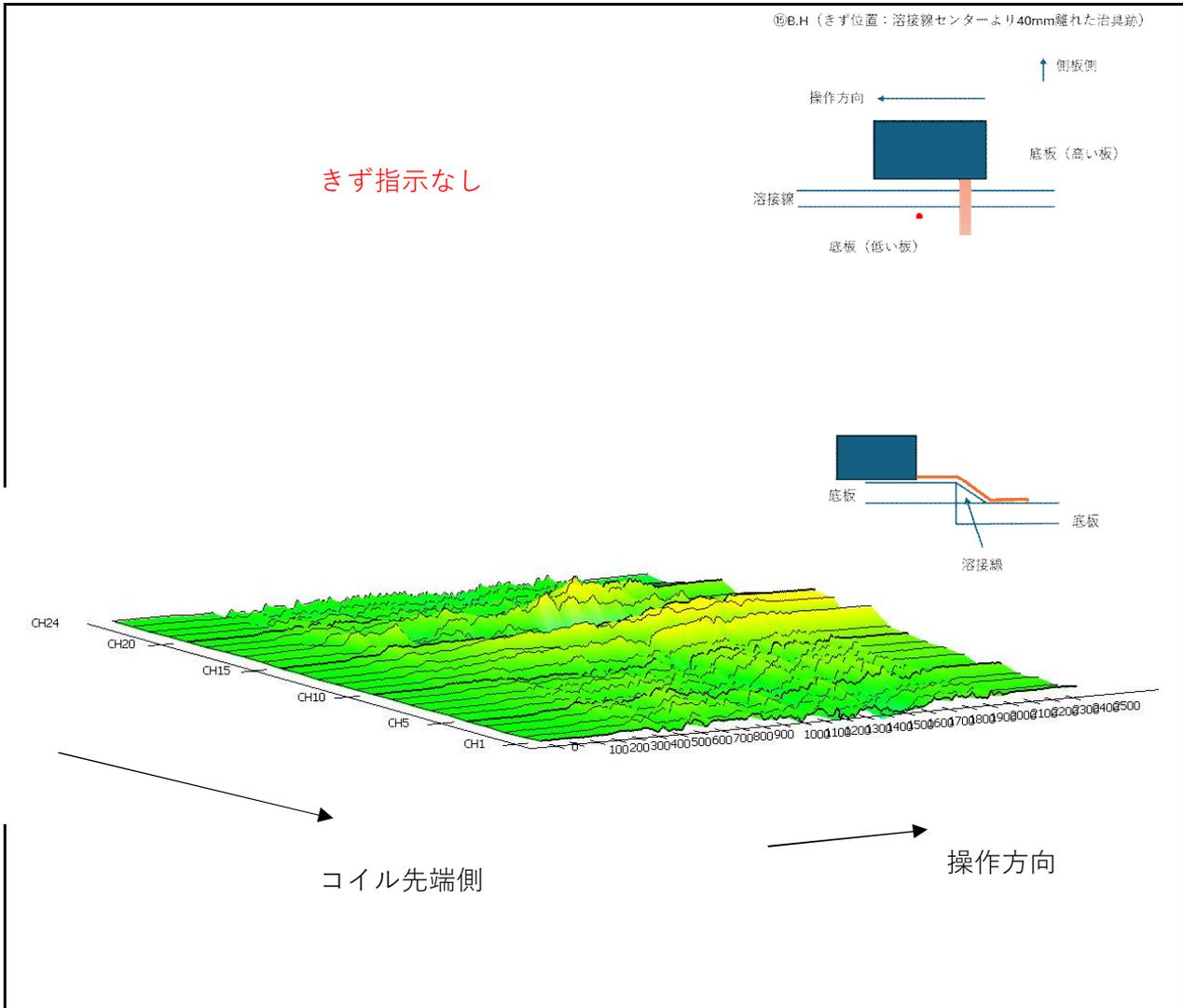
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



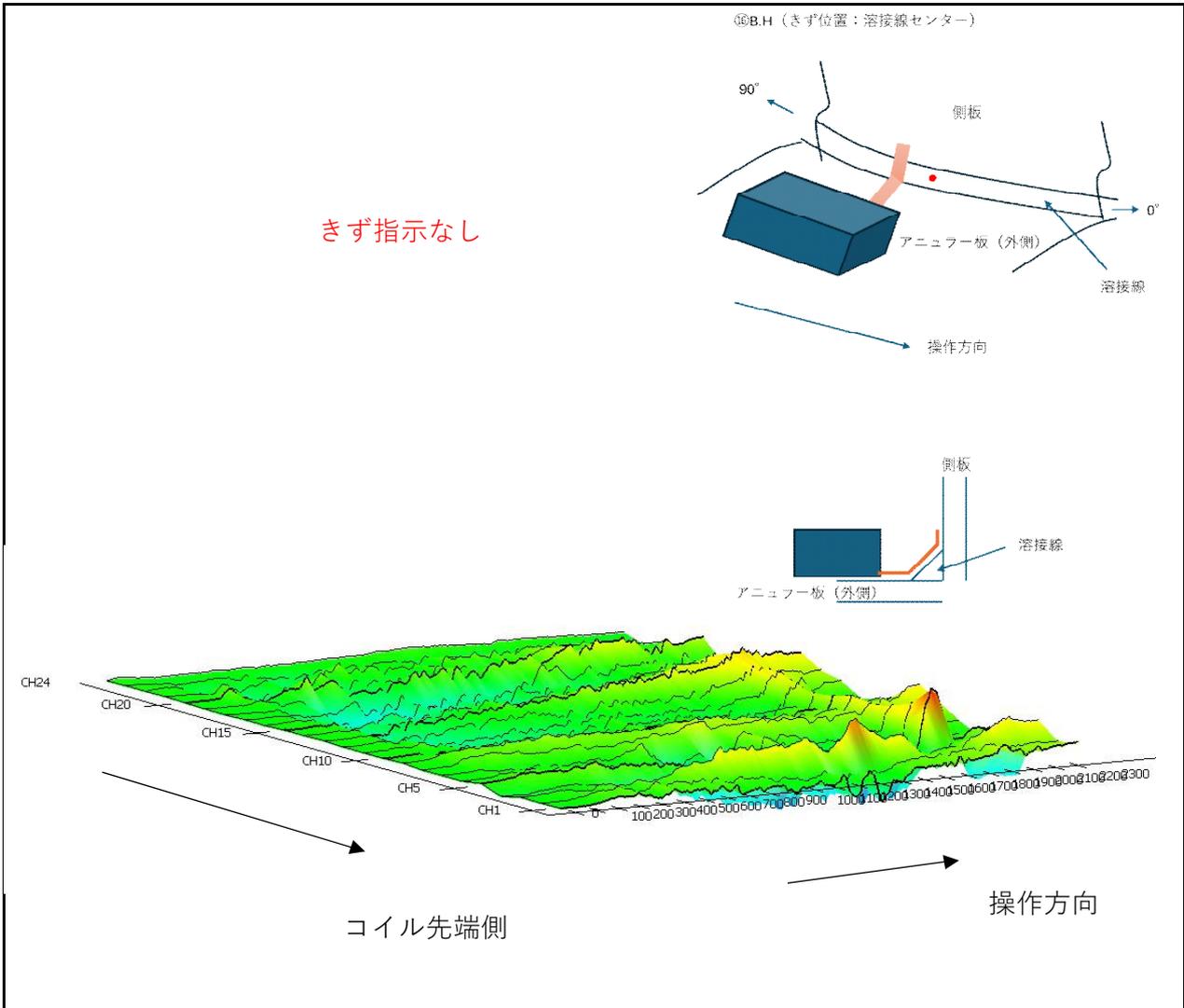
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		⑬外タライ部	
きず番号/試験番号		⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向へ設定
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位	⑰外タライ部	
きず番号/試験番号	⑰	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)	
	V_Y (Transe)	
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$	
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査実施せず

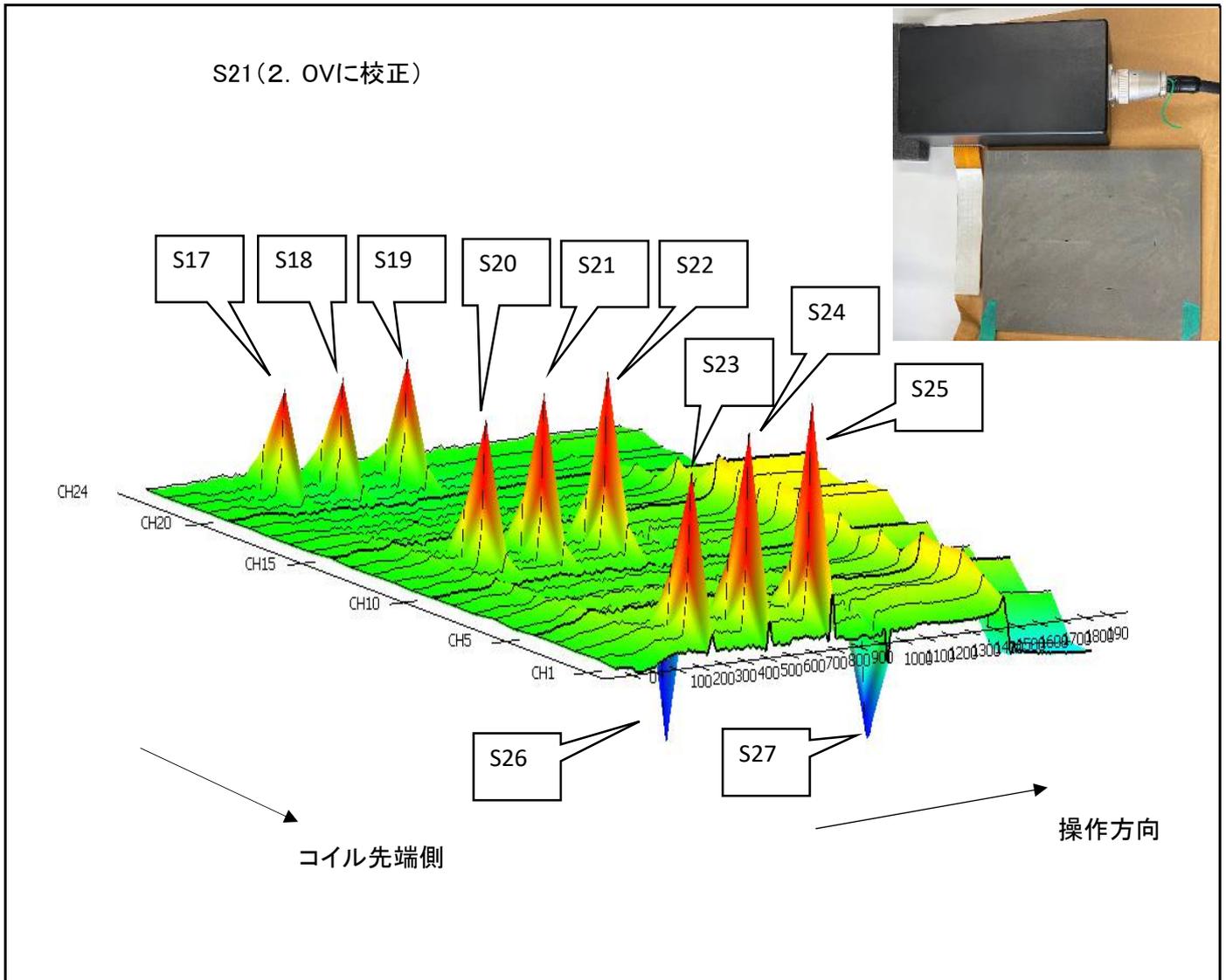
16万KL級タンク現地試験記録 校正結果データ

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21きず (4.0mmL * 0.5mmW * 1.5mmD) 2.0(Y振幅)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		対比試験片 SM400	
きず番号/試験番号		S21	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	1.035	0.056
	V_y (Transe)	2.006	0.026
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	2.257	0.062
SN比	(dB)	31.260	

試験データ(きず番号毎に、データを張り付けてください。)



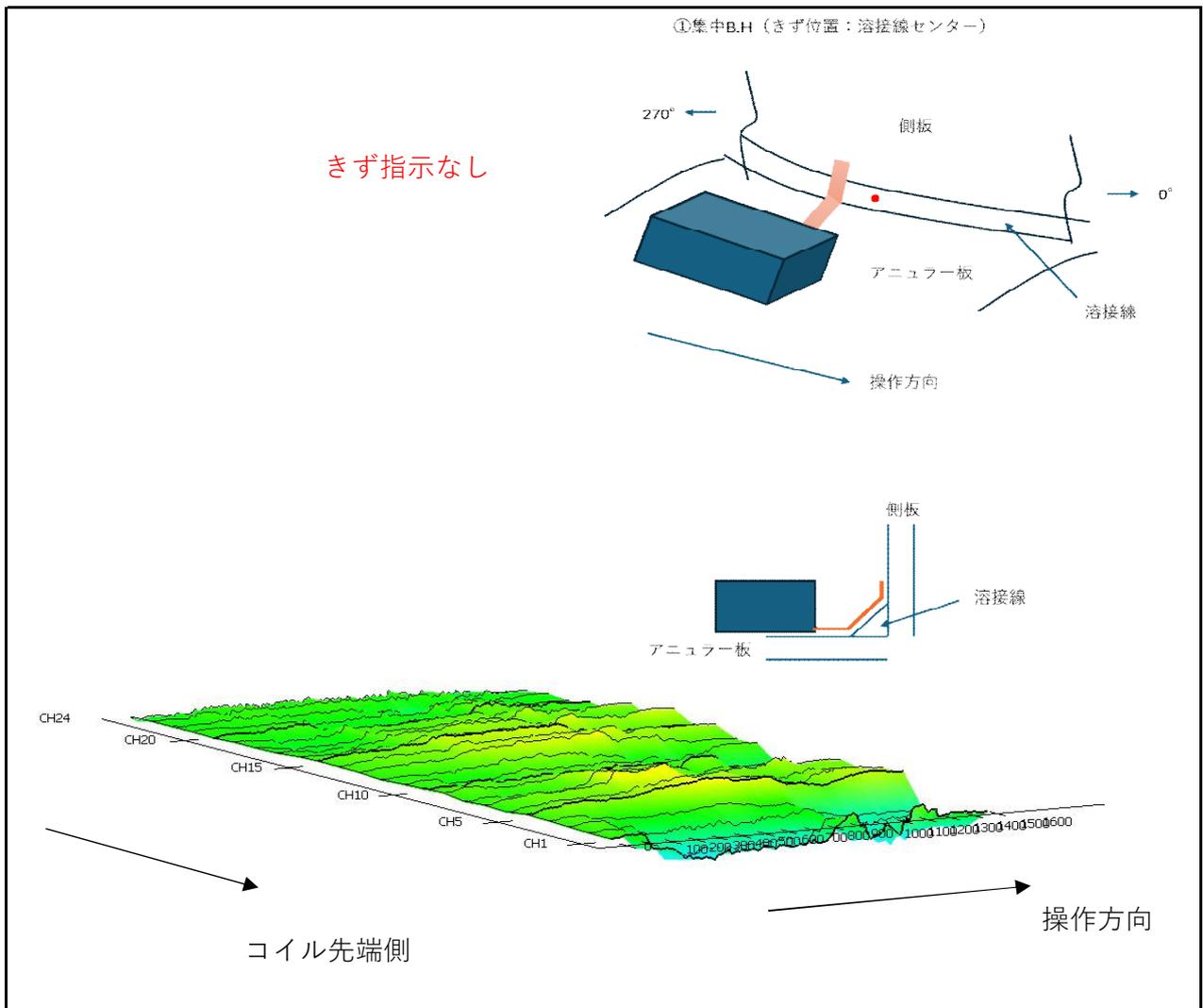
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



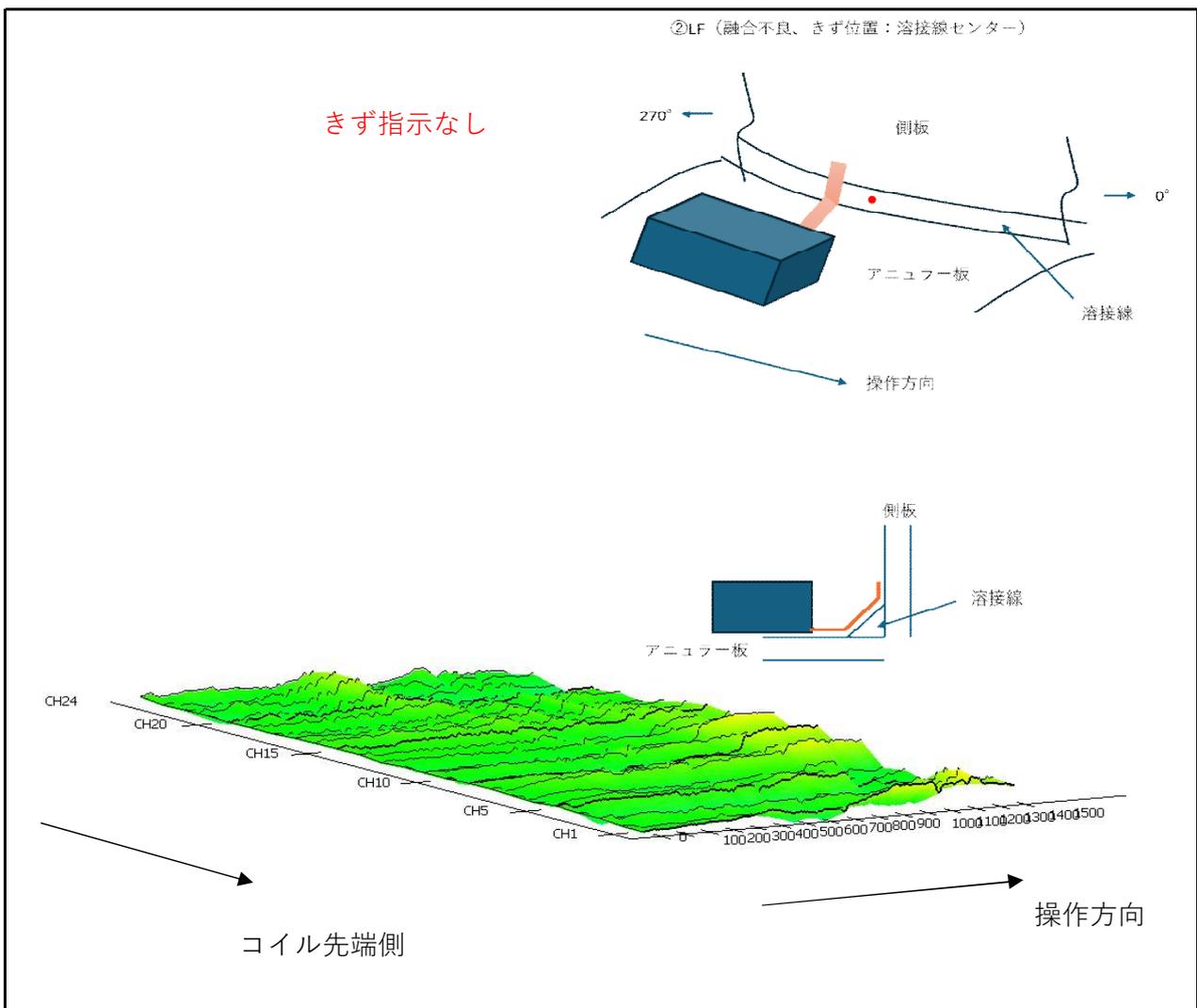
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



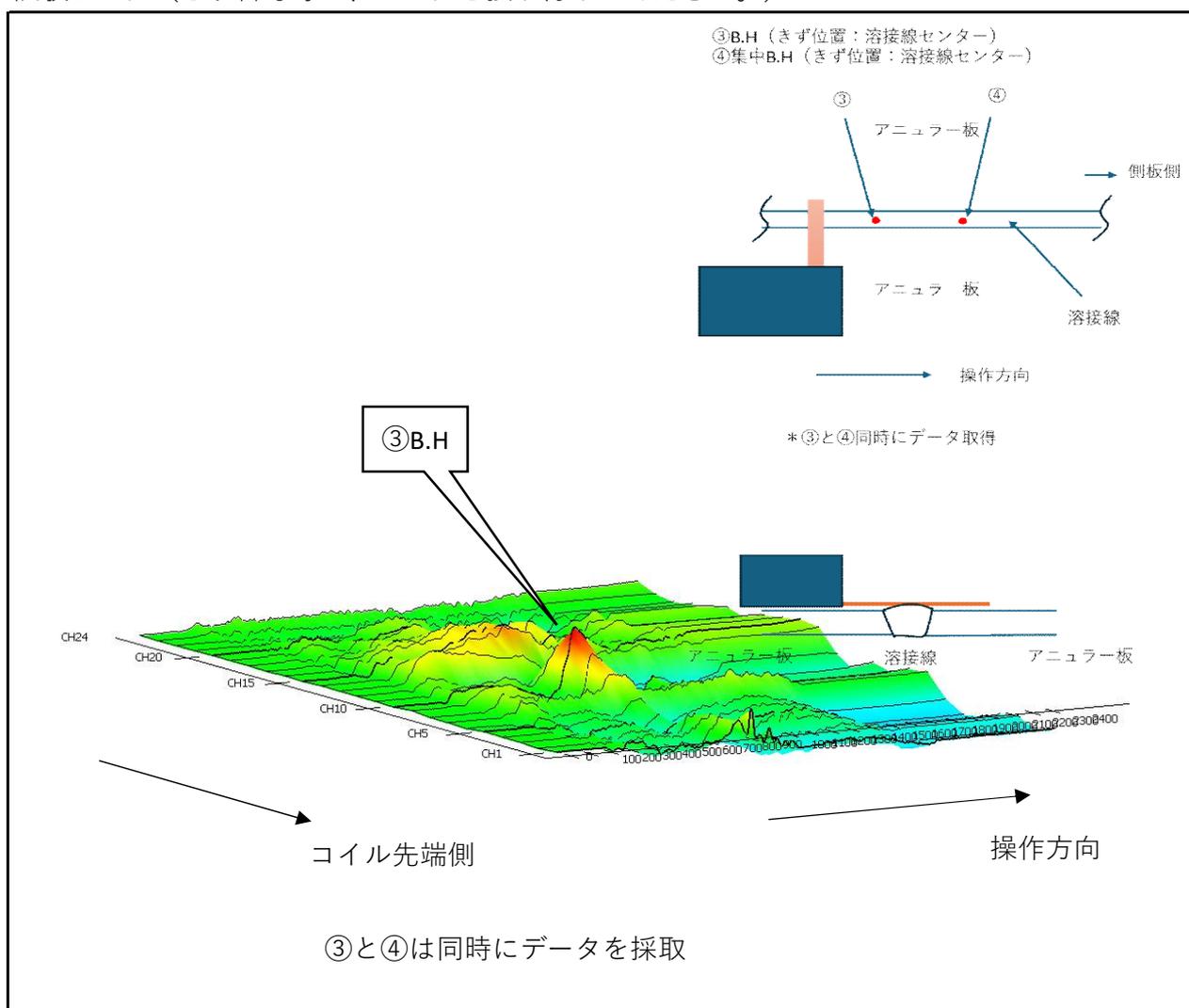
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		③アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		③	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)	0.803	0.54
	V_Y (Transe)	1.127	0.18
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$	1.384	0.569
SN比	(dB)	7.716	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



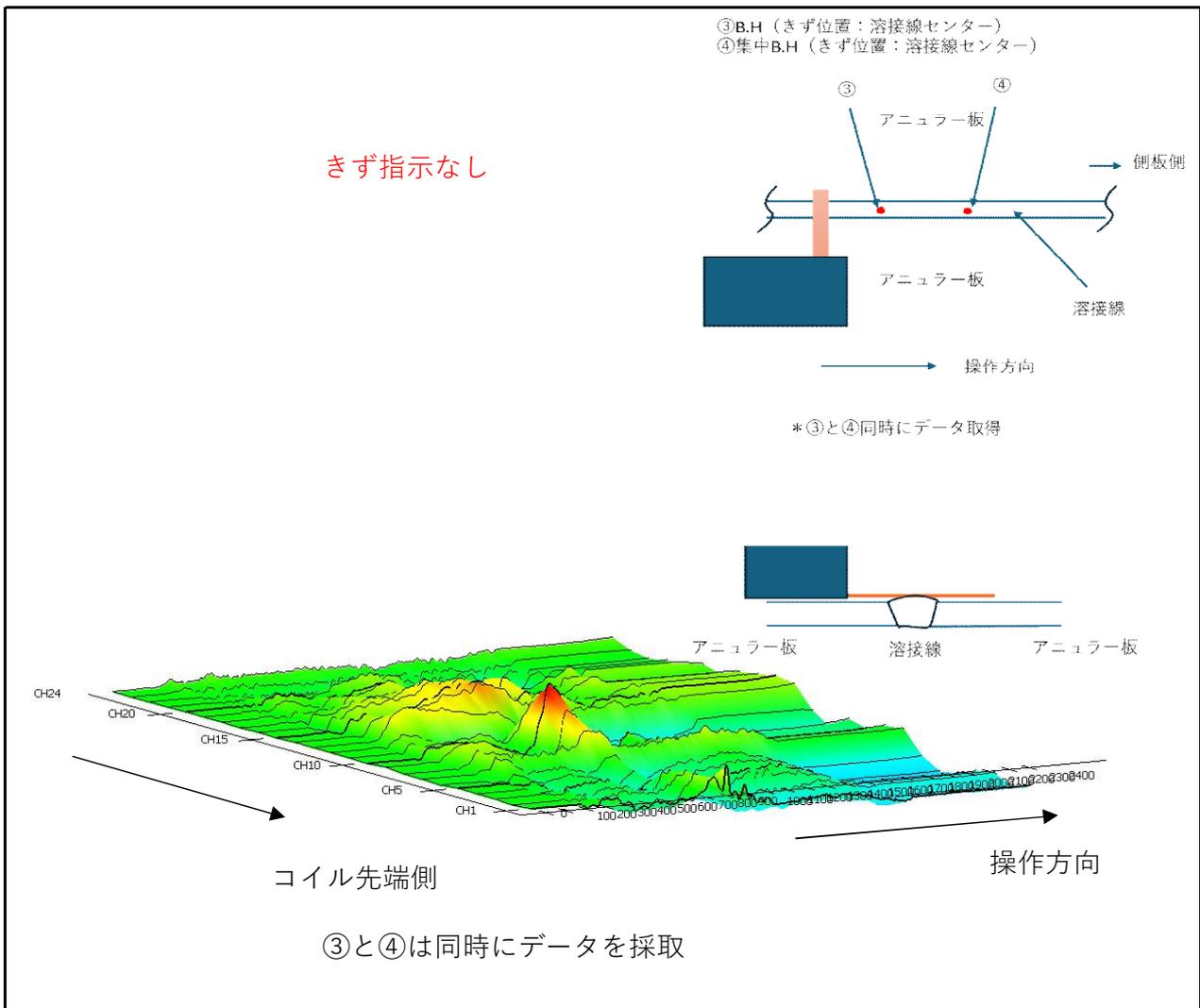
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		④アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		④	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



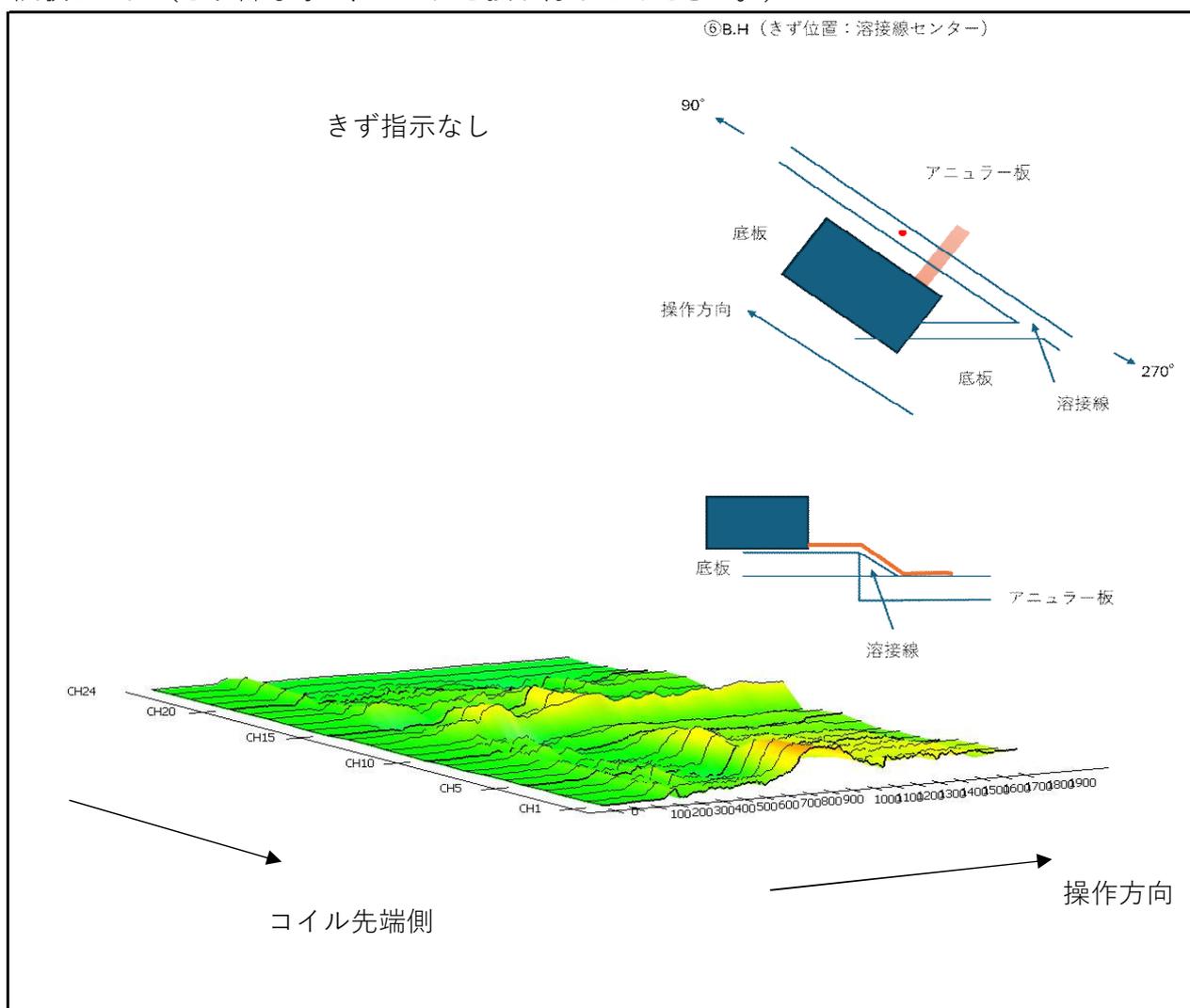
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑥亀甲部 (アニュラー板×底板)	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



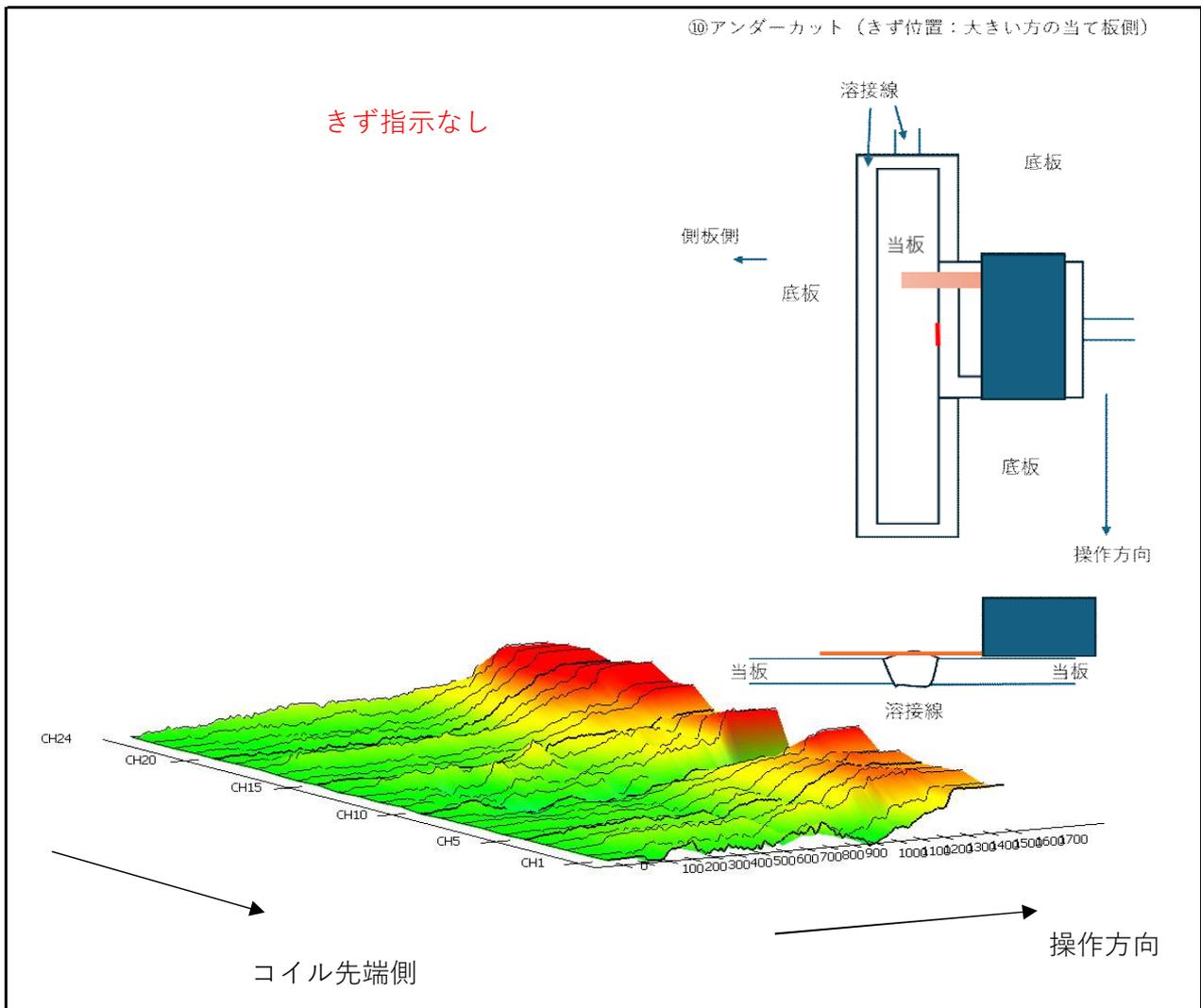
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



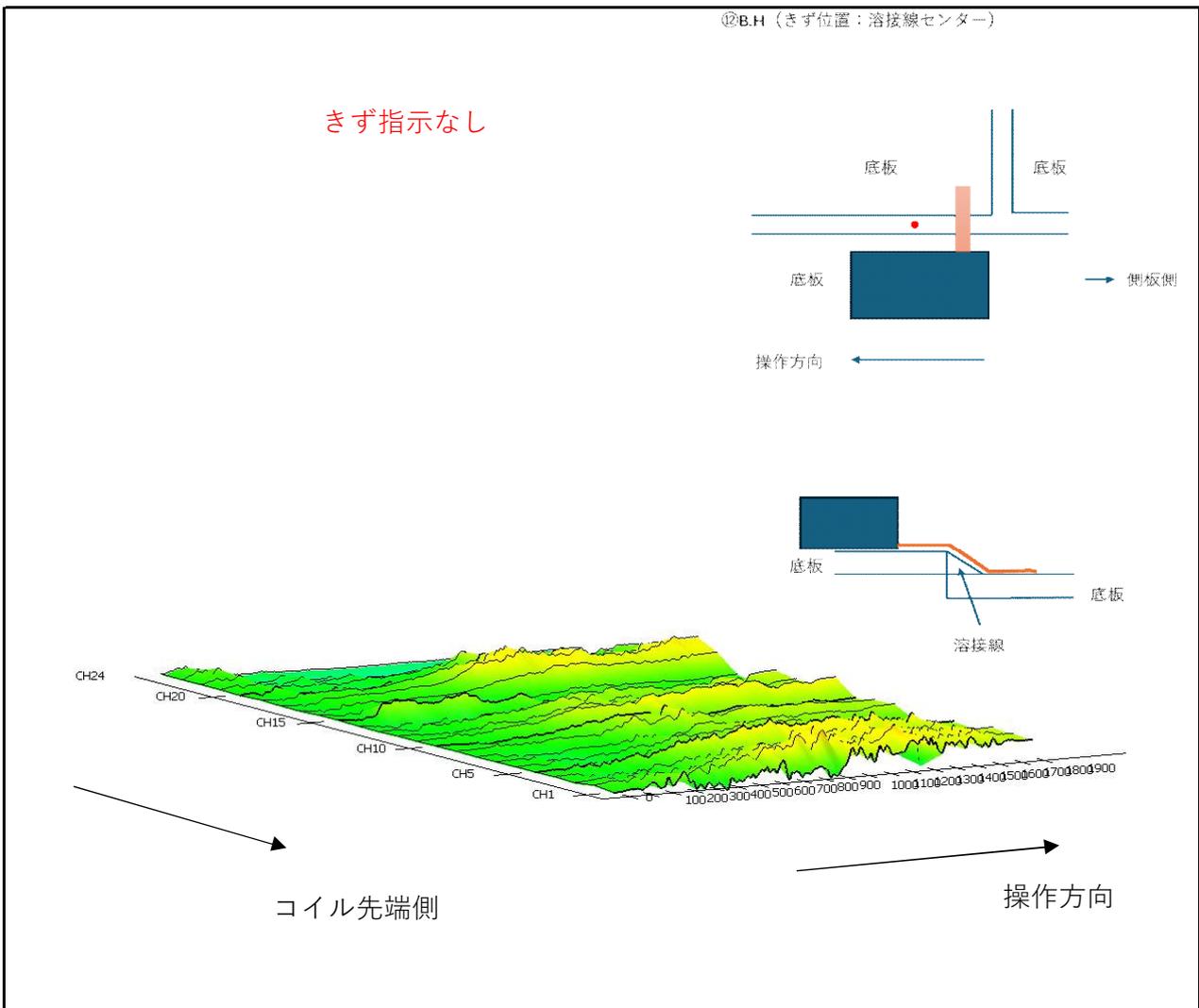
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



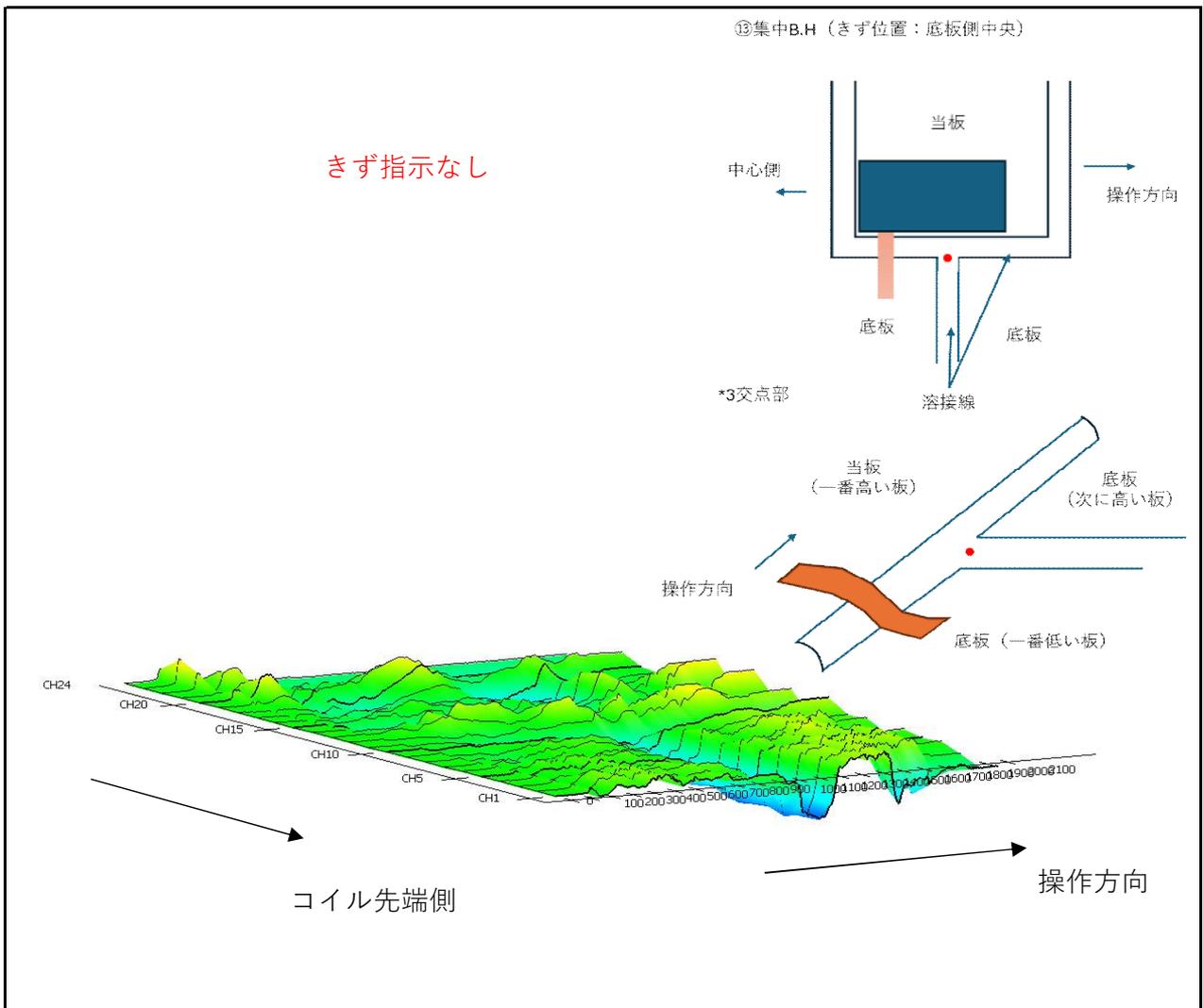
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑬底板相互部	
きず番号/試験番号		⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



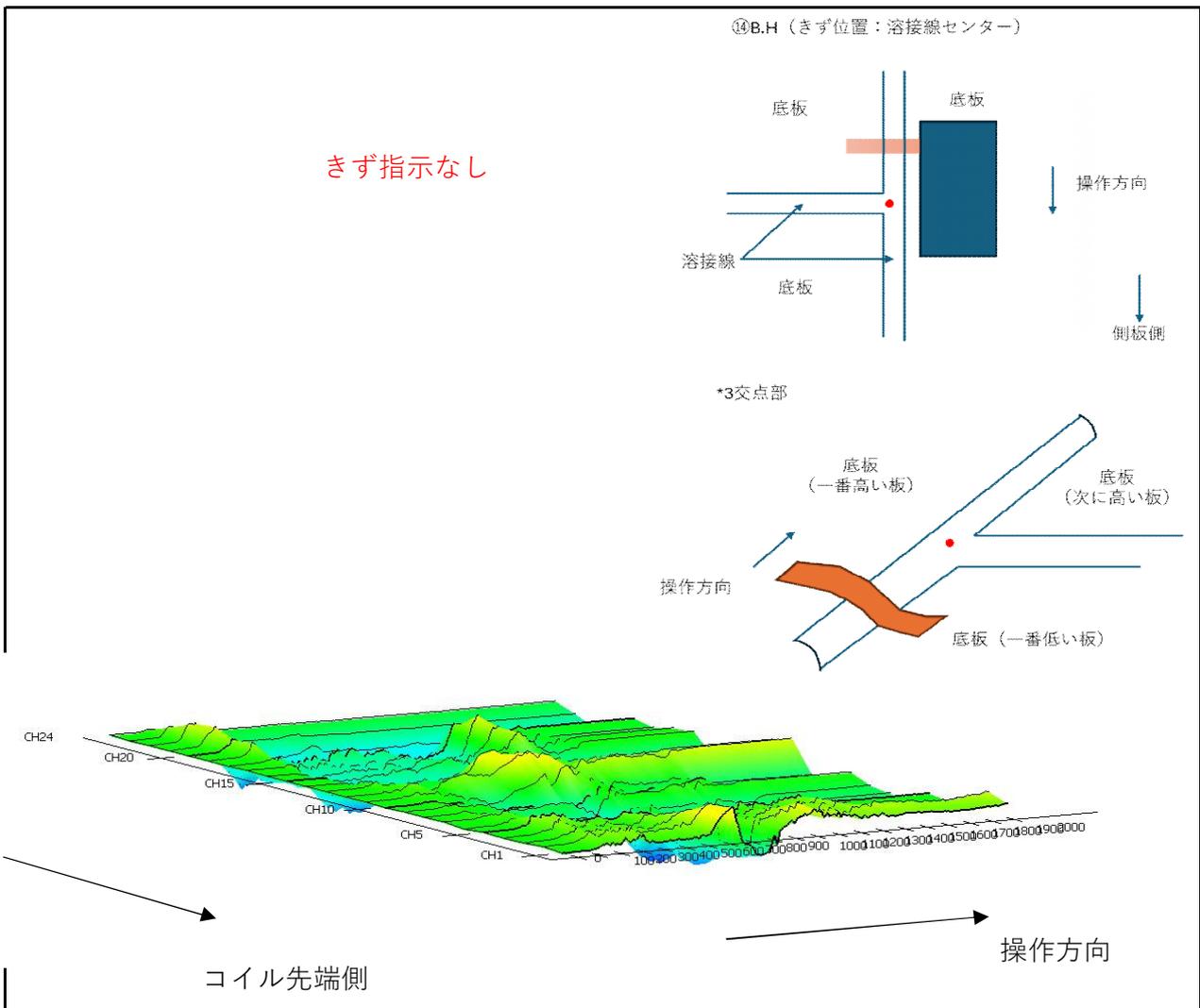
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑭底板相互部	
きず番号/試験番号		⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



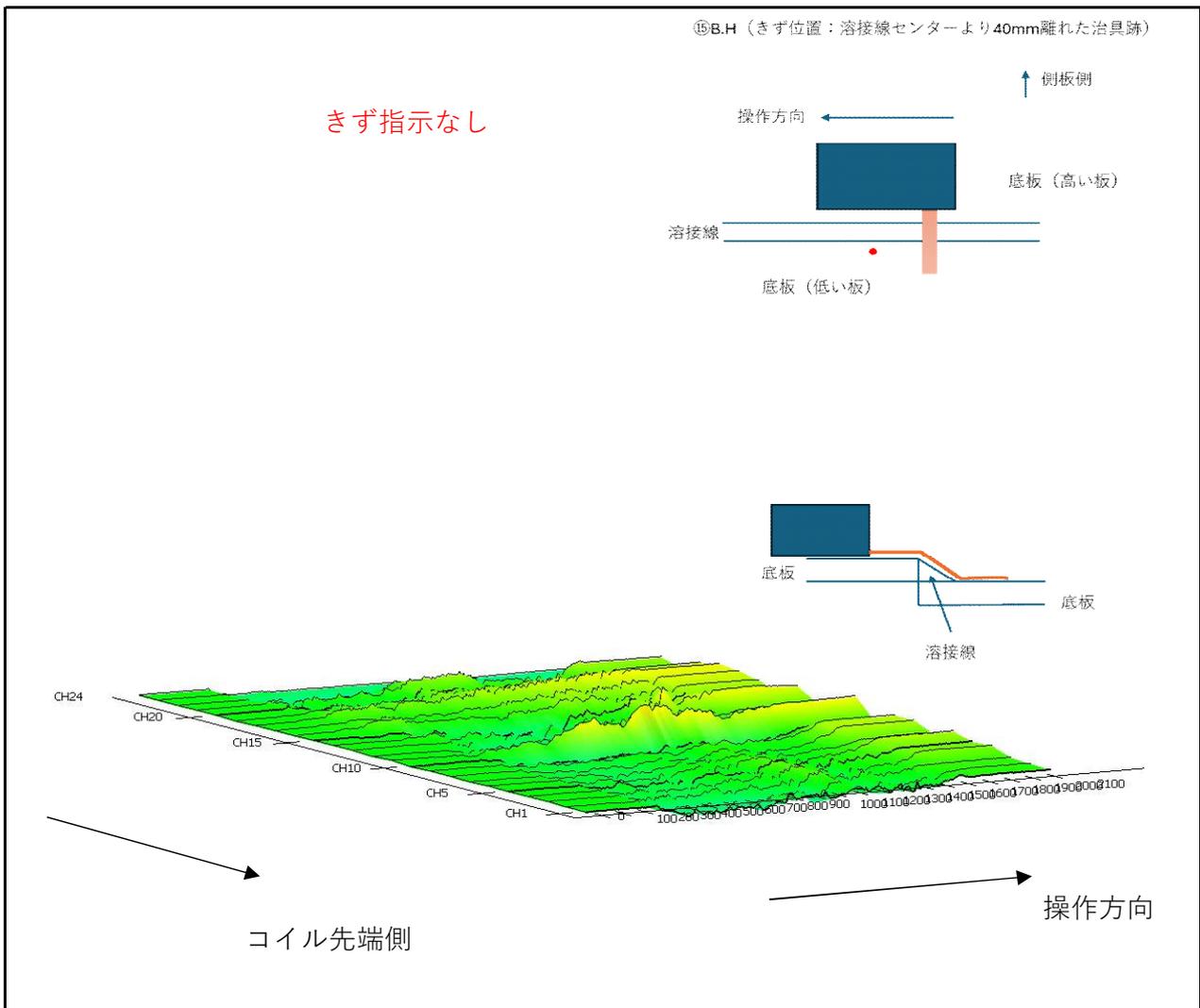
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



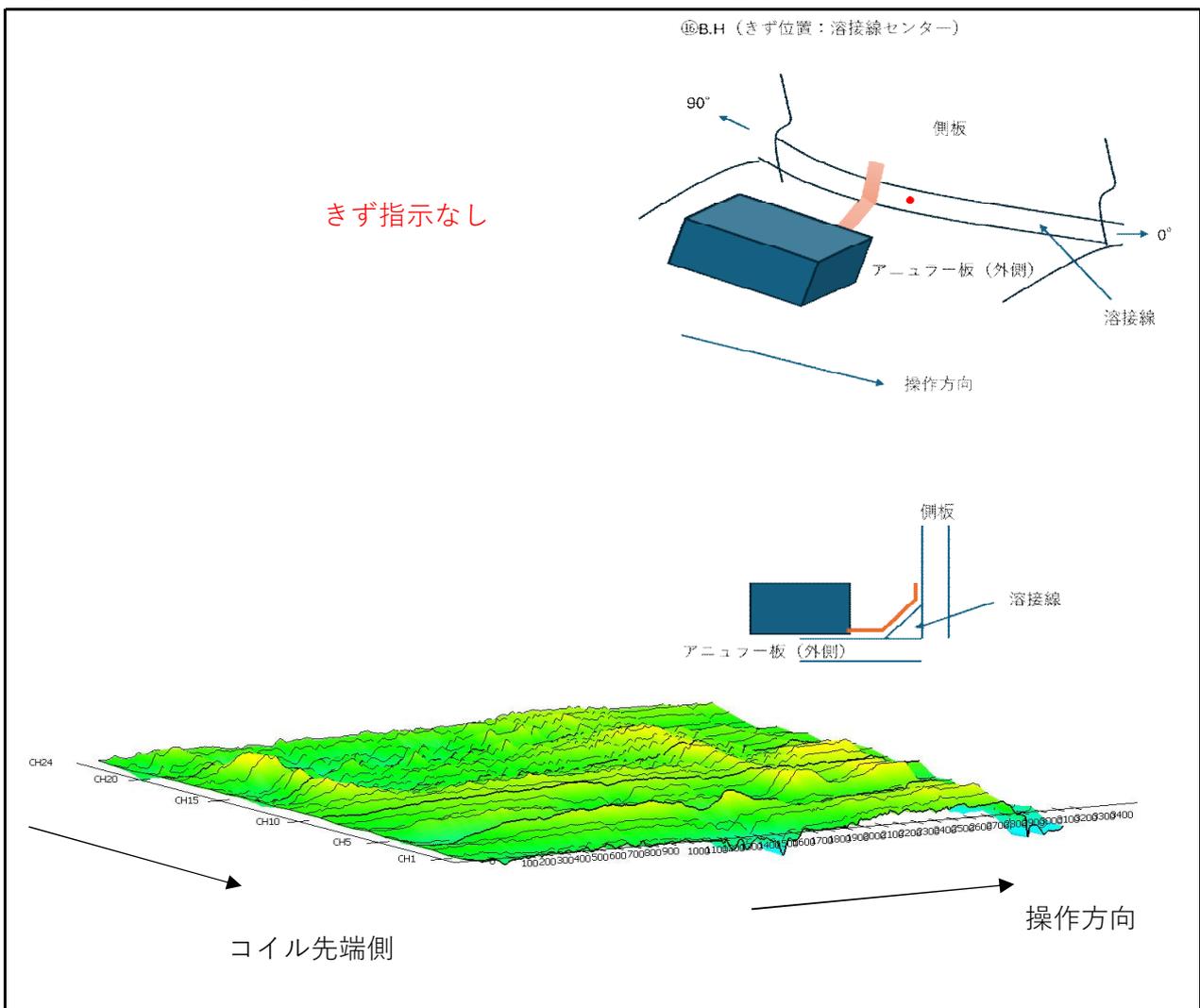
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑩外タライ部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑰外タライ部	
きず番号/試験番号		⑰	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査実施せず

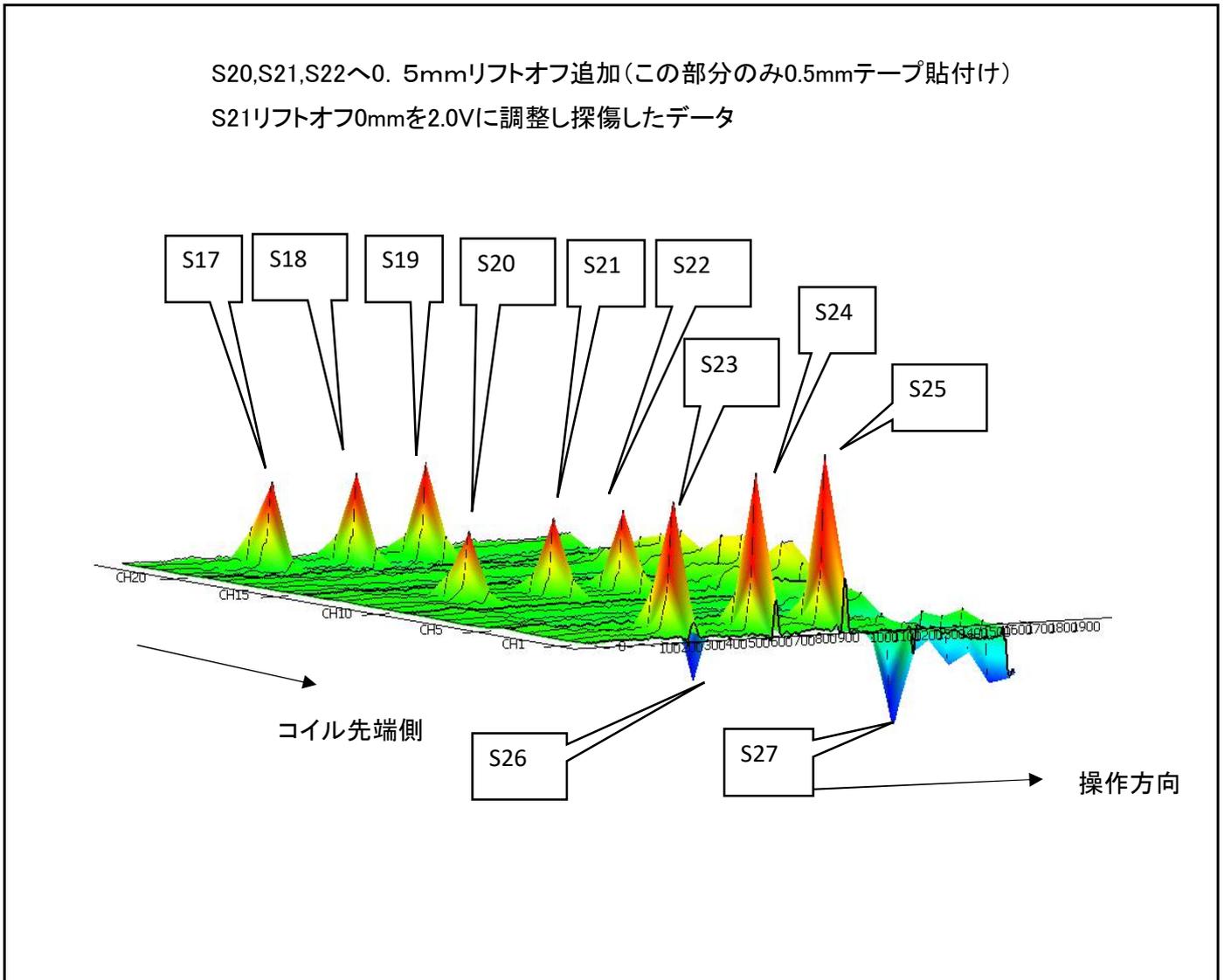
16万KL級タンク現地試験記録 校正結果データ

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21きず (4.0mmL * 0.5mmW * 1.5mmD) 2.0(Y振幅)
コーティング厚さ	0.5 mm(S20,S21,S22)

試験記録

試験部位		対比試験片 SM400	
きず番号/試験番号		S21	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	0.612	0.065
	V _y (Transe)	1.157	0.012
	SQRT(V _x ² +V _y ²)	1.309	0.066
SN比	(dB)	25.934	

試験データ(きず番号毎に、データを張り付けてください。)



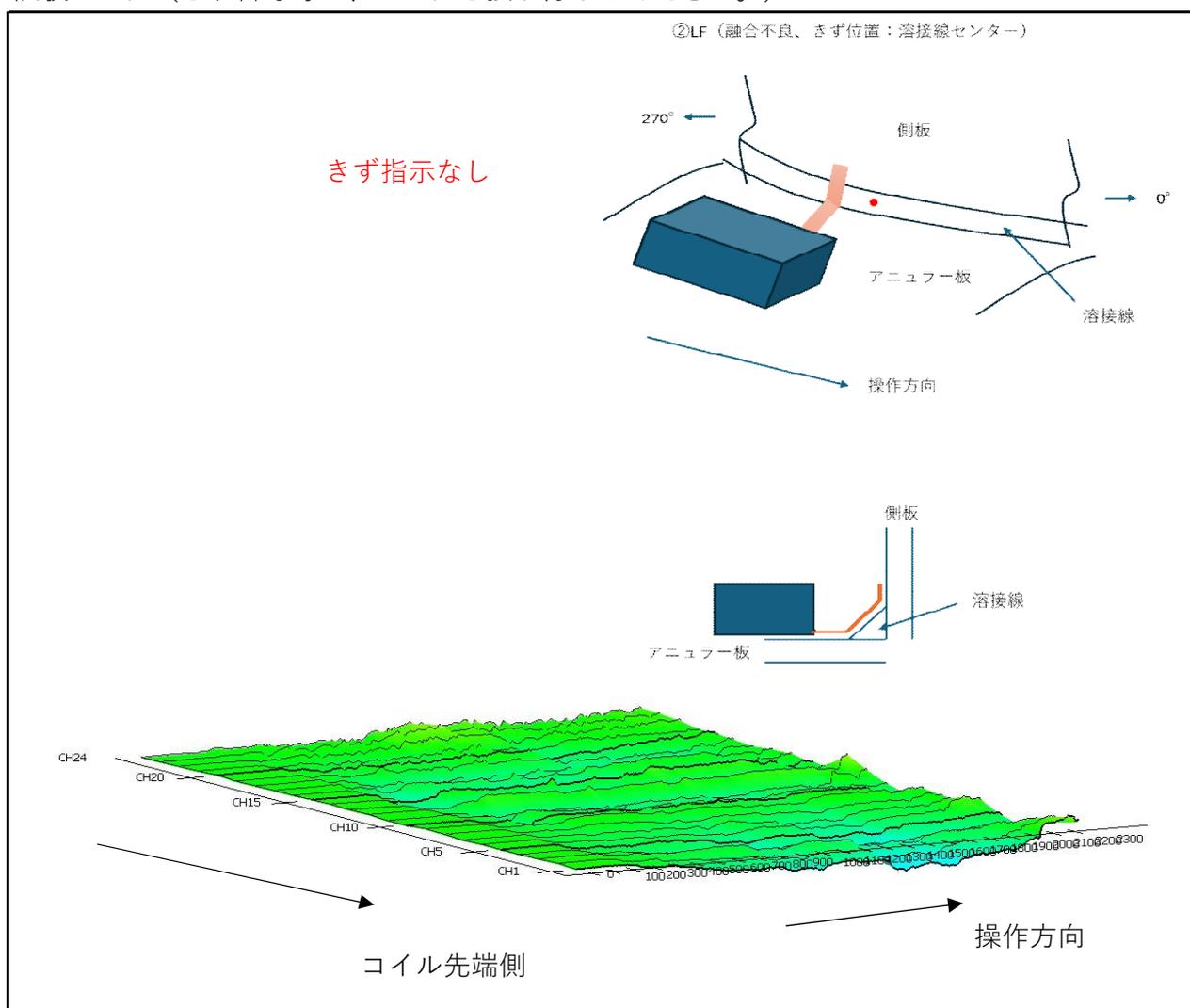
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



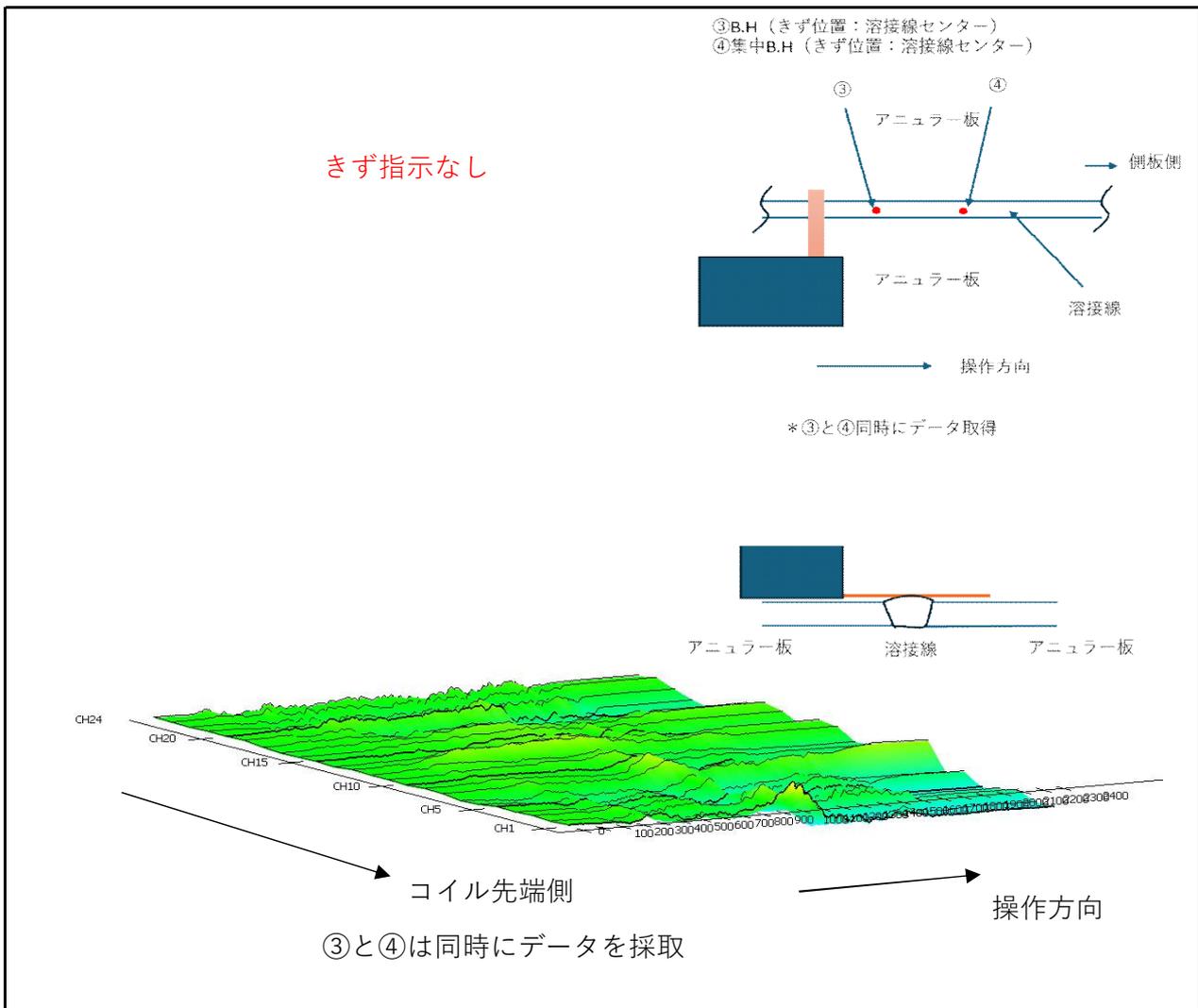
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		③アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		③	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



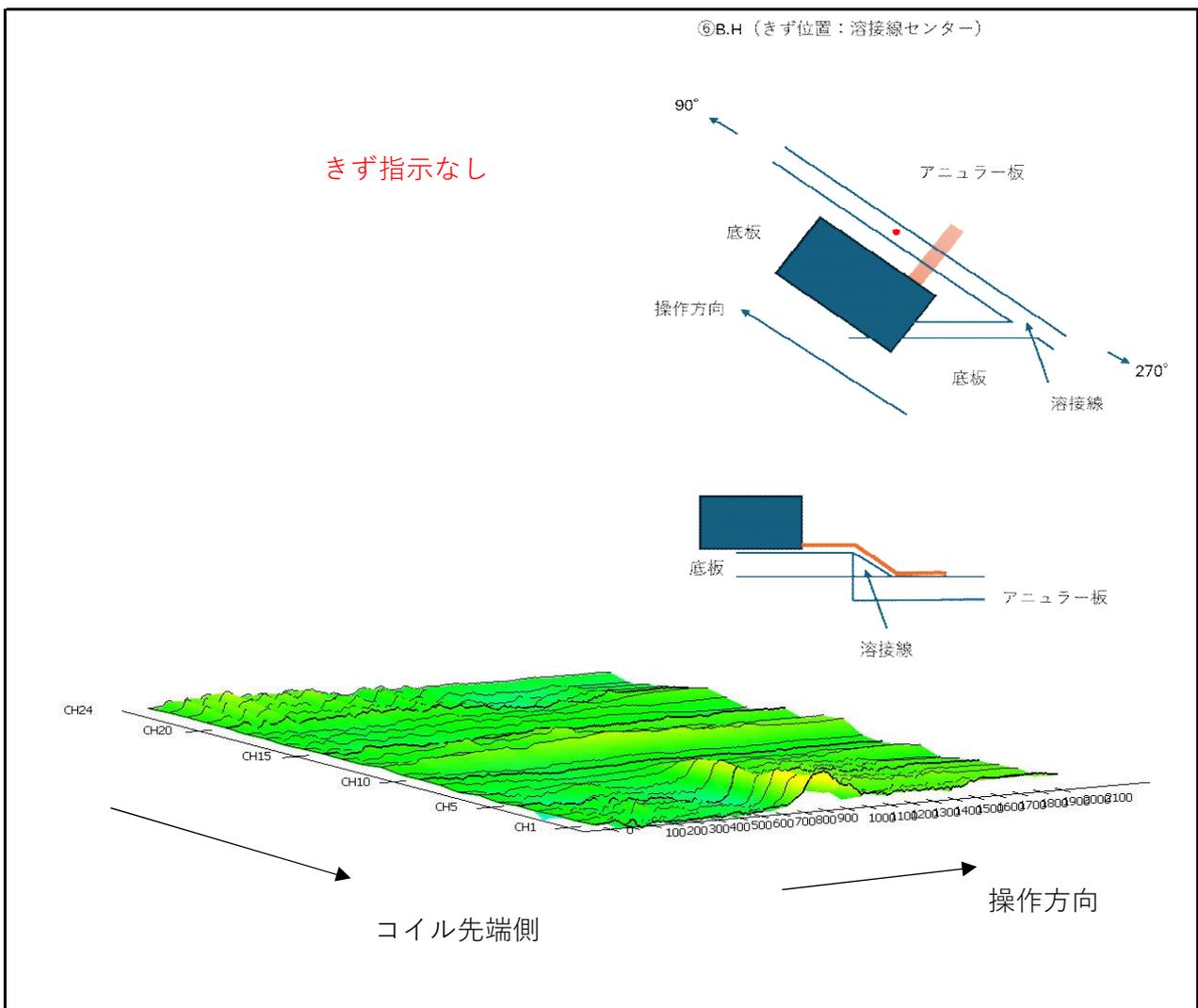
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑥亀甲部	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



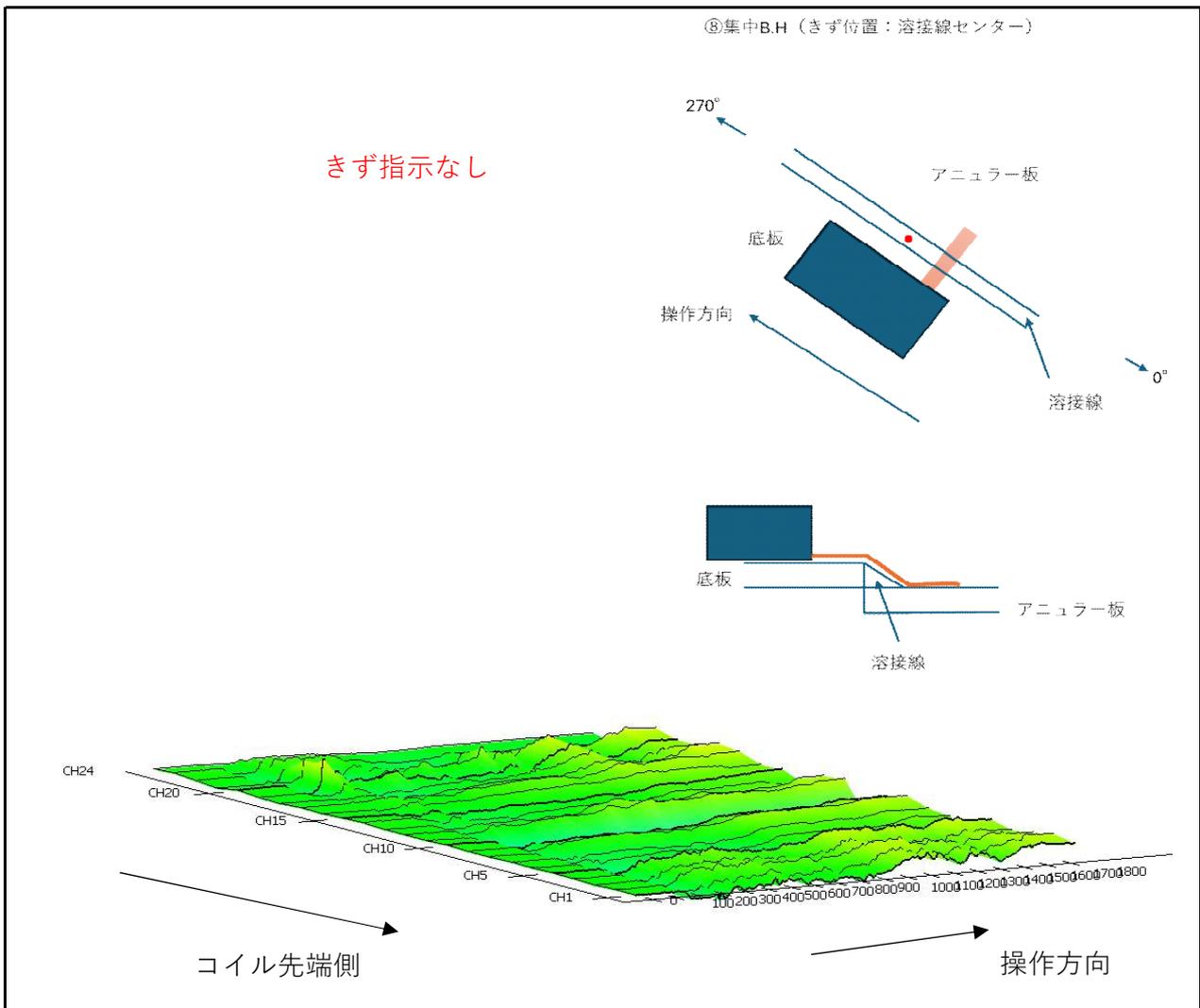
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑧亀甲部	
きず番号/試験番号		⑧	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



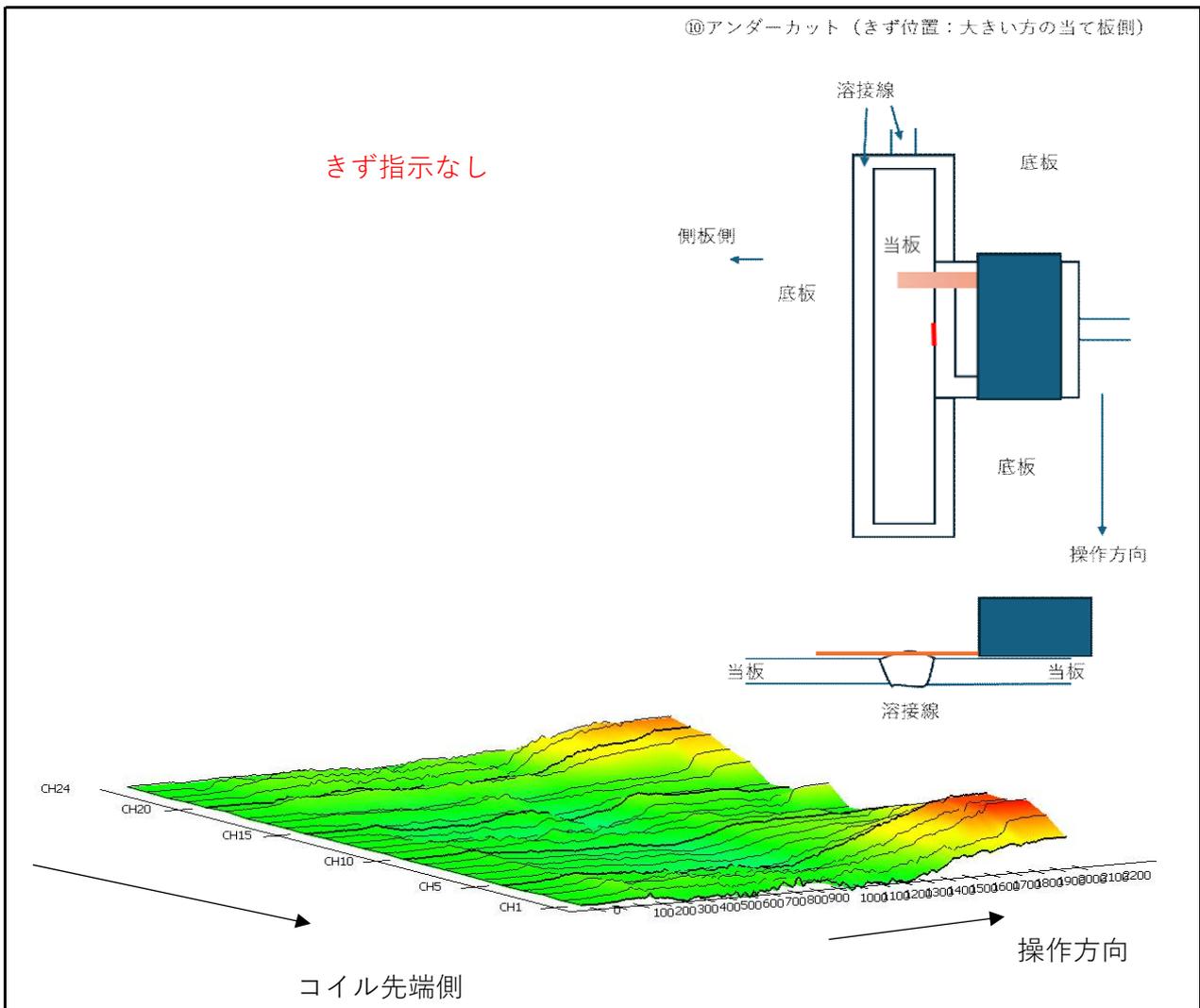
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



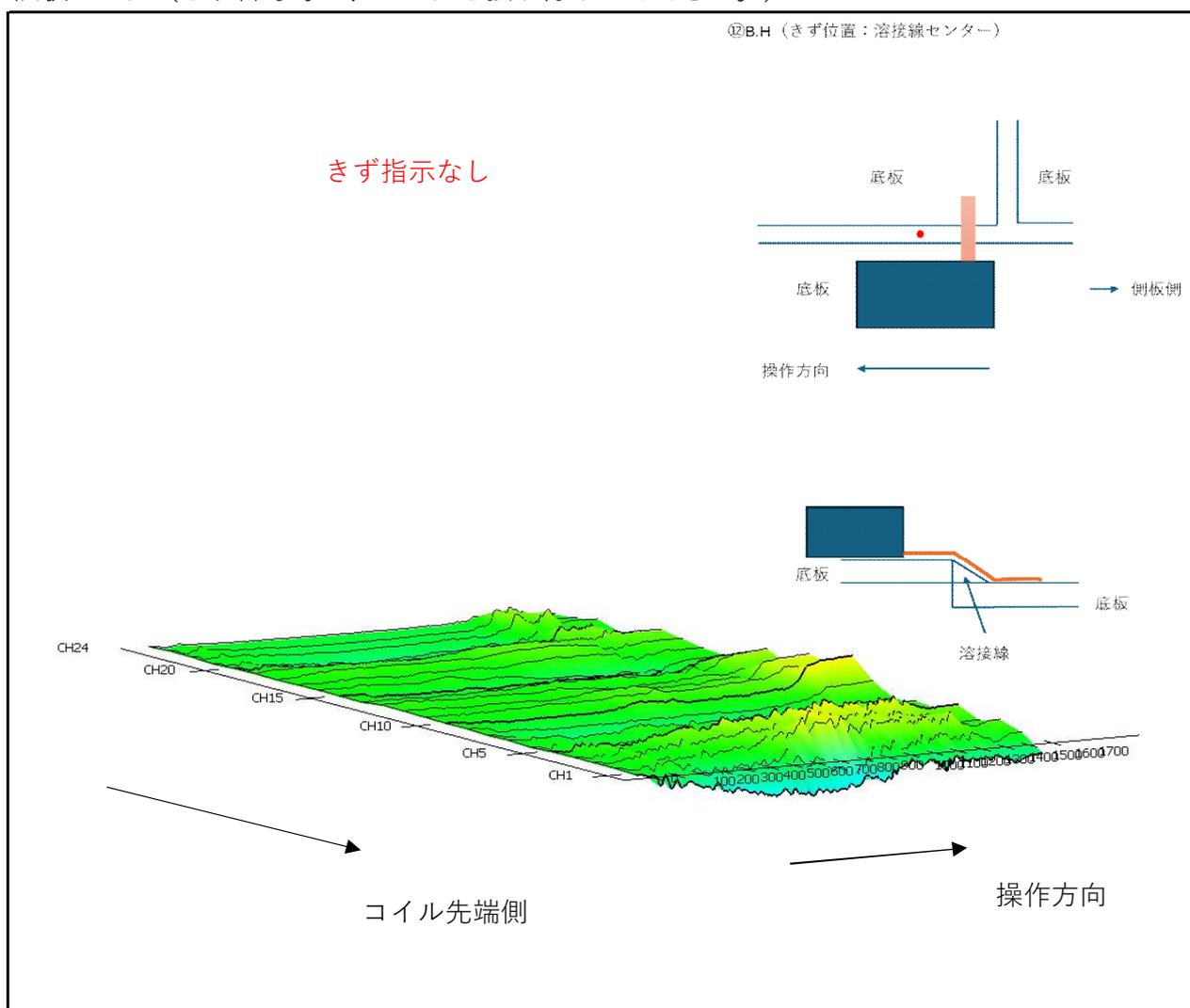
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



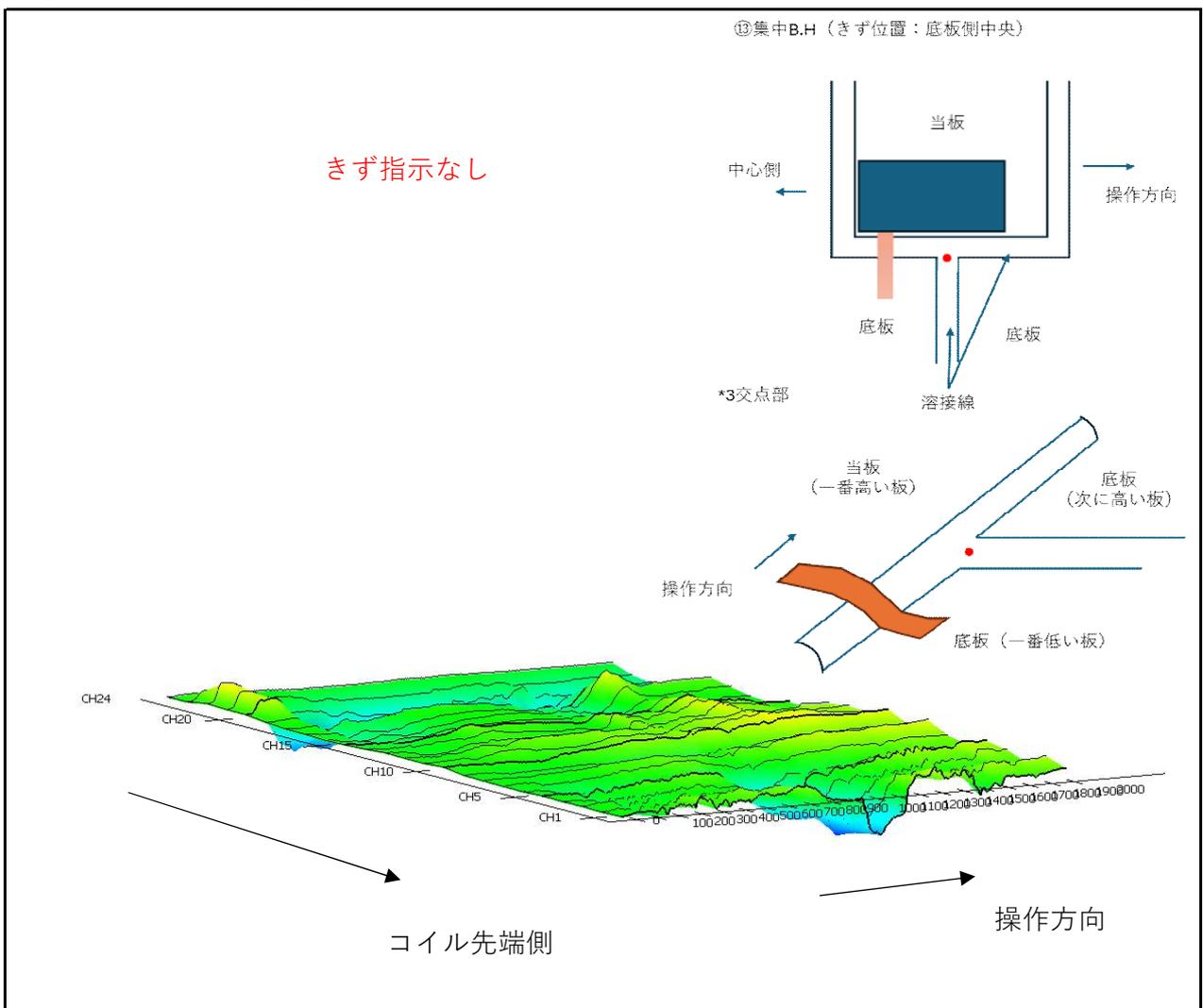
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑬底板相互部	
きず番号/試験番号		⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



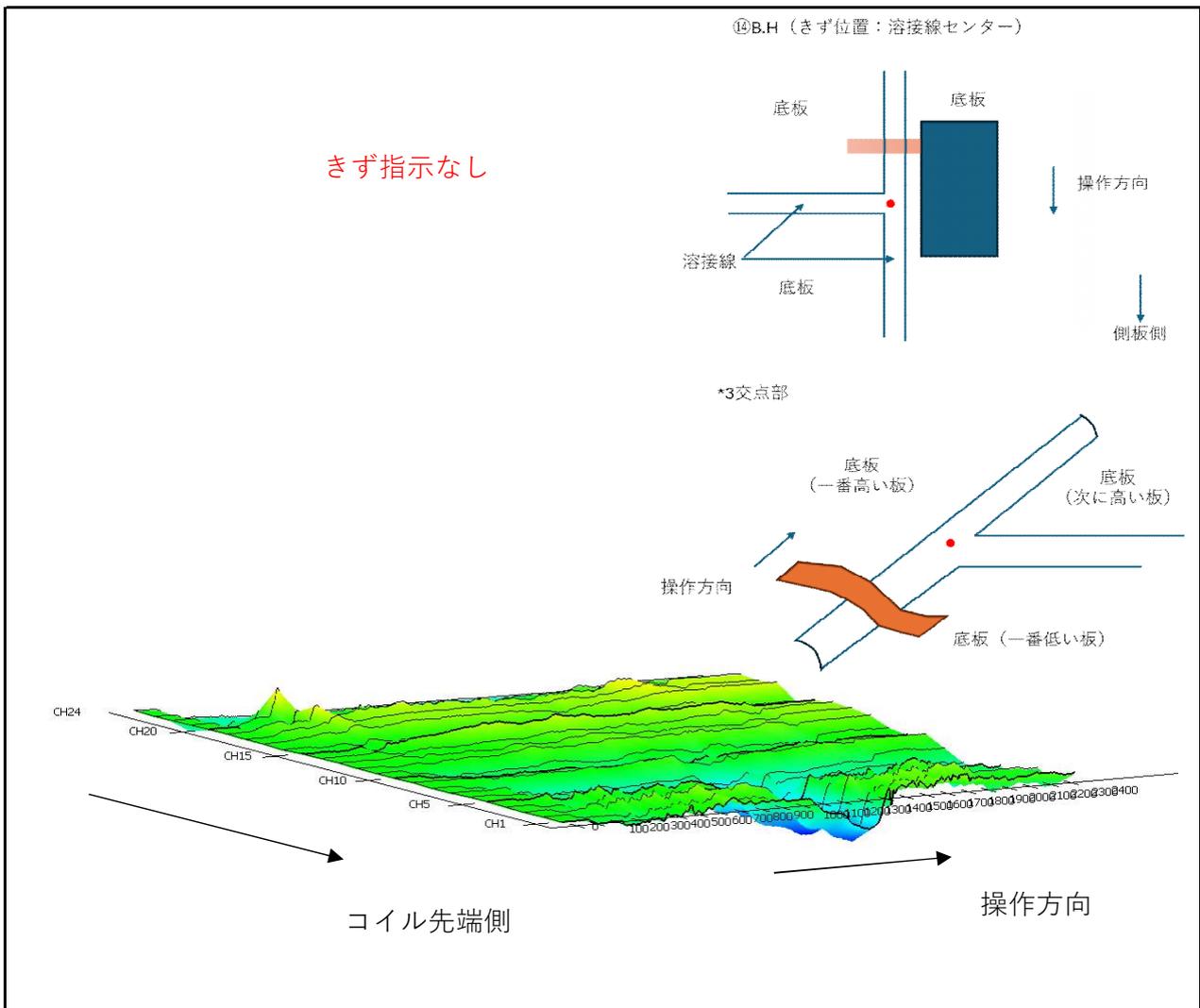
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑭底板相互部	
きず番号/試験番号		⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)		
	V_Y (Transe)		
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



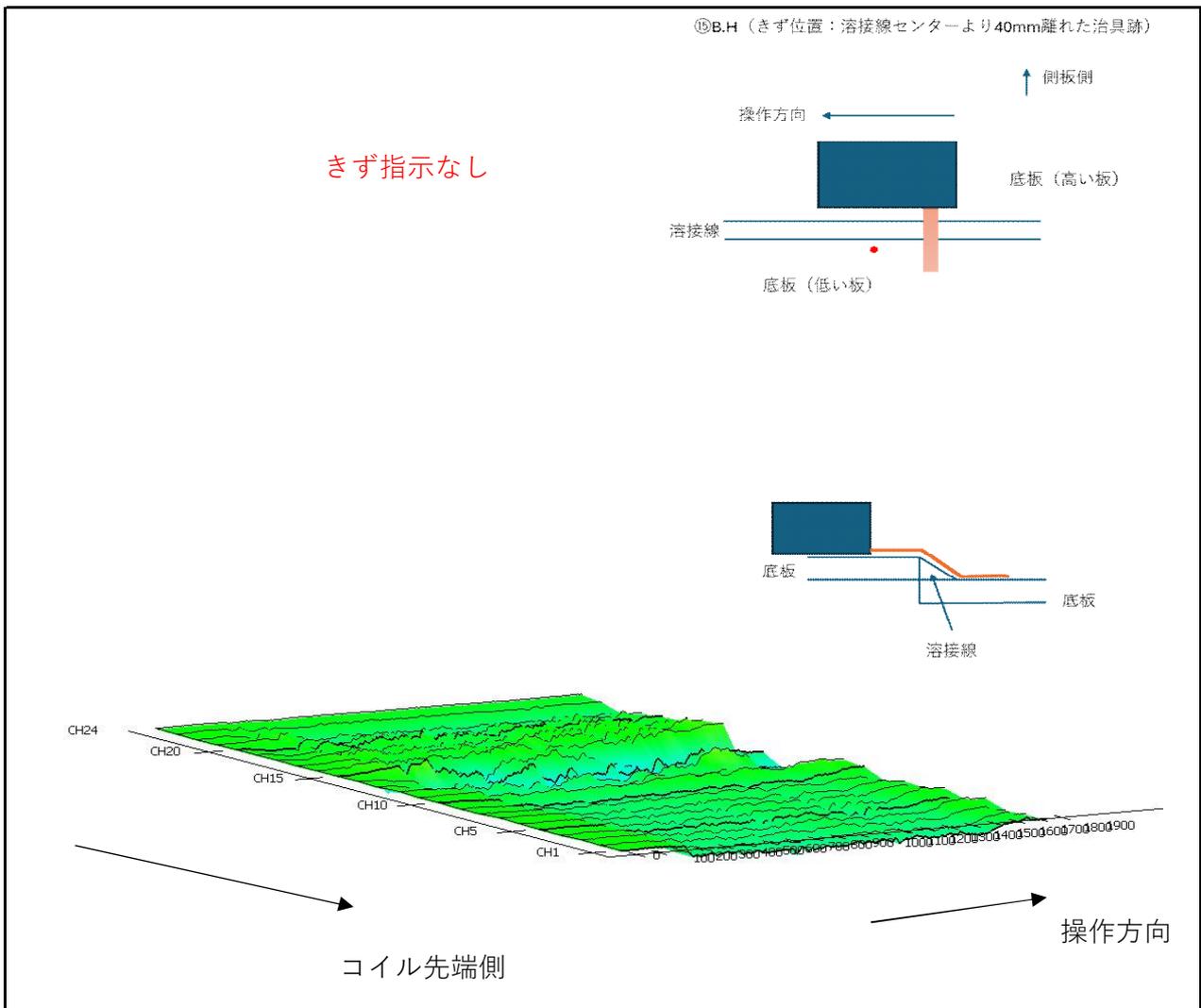
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を 0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



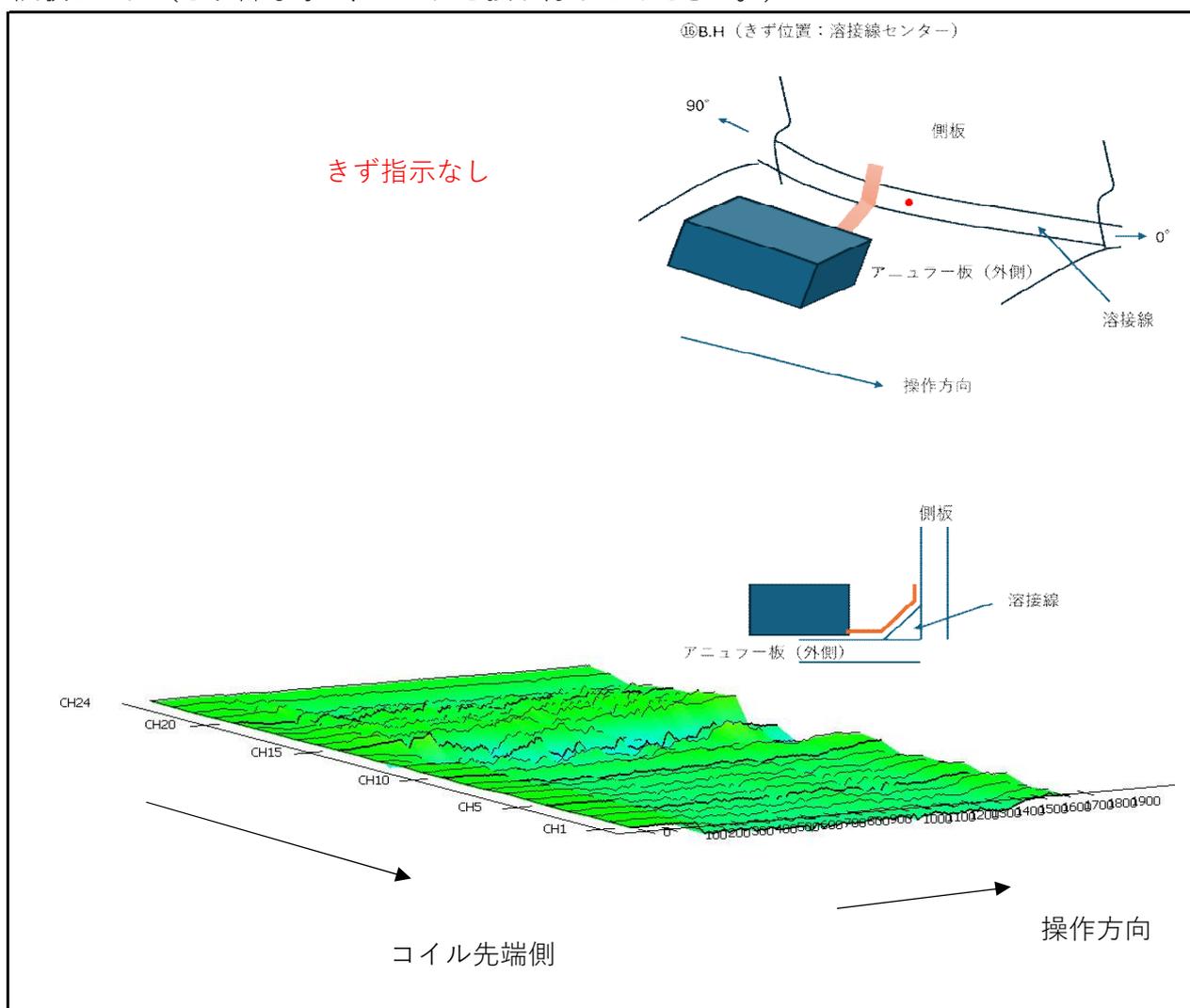
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑩外タライ部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21基準きずをY振幅 2.0V リフトオフ 0° 方向
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		⑰外タライ部	
きず番号/試験番号		⑰	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査なし

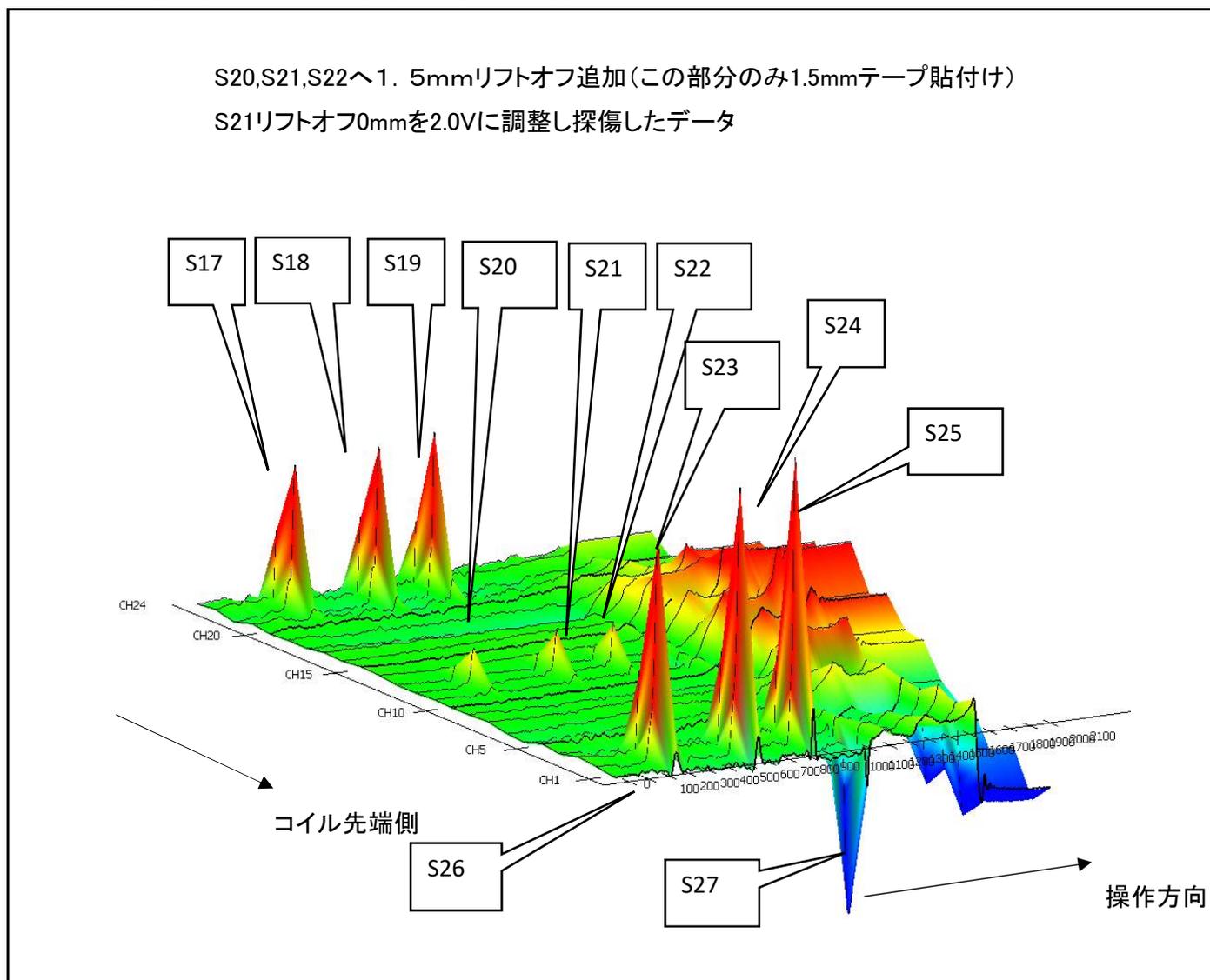
16万KL級タンク 現地試験記録 校正結果データ

試験チーム	F
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	リフトオフ信号を0° 方向
探傷感度	S21きず (4.0mmL * 0.5mmW * 1.5mmD) 2.0(Y振幅)
コーティング厚さ	1.5 mm(S20,S21,S22)

試験記録

試験部位	対比試験片 SM400		
きず番号/試験番号	S21	ノイズ	
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.278	0.085
	V_y (Transe)	0.367	0.016
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.460	0.086
SN比	(dB)	14.523	

試験データ(きず番号毎に、データを張り付けてください。)



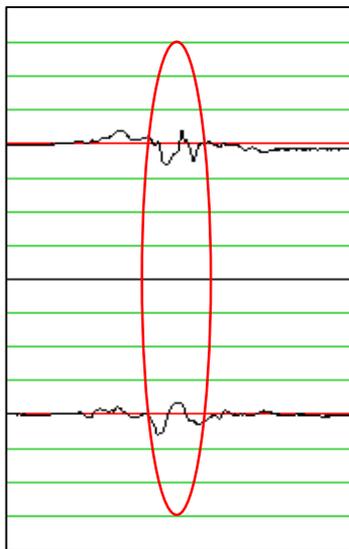
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

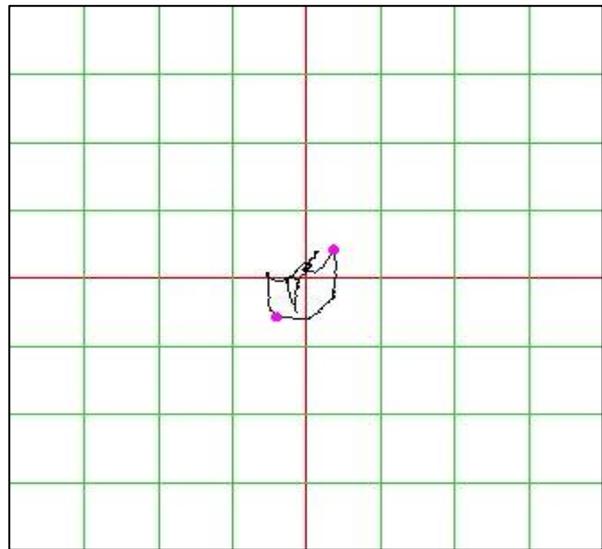
試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600	200
SN比	(dB)	9.5	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

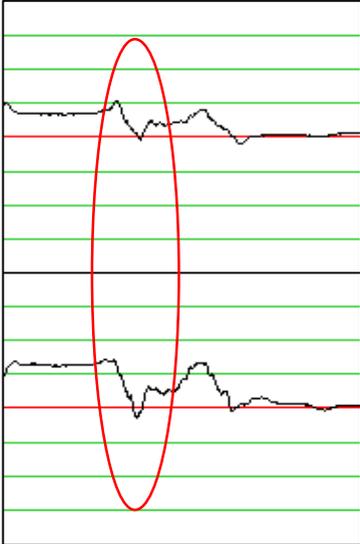
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

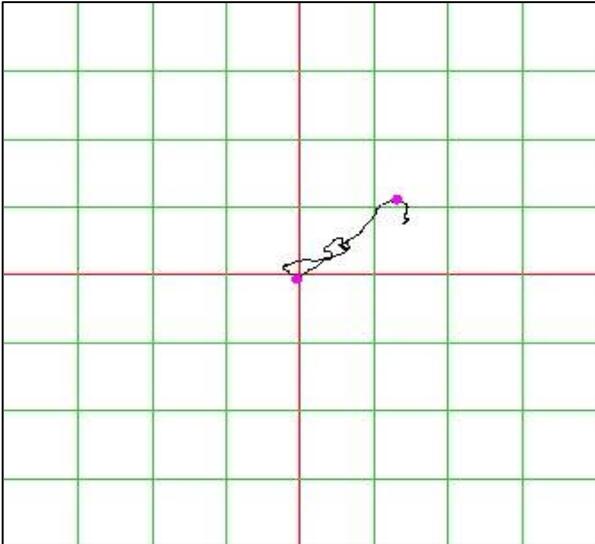
試験記録

試験部位	②内タライ部	
きず番号/試験番号	②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1000
SN比	(dB)	1.9

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

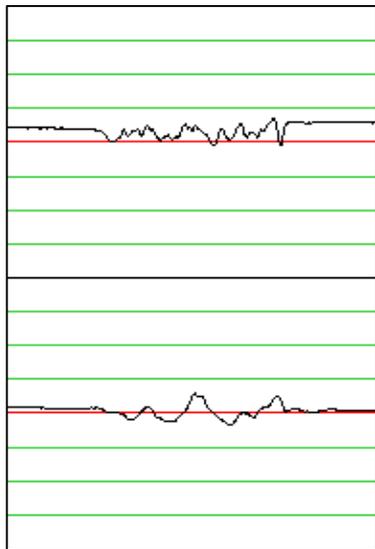
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位	③アニュラ相互部	
きず番号/試験番号	③	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

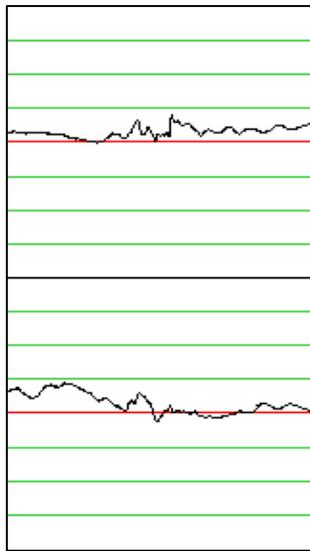
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位	④アニュラ相互部	
きず番号/試験番号	④	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

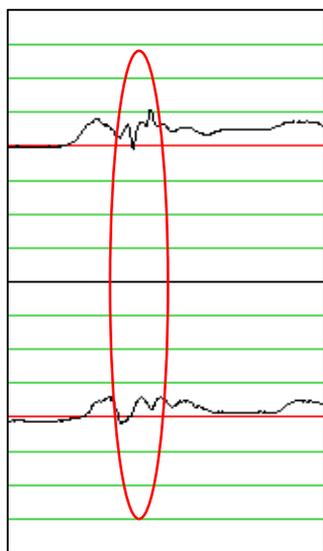
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4 Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

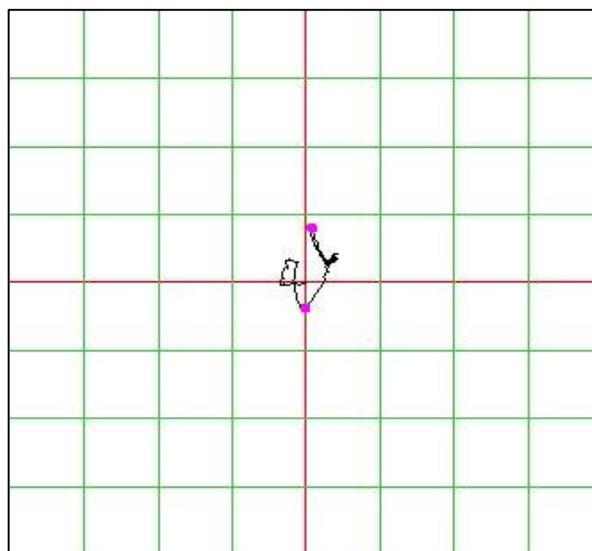
試験記録

試験部位	⑥亀甲部	
きず番号/試験番号	⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600
SN比	(dB)	3.5

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	3

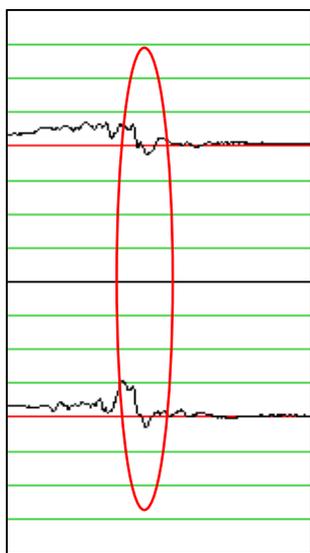
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

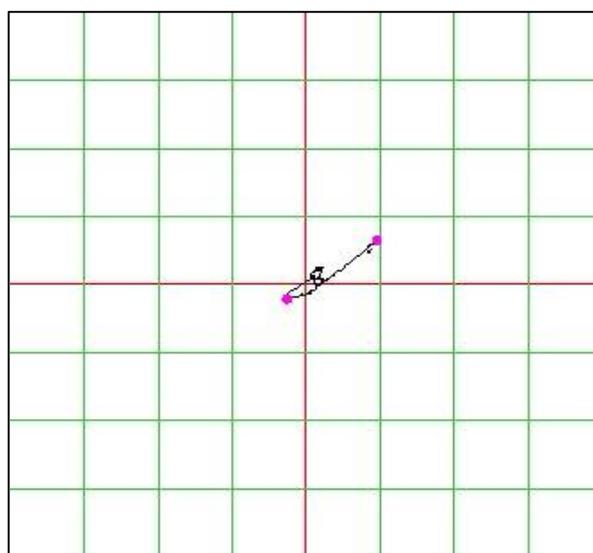
試験記録

試験部位	⑧亀甲部		
きず番号/試験番号	⑧	ノイズ	
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	700	500
SN比	(dB)	2.9	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	10

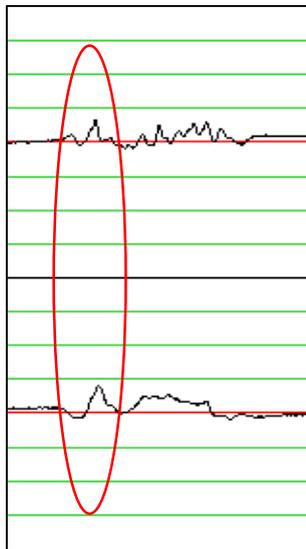
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4 Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

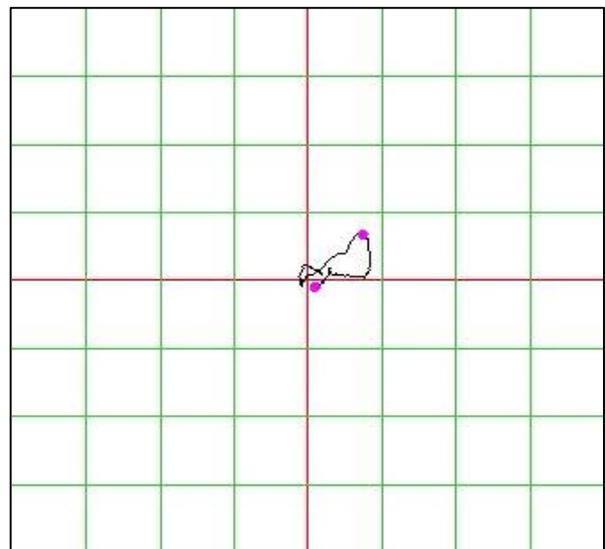
試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600	400
SN比	(dB)	3.5	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	2

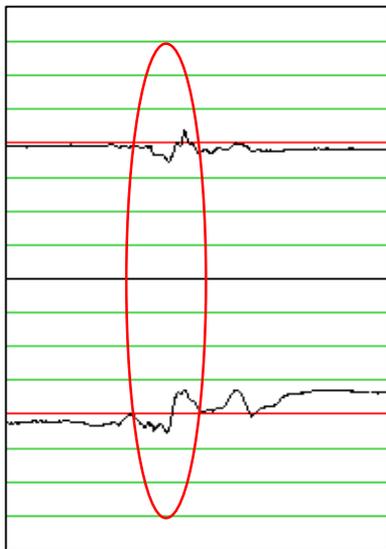
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

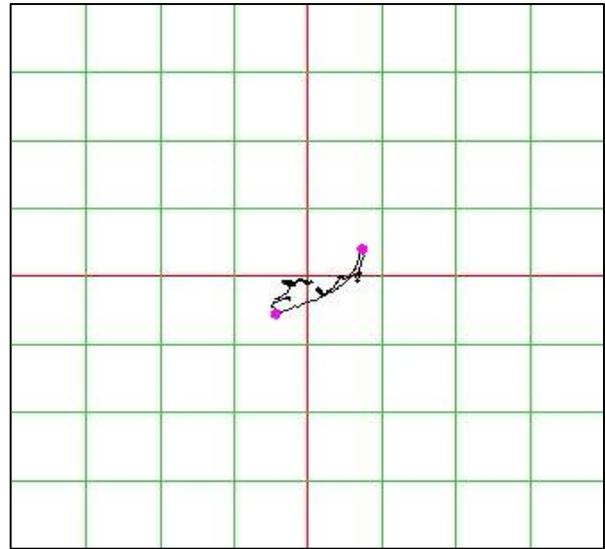
試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	700	500
SN比	(dB)	2.9	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	4

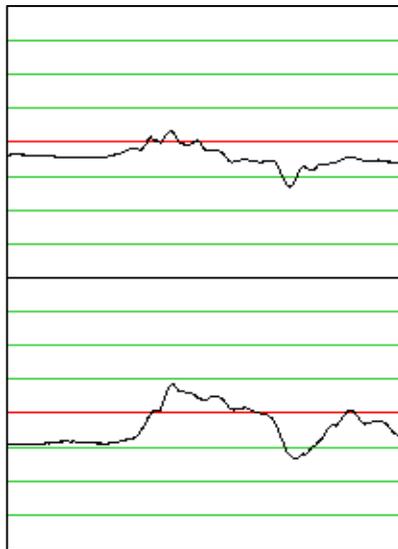
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位	⑬底板相互部	
きず番号/試験番号	⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

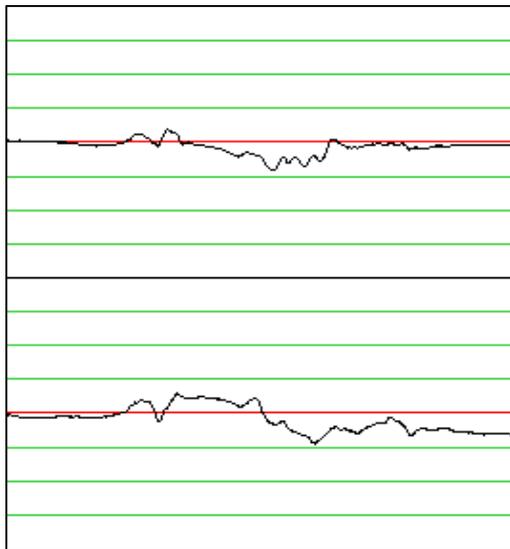
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位	⑭底板相互部	
きず番号/試験番号	⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

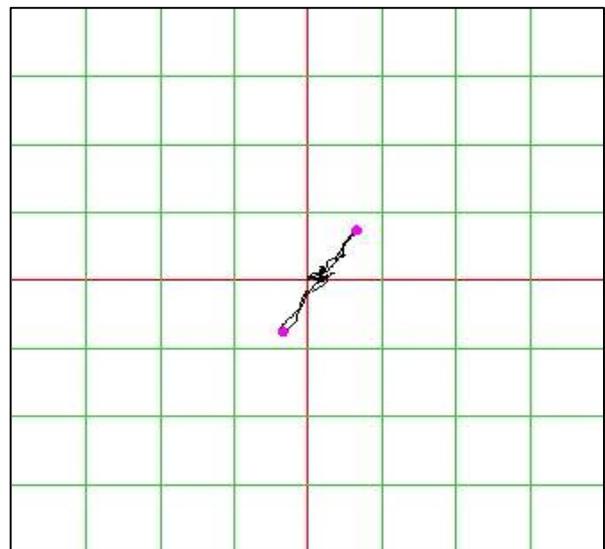
試験記録

試験部位	⑮底板相互部		
きず番号/試験番号	⑮	ノイズ	
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	900	500
SN比	(dB)	5.1	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	15

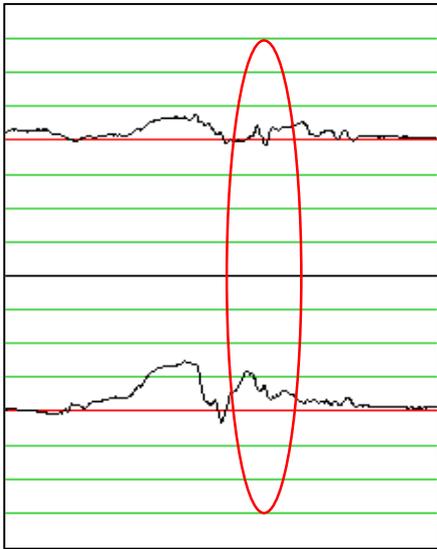
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39dB)
コーティング厚さ	0 mm

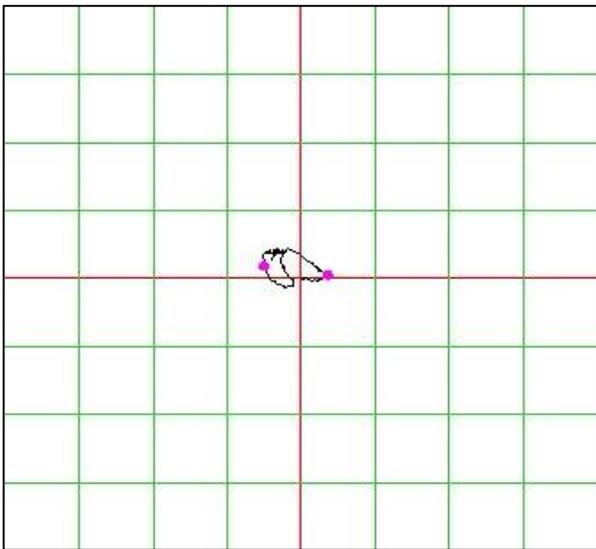
試験記録

試験部位		⑩外タライ部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	300
SN比	(dB)	4.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	4

ノイズは、きず信号近傍とした

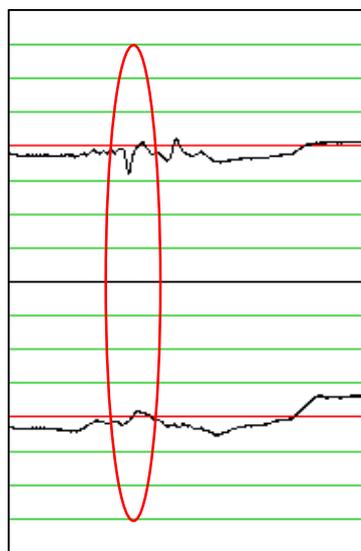
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

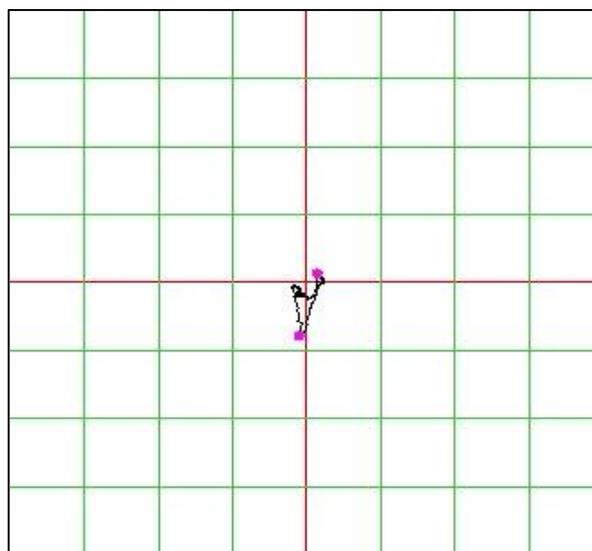
試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	300
SN比	(dB)	4.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

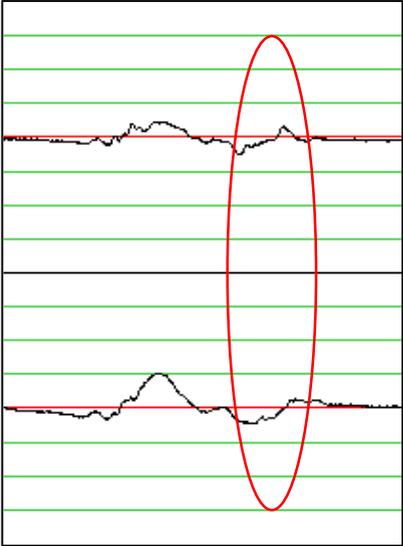
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

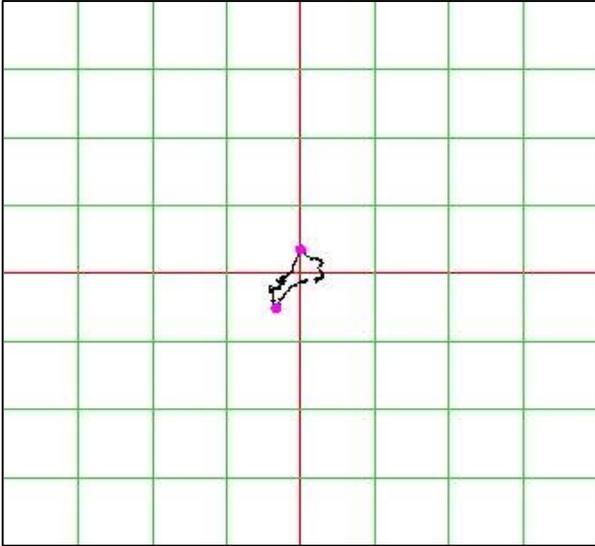
試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	500
SN比	(dB)	0.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

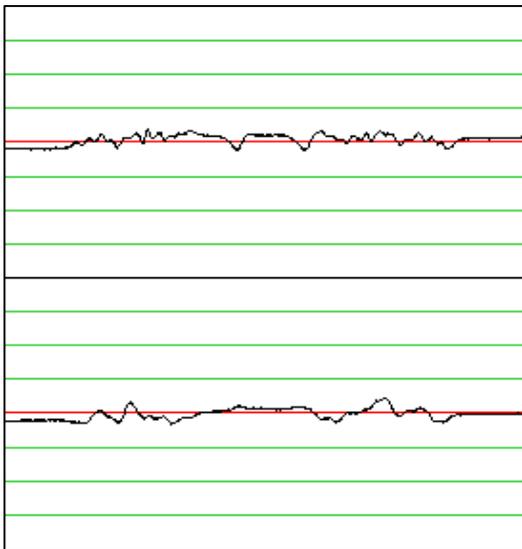
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	③アニュラ相互部	
きず番号/試験番号	③	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

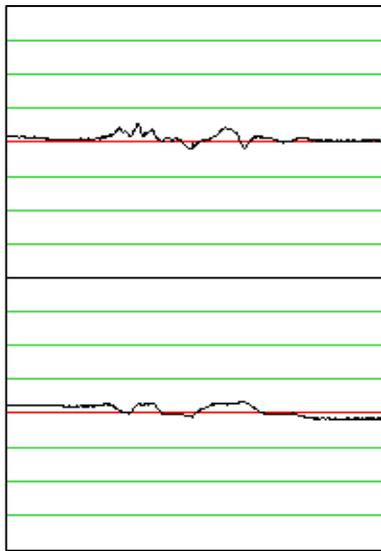
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	④アニュラ相互部	
きず番号/試験番号	④	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

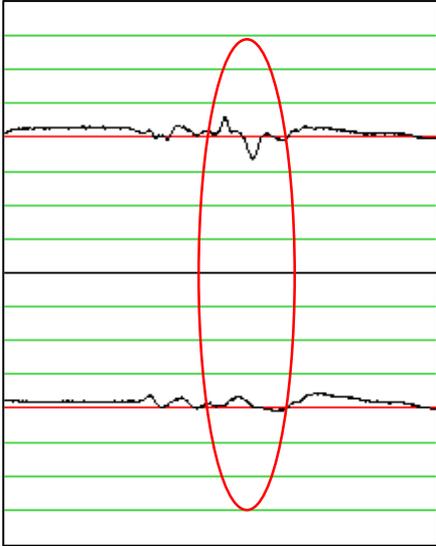
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

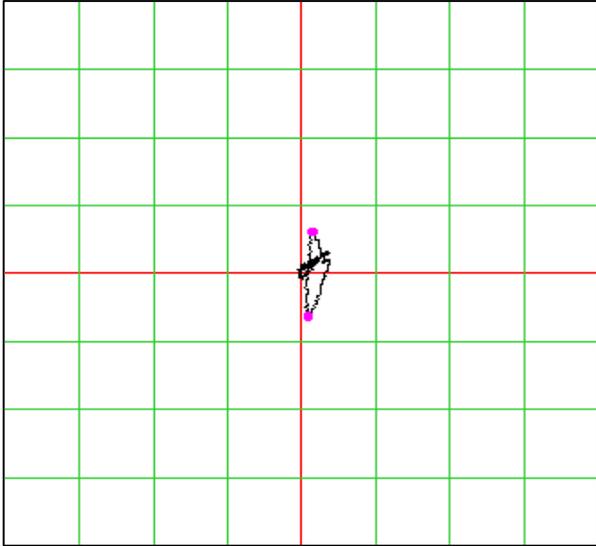
試験記録

試験部位		⑥ 亀甲部	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600	200
SN比	(dB)	9.5	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	8

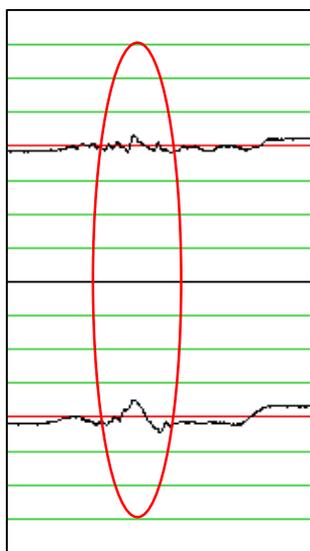
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

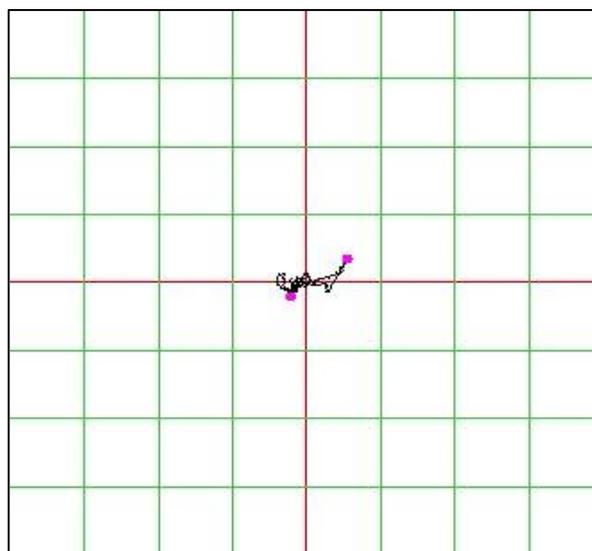
試験記録

試験部位		⑧亀甲部	
きず番号/試験番号		⑧	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	300
SN比	(dB)	4.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	10

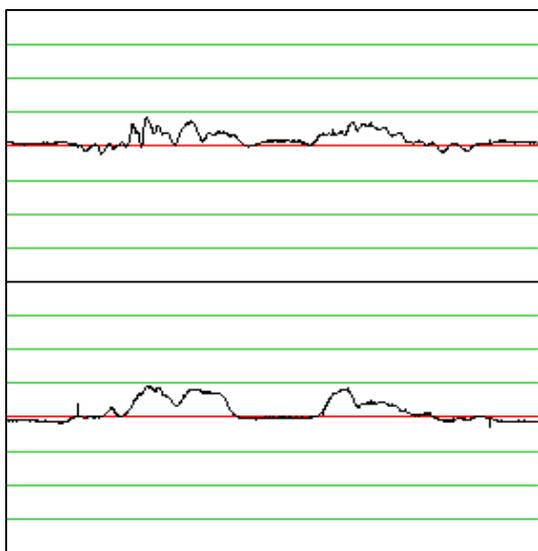
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)	
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

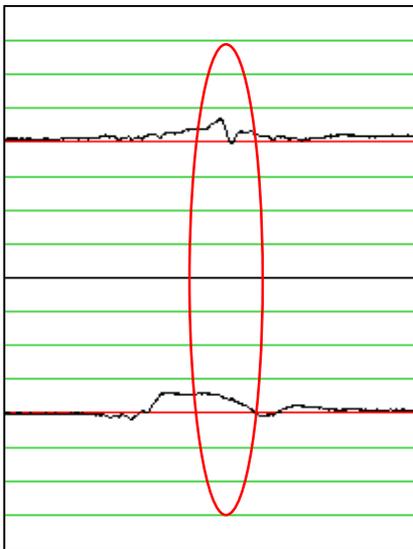
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

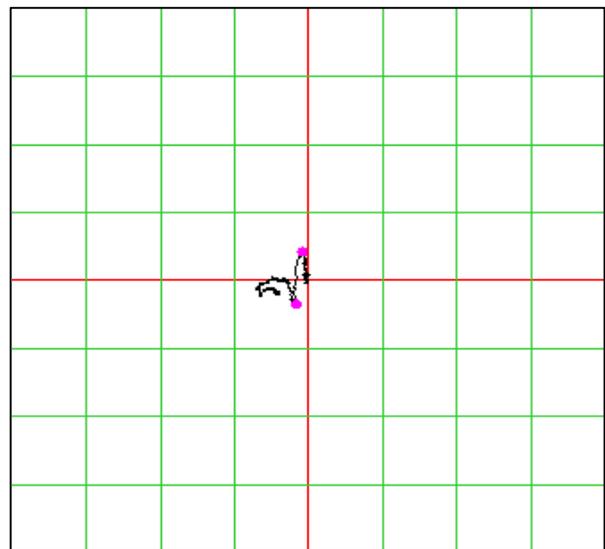
試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	400	200
SN比	(dB)	6.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

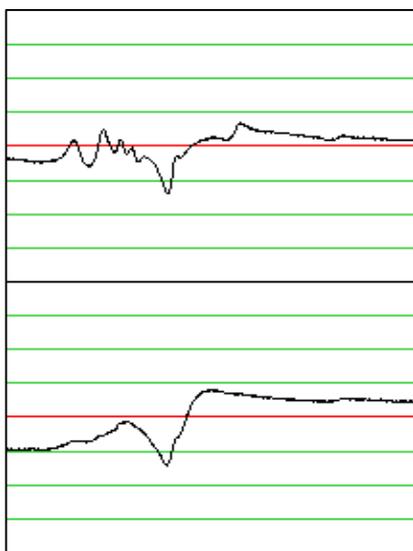
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	⑬底板相互部	
きず番号/試験番号	⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

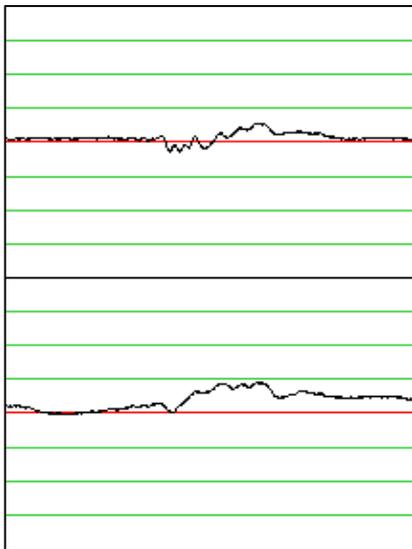
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	⑭底板相互部	
きず番号/試験番号	⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

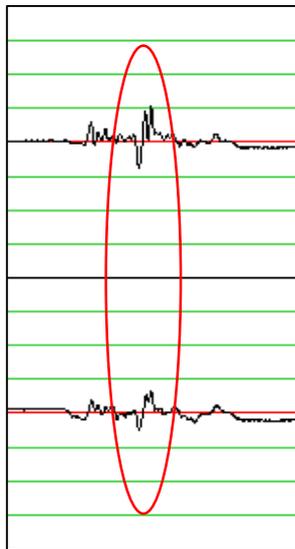
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

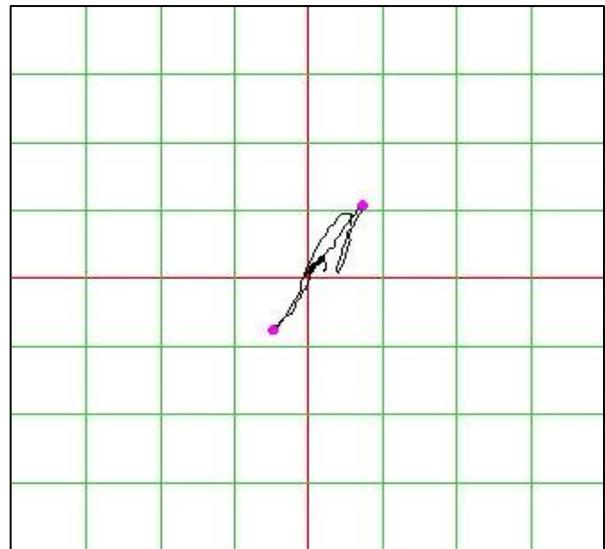
試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1100	400
SN比	(dB)	8.8	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	15

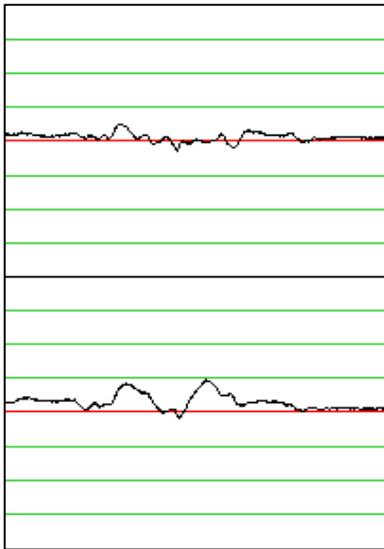
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	⑩外タライ部		
きず番号/試験番号	⑩	ノイズ	
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)	600
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	⑰外タライ部	
きず番号/試験番号	⑰	ノイズ
出力値 (mV)	V_X (Axial)	
	V_Y (Transe)	
	$SQRT(V_X^2 + V_Y^2)$	
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

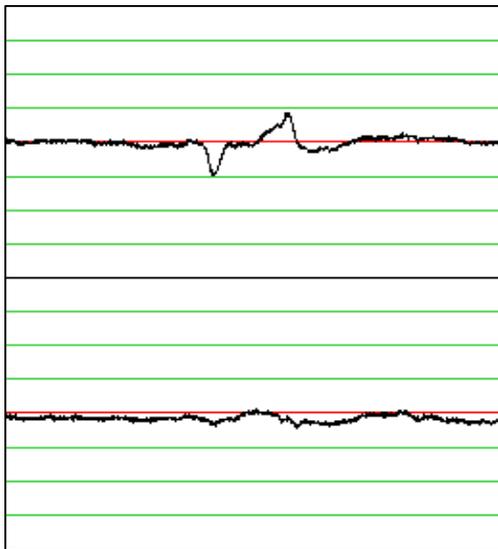
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		①内タライ部	
きず番号/試験番号		①	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)	
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

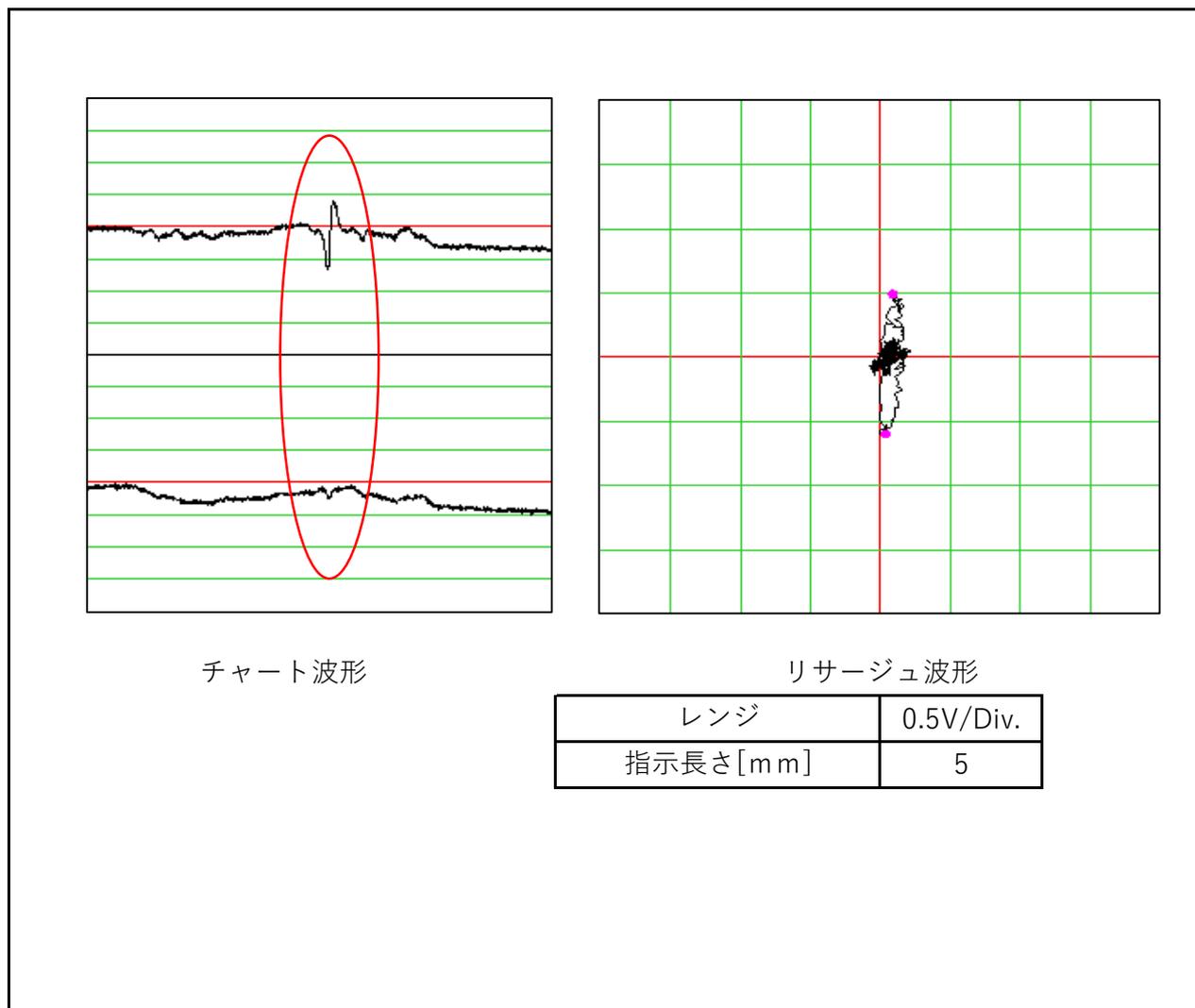
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		②内タライ部	
きず番号/試験番号		②	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1100	300
SN比	(dB)	11.3	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



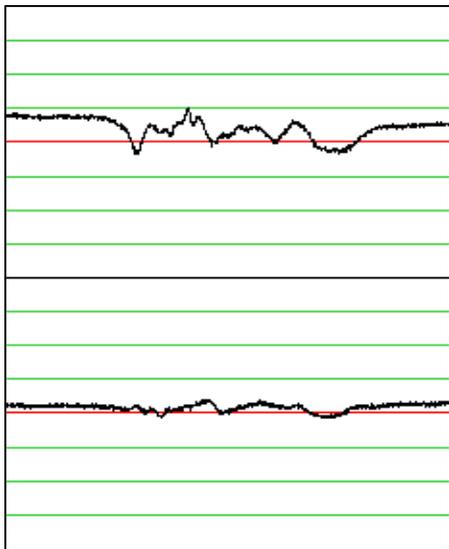
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	③アニュラ相互部	
きず番号/試験番号	③	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

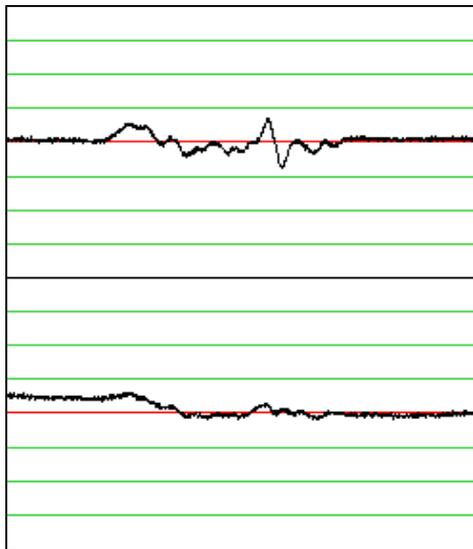
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	④アニュラ相互部	
きず番号/試験番号	④	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

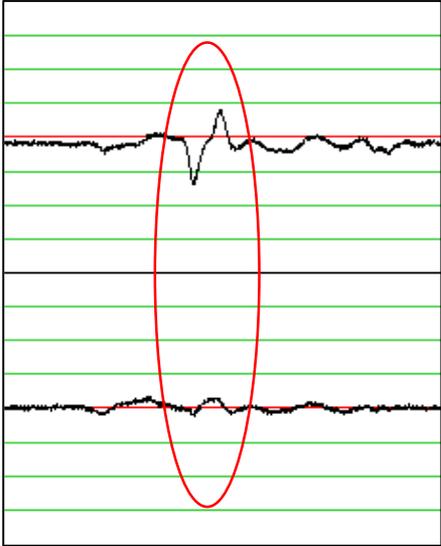
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

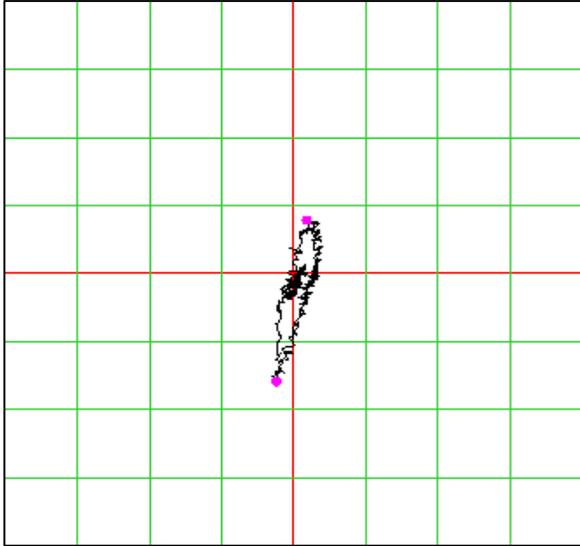
試験記録

試験部位		⑥ 亀甲部	
きず番号/試験番号		⑥	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1100	300
SN比	(dB)	11.3	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	12

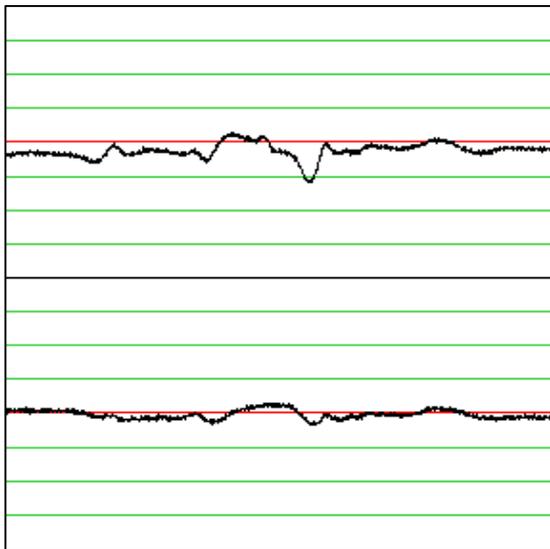
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	⑧ 亀甲部	
きず番号/試験番号	⑧	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

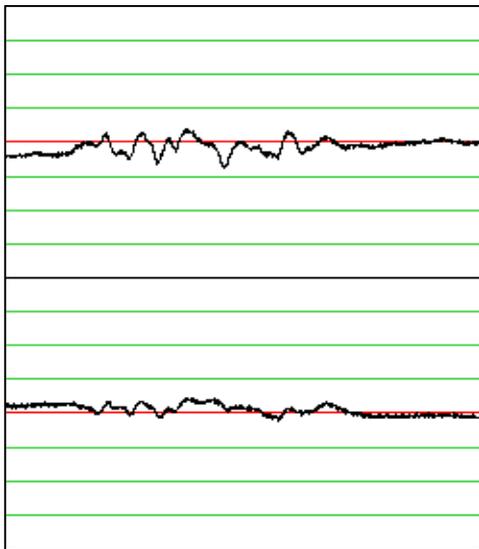
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	⑩底板×底板部	
きず番号/試験番号	⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

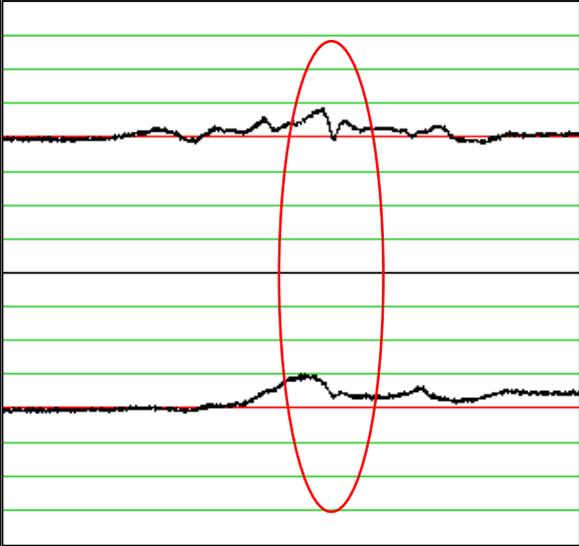
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

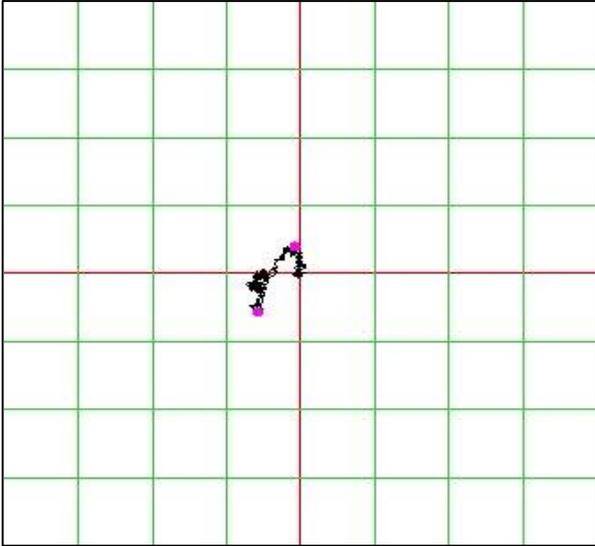
試験記録

試験部位		⑫底板×底板部	
きず番号/試験番号		⑫	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	300
SN比	(dB)	4.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

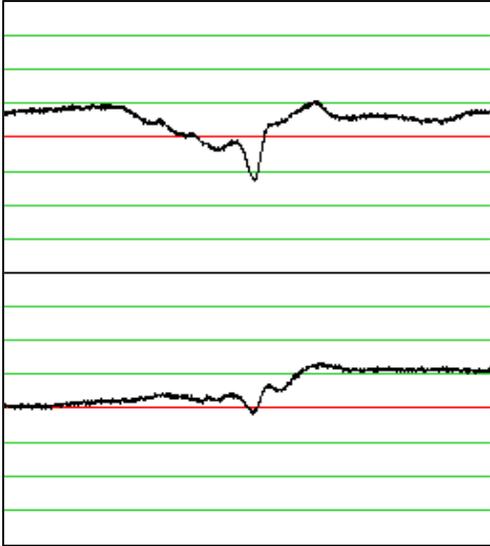
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	⑬底板相互部	
きず番号/試験番号	⑬	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

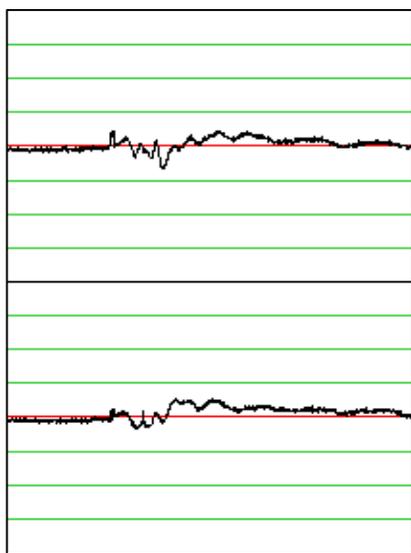
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	⑭底板相互部	
きず番号/試験番号	⑭	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	/
	V_y (Transe)	/
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	/

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

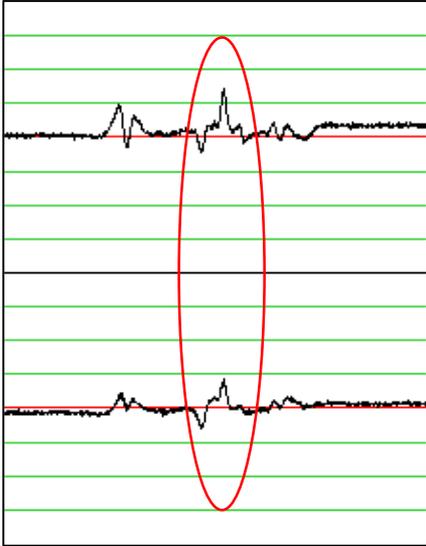
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

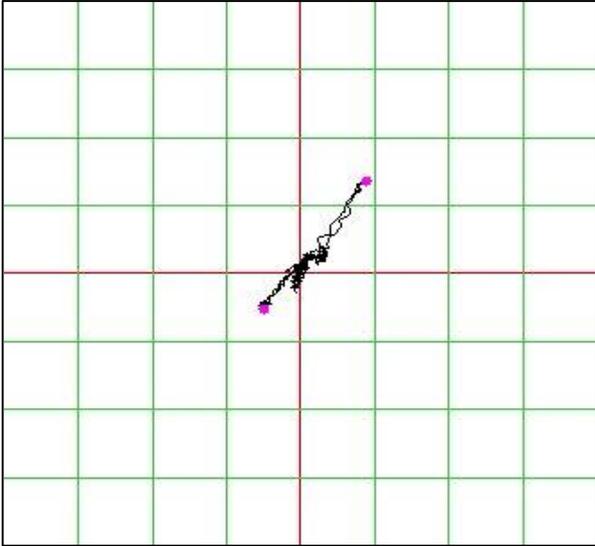
試験記録

試験部位		⑮底板相互部	
きず番号/試験番号		⑮	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1200	600
SN比	(dB)	6.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	15

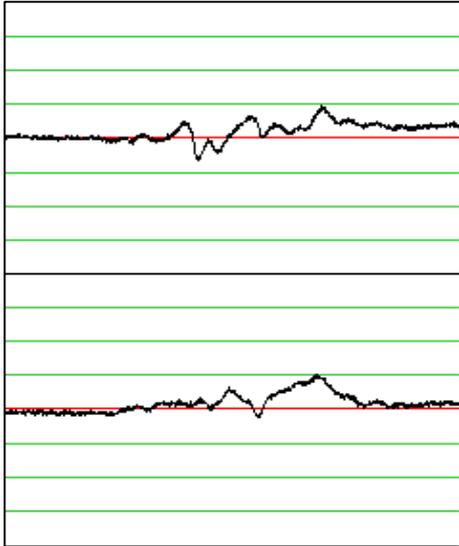
16万KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 18日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	⑩外タライ部	
きず番号/試験番号	⑩	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

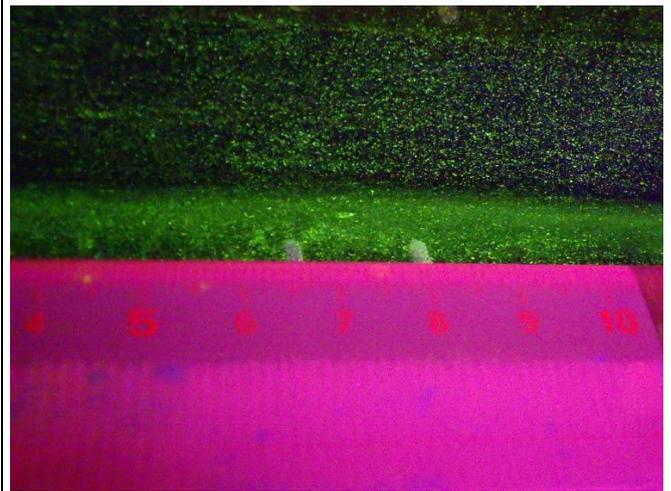


チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

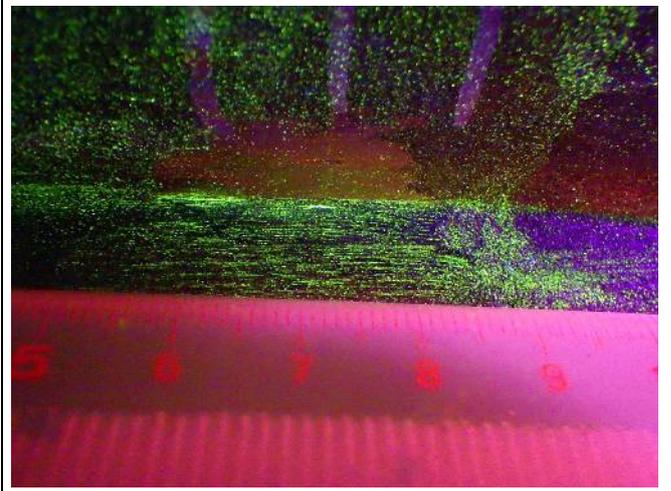
3. 5千KL級タンク現地試験結果

ETC実施箇所の外観・MT記録(5千kL級タンク)



箇所番号	側板×アニュラ板 (内側)
15	

箇所番号	カット (L=3.0mm)
15	表面グラインダー処理無し



箇所番号	側板×アニュラ板 (内側)
16	

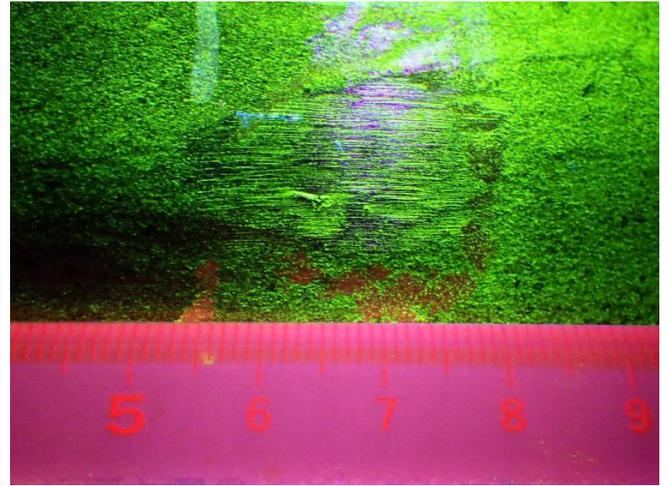
箇所番号	LF (L=3.0mm)
16	表面グラインダー処理有り



箇所番号	アニュラ板母材部
19	

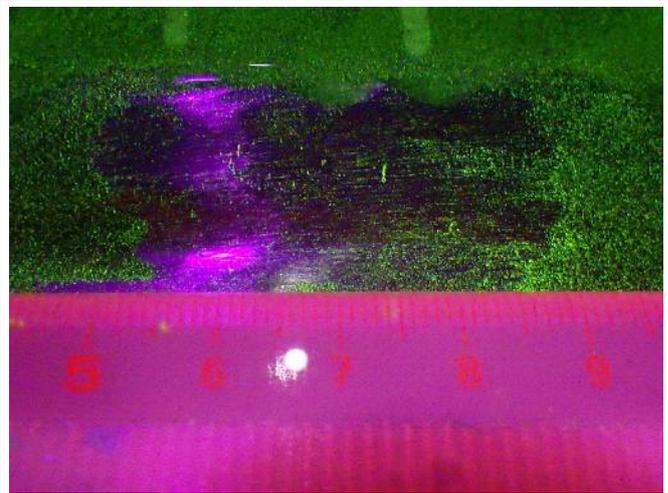
箇所番号	LF (L=1.0mm×3)
19	表面グラインダー処理無し

ETC実施箇所の外観・MT記録(5千kL級タンク)



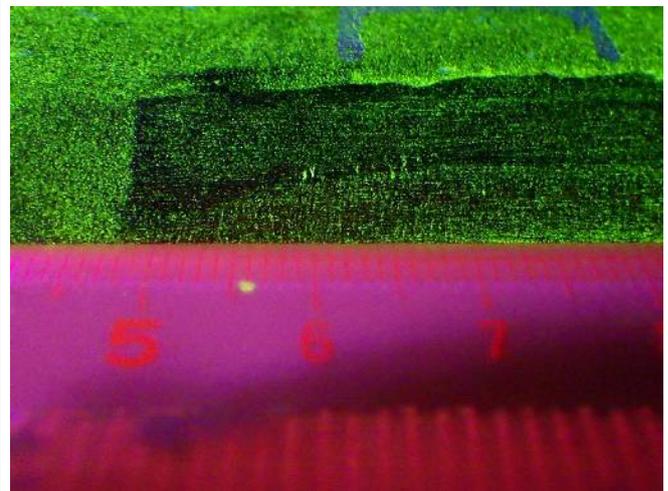
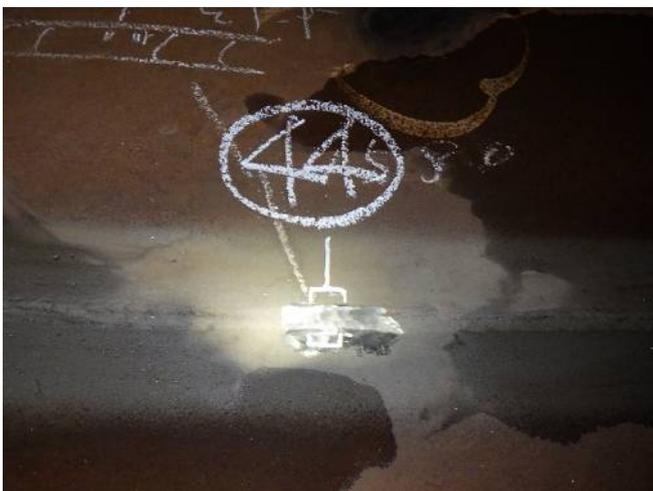
箇所番号	アニュラ板×底板
22	

箇所番号	LF (L=6.0mm)
22	表面グラインダー処理有り 【深さ測定結果：5.0mm】



箇所番号	アニュラ板×底板
33	

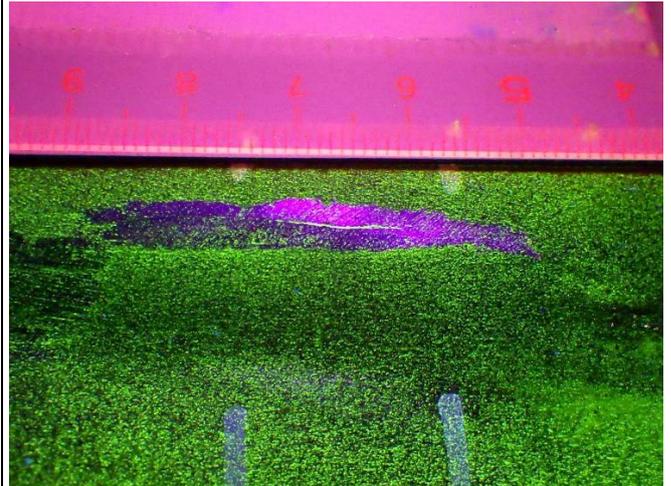
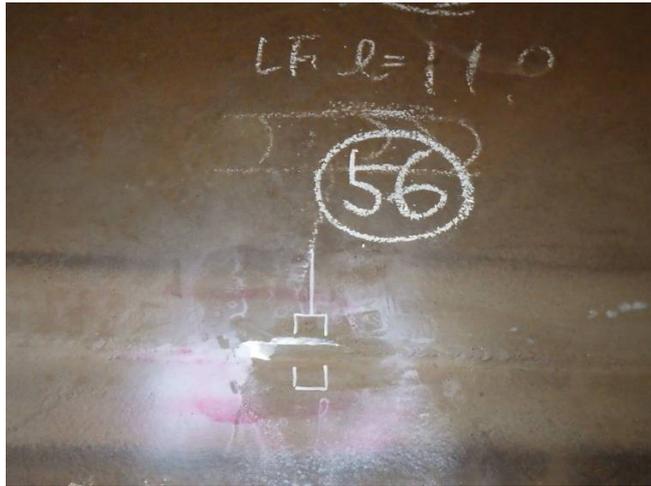
箇所番号	LF (群キズ合計L=15.0mm)
33	表面グラインダー処理有り 【深さ測定結果：3.1mm】



箇所番号	底板×底板
44	

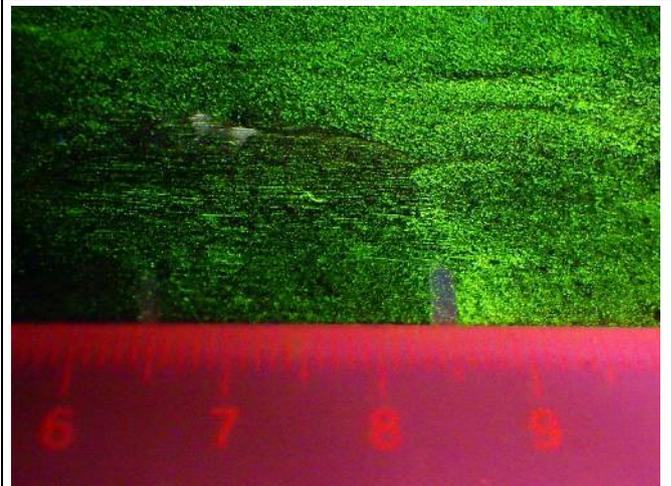
箇所番号	LF (群キズ合計L=5.0mm)
44	表面グラインダー処理有り

ETC実施箇所の外観・MT記録(5千kL級タンク)



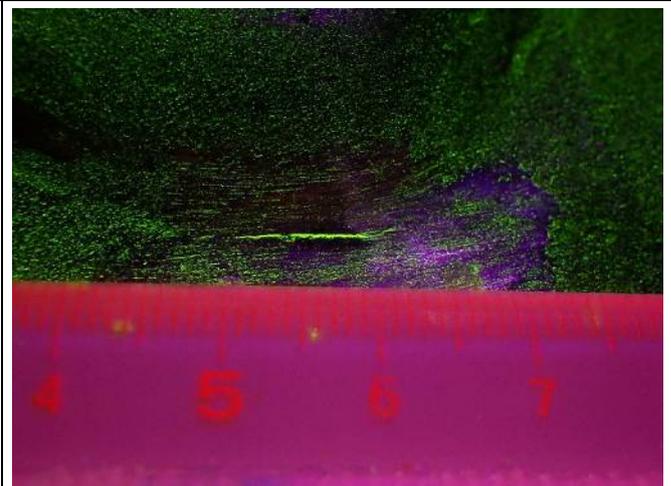
箇所番号	底板×底板
56	

箇所番号	LF (L=11.0mm)
56	表面グラインダー処理有り 【深さ測定結果：0.6mm】



箇所番号	底板×底板
64	

箇所番号	LF (L=2.0mm)
64	表面グラインダー処理



箇所番号	底板×底板 (当板)
62	

箇所番号	LF (L=10.0mm)
62	表面グラインダー処理有り 【深さ測定結果：4.5mm±1.0mm】

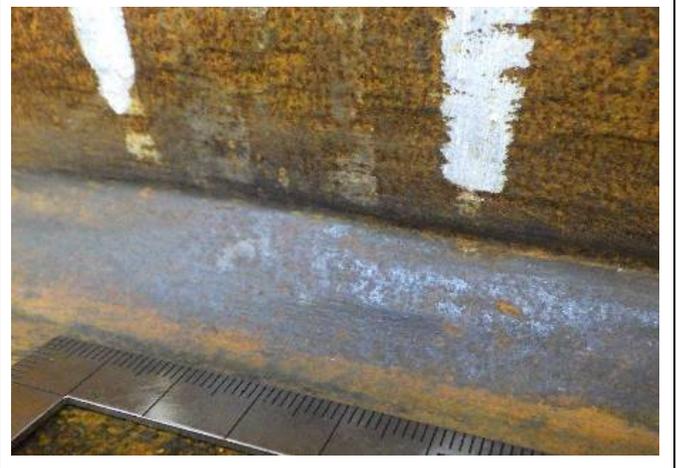
ETC実施箇所の外観・MT記録(5千kL級タンク)



箇所番号

側板×アニュラ板 (外側)

箇所番号



箇所番号

側板×アニュラ板 (外側)

箇所番号

箇所番号

箇所番号

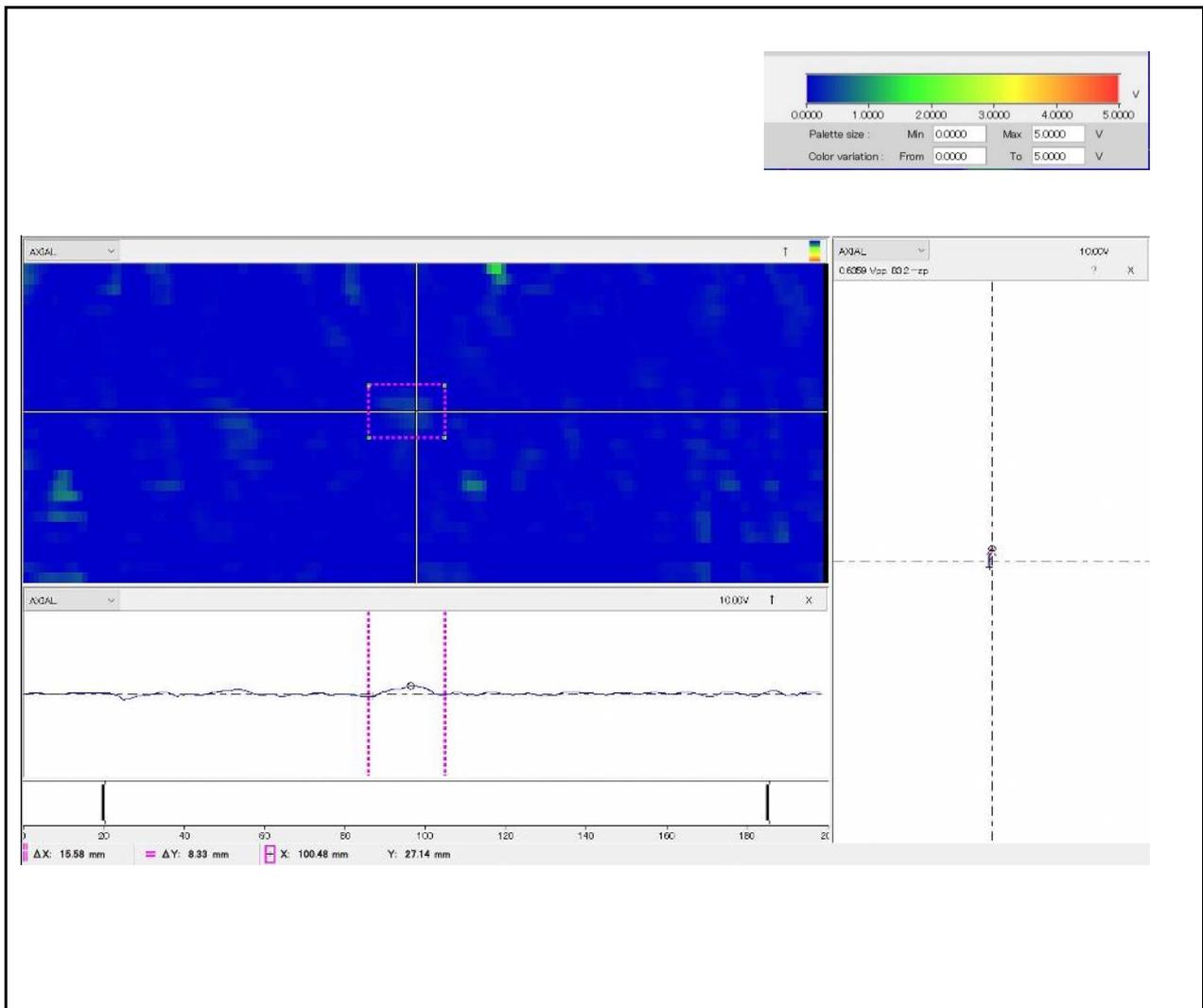
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.6	0.3
SN比	(dB)	6.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



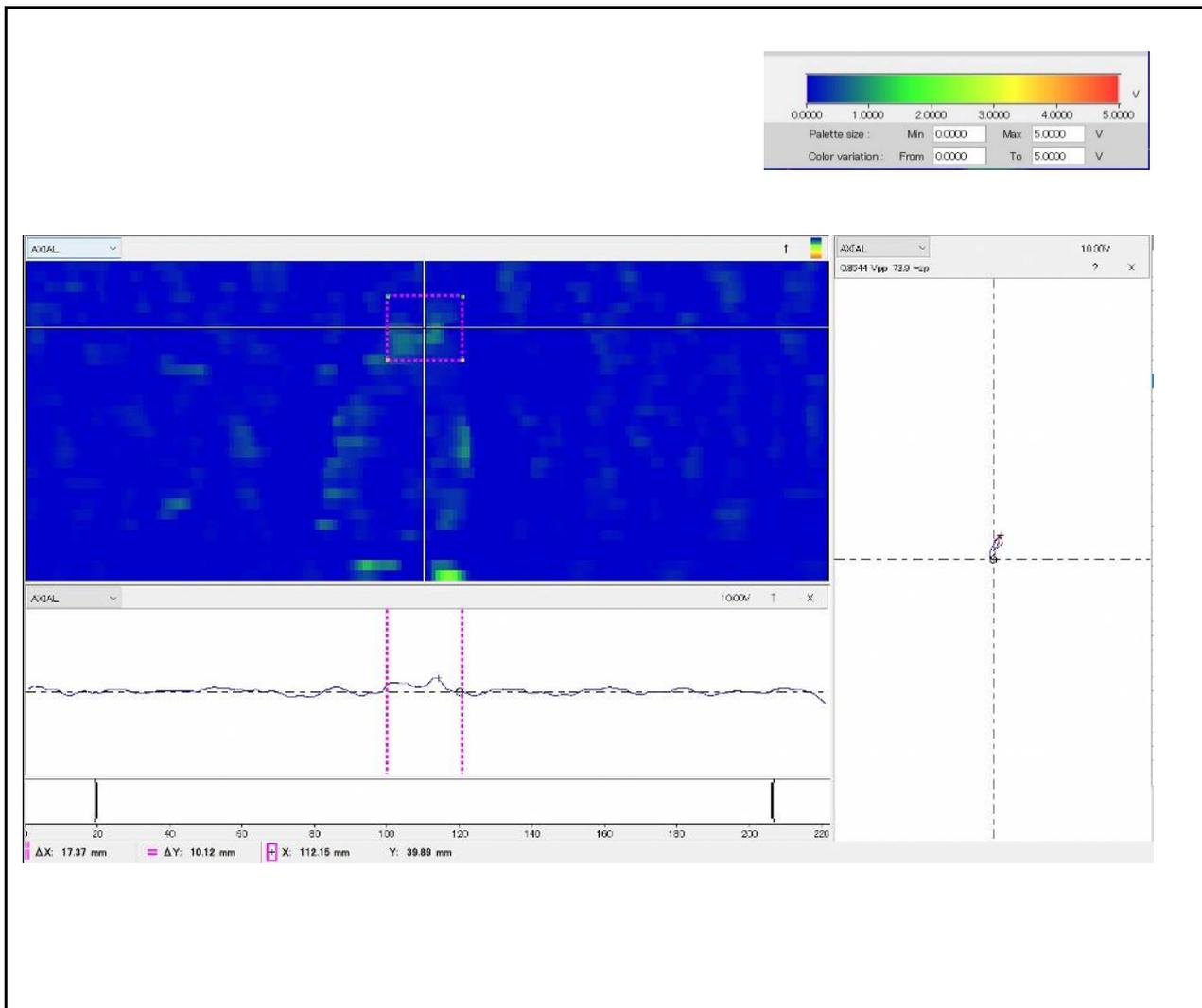
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.9	0.6
SN比	(dB)	3.5	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



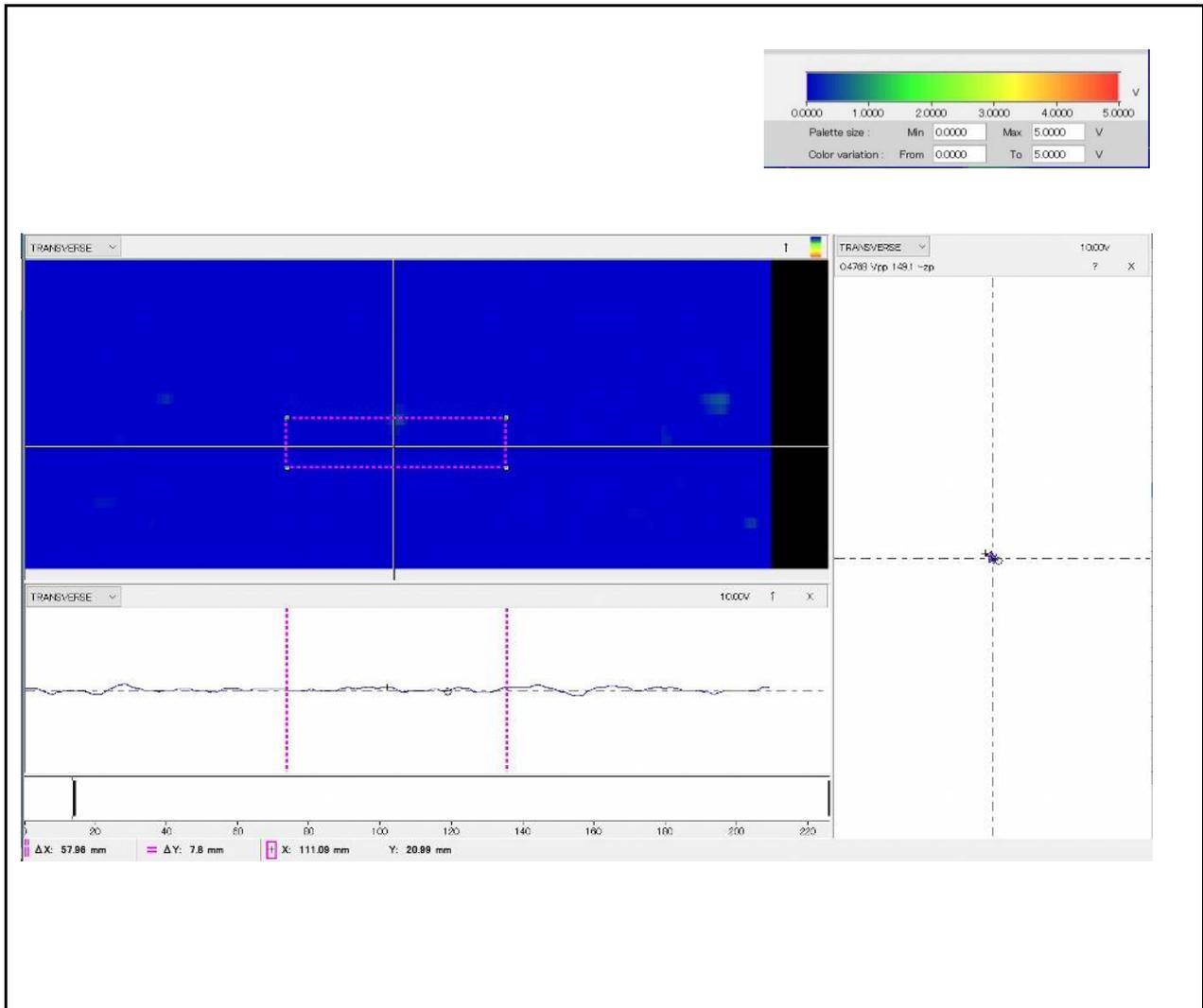
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	-	0.5
SN比	(dB)	-	-

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



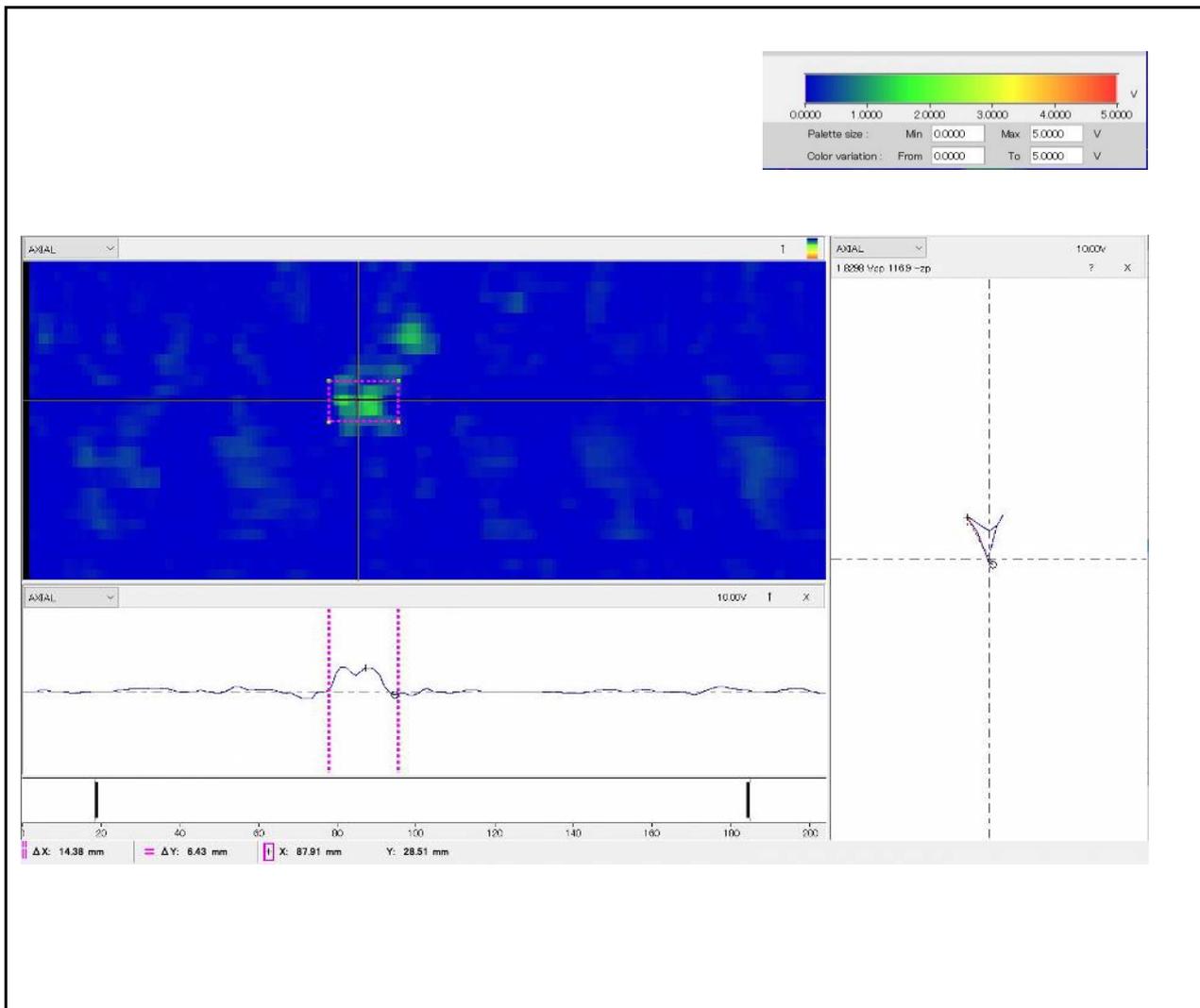
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		22アニューラ× 底板部	
きず番号/試験番号		22	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.8	0.5
SN比	(dB)	11.1	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



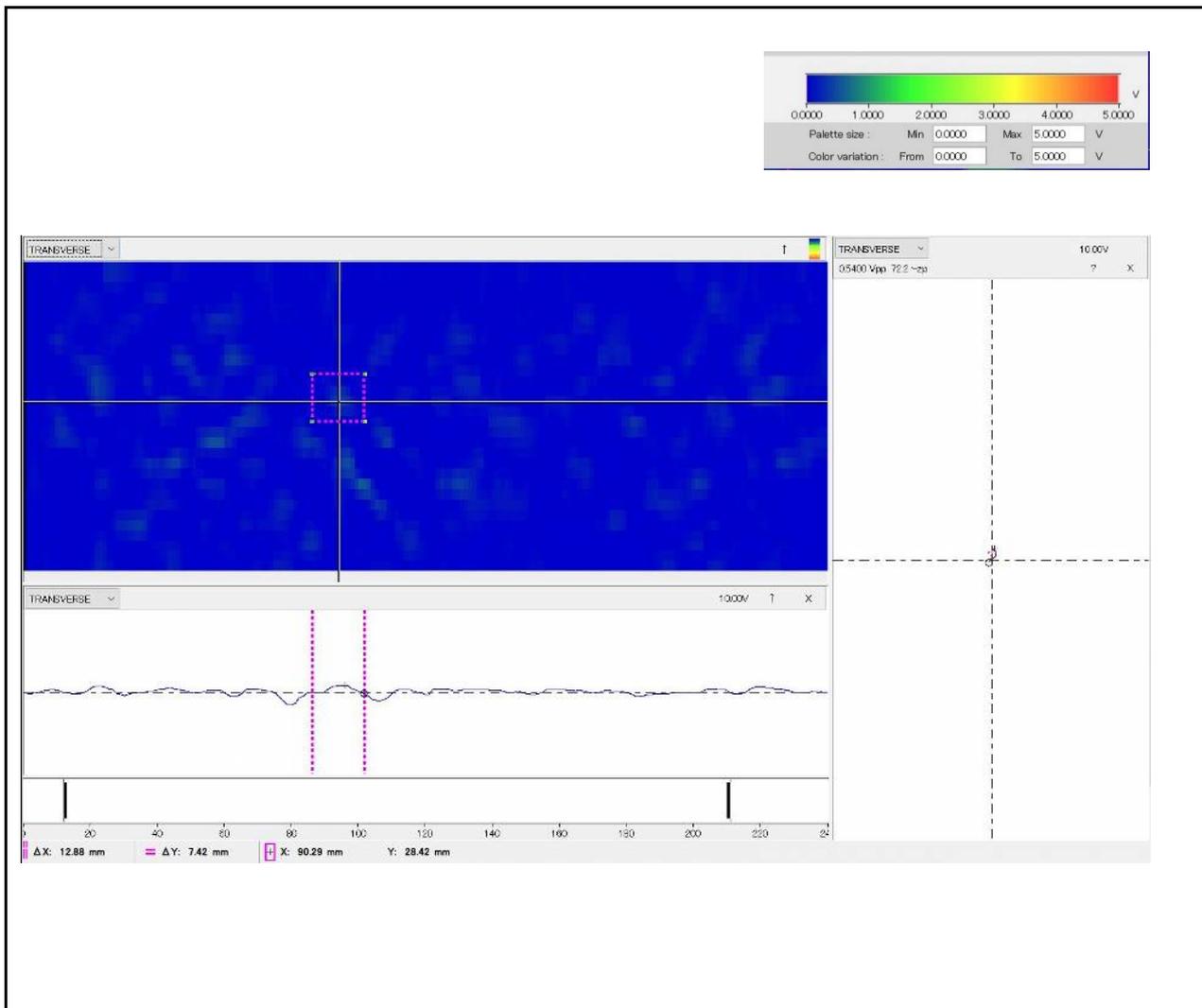
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.5	0.4
SN比	(dB)	1.9	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



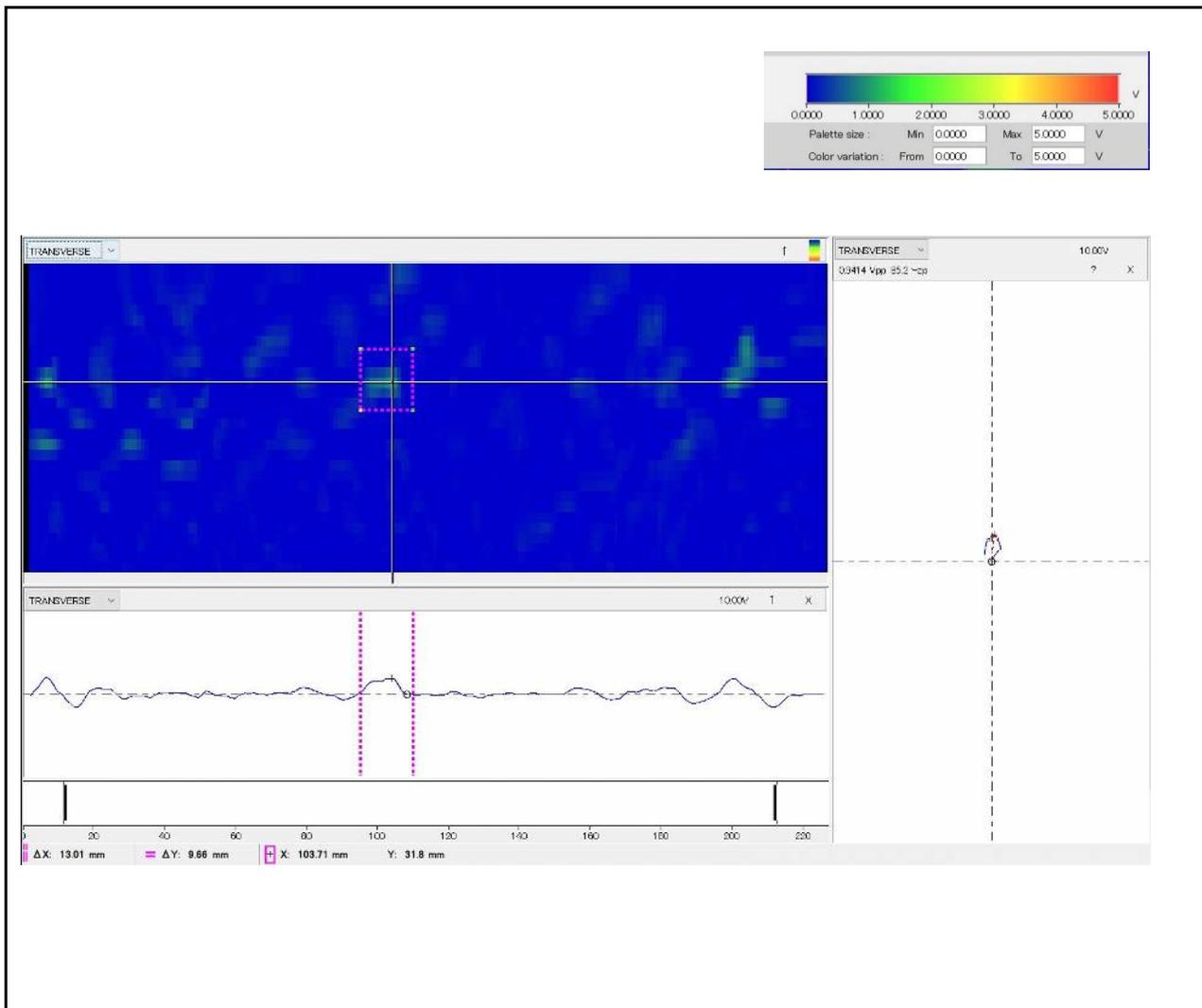
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.9	0.5
SN比	(dB)	5.1	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



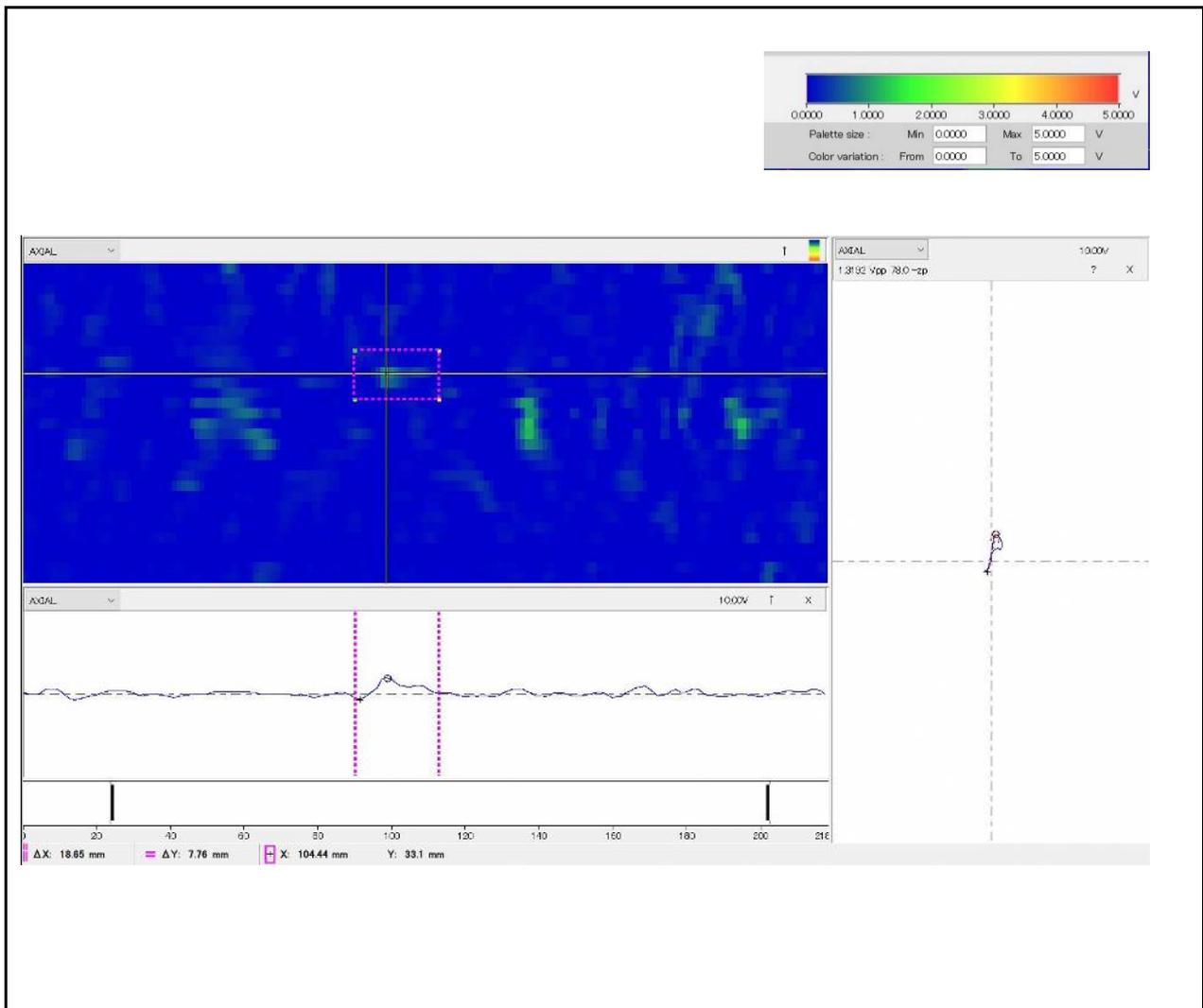
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.3	0.6
SN比	(dB)	6.7	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



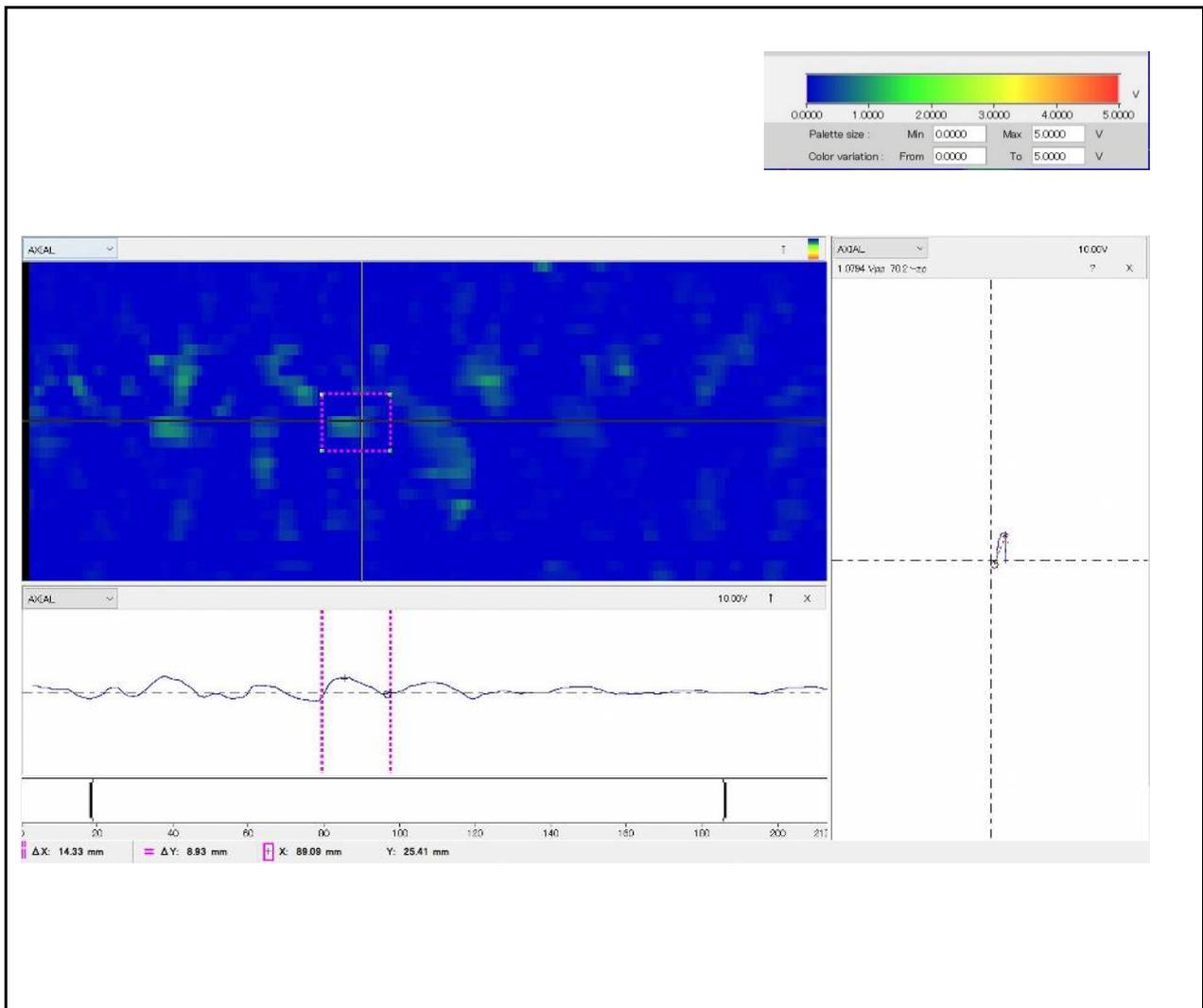
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.1	0.5
SN比	(dB)	6.8	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



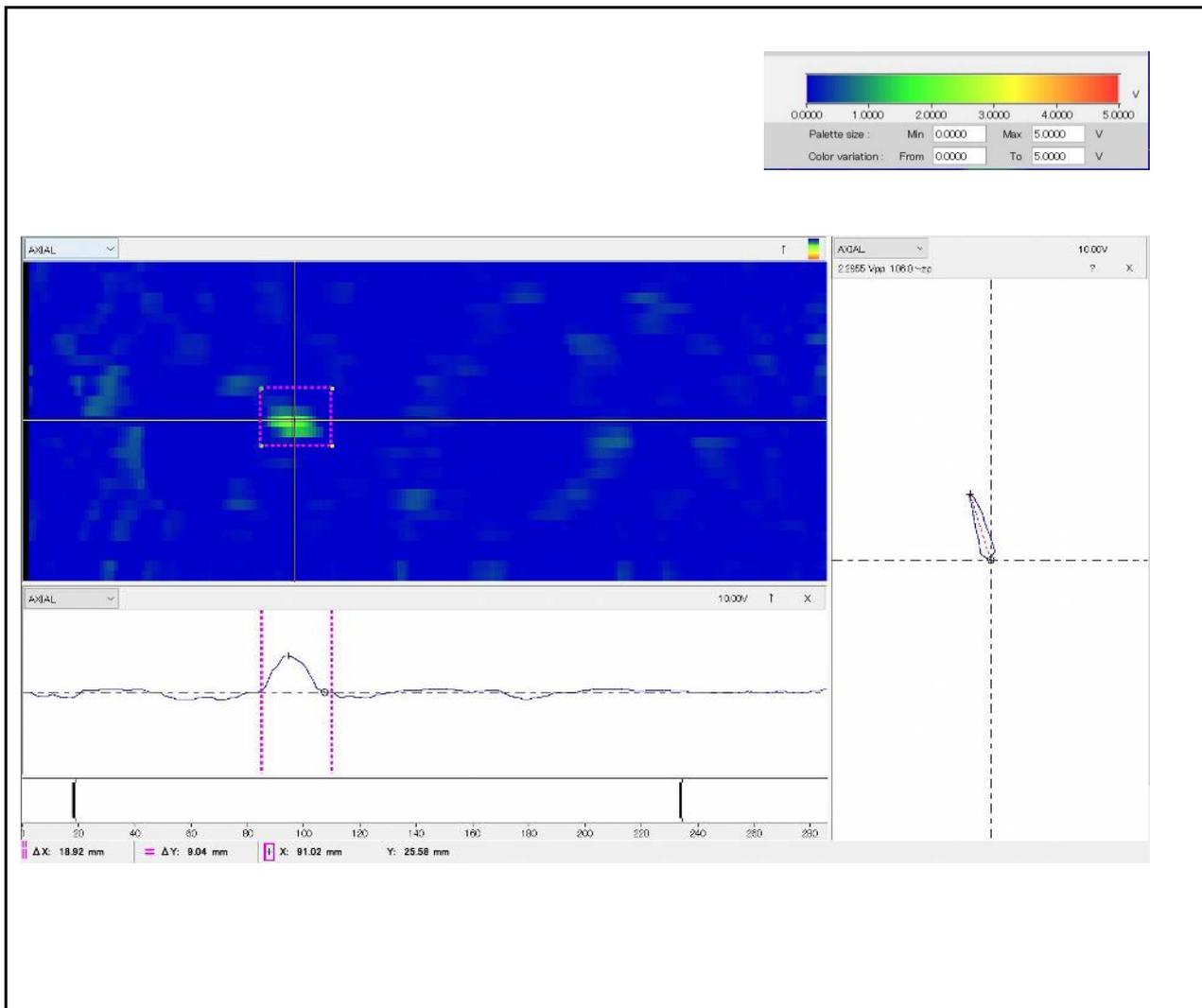
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	2.3	0.5
SN比	(dB)	13.3	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



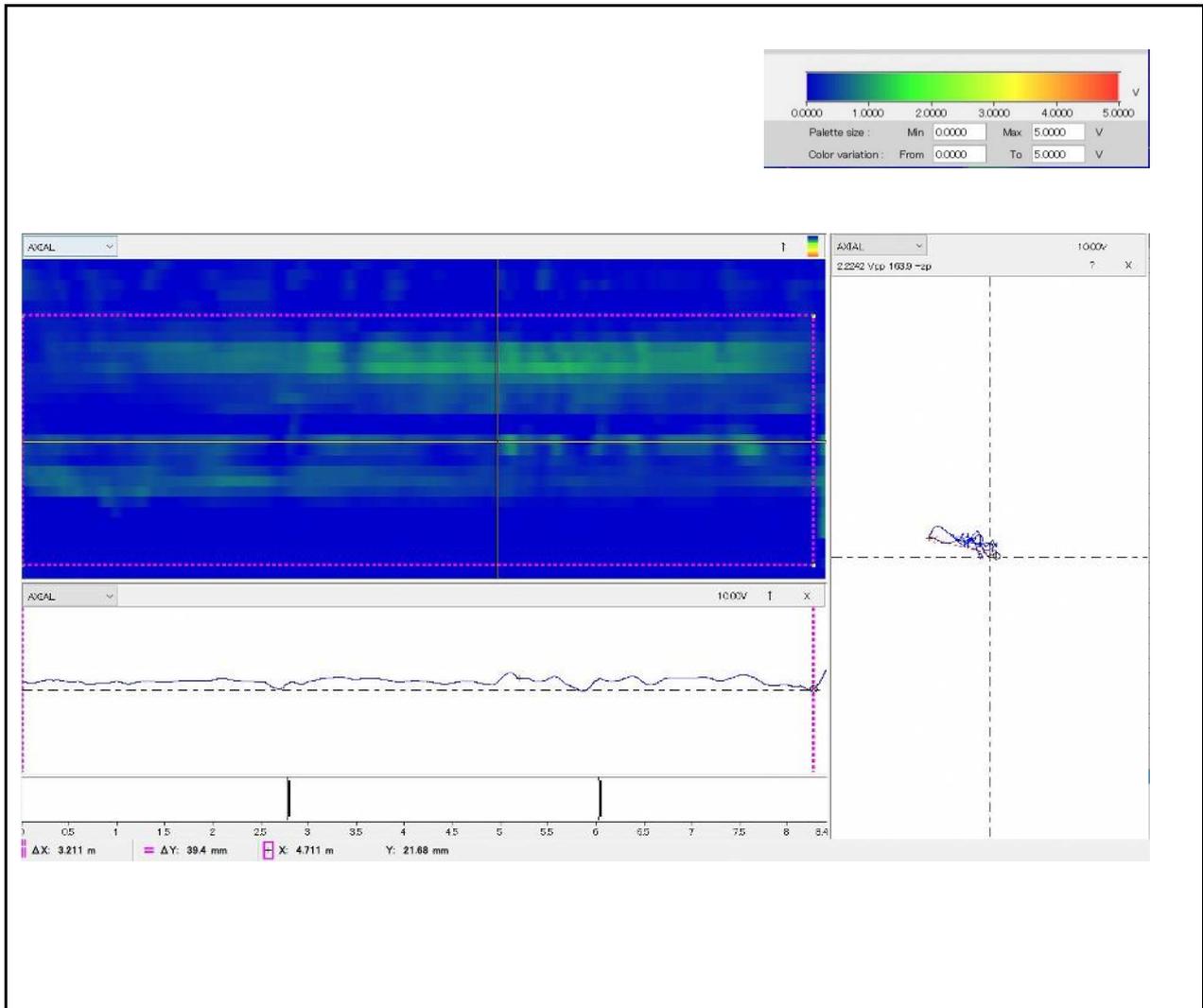
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号		形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	-	2.2
SN比	(dB)	-	-

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



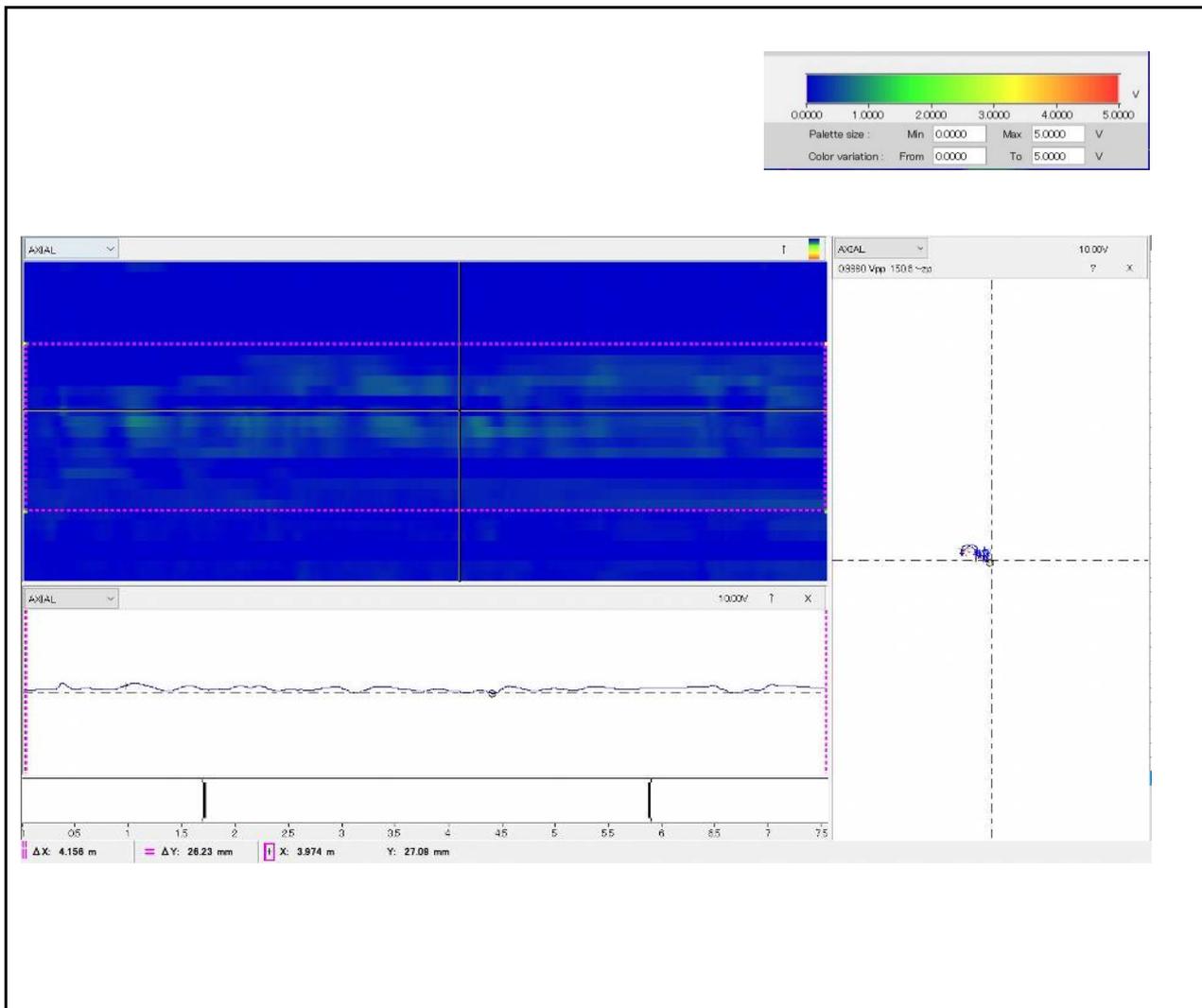
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号		集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	-	1.0
SN比	(dB)	-	-

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



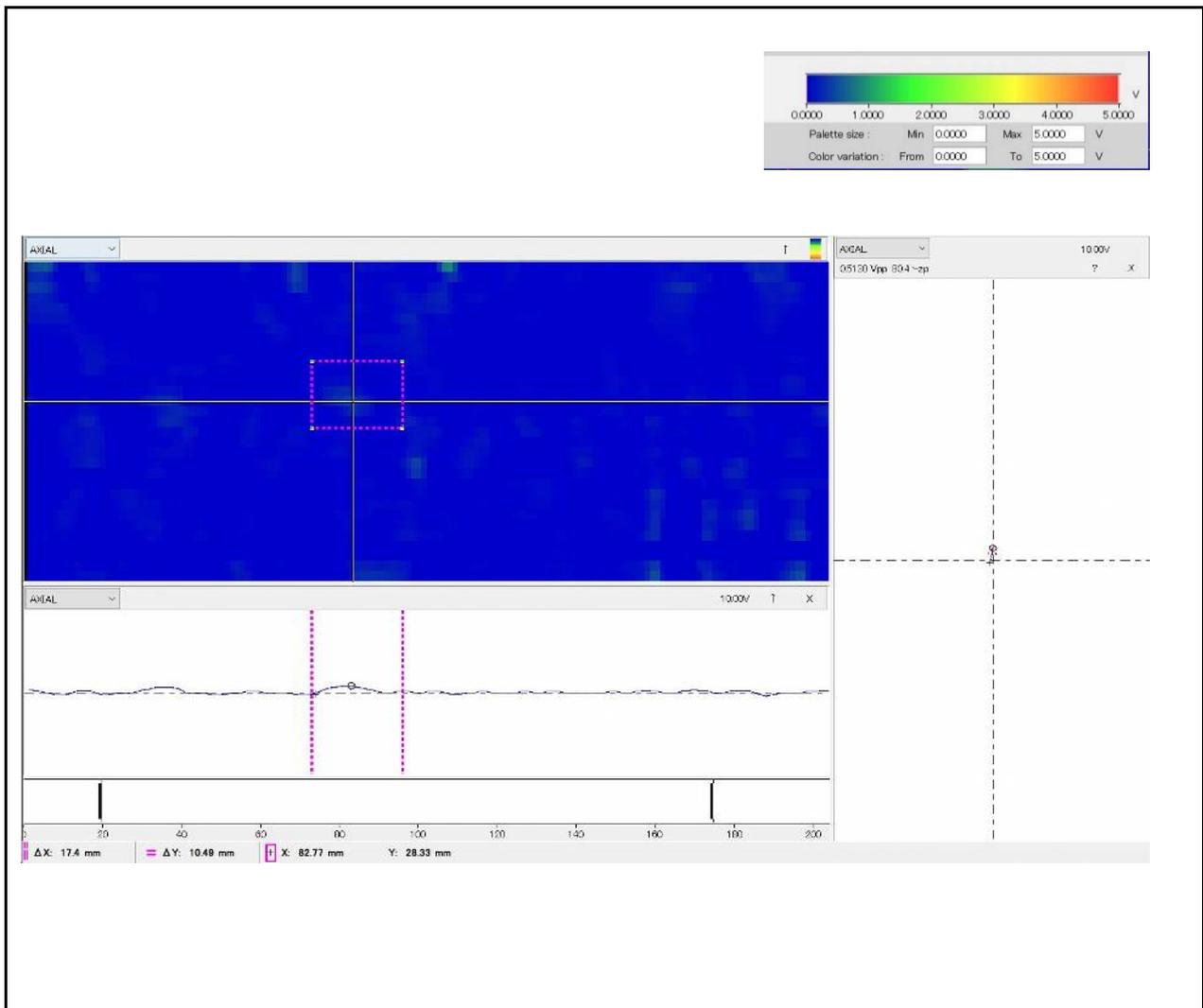
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.5	0.3
SN比	(dB)	4.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



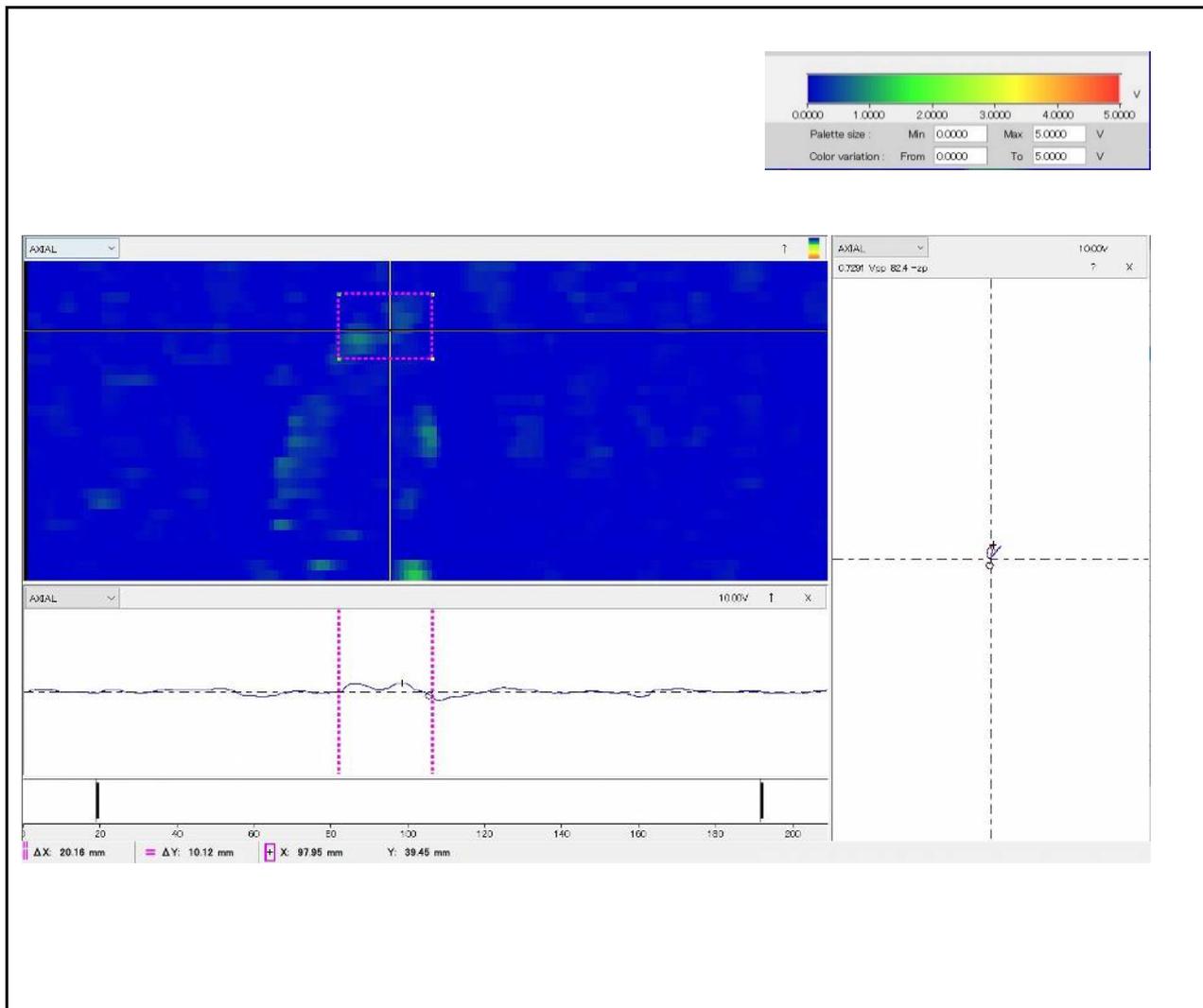
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.7	0.5
SN比	(dB)	2.9	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



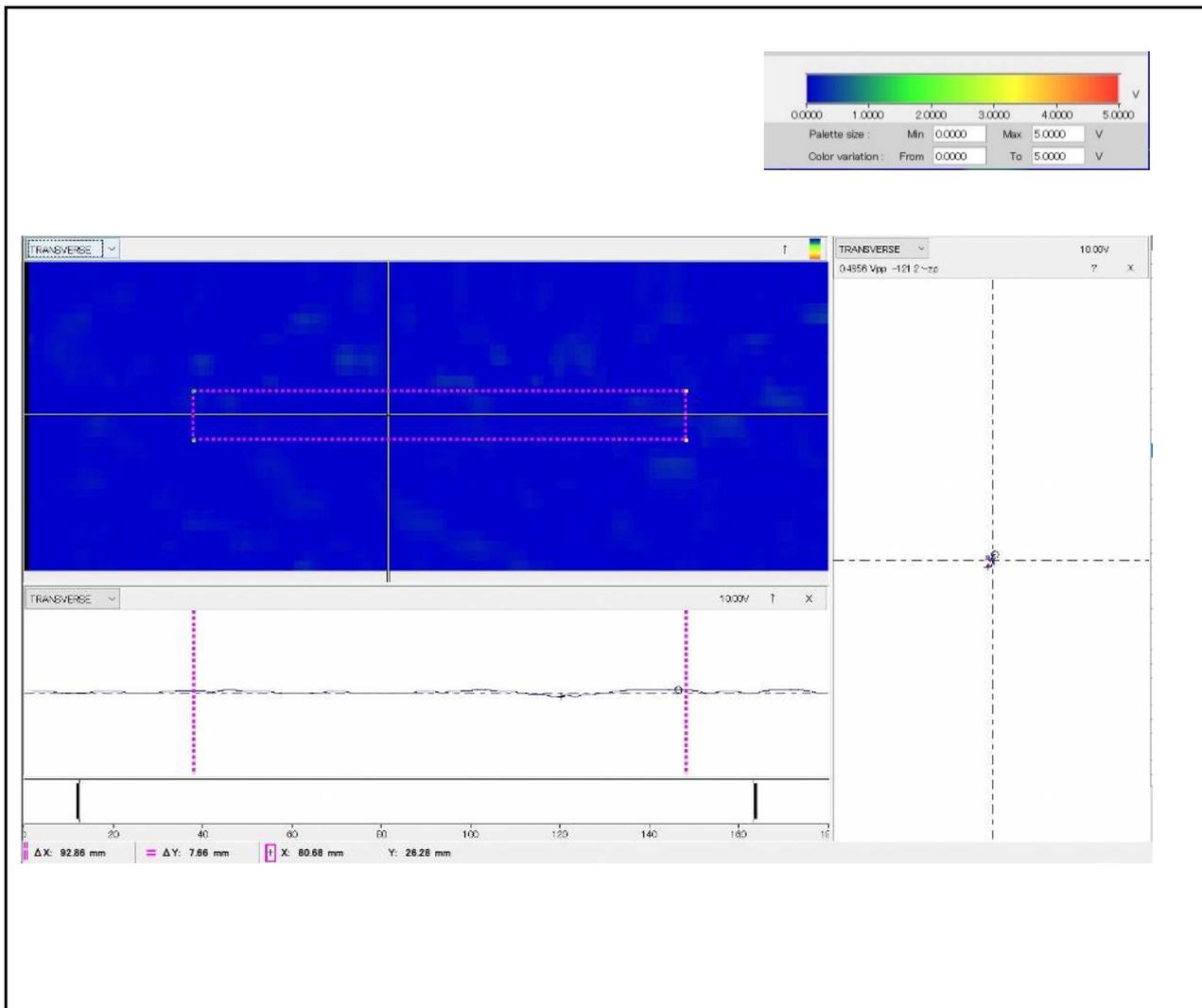
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	-	0.5
SN比	(dB)	-	-

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



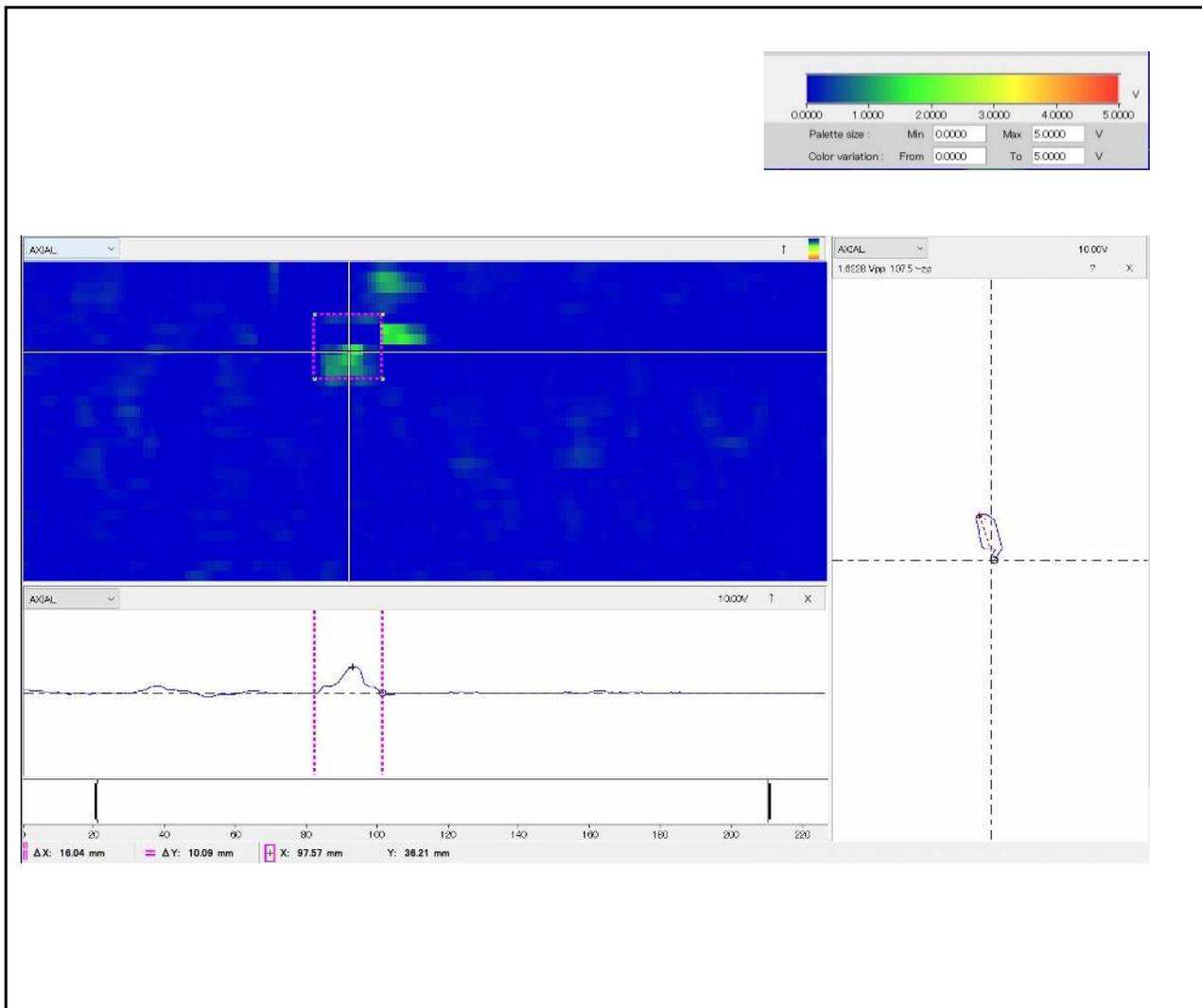
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		22アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		22	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.6	0.5
SN比	(dB)	10.1	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



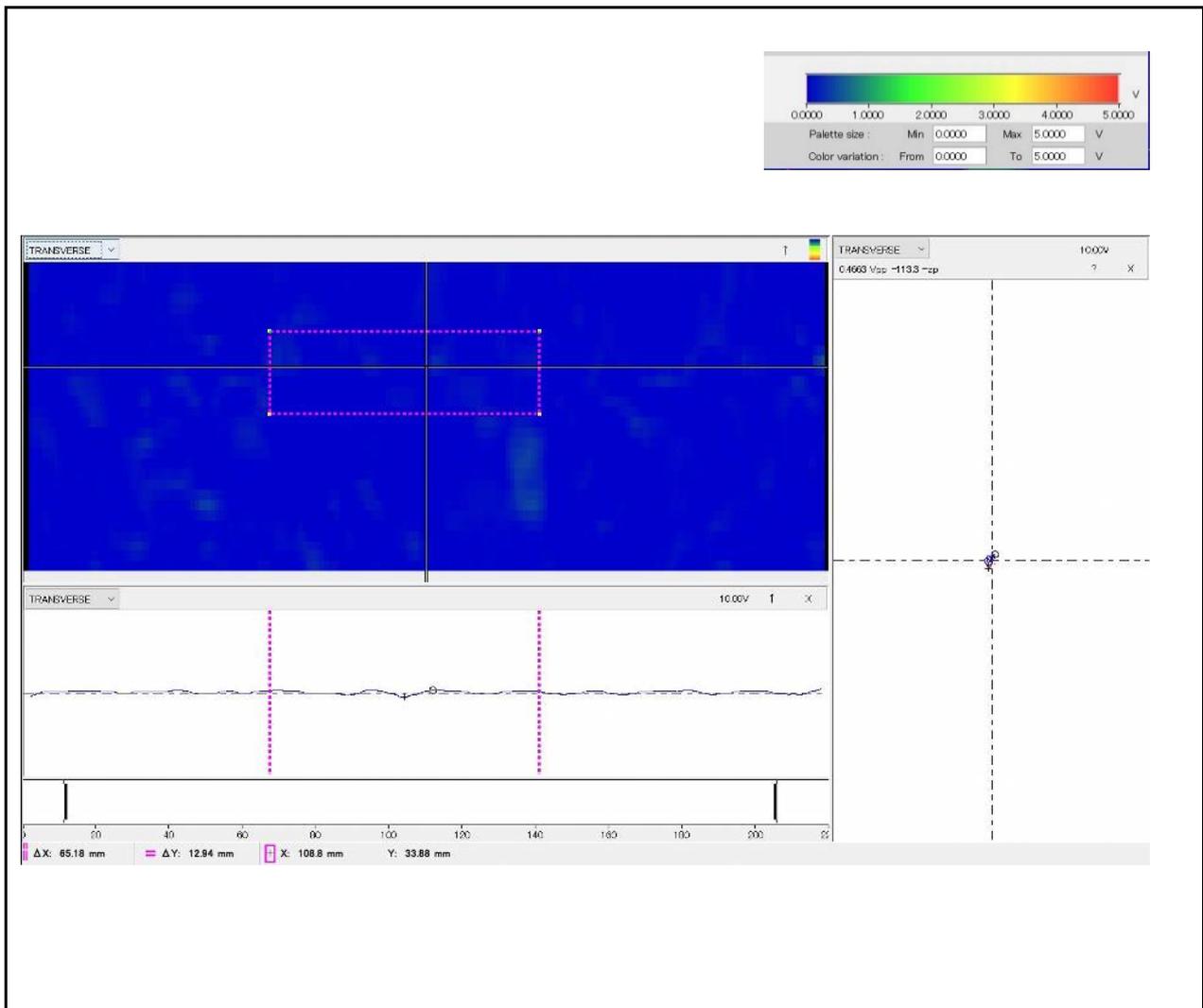
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		33	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	-	-
	V _y (Transe)	-	-
	SQRT(V _x ² +V _y ²)	-	0.5
SN比	(dB)	-	-

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



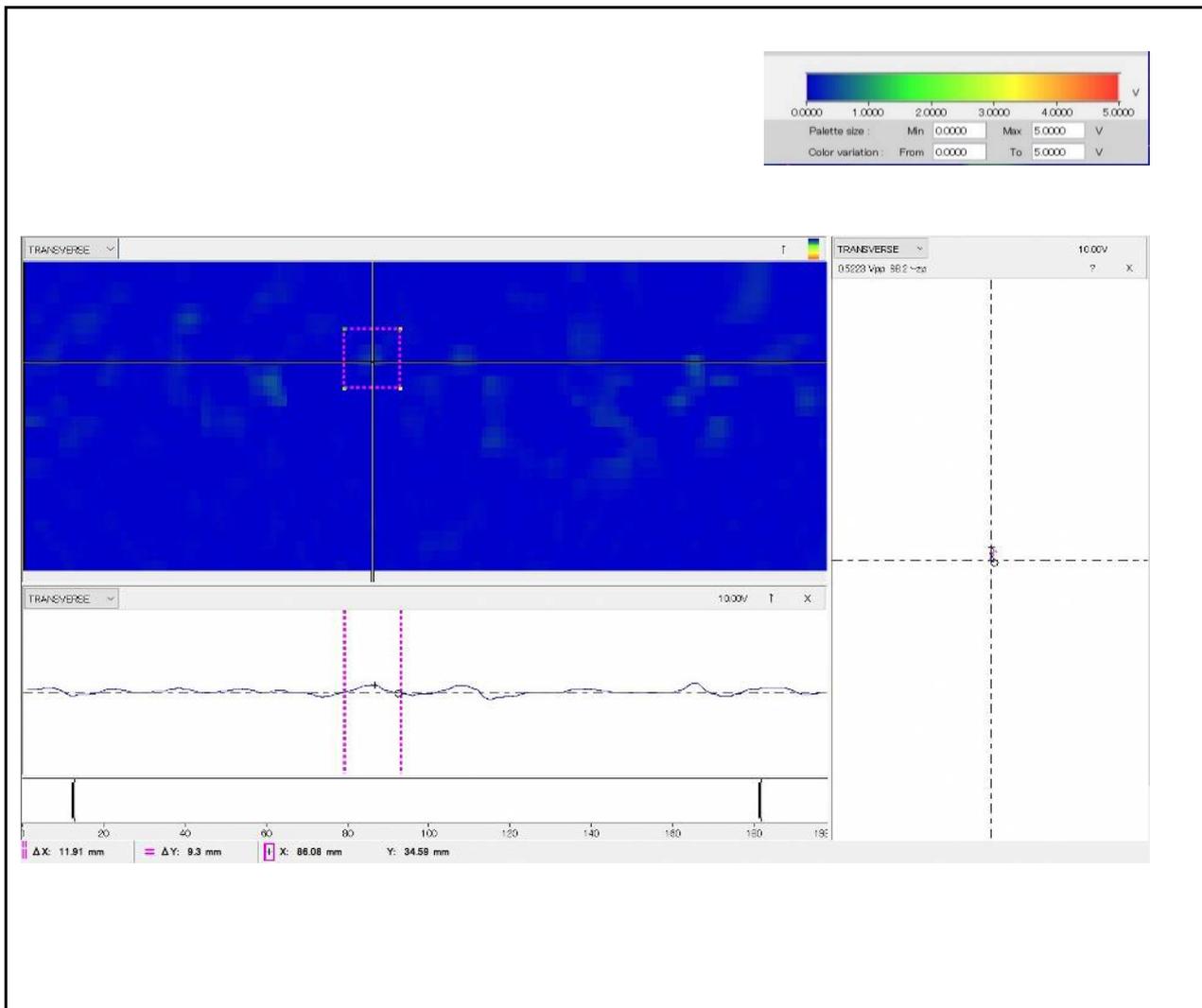
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.5	0.5
SN比	(dB)	0.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



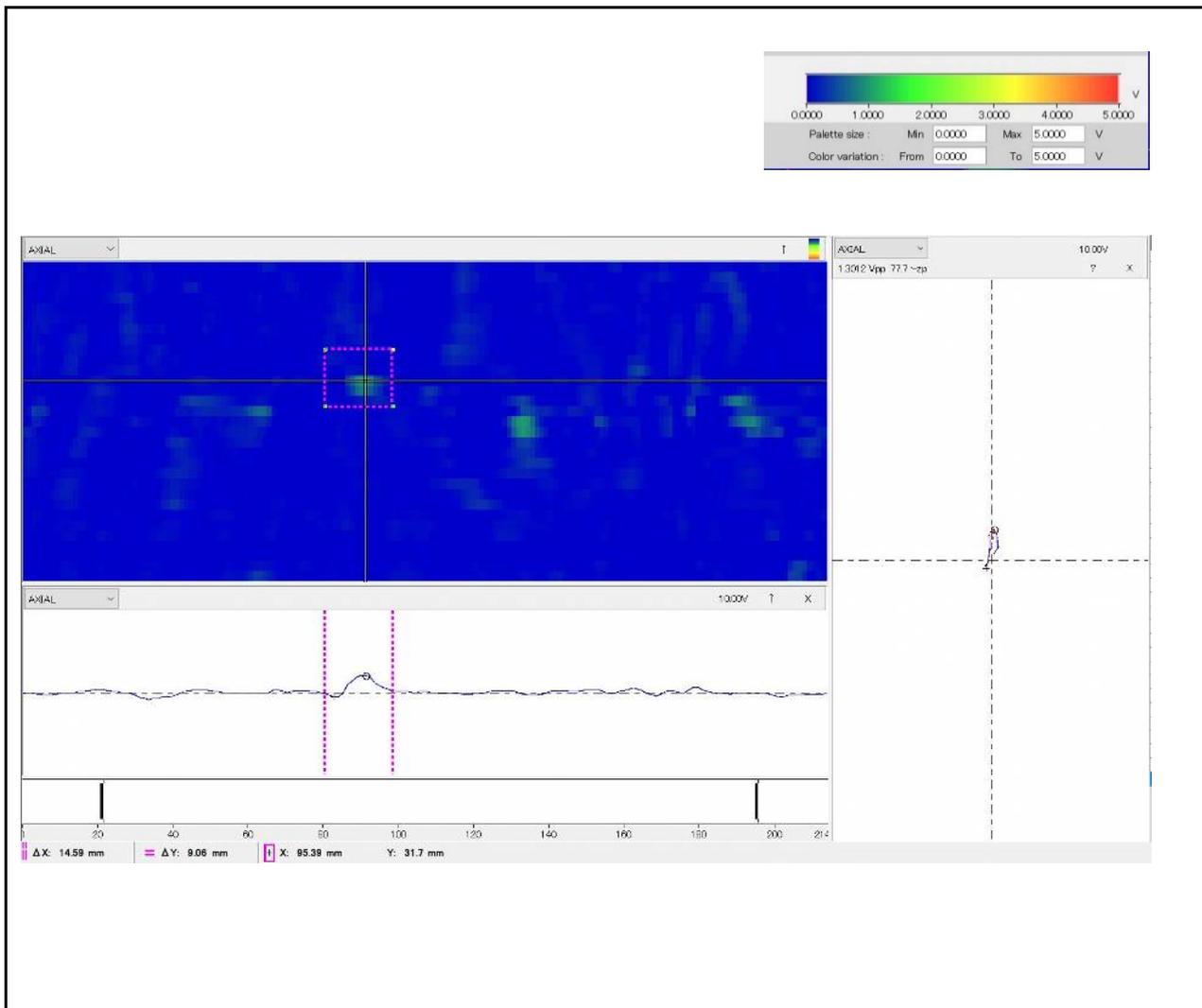
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.3	0.6
SN比	(dB)	6.7	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



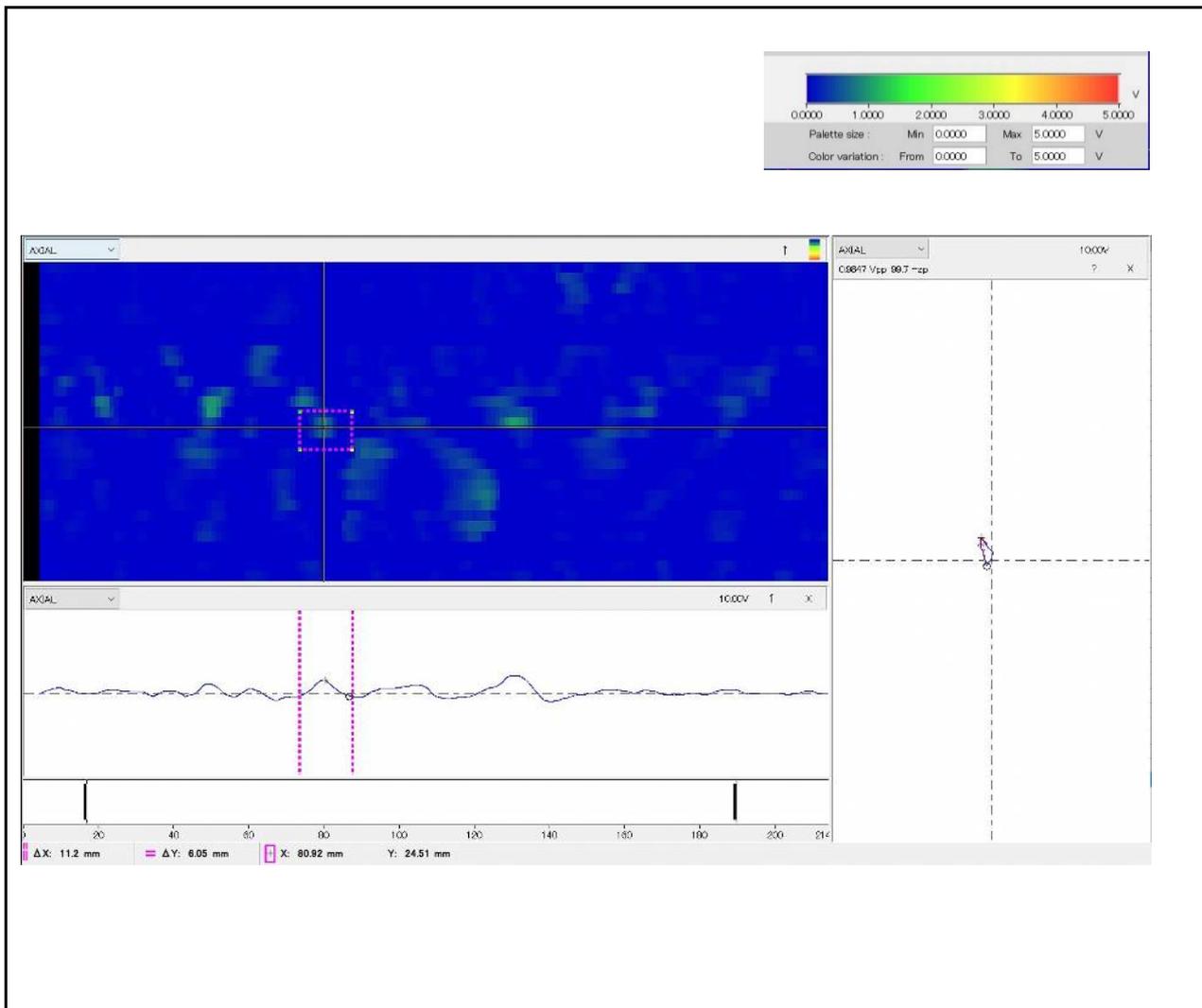
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.0	0.5
SN比	(dB)	6.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



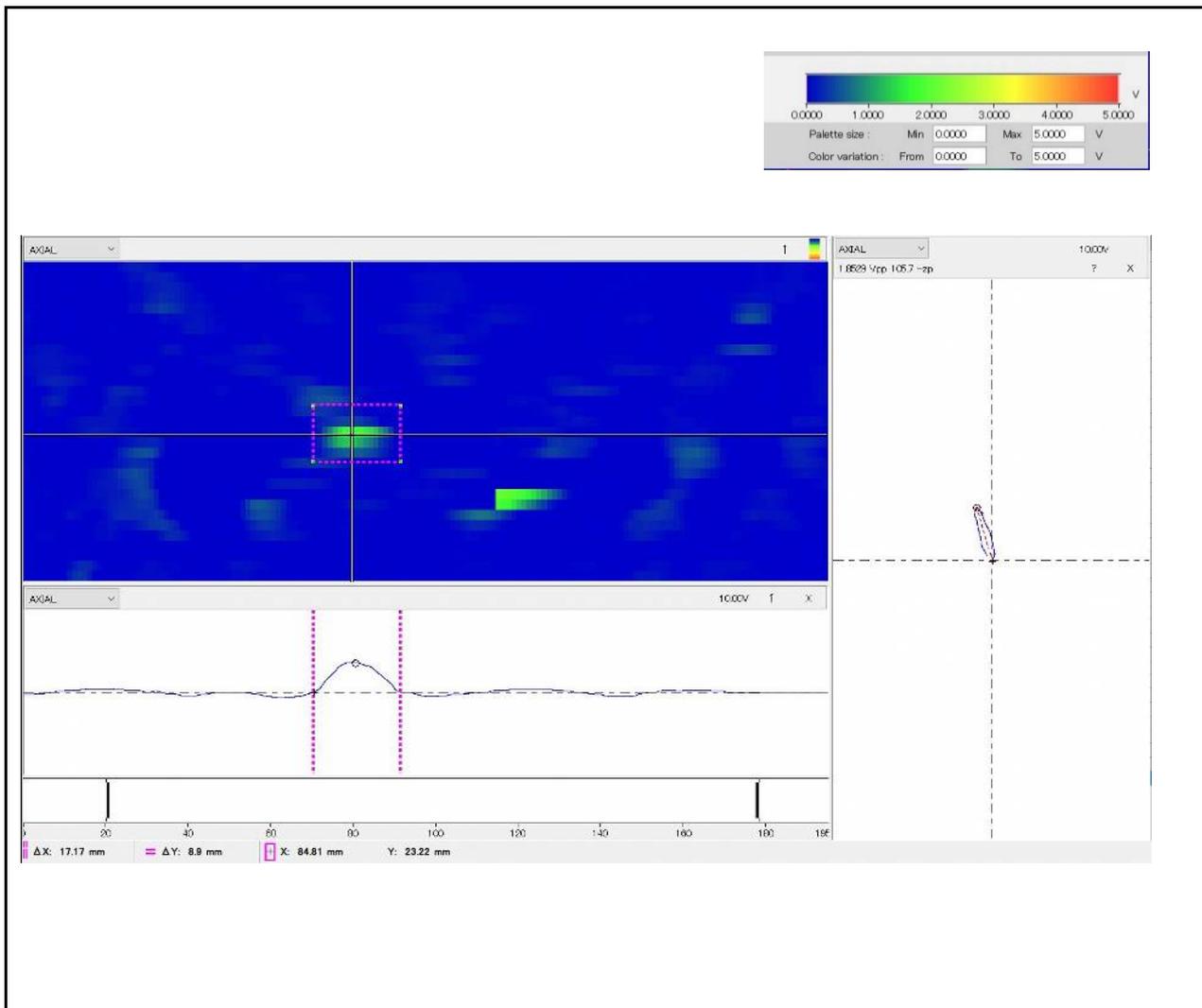
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.9	0.6
SN比	(dB)	10.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	
探傷感度	
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号		形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$\text{SQRT}(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

<p>未実施</p>

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	
探傷感度	
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号		集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$\text{SQRT}(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

<p>未実施</p>

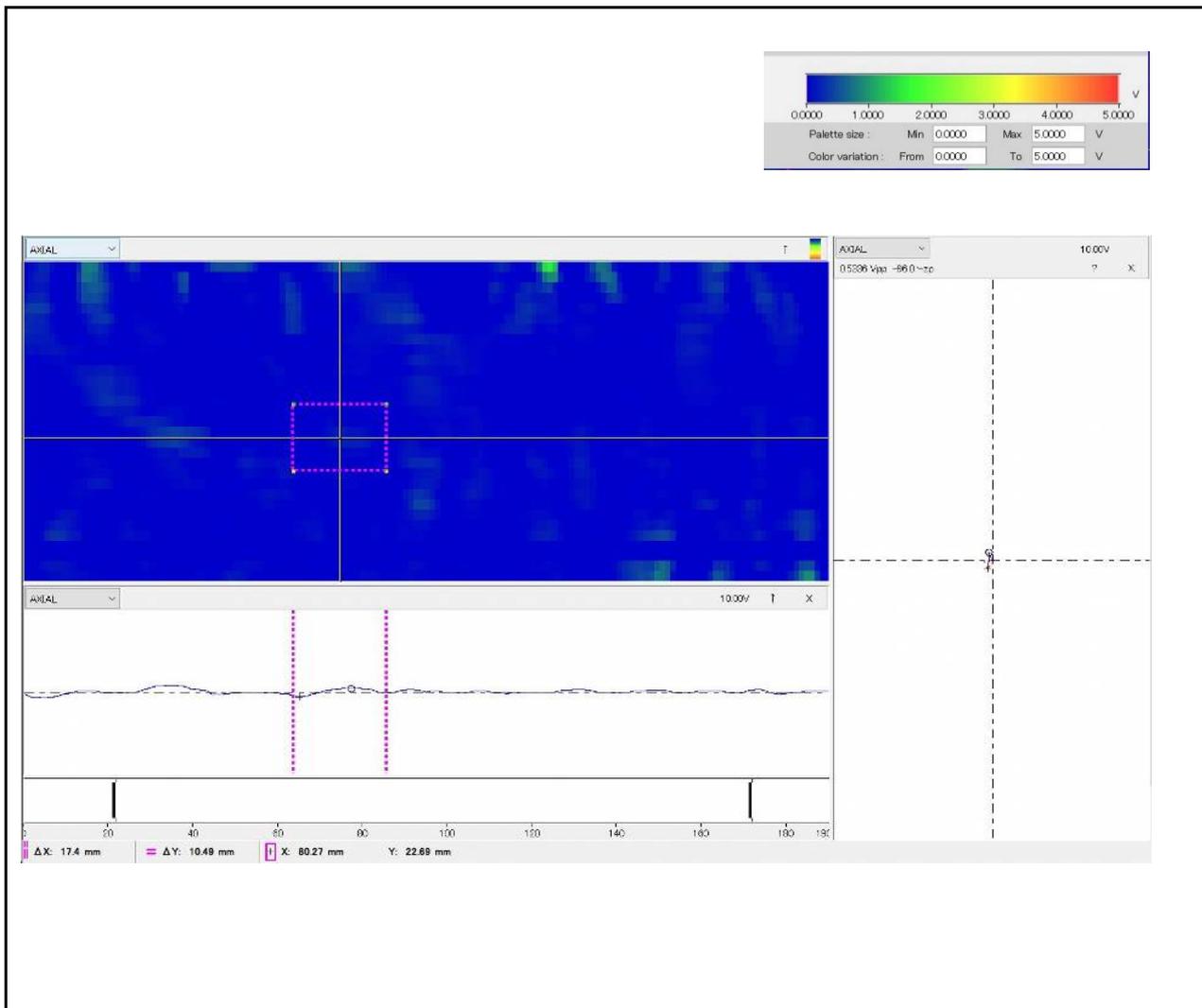
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.5	0.3
SN比	(dB)	4.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



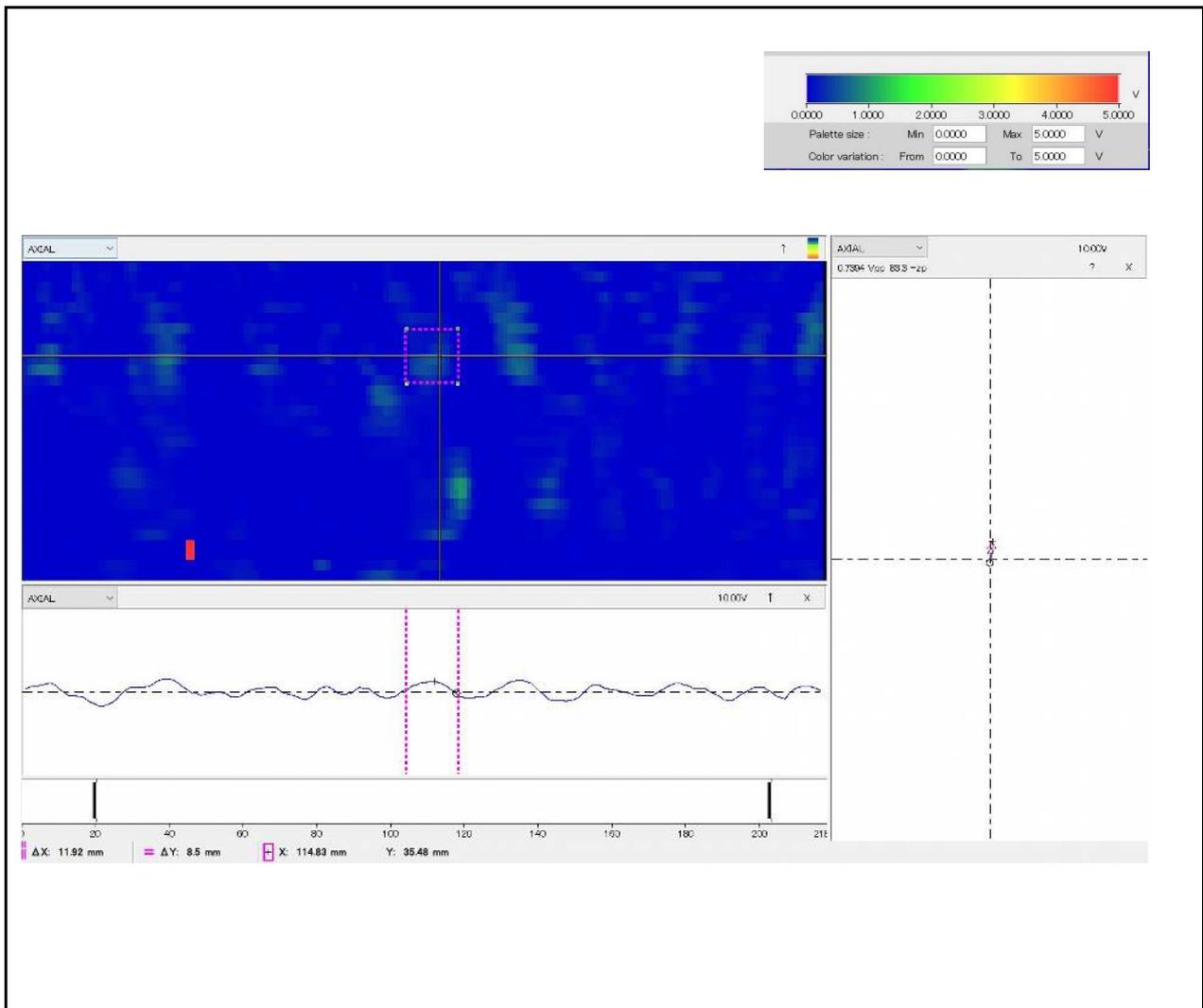
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.7	0.5
SN比	(dB)	2.9	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



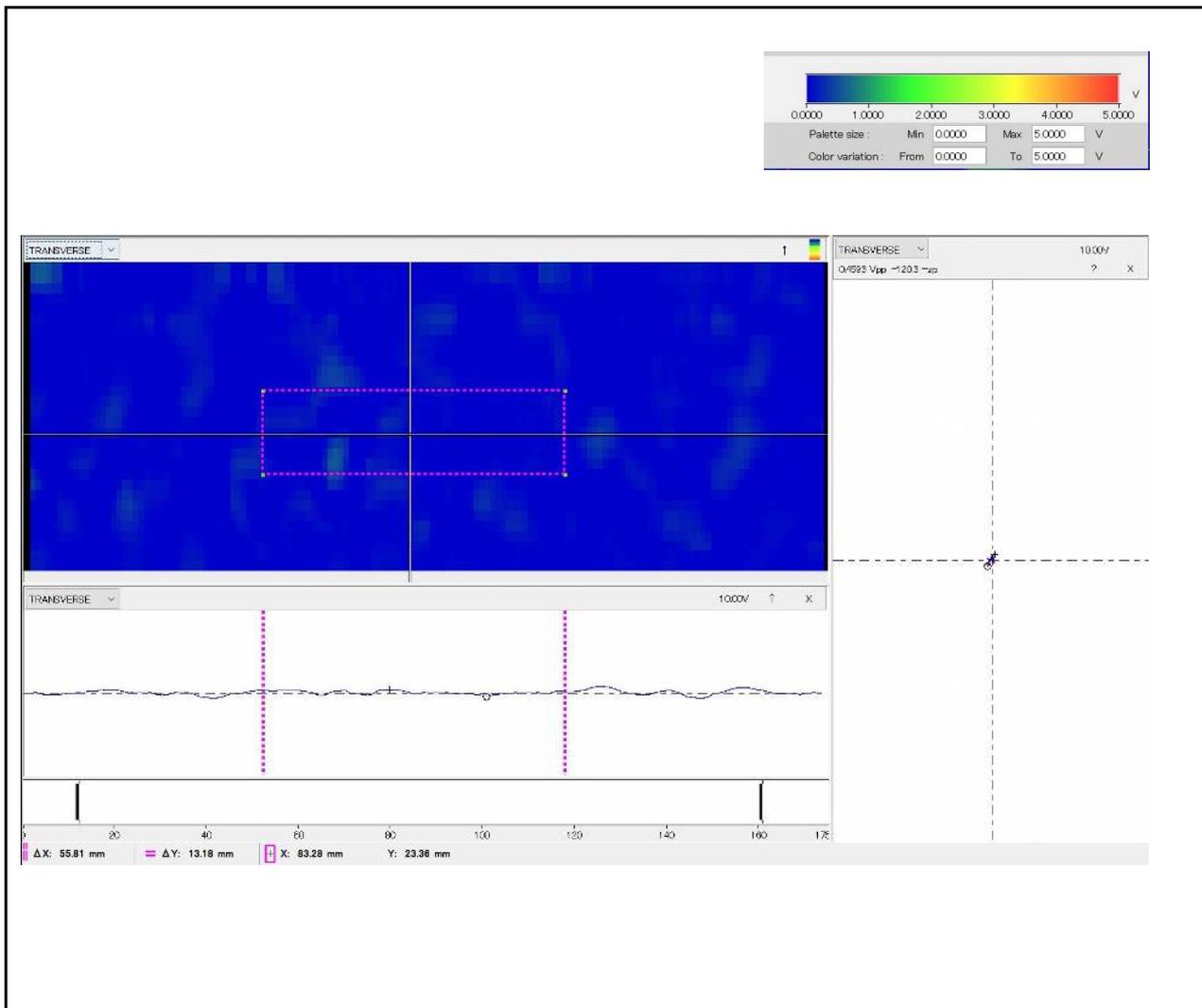
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	-	0.5
SN比	(dB)	-	-

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



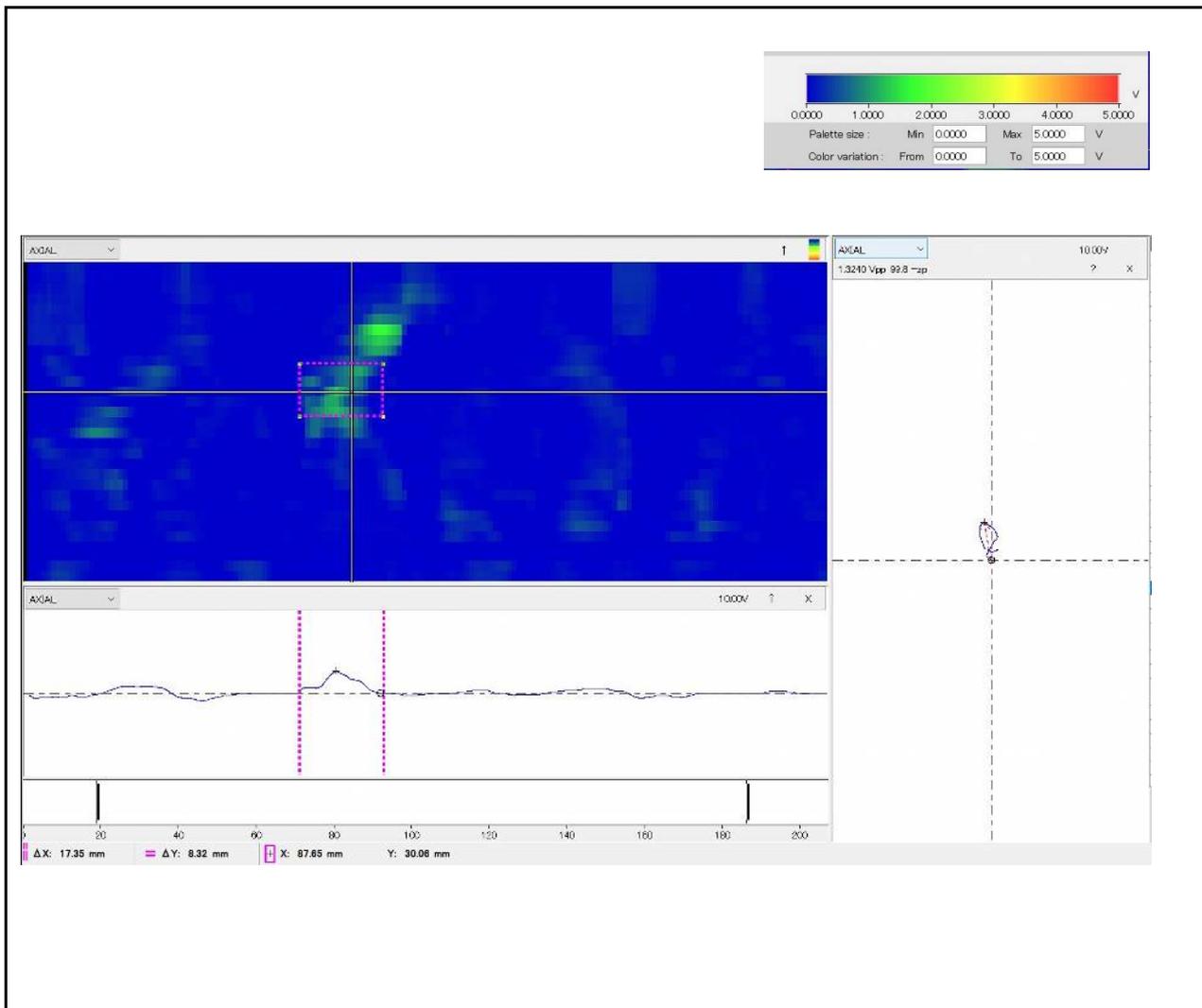
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		22アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		22	ノイズ
出力値 (mV)	V _x (Axial)	-	-
	V _y (Transe)	-	-
	SQRT(V _x ² +V _y ²)	1.3	0.5
SN比	(dB)	8.3	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



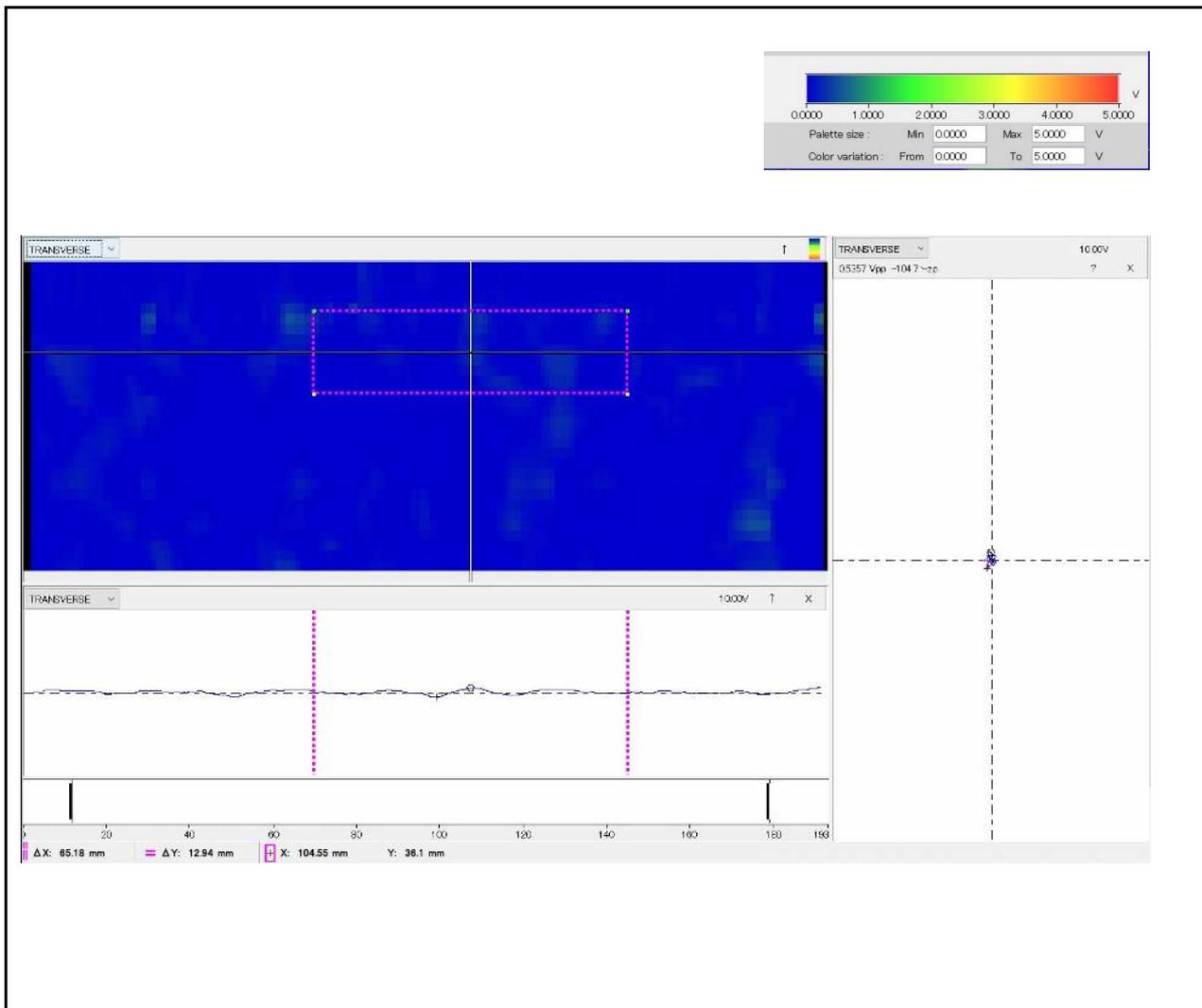
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.6	0.5
SN比	(dB)	1.6	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



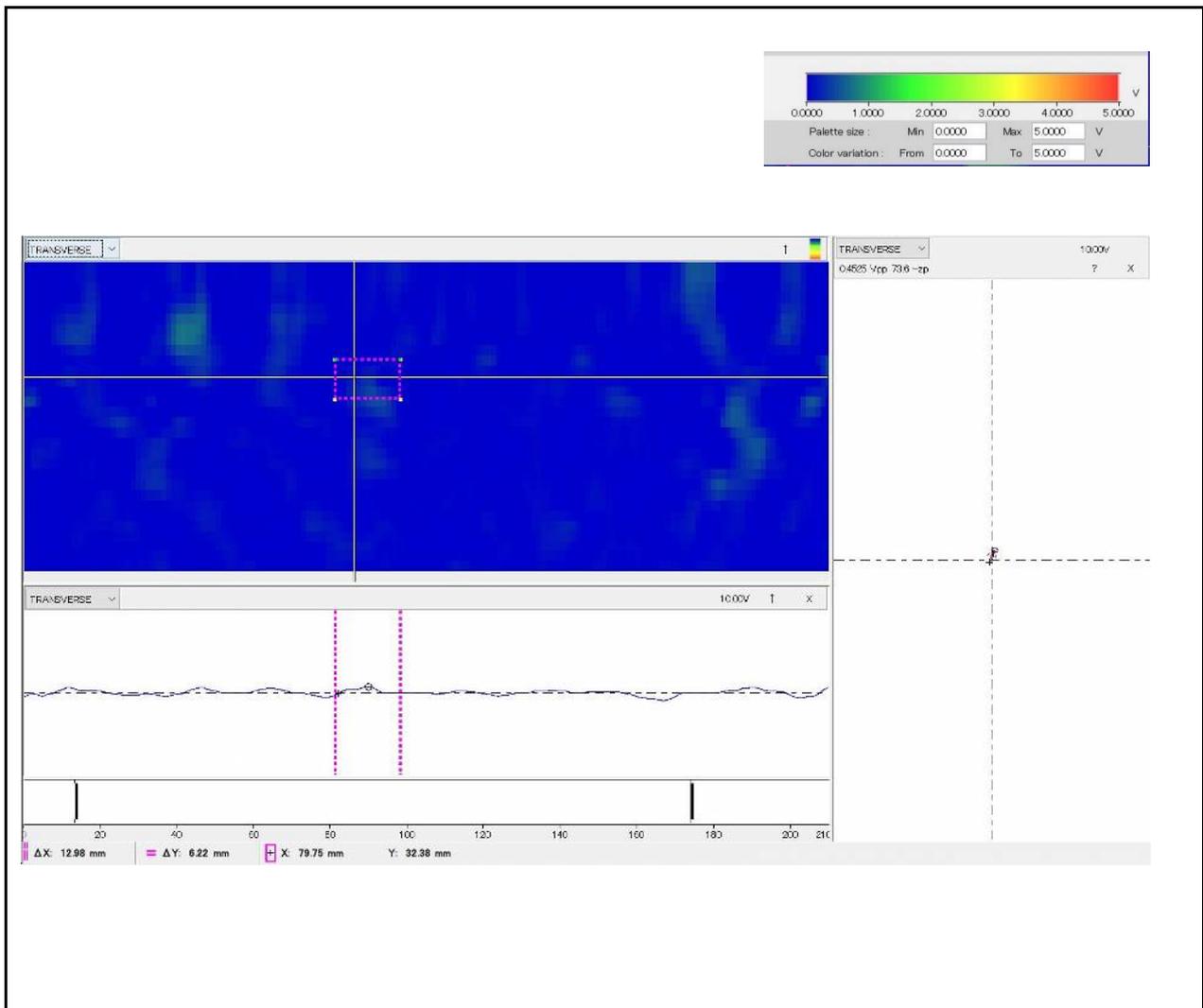
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.5	0.5
SN比	(dB)	0.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



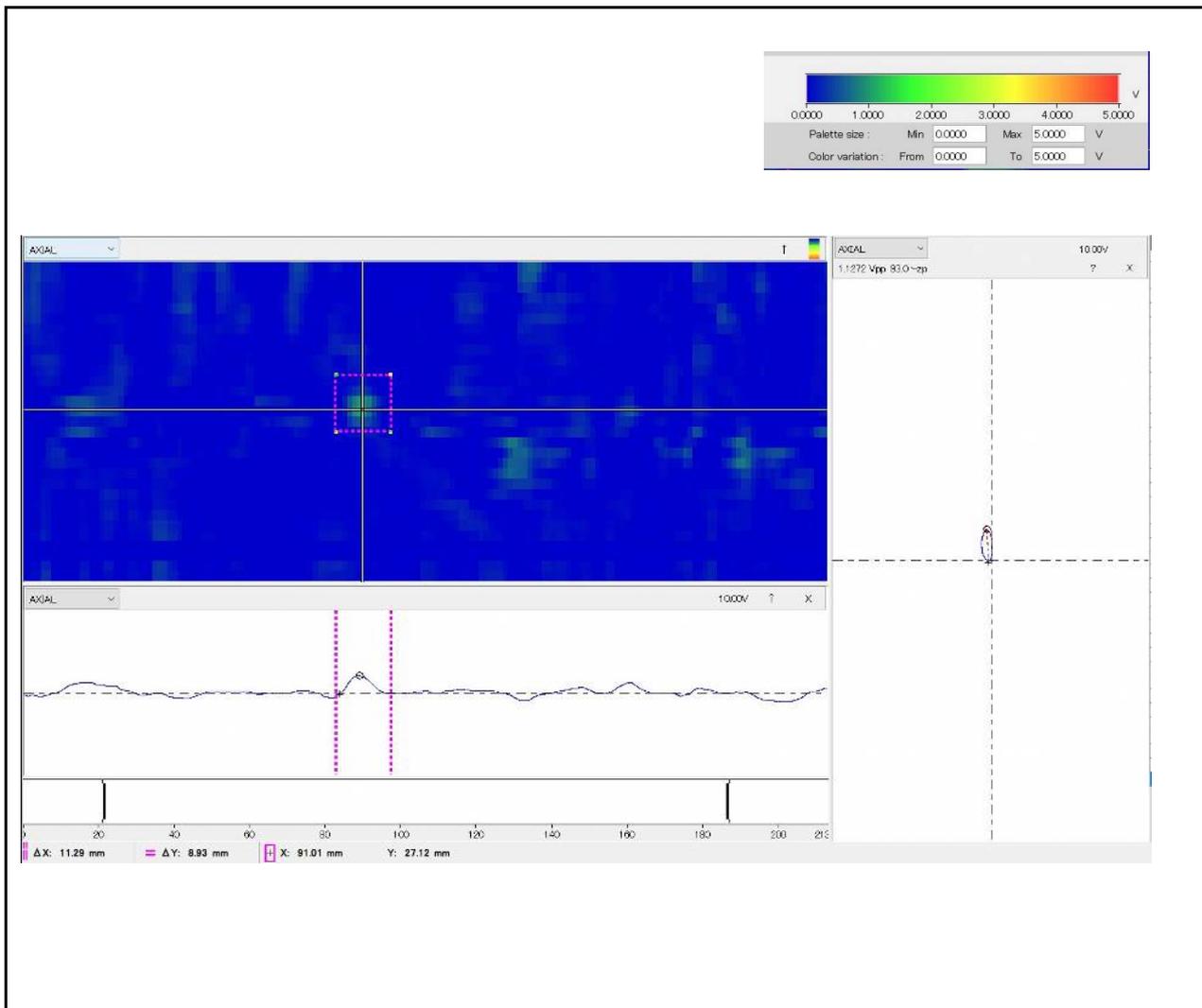
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.1	0.6
SN比	(dB)	5.3	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



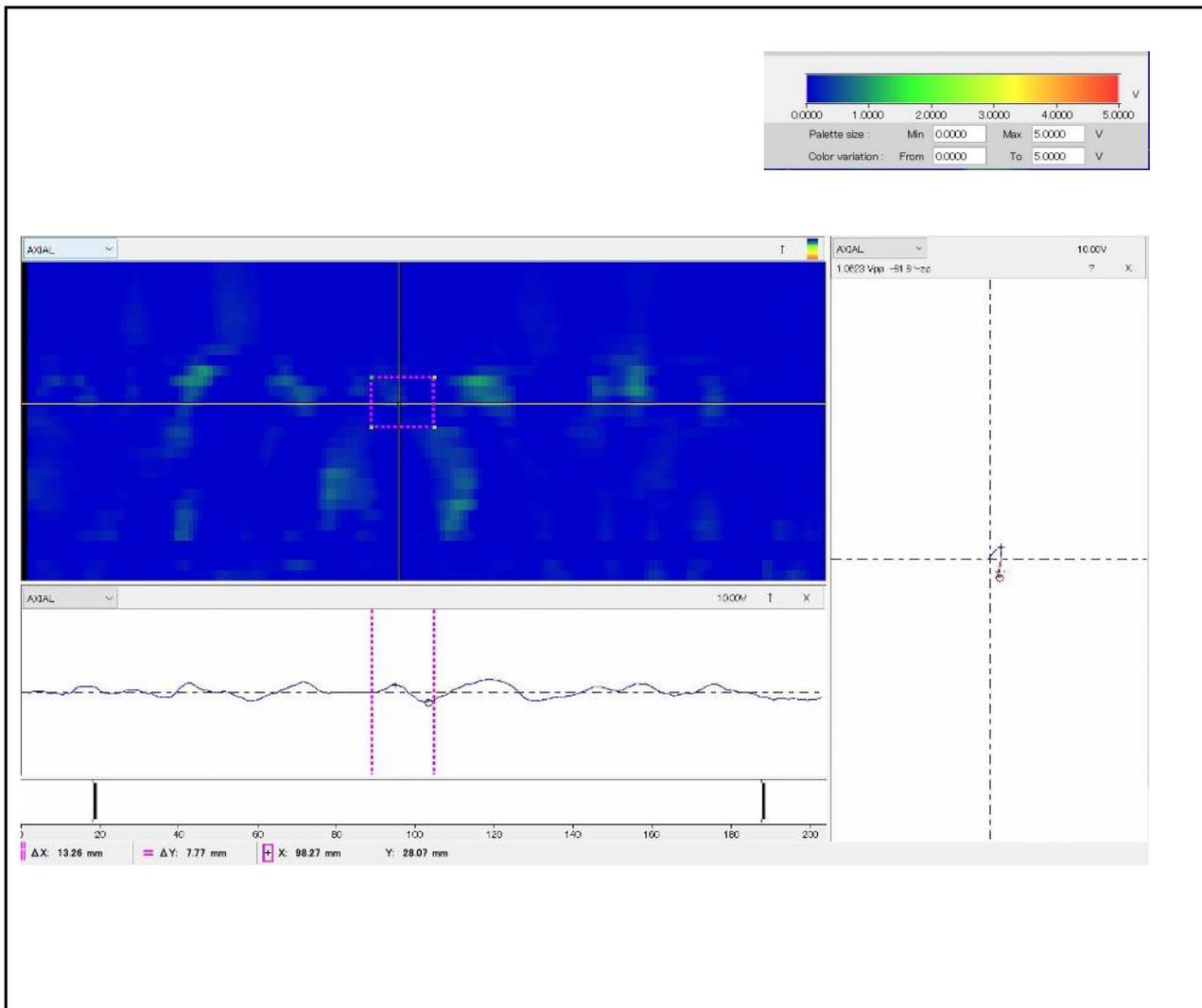
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.1	0.7
SN比	(dB)	3.9	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



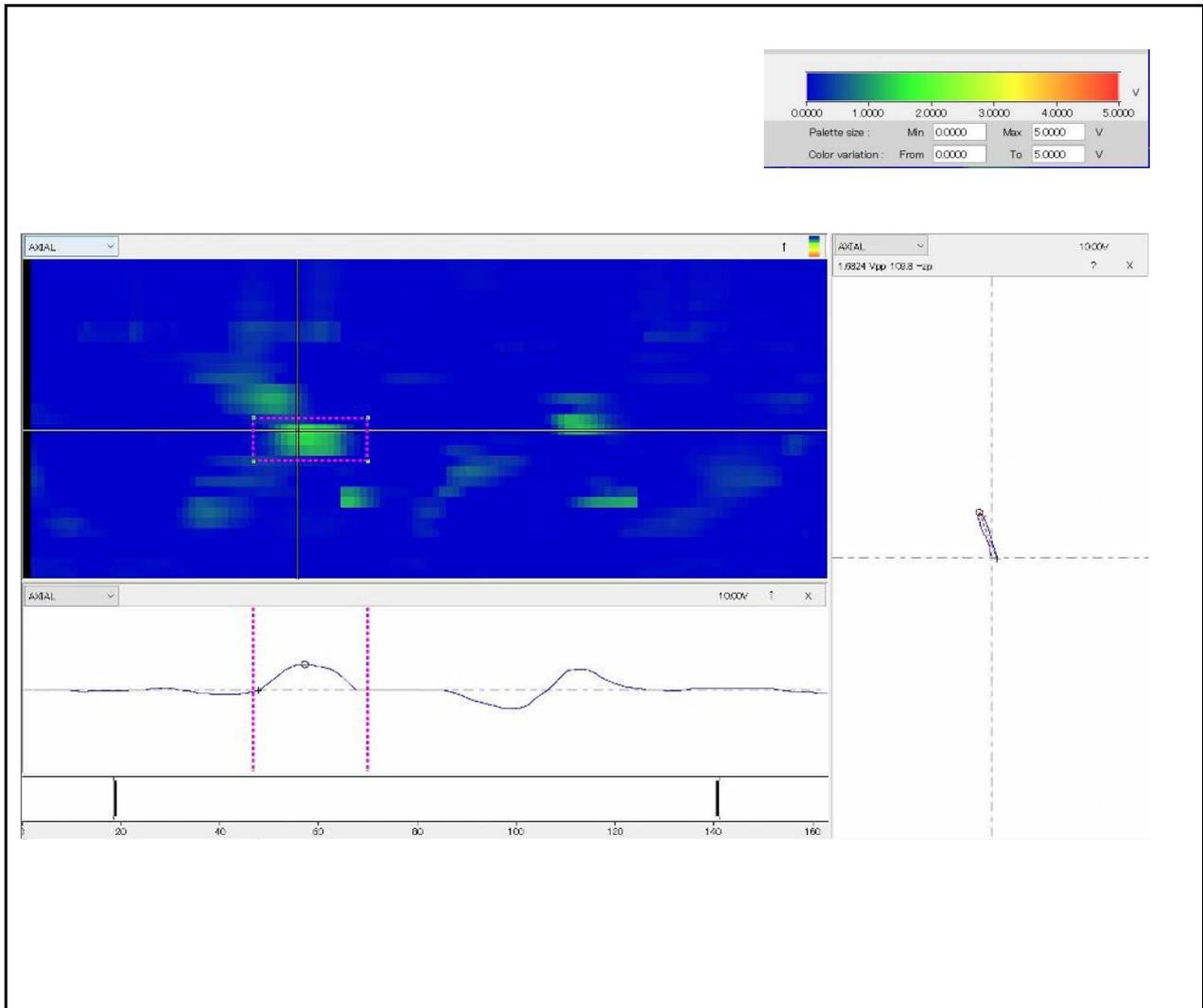
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	基準きず信号を90° に設定
探傷感度	基準きず信号を5.0Vに設定
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	-	-
	V_y (Transe)	-	-
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1.7	1.0
SN比	(dB)	4.6	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	
探傷感度	
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号		形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$\text{SQRT}(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

<p>未実施</p>

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	A
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	
探傷感度	
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号		集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$\text{SQRT}(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

未実施

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

プローブのコンタクトが不十分であり、対象外

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

プローブのコンタクトが不十分であり、対象外

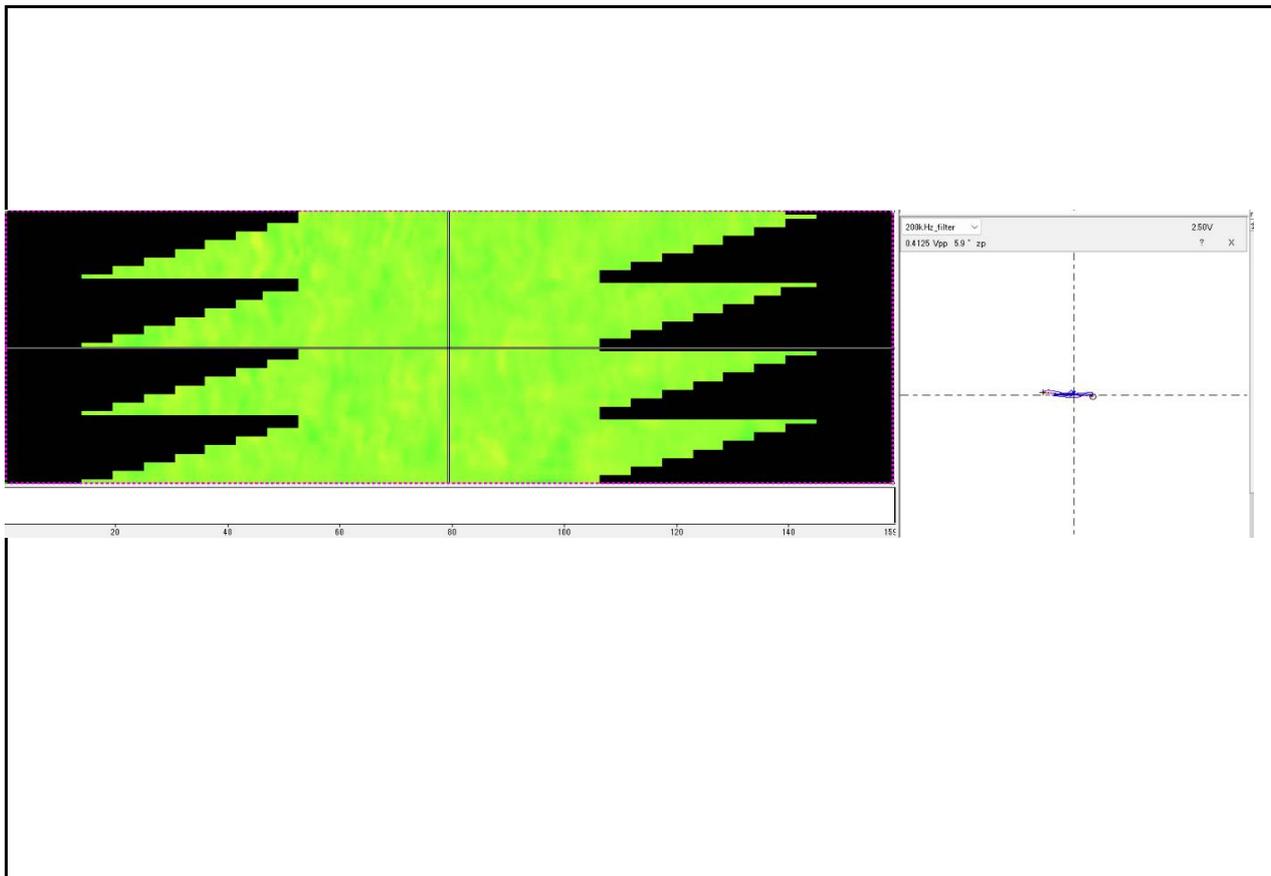
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	指示なし	
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

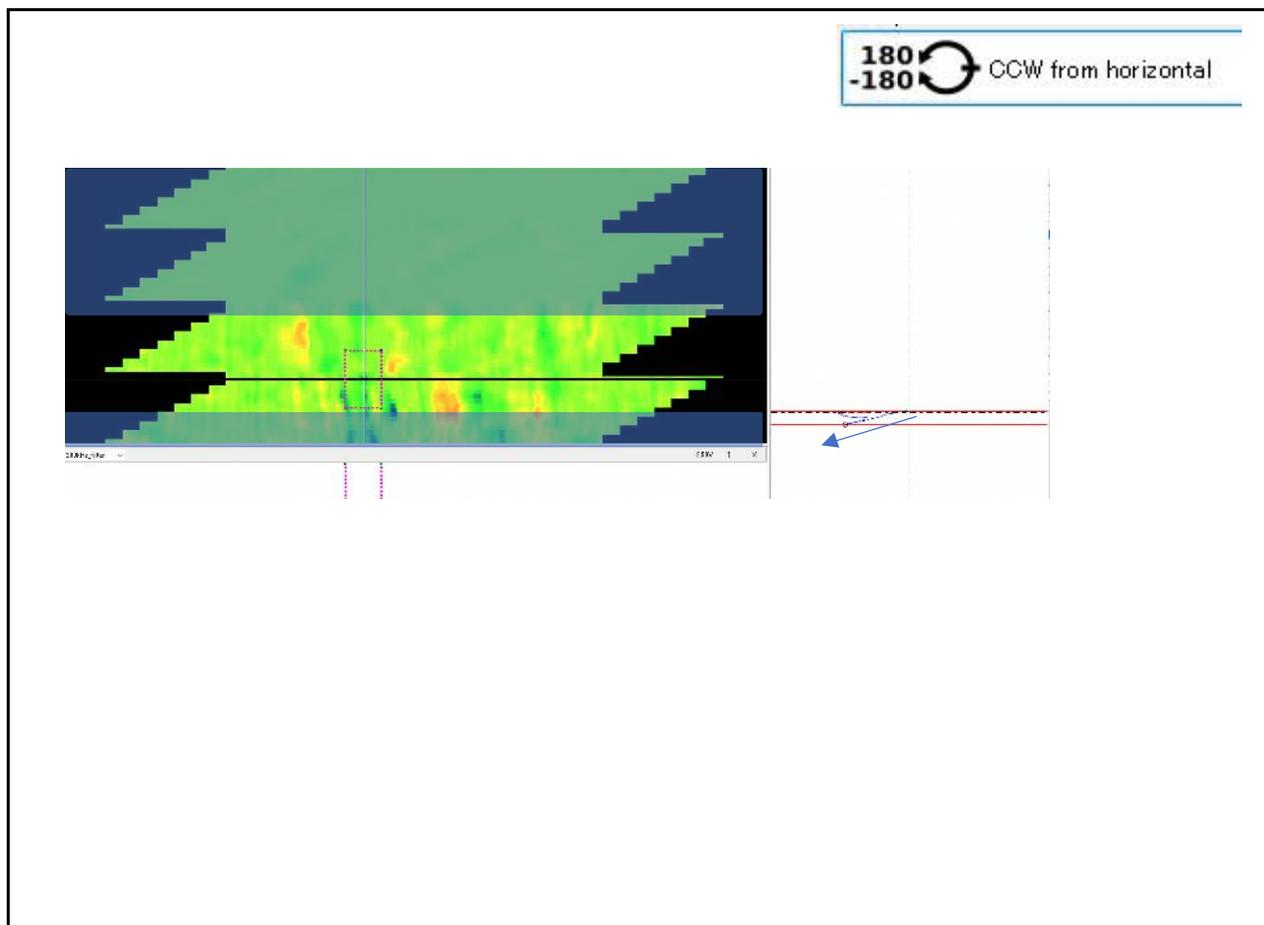
試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		22アニューラ× 底板部	
きず番号/試験番号		22	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.41	—
	V_y (Transe)	0.13	0.08
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.43	—
SN比	(dB)	4.22	
位相角 (deg)		-165°	

同一コイルのY方向のチャートから評価

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



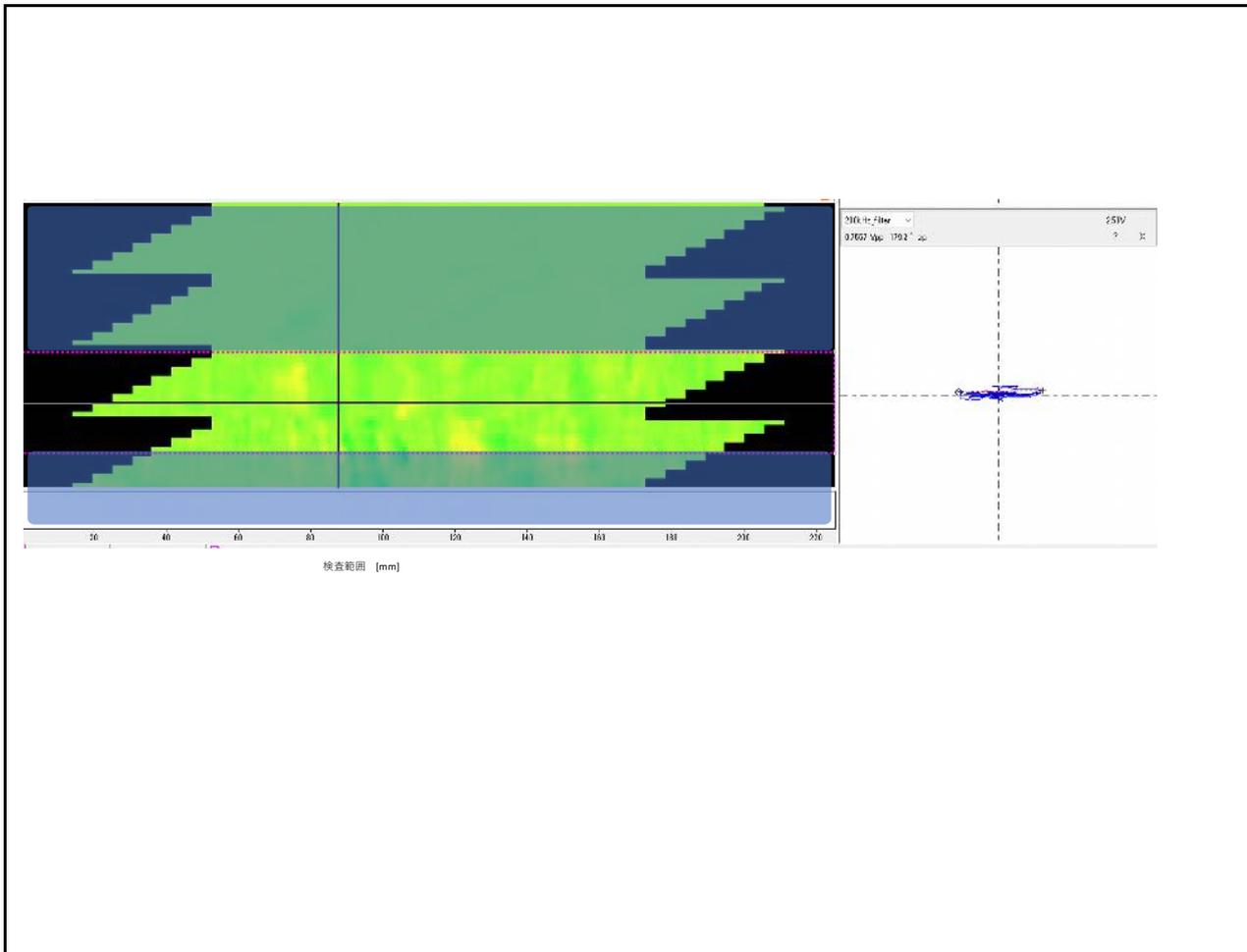
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



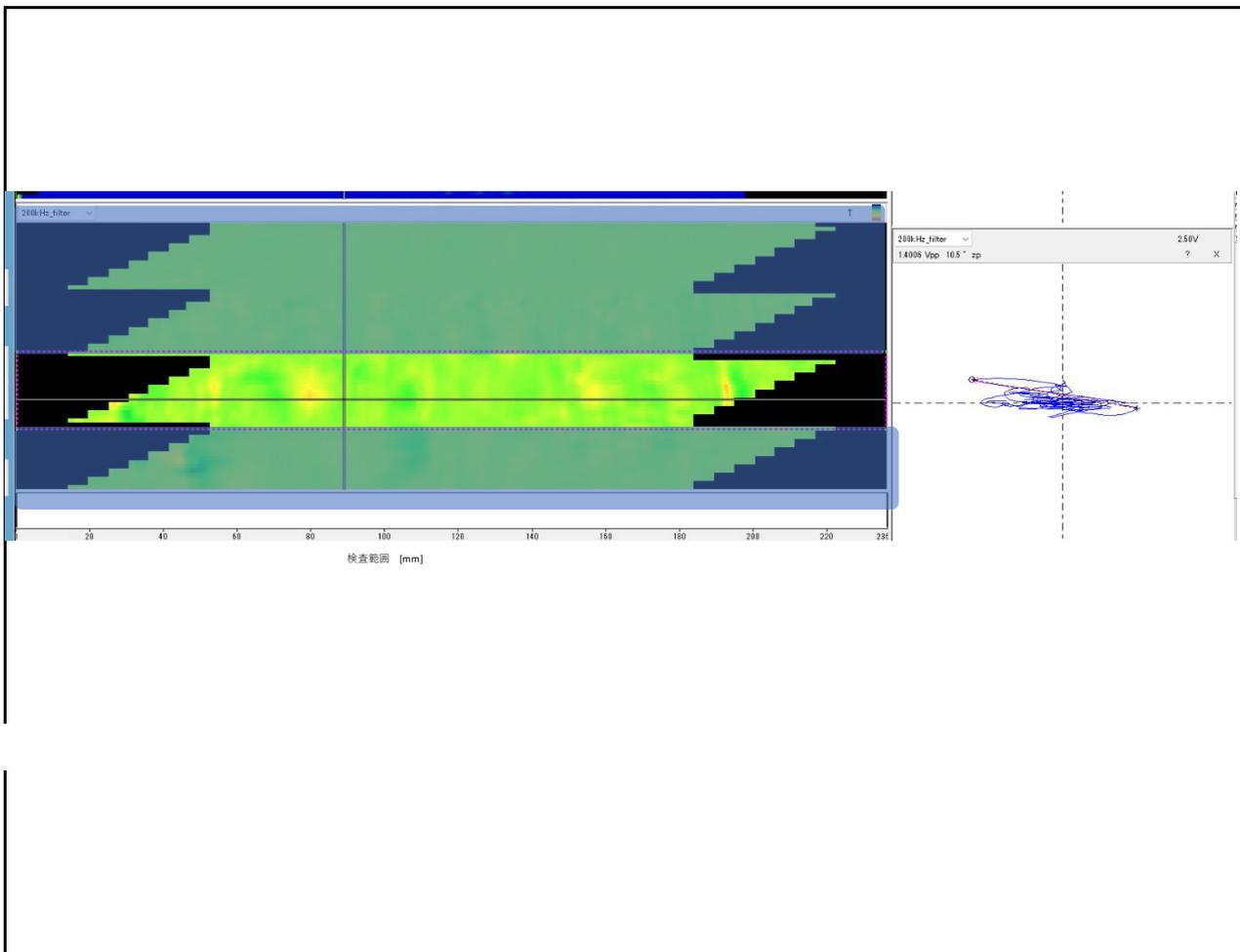
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

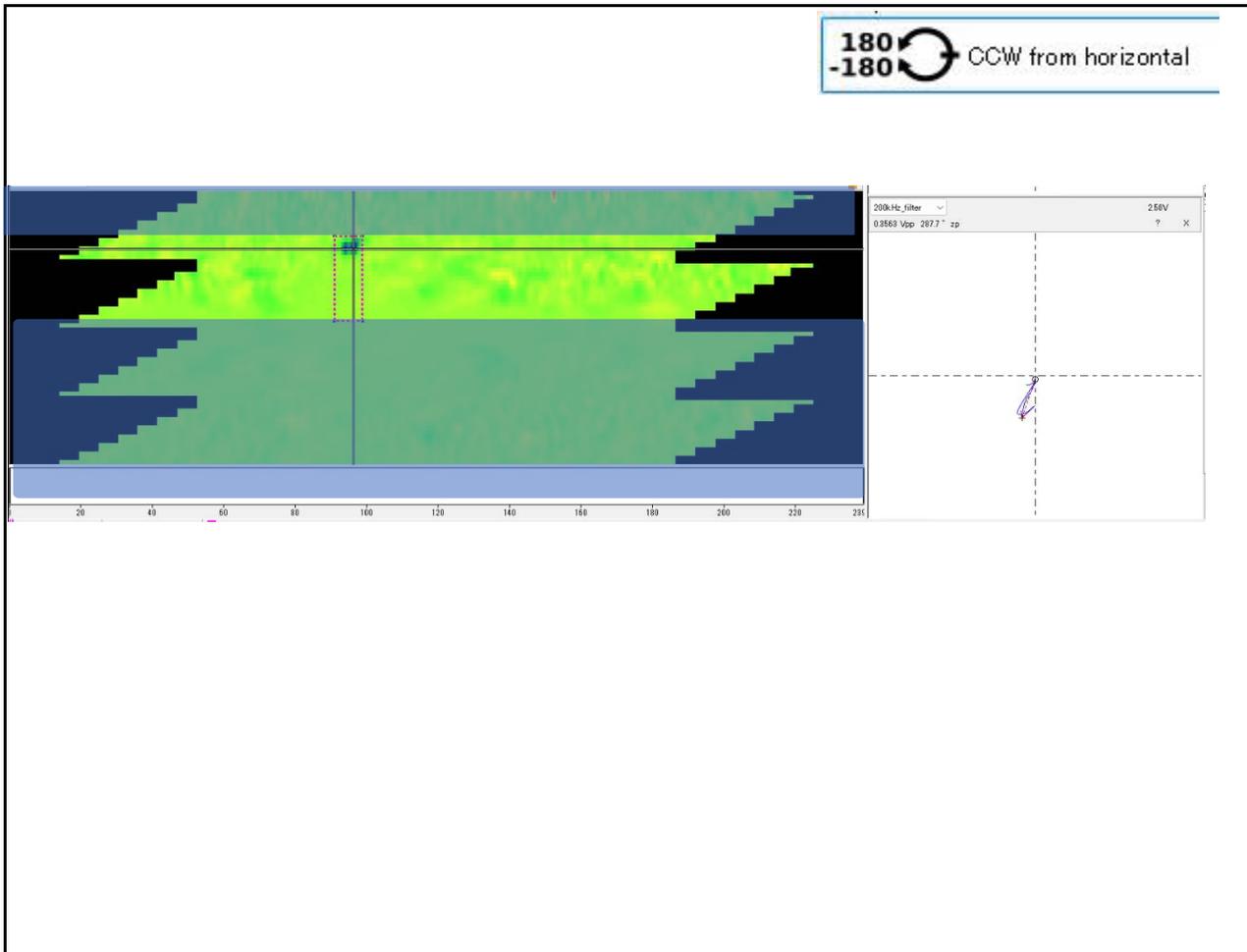
試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.14	—
	V_y (Transe)	0.34	0.13
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.37	—
SN比	(dB)	8.35	
位相角 (deg)		-106°	

同一コイルのY方向のチャートから評価

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



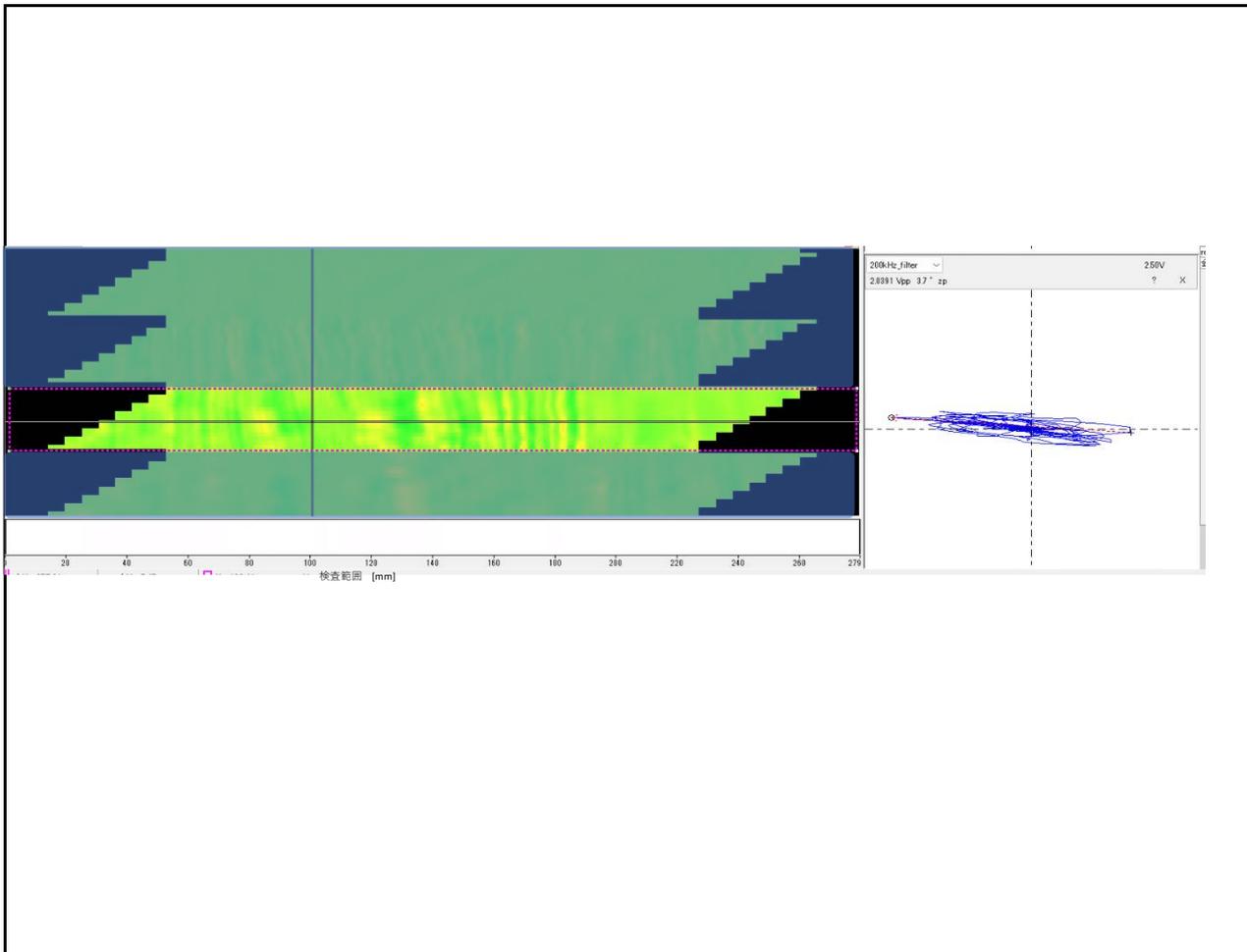
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	プローブのコンタクトが不十分であり、対象外	
	V_y (Trans)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

MT指示部は、指示版角部の溶接止端部であるため、プローブアクセスできず

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	0dB
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号		形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		—
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		—
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査場所のアクセスを考慮して実施せず。

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号		集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査場所のアクセスを考慮して実施せず。

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

プローブのコンタクトが不十分であり、対象外

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

プローブのコンタクトが不十分であり、対象外

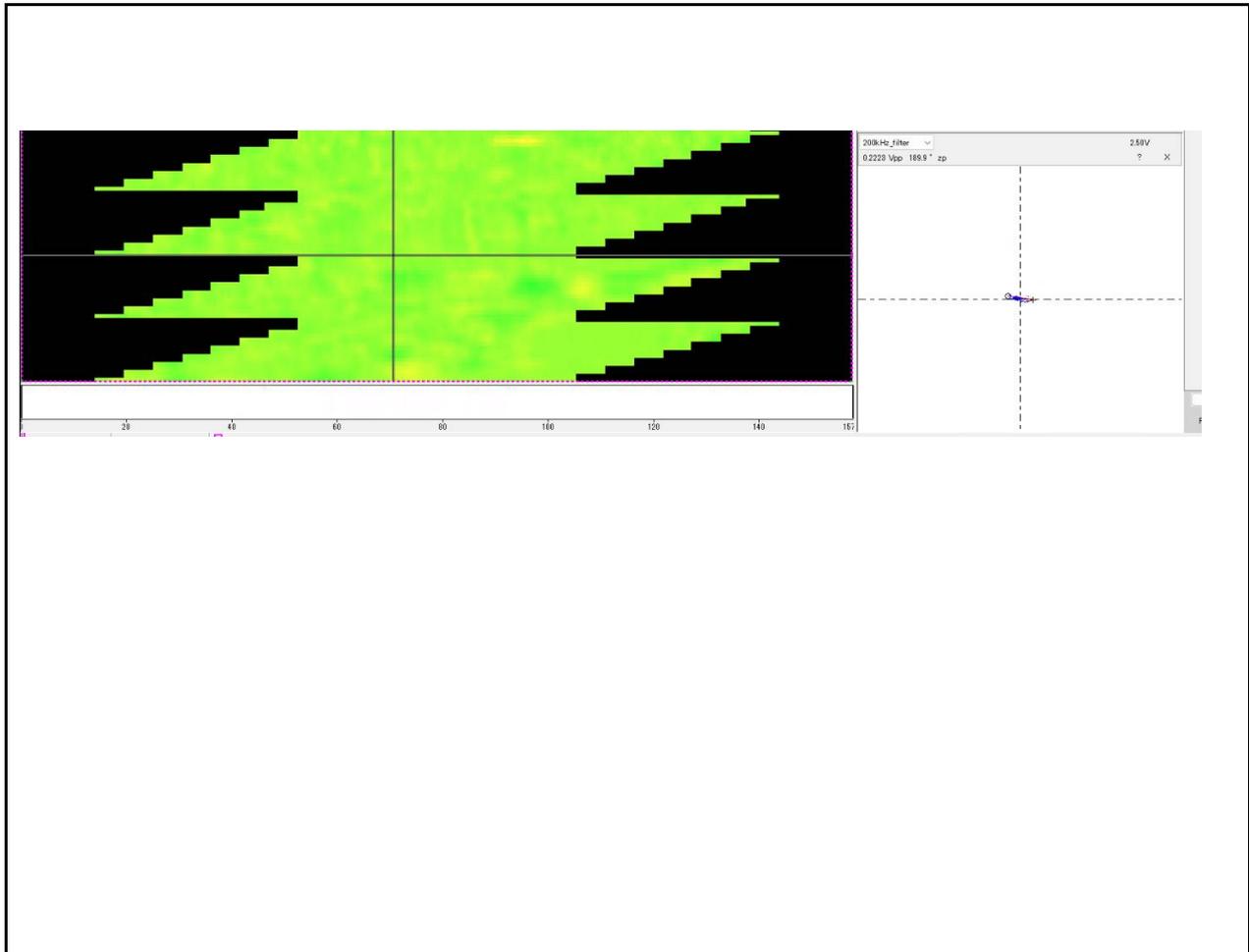
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

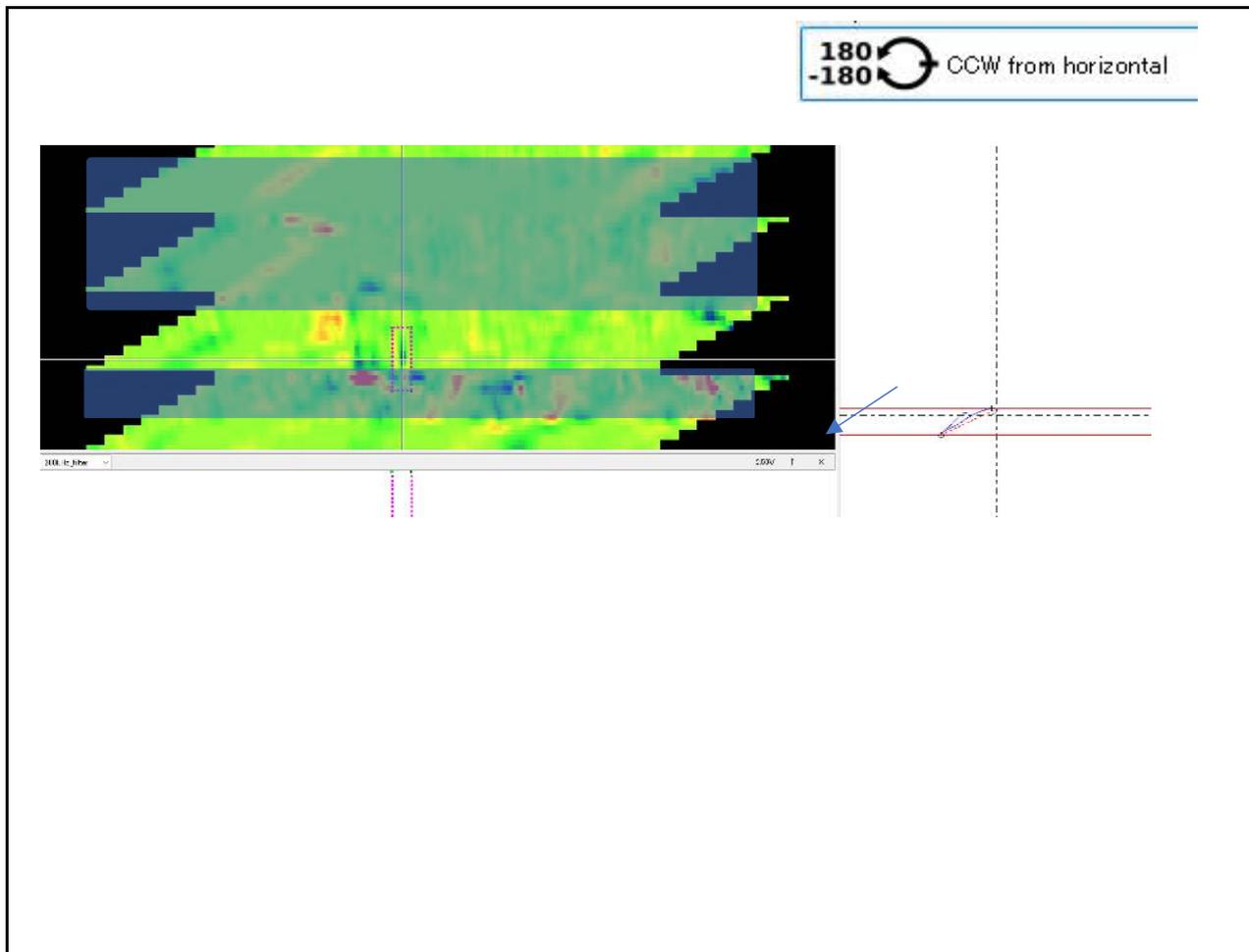
試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		22アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		22	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.46	—
	V_y (Transe)	0.23	0.17
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.51	—
SN比	(dB)	2.6	
位相角 (deg)		-164°	

同一コイルのY方向のチャートから評価

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



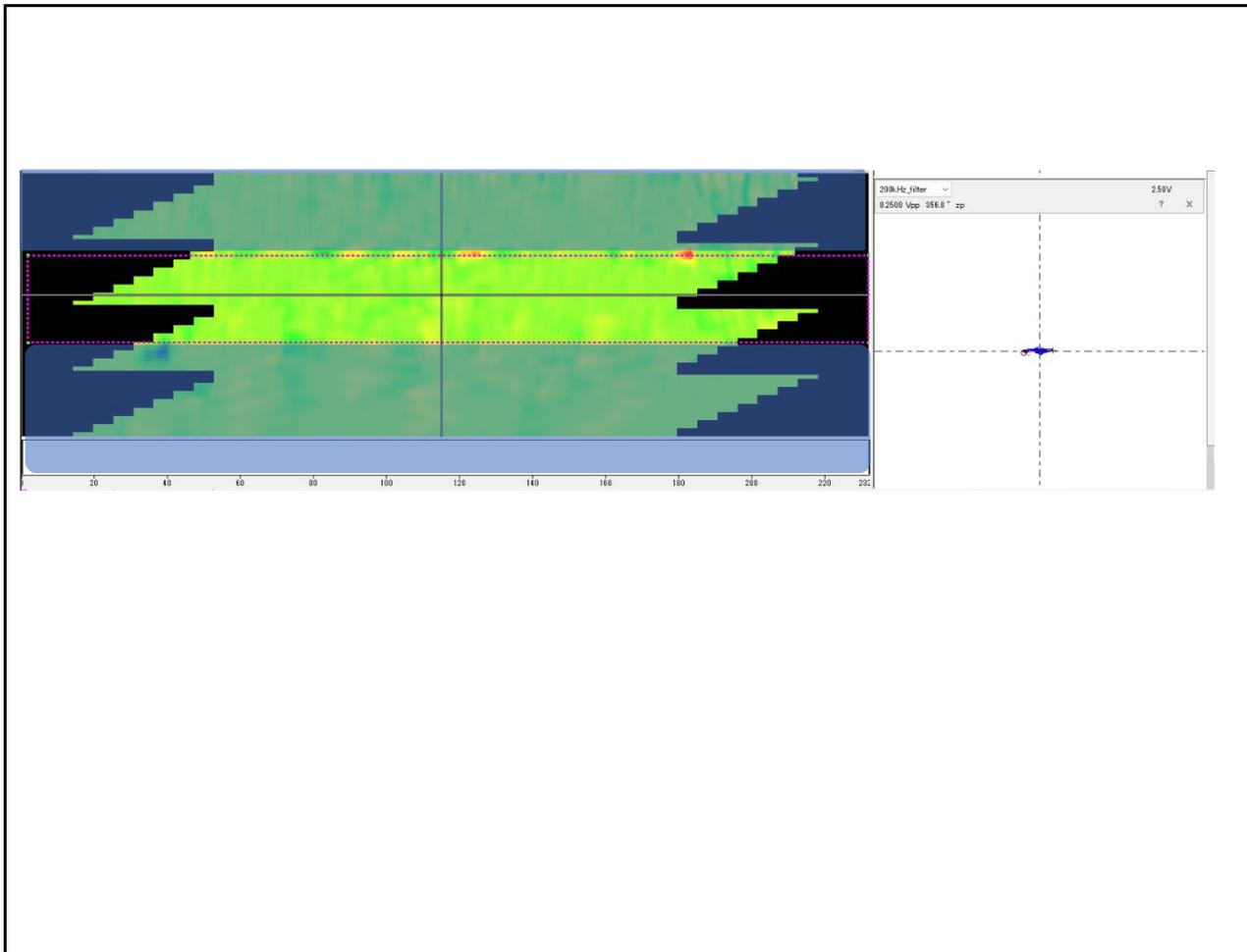
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



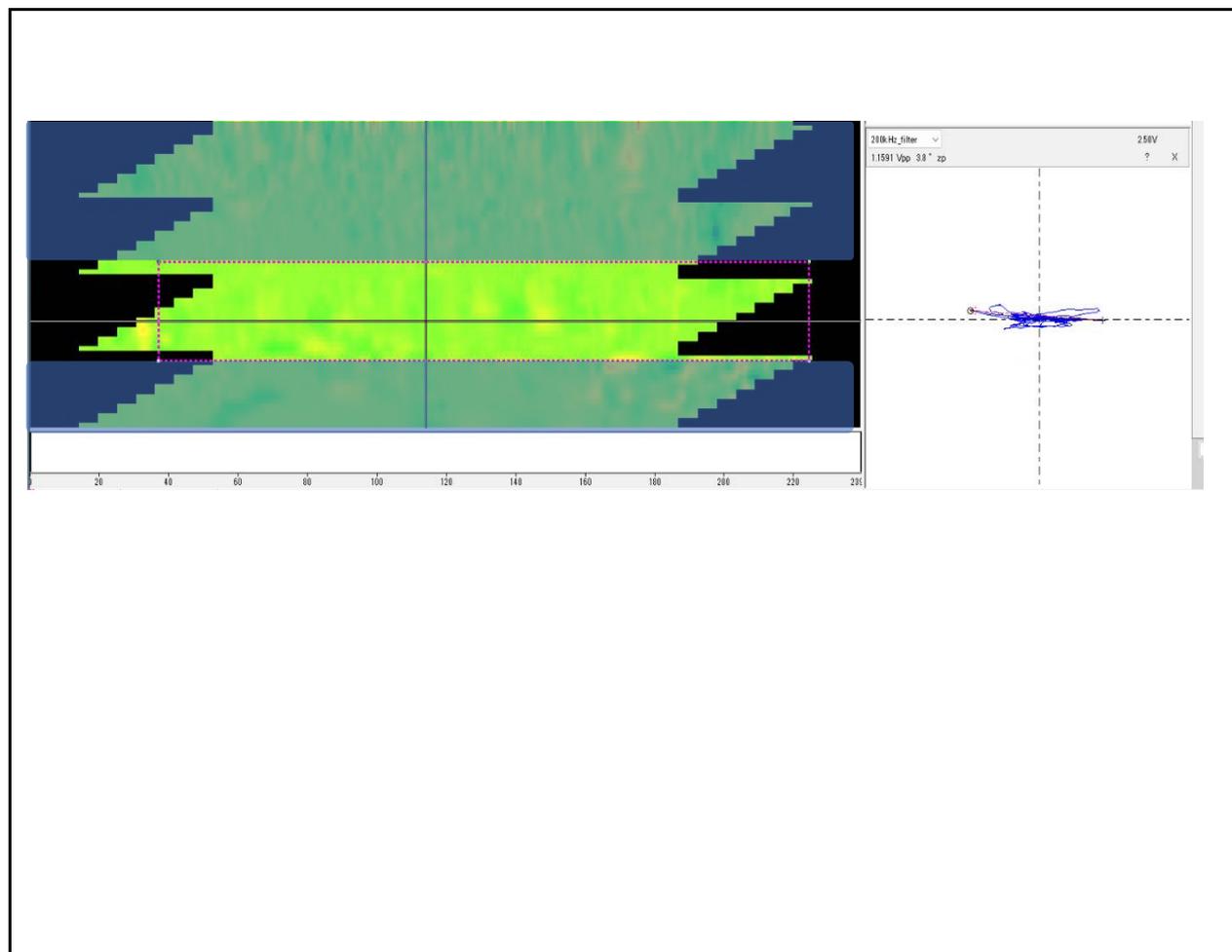
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

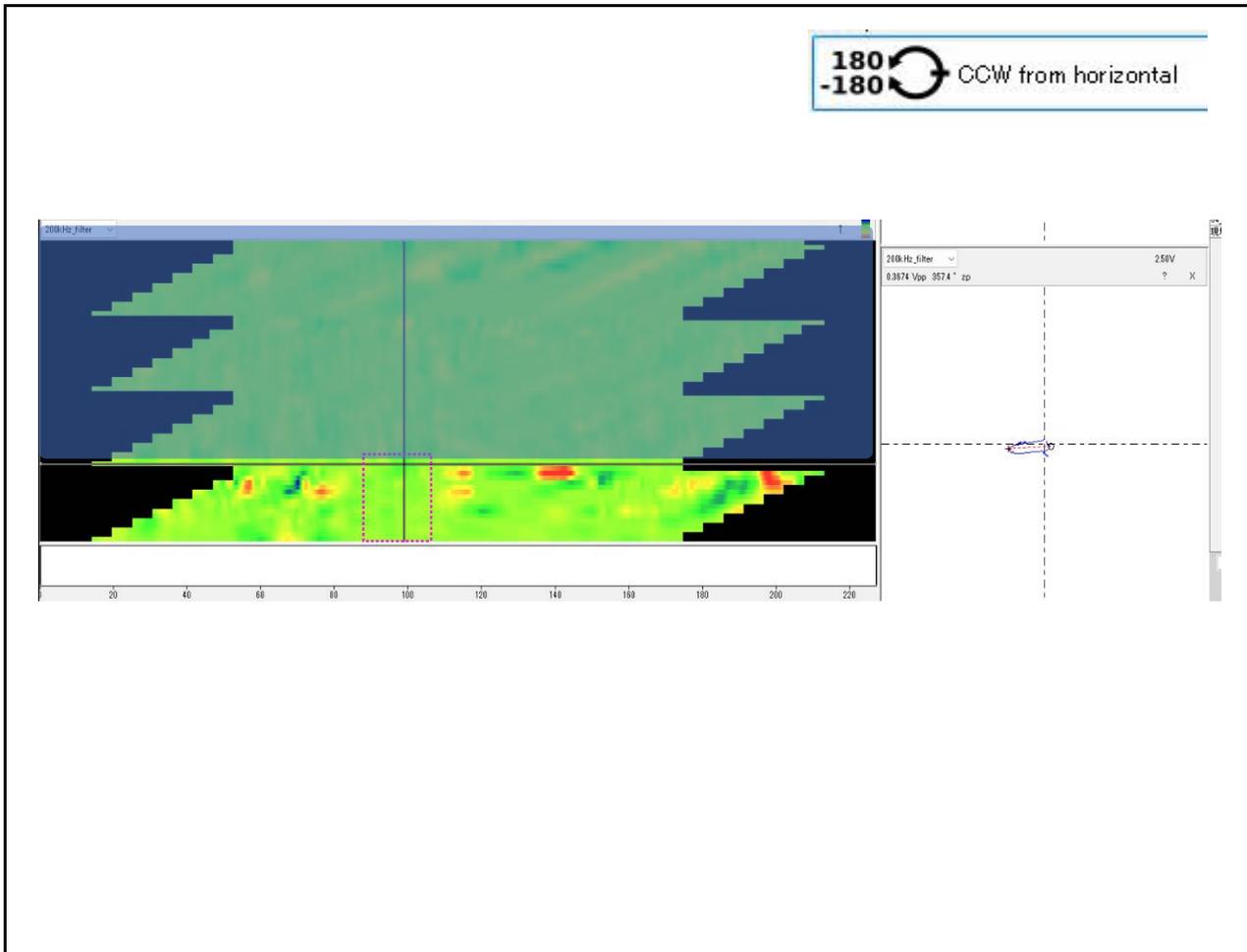
試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.37	—
	V_y (Transe)	0.14	0.08
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.40	—
SN比	(dB)	4.9	
位相角 (deg)		-160°	

同一コイルのY方向のチャートから評価

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



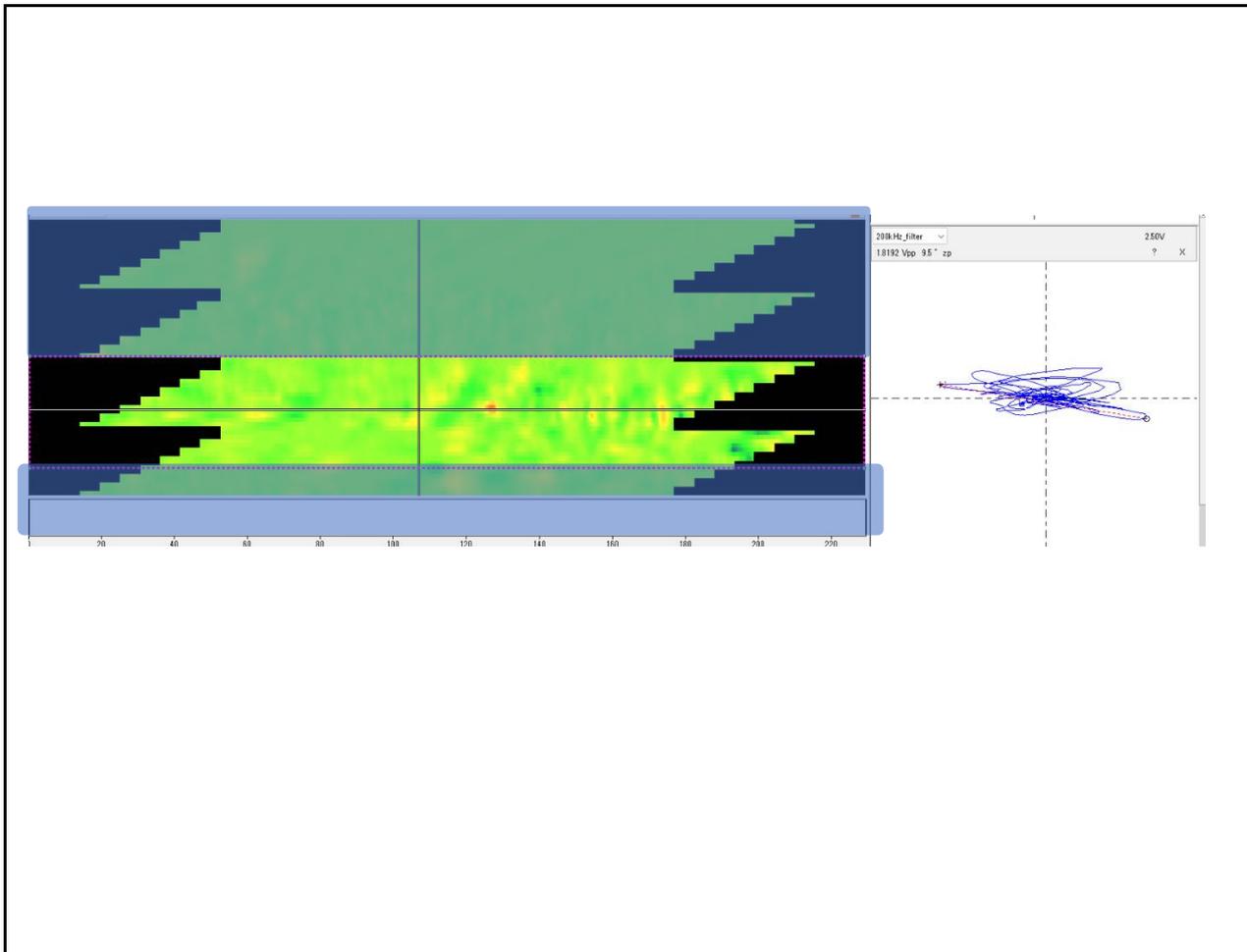
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+6 dB
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

MT指示部は、指示版角部の溶接止端部であるため、プローブアクセスできず検査不可。

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号		形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査場所のアクセスを考慮して実施せず。

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号		集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$\text{SQRT}(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査場所のアクセスを考慮して実施せず。

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

プローブのコンタクトが不十分であり、対象外

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

プローブのコンタクトが不十分であり、対象外

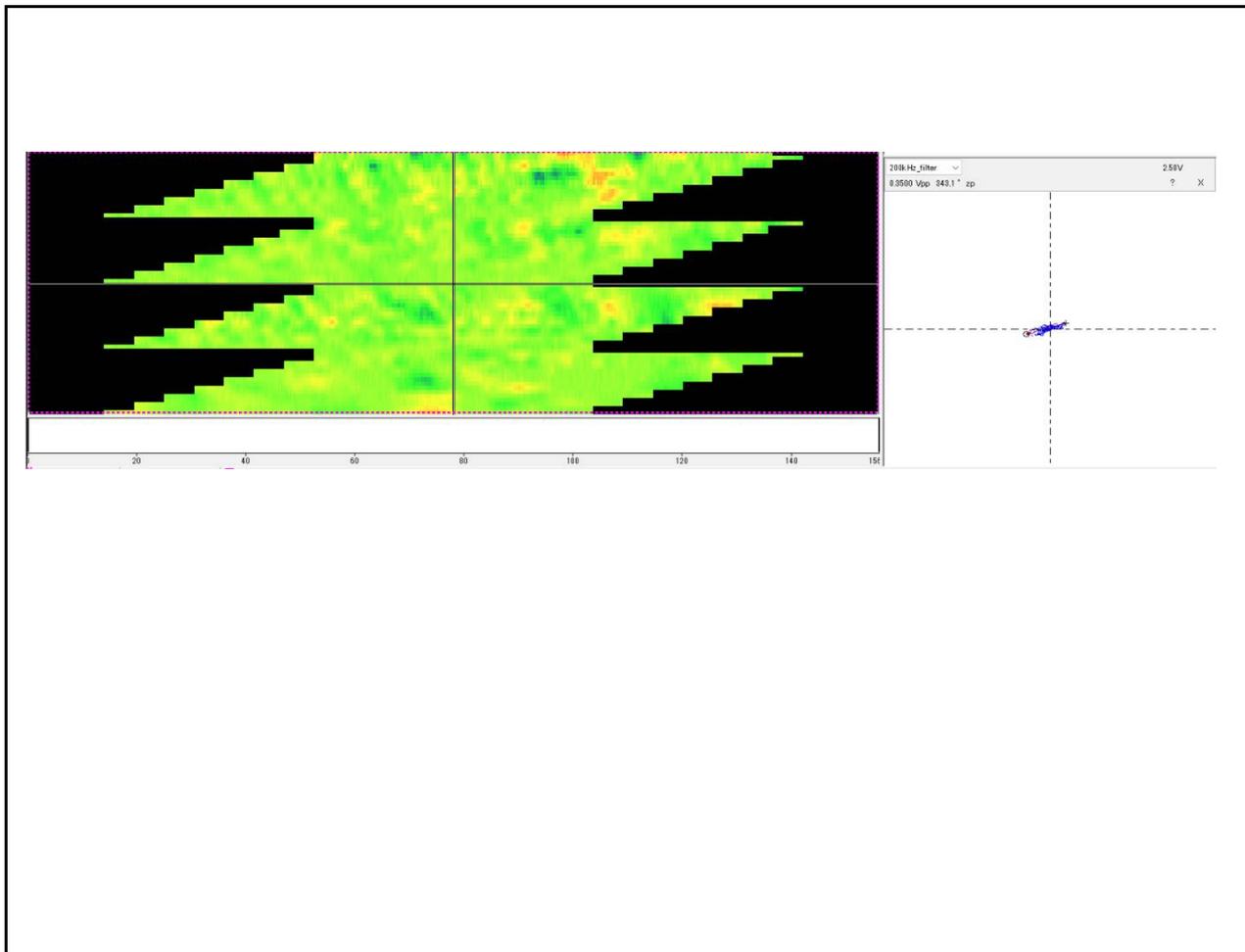
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

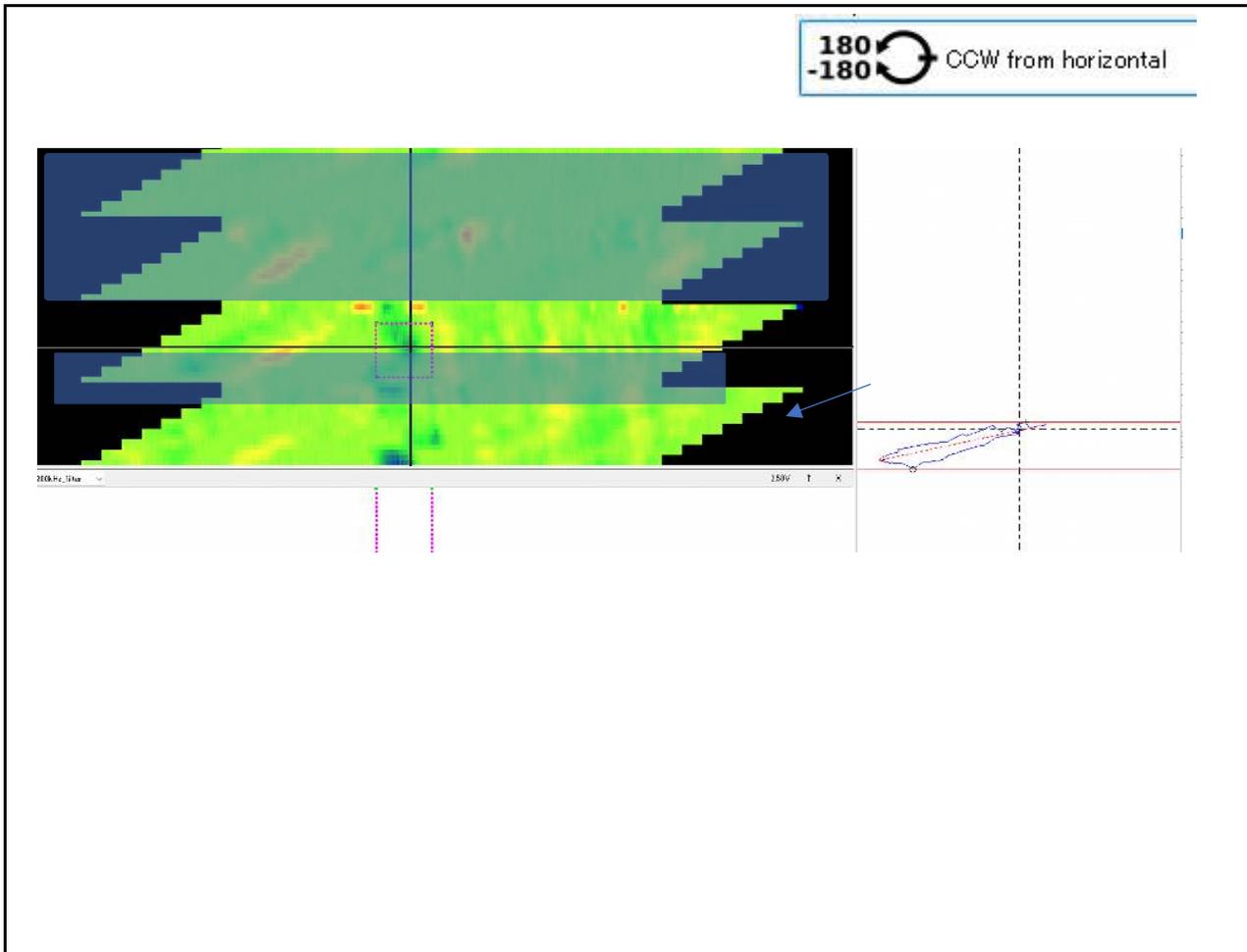
試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		22アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		22	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.84	—
	V_y (Transe)	0.39	0.31
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.93	—
SN比	(dB)	1.99	
位相角 (deg)		-167°	

同一コイルのY方向のチャートから評価

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



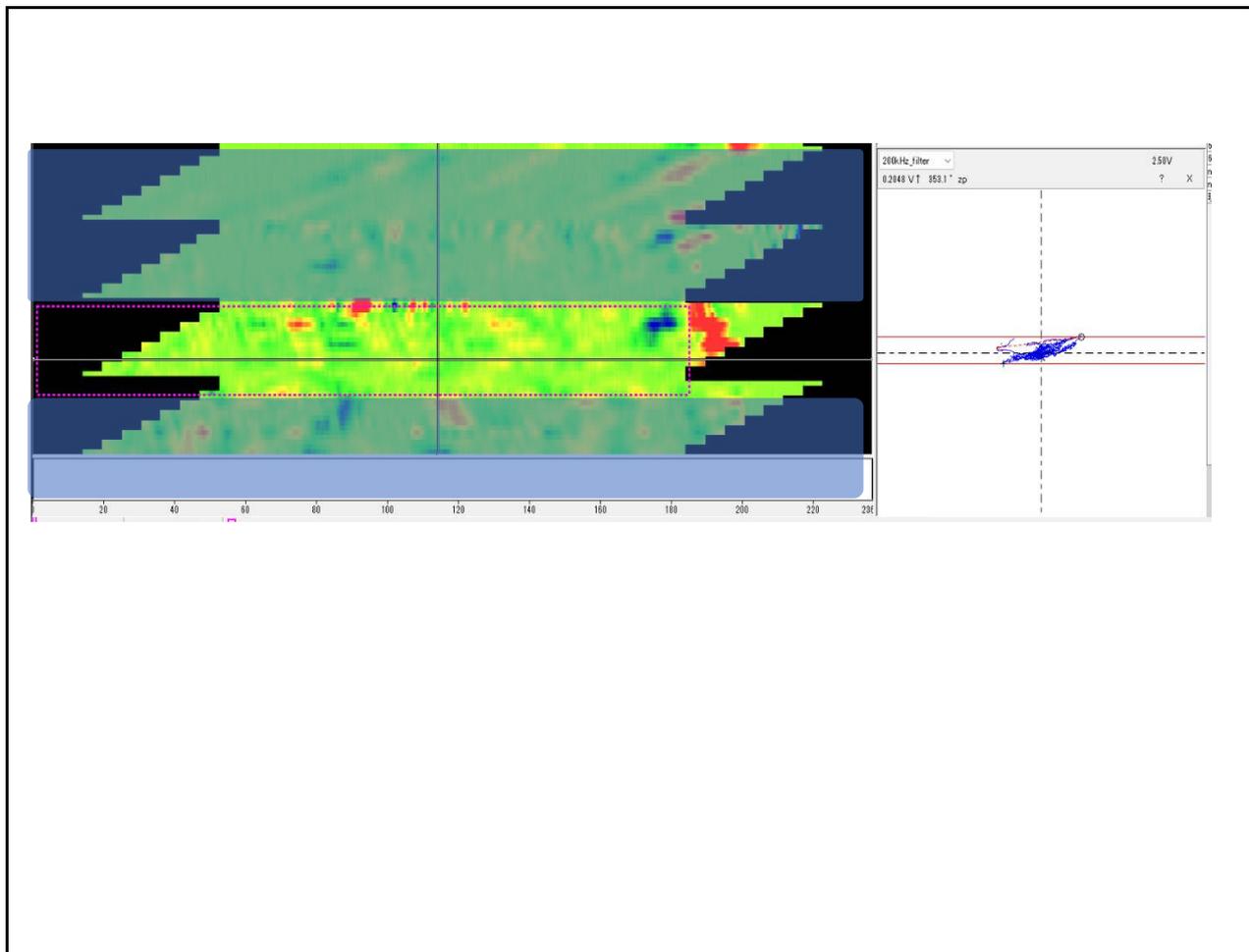
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	指示なし	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



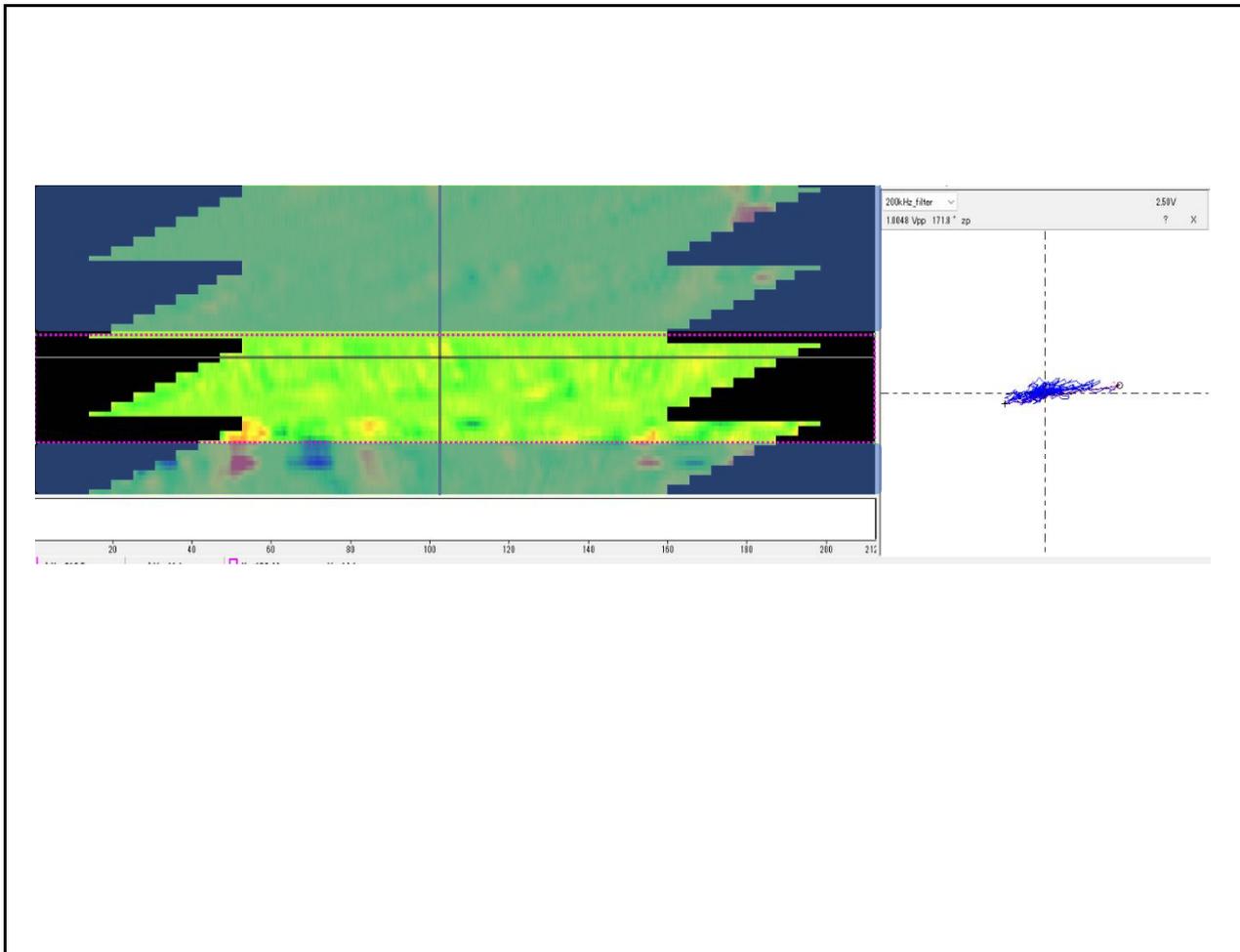
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)	指示なし	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

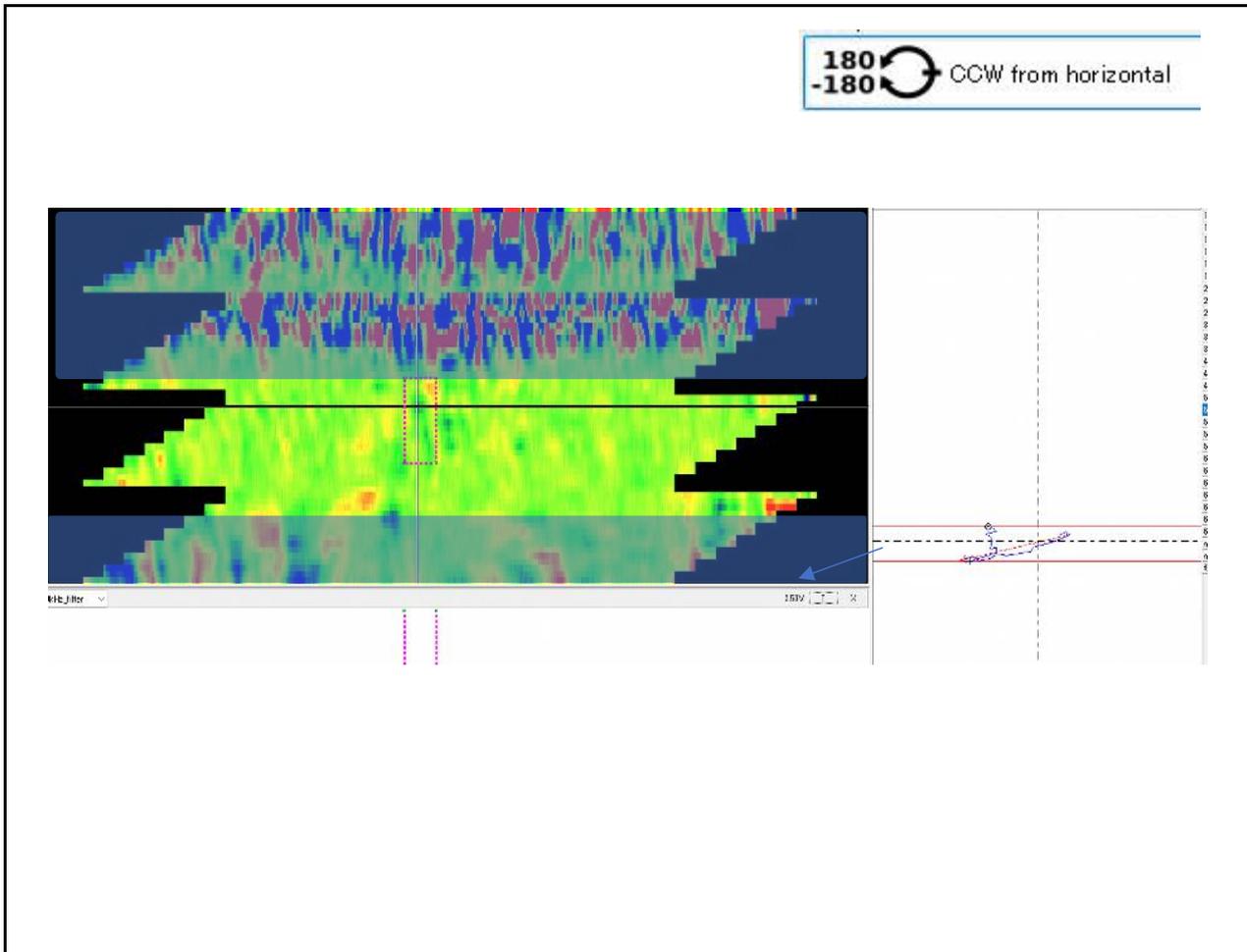
試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	0.45	—
	V_y (Transe)	0.25	0.15
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	0.51	—
SN比	(dB)	4.4	
位相角 (deg)		-167°	

同一コイルのY方向のチャートから評価

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



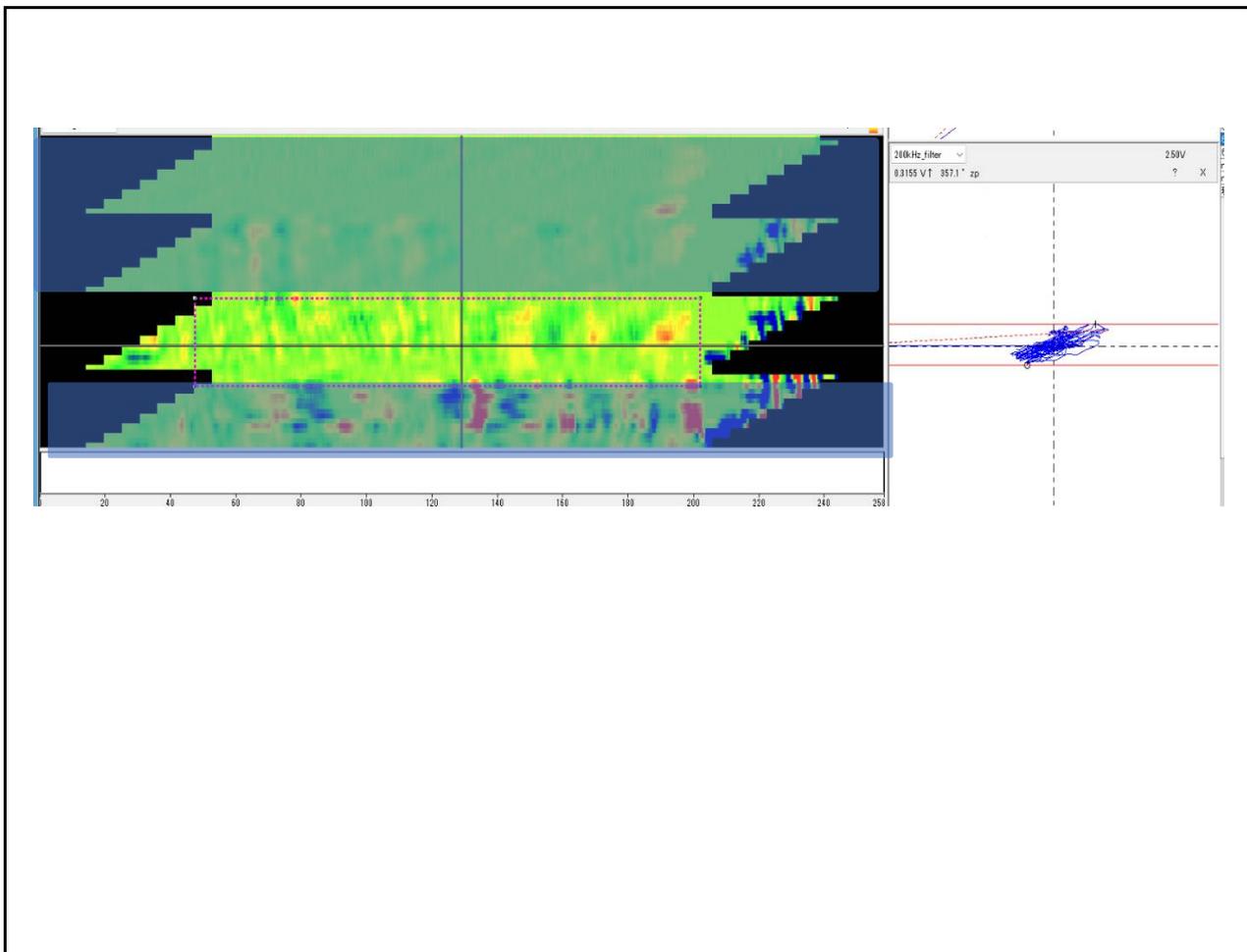
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	+20dB
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	指示なし	
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

MT指示部は、指示版角部の溶接止端部であるため、プローブアクセスできず検査不可。

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号		形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$\text{SQRT}(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査場所のアクセスを考慮して実施せず。

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	リフトオフ信号をX軸マイナス方向に設定
探傷感度	
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号		集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$\text{SQRT}(V_x^2 + V_y^2)$		
SN比	(dB)		
位相角 (deg)			

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

検査場所のアクセスを考慮して実施せず。

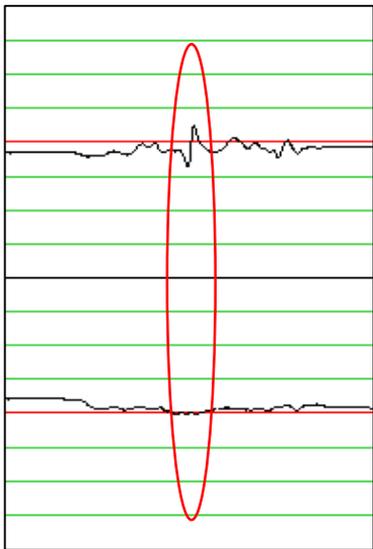
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

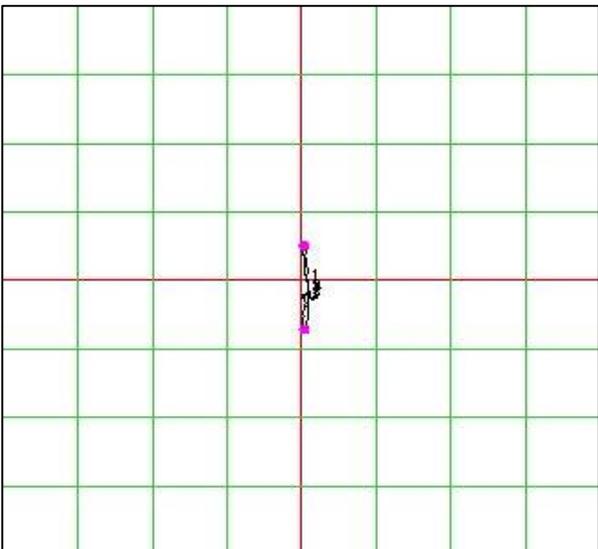
試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600	300
SN比	(dB)	6.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	4

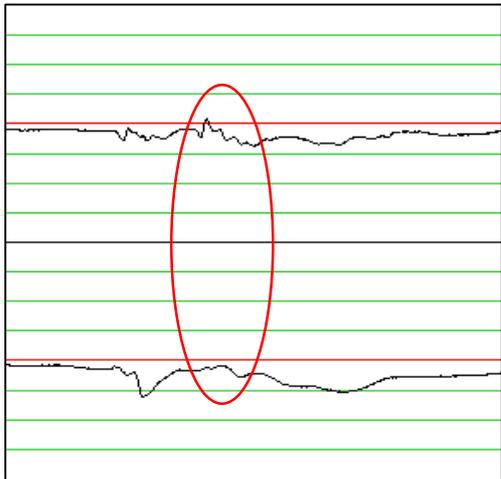
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

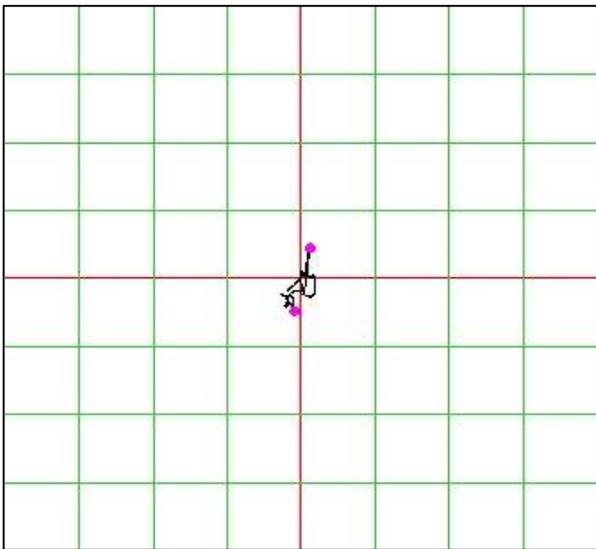
試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	500
SN比	(dB)	0.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

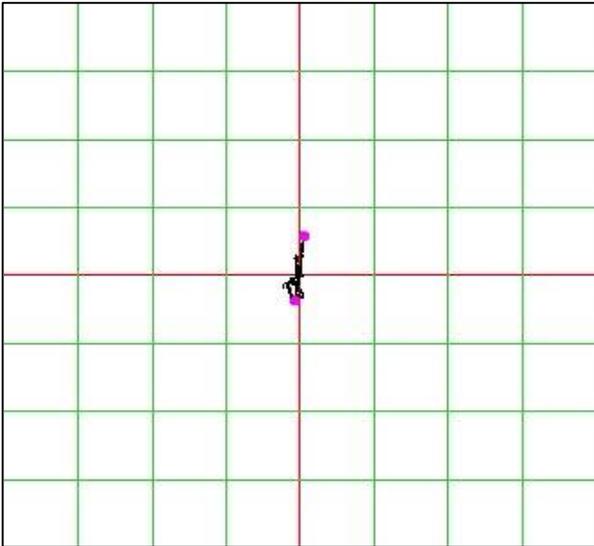
試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	100
SN比	(dB)	14.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	2

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

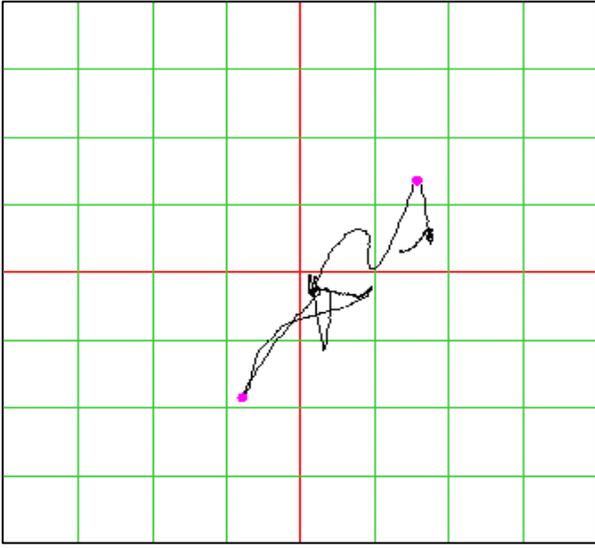
試験記録

試験部位	22アニュラ × 底板部		
きず番号/試験番号	22	ノイズ	
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	2000	500
SN比	(dB)	12.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	15

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

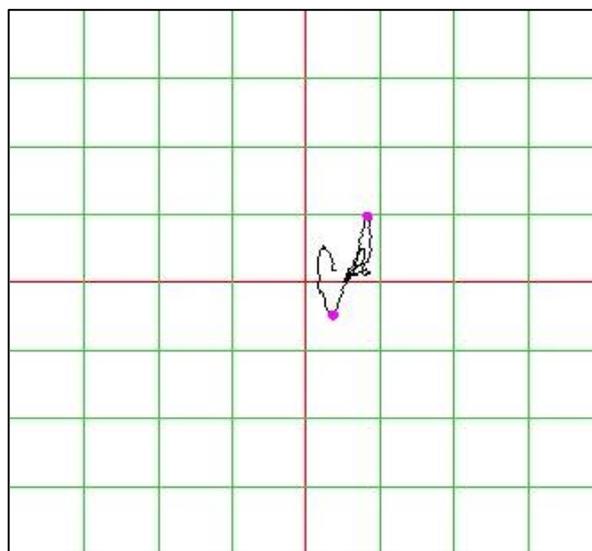
試験記録

試験部位	33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号	33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	800
SN比	(dB)	2.5

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	20

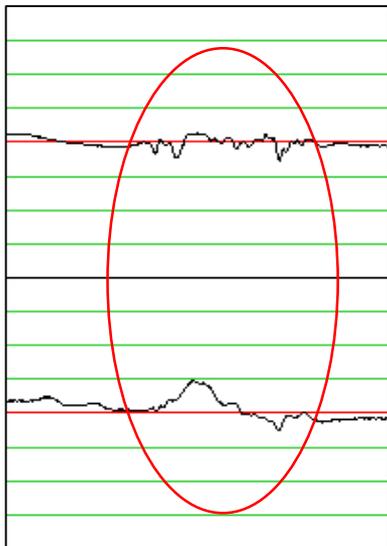
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号を p-p 4 V に設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	800	200
SN比	(dB)	12.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	2

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

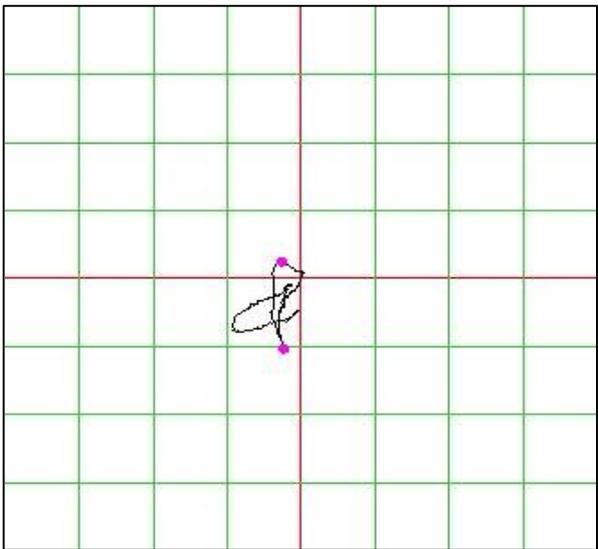
試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600	300
SN比	(dB)	6.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	8

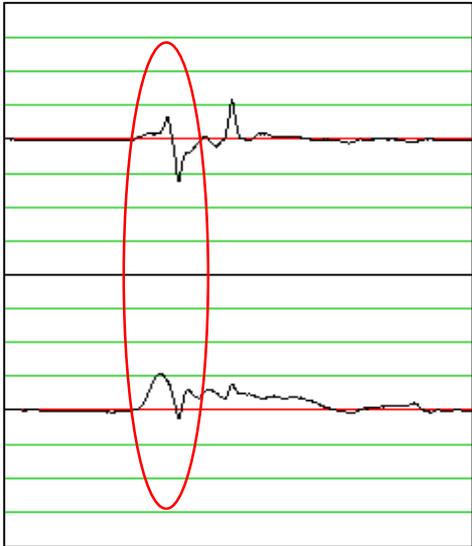
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

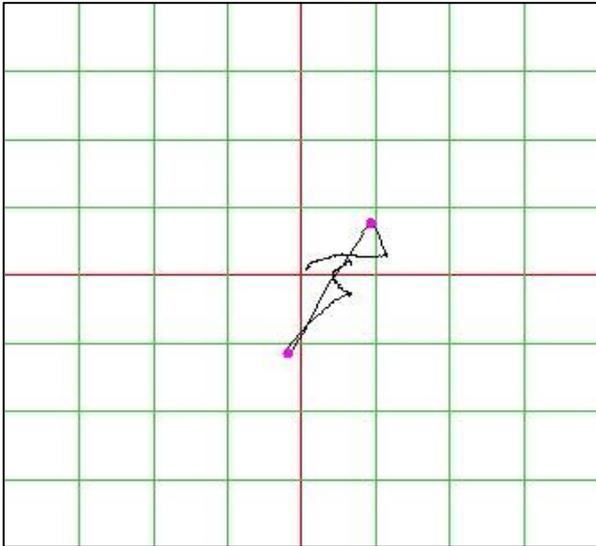
試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1100	700
SN比	(dB)	3.9	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

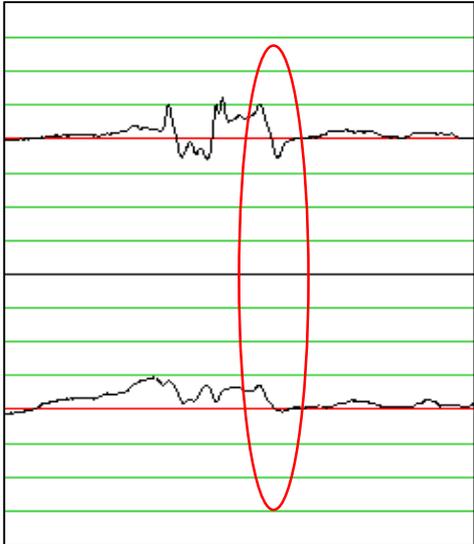
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

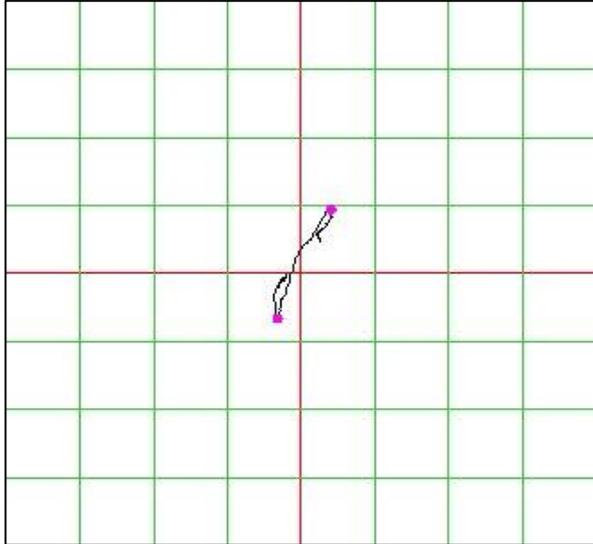
試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	900	800
SN比	(dB)	1.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	12

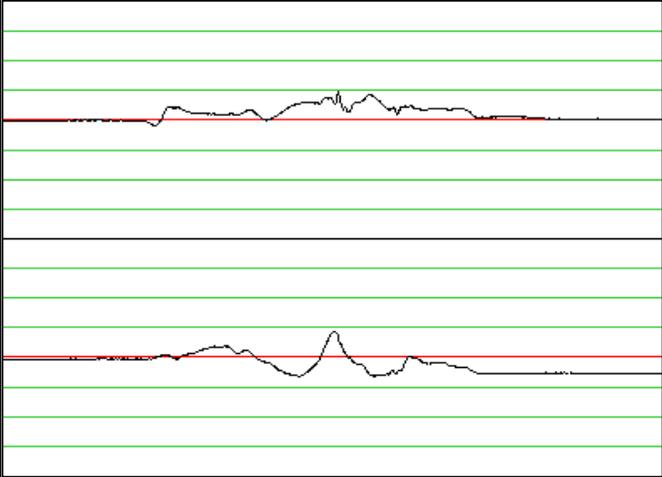
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4 Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位	外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号	形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	形状信号
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

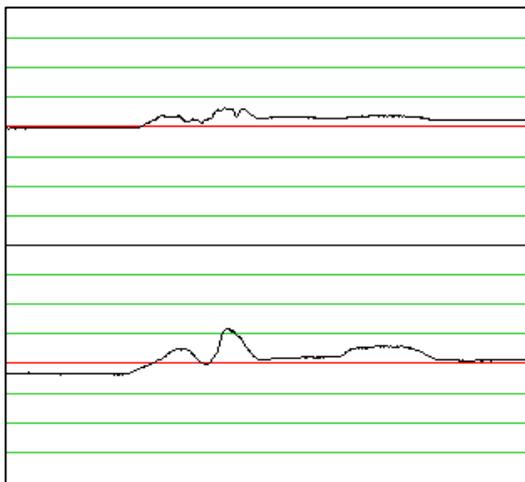
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	S21 (L4.0 D1.5) きず信号をp-p 4 Vに設定 (39.0dB)
コーティング厚さ	0 mm

試験記録

試験部位		外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号		集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)	800
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

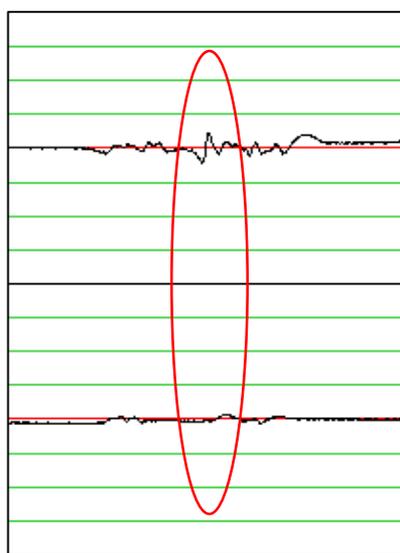
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

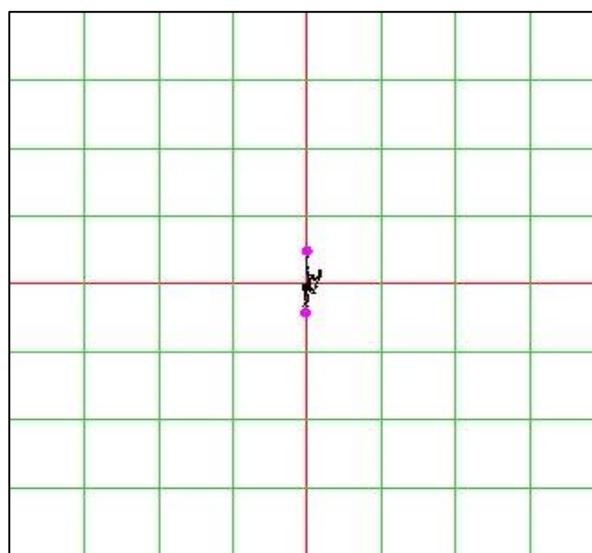
試験記録

試験部位		15内タライ部	
きず番号/試験番号		15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	300
SN比	(dB)	4.4	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	6

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

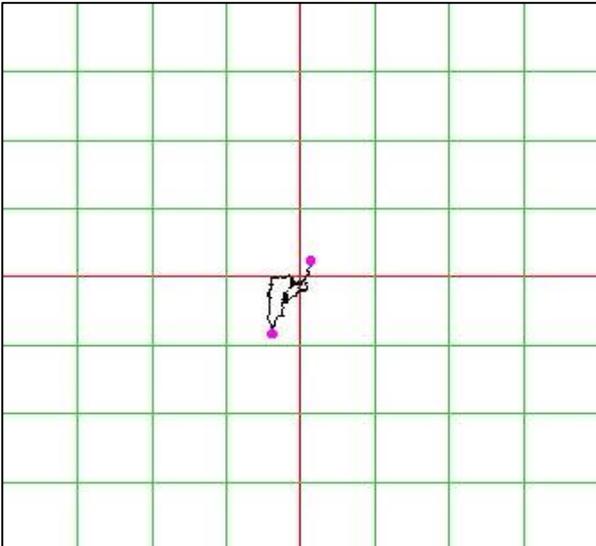
試験記録

試験部位	16内タライ部	
きず番号/試験番号	16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600
SN比	(dB)	3.5

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

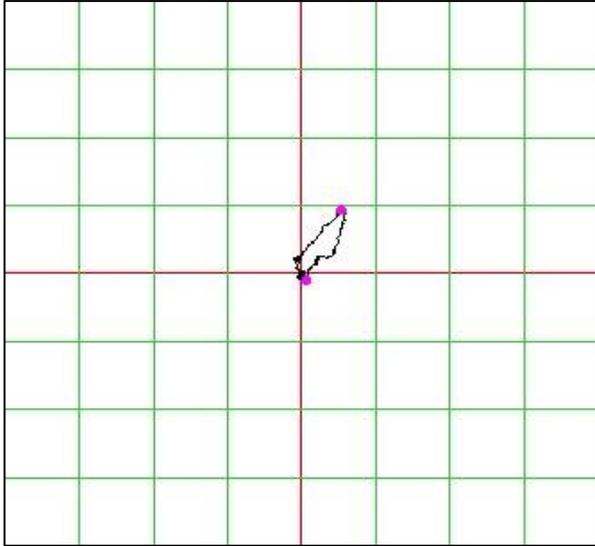
試験記録

試験部位	19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号	19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600
SN比	(dB)	3.5

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

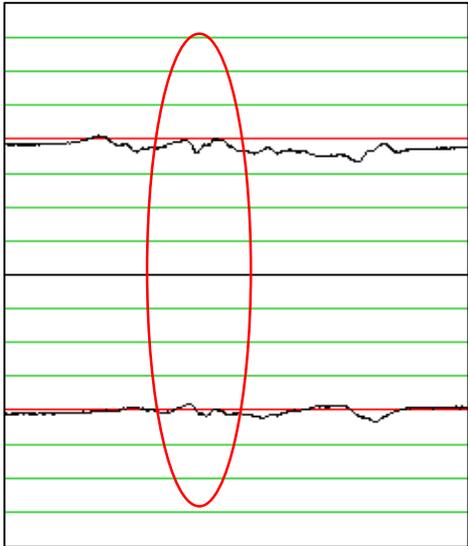
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

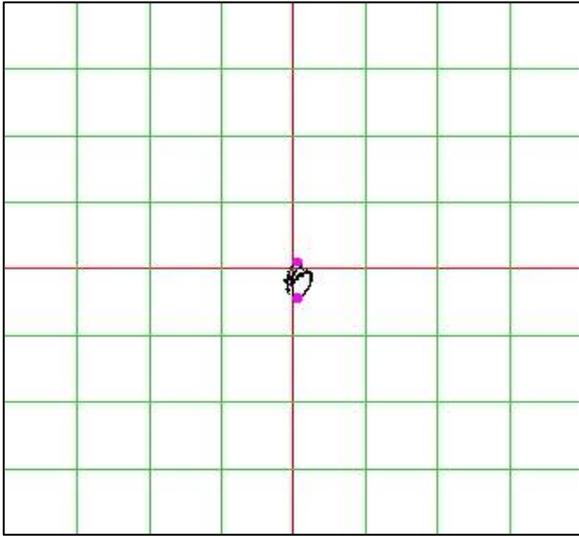
試験記録

試験部位	22アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号	22	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	ノイズ
	V_y (Transe)	ノイズ
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	200
SN比	(dB)	3.5

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

【コメント】 きず真上をプローブ走査できず、信号レベルが低く、視認性が悪い。

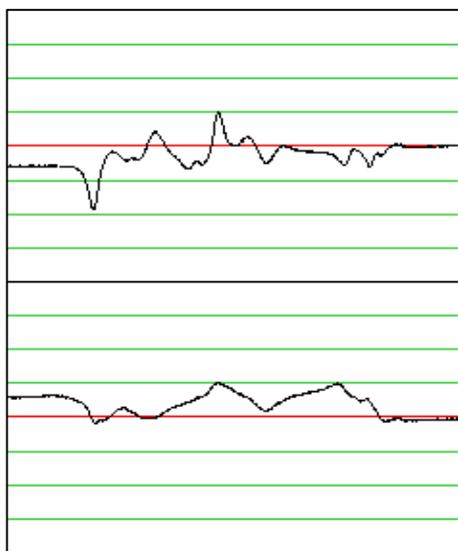
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号	33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

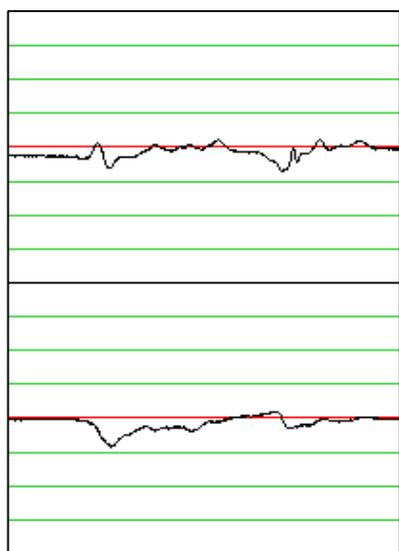
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	44底板×底板部	
きず番号/試験番号	44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

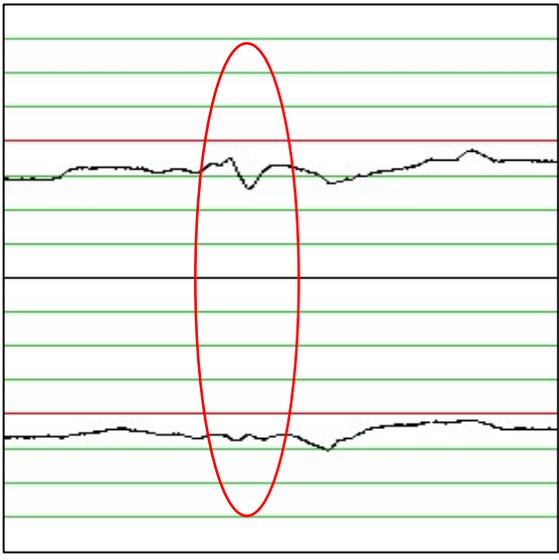
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

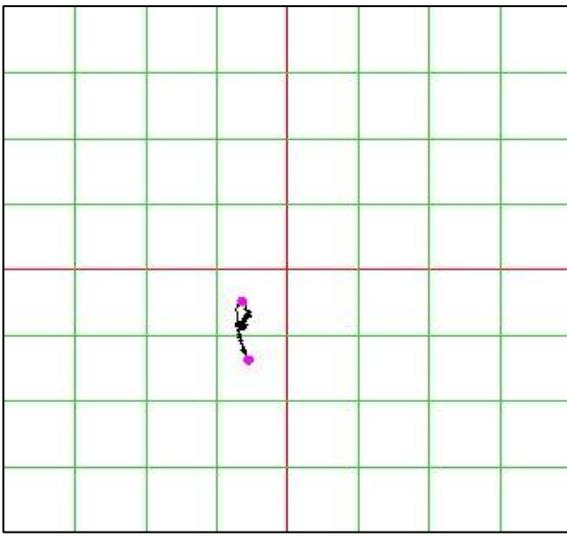
試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	400	300
SN比	(dB)	2.5	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	8

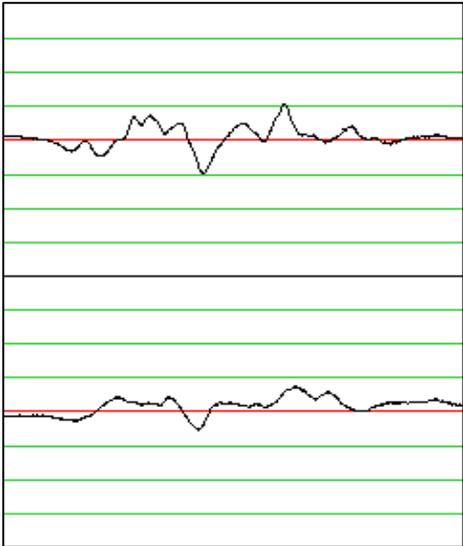
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	64底板×底板部	
きず番号/試験番号	64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

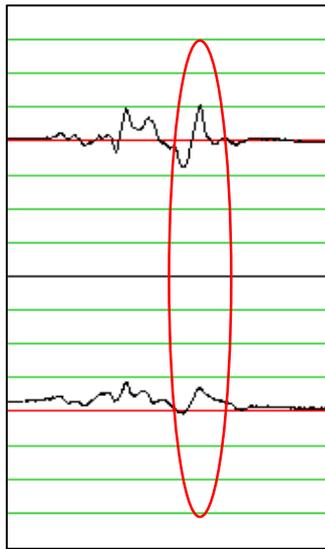
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

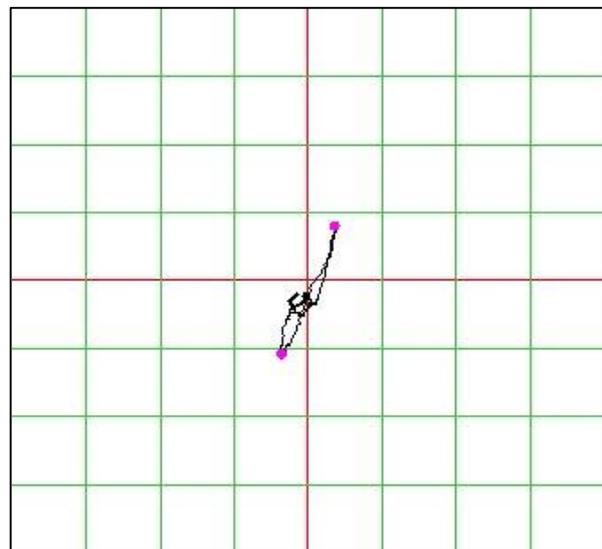
試験記録

試験部位	62底板部	
きず番号/試験番号	62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1000
SN比	(dB)	3.1

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	9

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号	形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

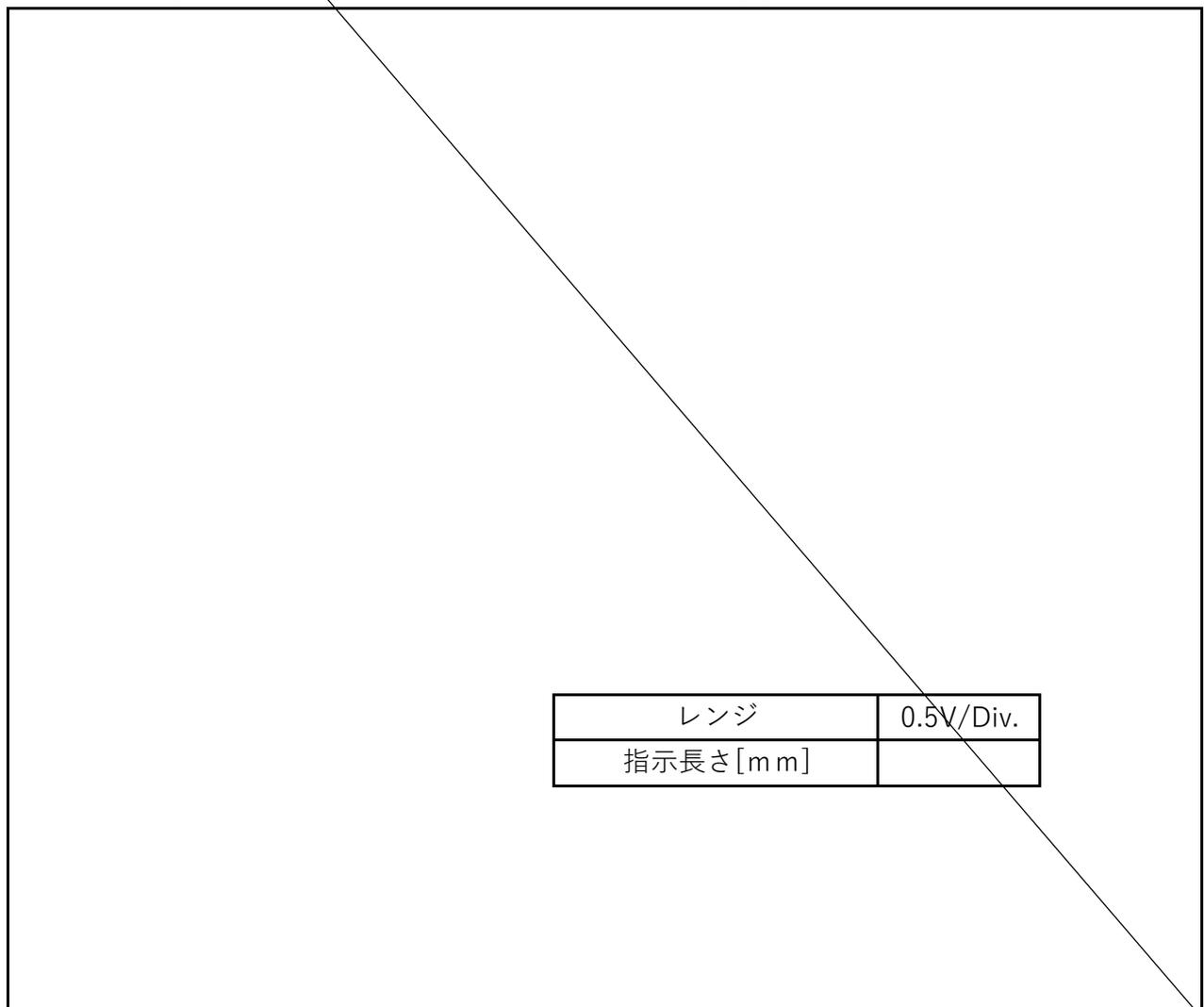
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +4dB (43.0dB) S21:3.5V
コーティング厚さ	0.5 mm

試験記録

試験部位	外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号	集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



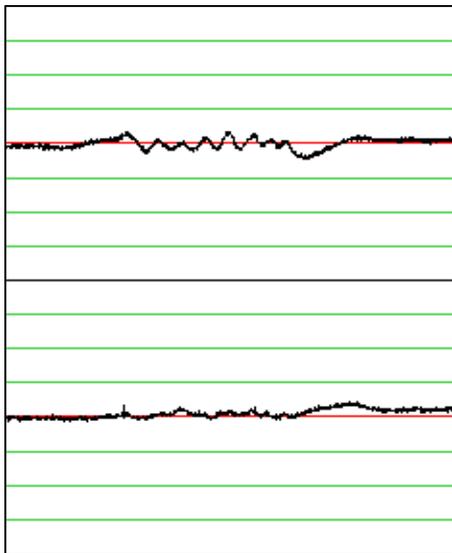
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	15内タライ部	
きず番号/試験番号	15	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	/

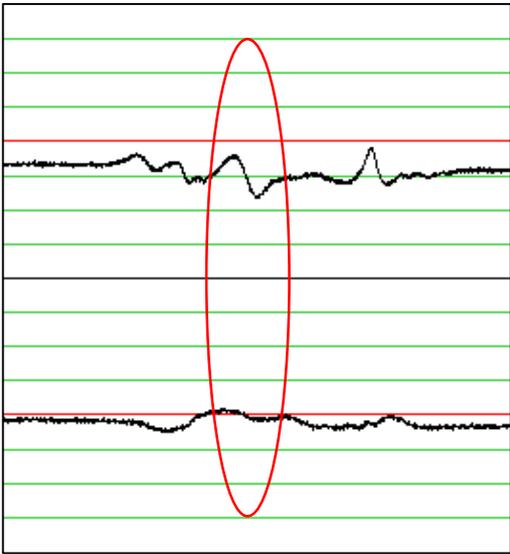
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

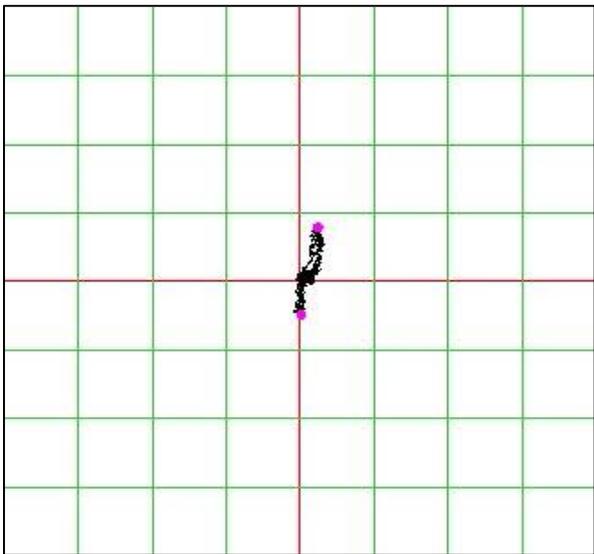
試験記録

試験部位		16内タライ部	
きず番号/試験番号		16	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	600	500
SN比	(dB)	1.6	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	6

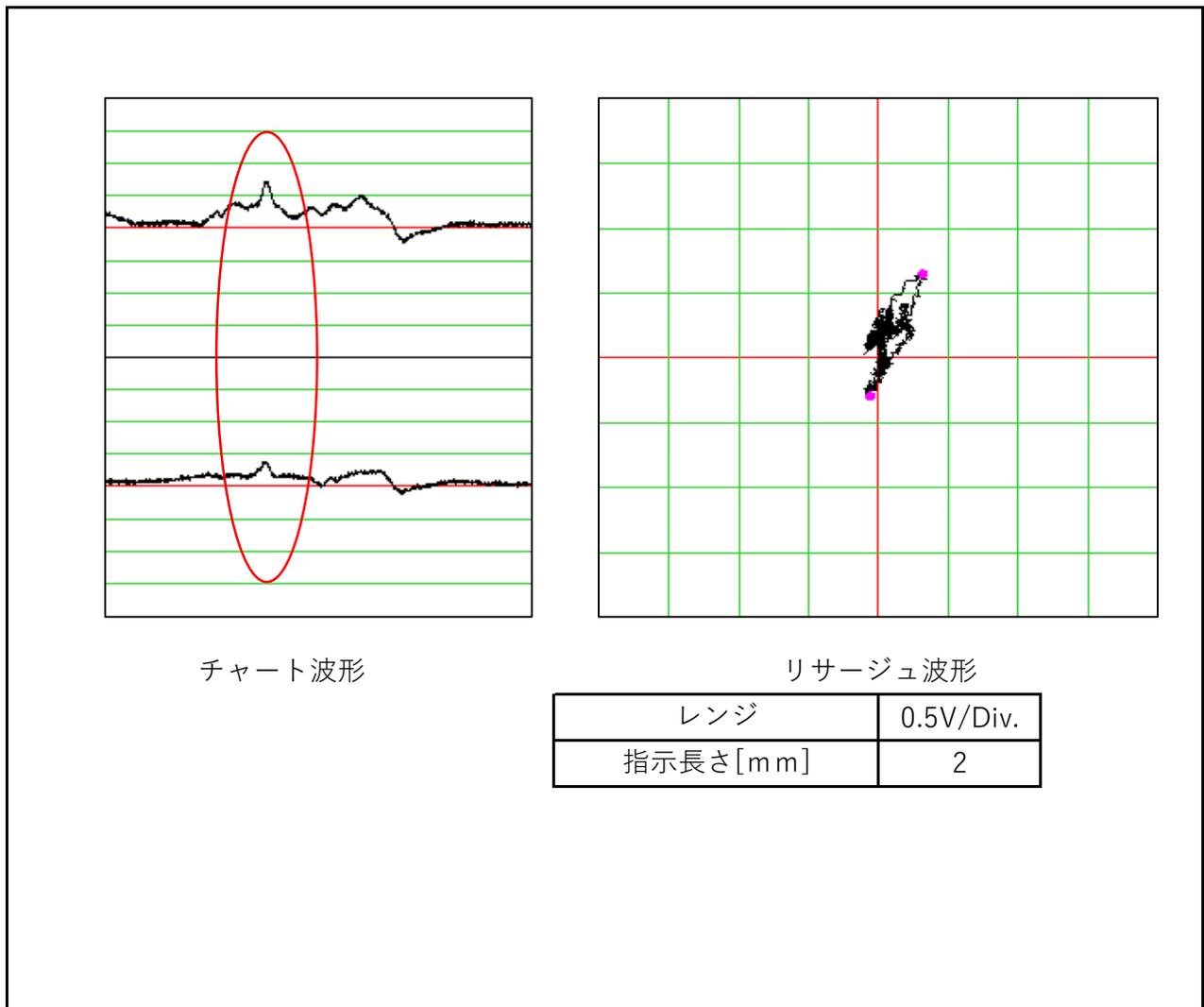
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		19アニューラ相互部	
きず番号/試験番号		19	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	700	800
SN比	(dB)	-1.2	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



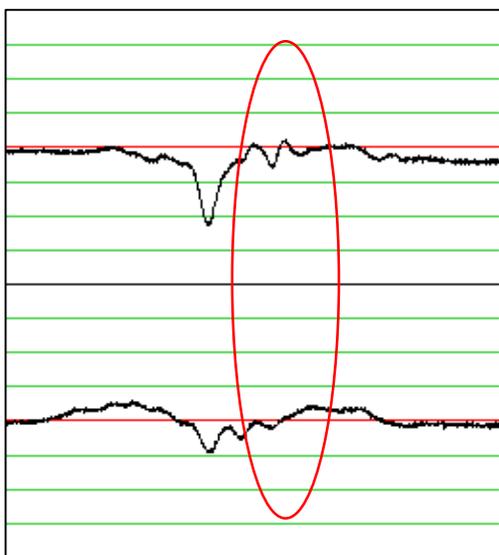
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

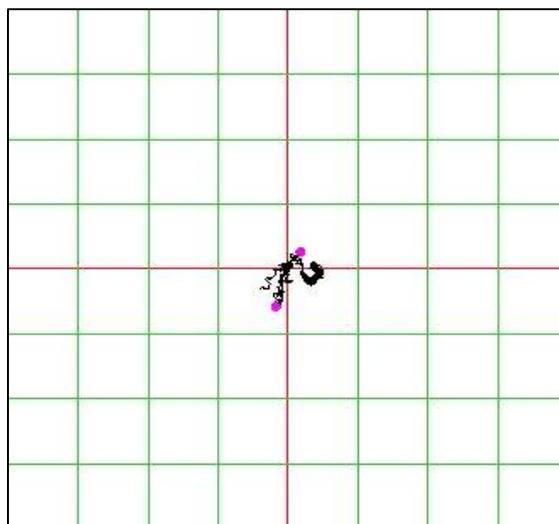
試験記録

試験部位		22アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号		22	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	400	200
SN比	(dB)	6.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	12

【コメント】 ノイズレベルは、きず信号近傍のノイズ値とした。

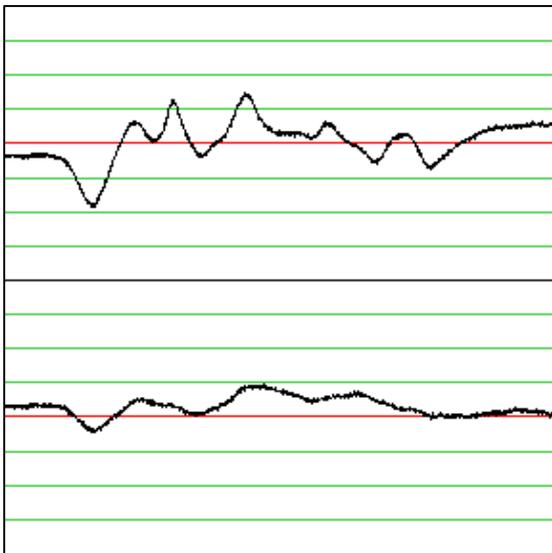
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	33アニューラ×底板部	
きず番号/試験番号	33	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

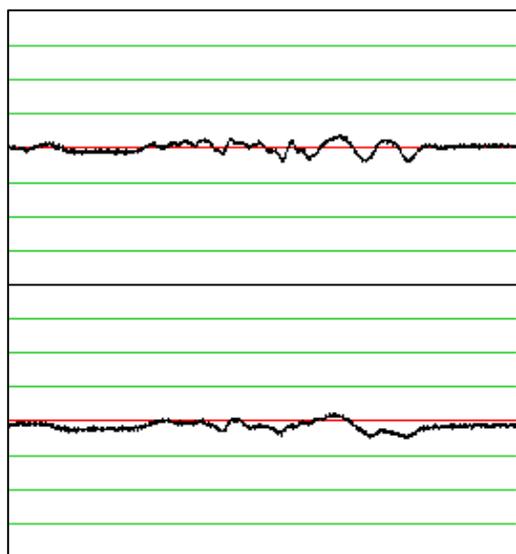
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		44底板×底板部	
きず番号/試験番号		44	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)	
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

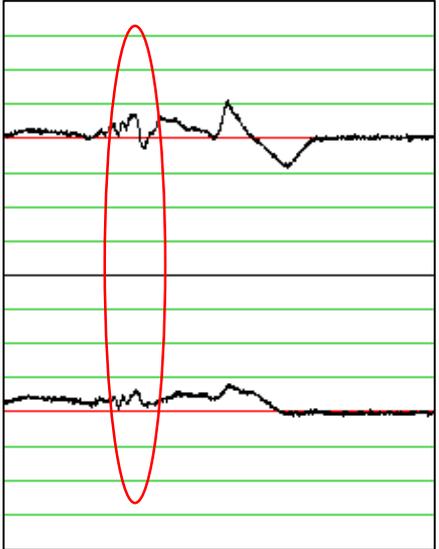
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

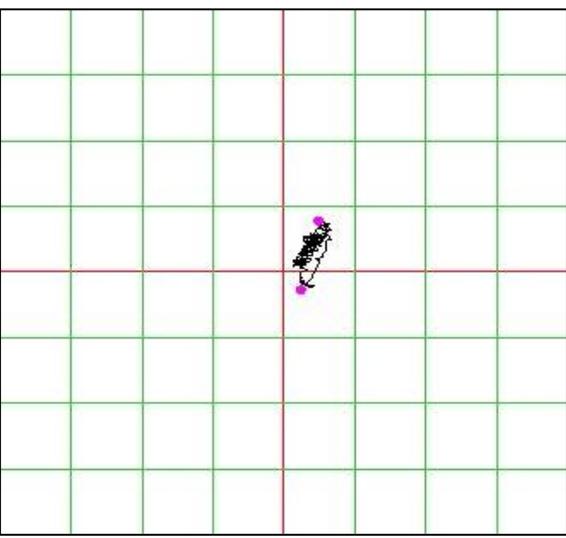
試験記録

試験部位		56底板×底板部	
きず番号/試験番号		56	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	500	200
SN比	(dB)	8.0	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	5

【コメント】 ノイズレベルは、きず信号近傍のノイズ値とした。

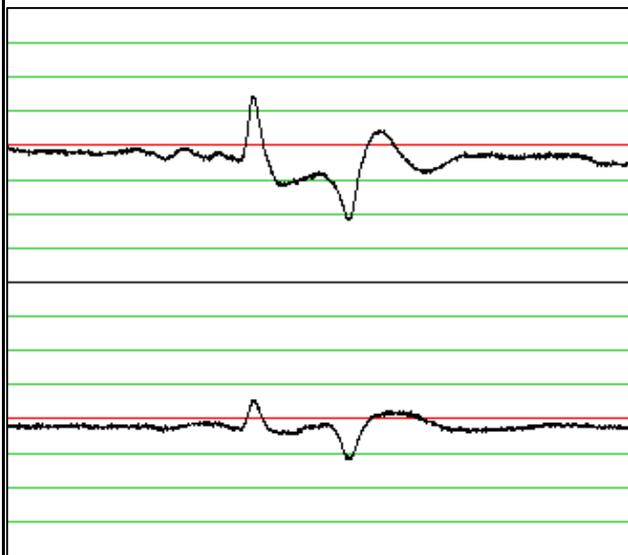
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位		64底板×底板部	
きず番号/試験番号		64	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	検出不可 (形状信号)	
SN比	(dB)		

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

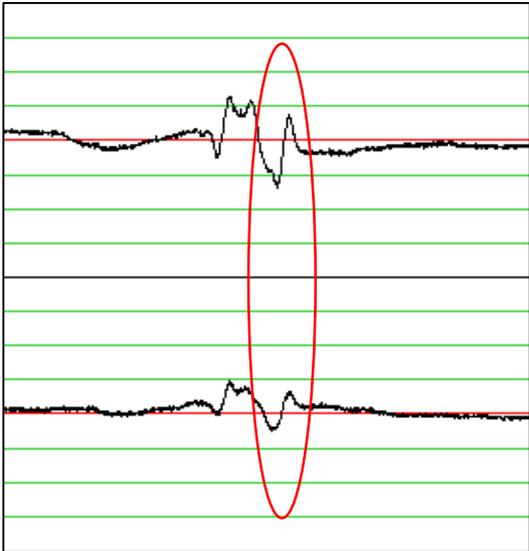
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

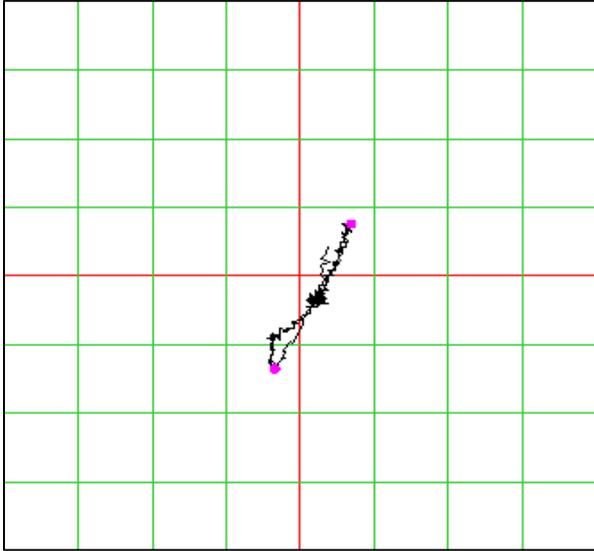
試験記録

試験部位		62底板部	
きず番号/試験番号		62	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)		
	V_y (Transe)		
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	1200	1000
SN比	(dB)	1.6	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



チャート波形



リサージュ波形

レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	9

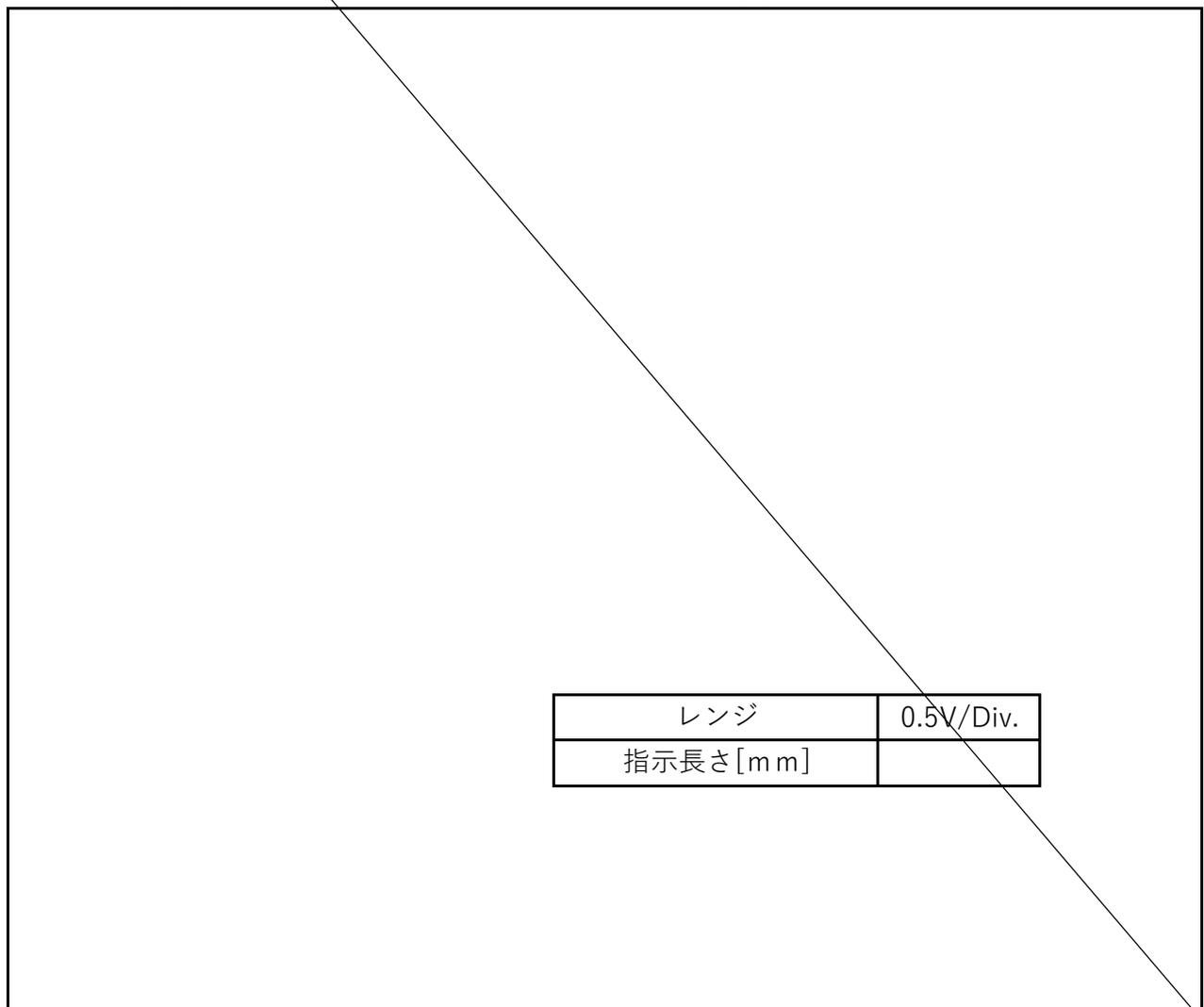
5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	外タライ形状不良部	
きず番号/試験番号	形状不良部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)



レンジ	0.5V/Div.
指示長さ [mm]	

5千KL級タンク 現地試験記録

試験チーム	H
年月日	2024年 9月 19日
位相設定	S21 (L4.0 D1.5) きず位相を 90° に設定 (79.5°)
探傷感度	基準感度 (リフトオフ0mm) +12dB (51.0dB) S21:2.4V
コーティング厚さ	1.5 mm

試験記録

試験部位	外タライ集中BH部	
きず番号/試験番号	集中BH部	ノイズ
出力値 (mV)	V_x (Axial)	
	V_y (Transe)	
	$SQRT(V_x^2 + V_y^2)$	
SN比	(dB)	

試験データ (きず番号毎に、データを張り付けてください。)

